

小金井市  
子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
報告書  
(案)

平成31年3月



## 目次

第1章 調査の概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査対象者.....	3
3 調査期間.....	3
4 調査方法.....	3
5 配布数と回収状況.....	3
6 調査結果の表示方法.....	4
第2章 調査結果.....	5
I. 就学前児童の保護者調査.....	5
1 回答者属性.....	5
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	9
3 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	13
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	15
5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	22
6 お子さんの病気の際の対応について.....	24
7 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	27
8 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	30
9 子育て全般について.....	36
10 保育所に入れるための活動について.....	44
11 幼児教育・保育無償化について.....	45
12 飲酒・喫煙について.....	46
13 お子さんの小学校就学後における放課後の過ごし方について.....	47
14 児童虐待に関することについて.....	50
15 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	51
16 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	52
II. 就学児童の保護者調査.....	55
1 回答者属性.....	55
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	58
3 子育て全般に関して.....	62
4 お子さんの一時預かりのことについて.....	73
5 ファミリー・サポート・センターの利用について.....	75
6 お子さんの放課後の過ごし方について.....	76
7 児童虐待に関することについて.....	81
8 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	82
9 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	83

## 目次

Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査.....	87
1 回答者属性.....	87
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	89
3 子育て全般について.....	91
4 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	100
5 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	101
Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査.....	105
1 回答者属性.....	105
2 同居している家族の就労状況について.....	107
3 放課後や休日の過ごし方について.....	108
4 小金井市の事業や施設について.....	110
5 日々の生活の問題などについて.....	114
6 あなたの健康について.....	117
7 異世代交流について.....	122
8 将来のことについて.....	124
9 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	126

## 第1章 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、お子さんが健やかに成長できるまちとなるよう、更なる子どもと子育て家庭の支援の充実を推進する小金井市子ども・子育て支援事業計画である「(仮称)のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)」(平成32年度から平成36年度)を策定するための基礎資料とすることを目的に調査を行いました。

### 2 調査対象者

- (1) 就学前児童の保護者
  - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 2,000 人
- (2) 就学児童の保護者
  - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,500 人
- (3) 中学校・高校年代の保護者
  - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- (4) 中学校・高校年代の青少年
  - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人

### 3 調査期間

平成30年11月15日～12月5日

(調査対象者の方全員にお礼状と未記入の場合の送付をお願いした関係から、調査票の最終締切は平成30年12月31日消印有効とした)

### 4 調査方法

郵送による配布回収

### 5 配布数と回収状況

	就学前児童保護者	就学児童保護者	中・高生年代保護者	中・高生年代青少年	全体
配布数	2,000	1,500	1,250	1,250	6,000
回収数	1,089	782	582	395	2,848
回収率	54.5%	52.1%	46.6%	31.6%	47.5%

## 6 調査結果の表示方法

---

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。



## 第2章 調査結果



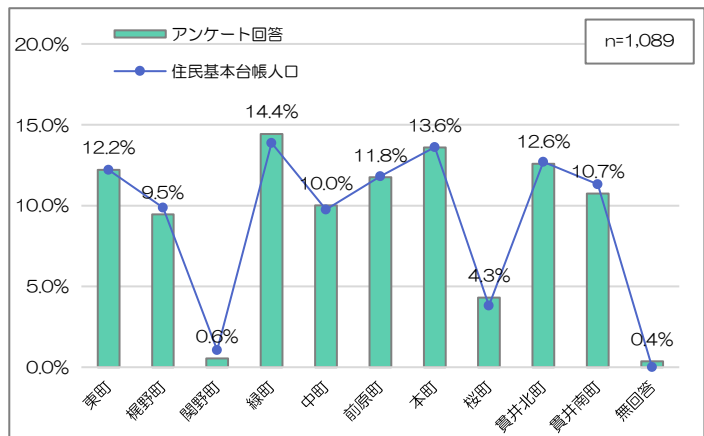
第2章 調査結果

I. 就学前児童の保護者調査

1 回答者属性

お住まいの地区はどこですか。(1つに〇)

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による0歳から6歳の地区別人口割合と同等割合となっています。



<参考>

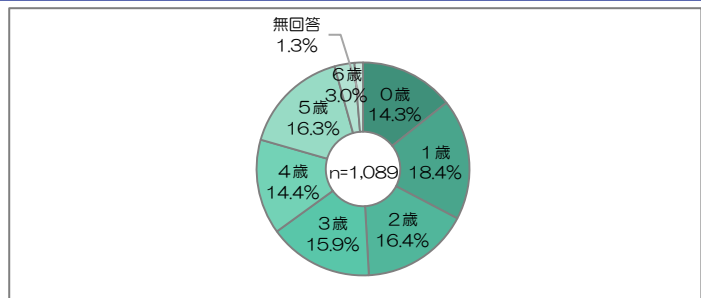
住民基本台帳による町別（0歳～6歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
0～6歳人口(人)	896	724	77	1,018	715	866	999	280	932	830	7,337
割合(%)	12.2%	9.9%	1.0%	13.9%	9.7%	11.8%	13.6%	3.8%	12.7%	11.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

お子さんの生年月を記入してください。(数字を記入) (平成30年12月1日現在)

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。なお6歳児については、本アンケート対象が未就学児を対象としているため、割合が少なくなっています。(6歳児でかつ就学児童は対象外)



<参考>

住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳※	合計
人口(人)	1,047	1,080	1,063	1,109	1,034	1,050	975	7,358
割合(%)	14.2%	14.7%	14.4%	15.1%	14.1%	14.3%	13.3%	100.0%

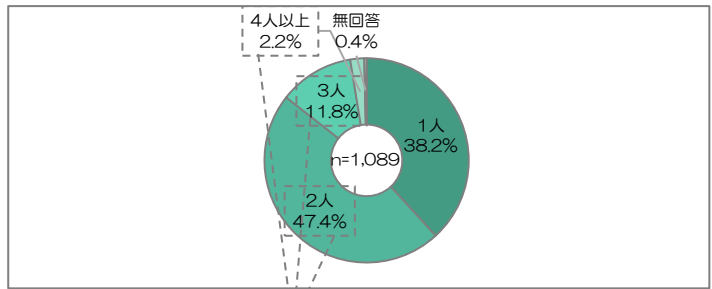
※6歳は小学生を含む

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

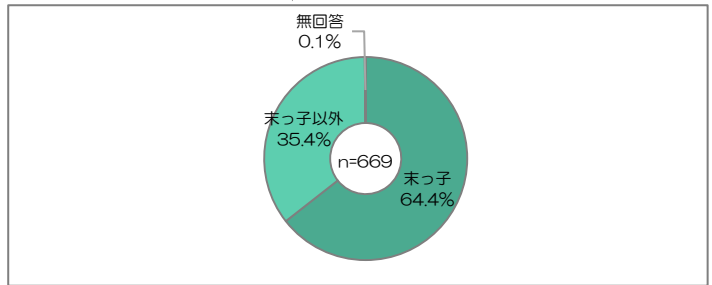
## 第2章 調査結果

お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。（数字を記入）

きょうだいの人数について「2人きょうだい」が最も多く、47.4%となっています。

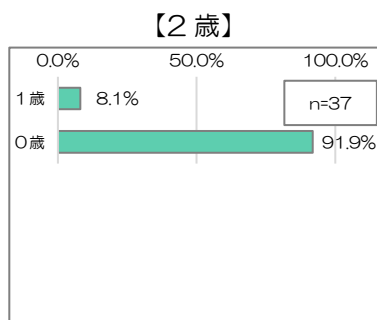
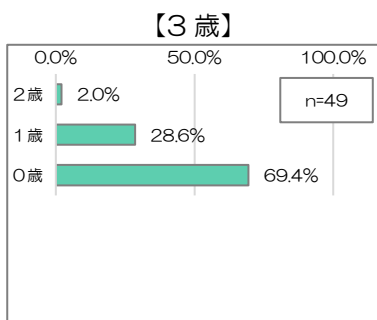
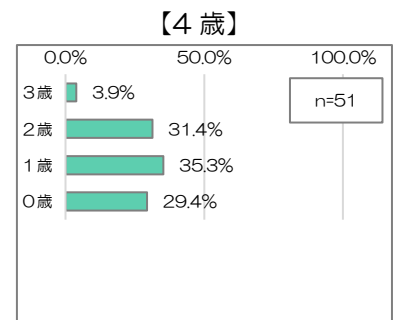
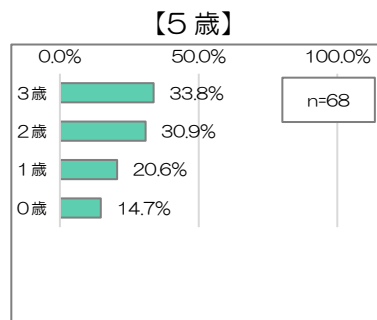
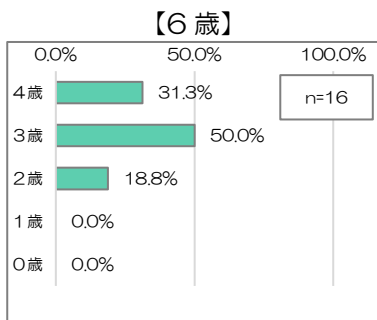


また、きょうだい数が2人以上の場合、回答の対象となるお子さんが末っ子である割合は64.4%となっています。



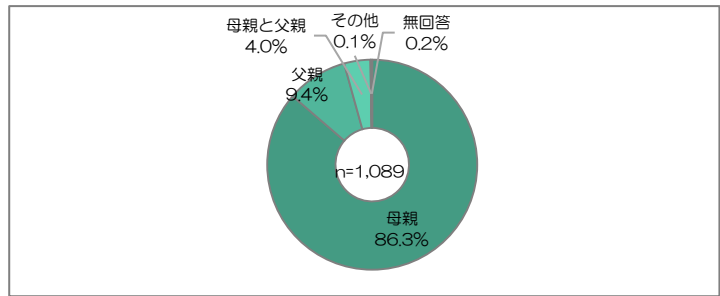
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月を記入してください。（数字を記入）

年齢毎の末子の年齢割合は以下のとおりとなっています。



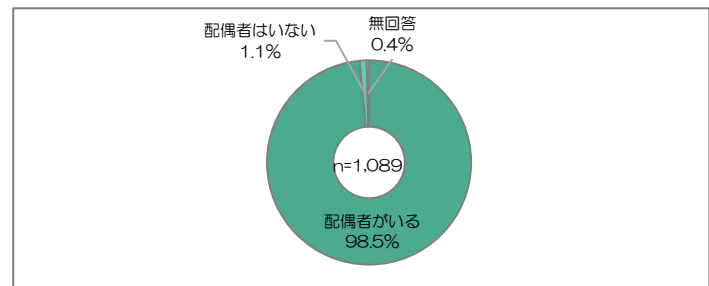
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

調査票の回答者について「母親」が最も多く86.3%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は4.0%となっています。



この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

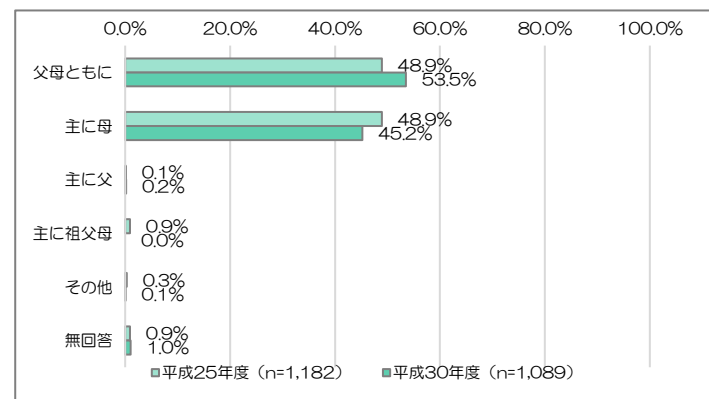
調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は1.1%となっています。



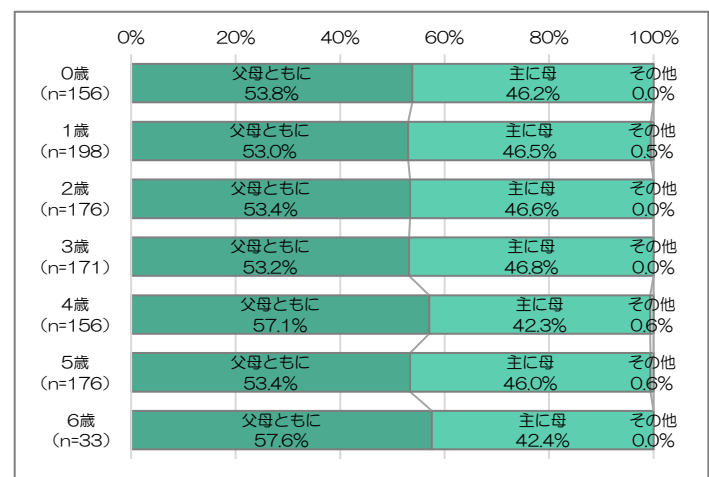
お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

お子さんの子育てについて、「父母ともに」が最も多く53.5%となり、「主に母」が45.2%となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、「父母ともに」子育てを行っている回答の方が4.6%増えています。



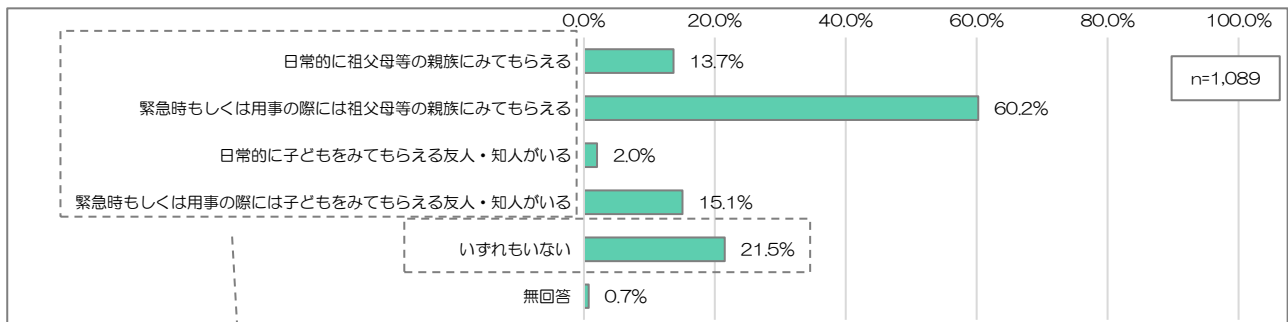
なお、お子さんの年齢別における子育ての主な方についての割合は、年齢別で特に大きな差異は見られていません。



## 第2章 調査結果

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

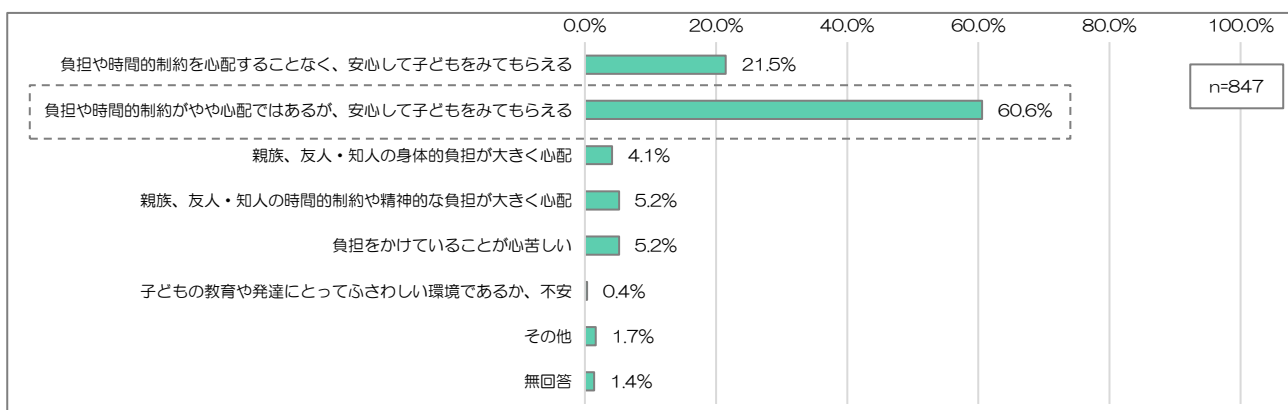
「緊急時や用事があるときにお子さんをみてもらえる祖父母等の親族がいる」と回答した方が最も多く60.2%となっています。一方「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となると13.7%にとどまり、「いずれもない」と回答した方は21.5%にのぼっています。



【お子さんをみてもらえる親族、友人・知人がいる方のみ回答】

親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況はいかがですか。(1つに○)

お子さんをみてもらえる親族、友人・知人がいる方について、「負担や時間的制約がやや心配ではあるが、安心して子どもをみてもらえる状況である」と回答した方が最も多く60.6%となっています。



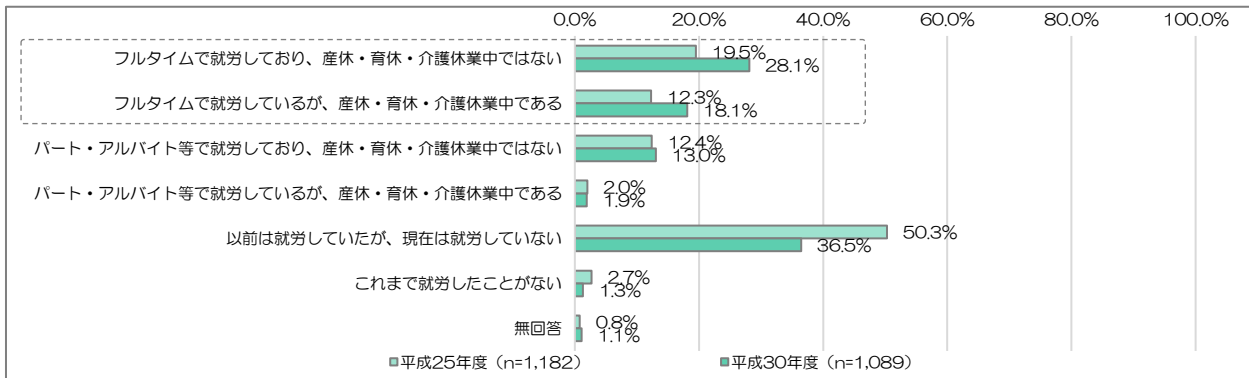
その他・・・緊急時にはみてもらうよう知人にお願いはしているが、実際にみてもらったことはない(9)

2 お子さんの保護者の就労状況について

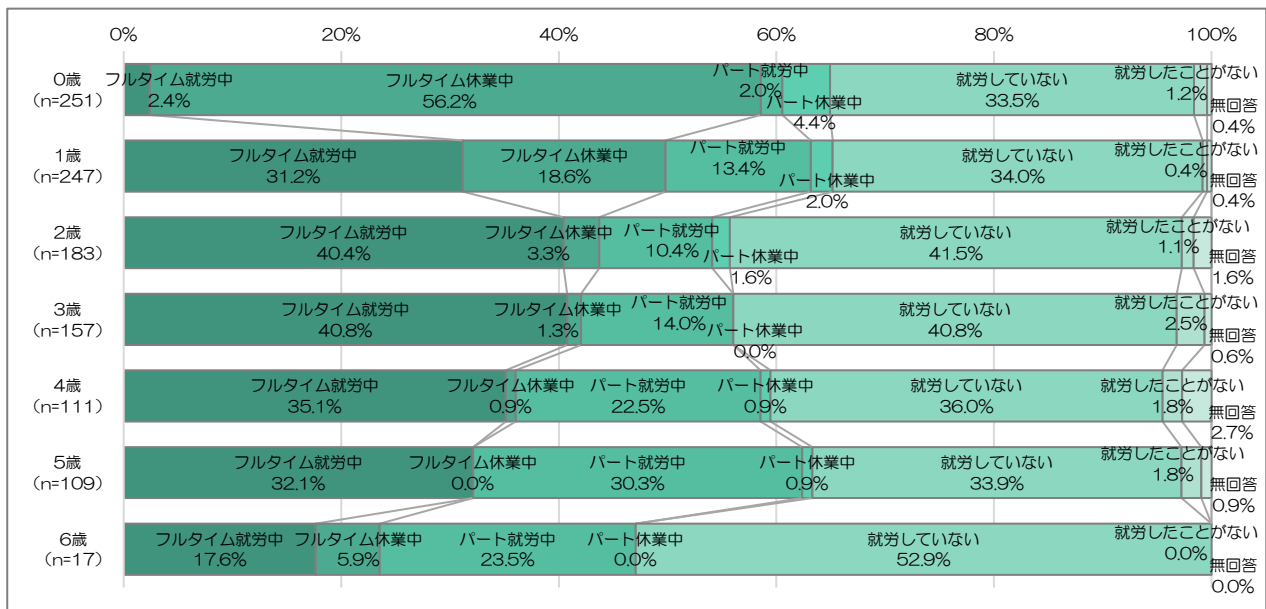
お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに〇）

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が28.1%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が13.0%となり、休業せず就労している方の割合が41.1%と4割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイム就労中」と回答した方が8.6%、「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」と回答した方が5.8%増え、フルタイムでの就労率も14.4%増えています。



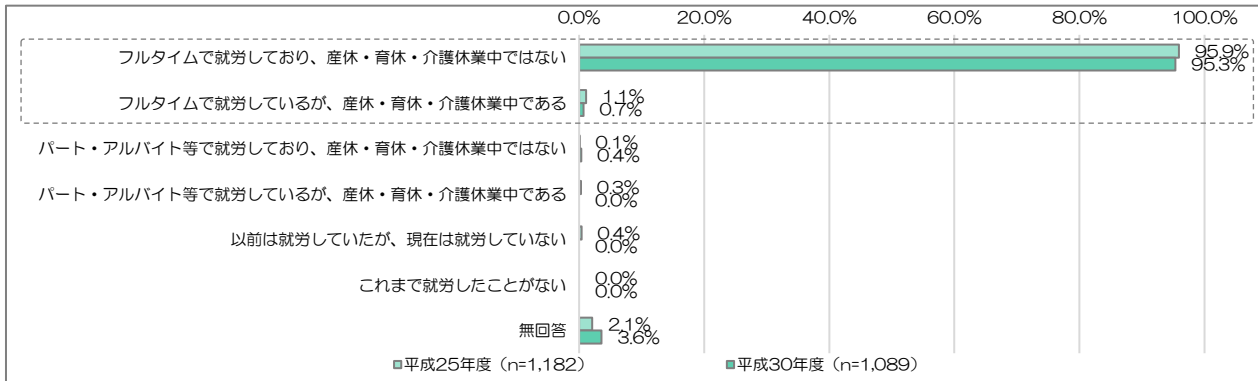
お子さんの年齢別（きょうだいがいる場合は末子の年齢）就労状況について、0歳児ではフルタイムまたはパートタイム就労中の方は4.4%となっていますが、1歳児では44.6%、2歳児では50.8%、3歳児では54.8%、4歳児では57.6%、5歳児では62.4%と1歳児で4割以上が就労し、5歳児となると6割以上が就労しています。



## 第2章 調査結果

### 【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが95.3%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が0.4%となっています。平成25年度調査と比較しても、父親の就労に関する大きな変化は見られません。



### 【家族類型】

#### <フルタイム共働き>

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

#### <フルタイム・パートタイム共働き>

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

#### <パートタイム共働き>

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

#### <専業主婦（夫）>

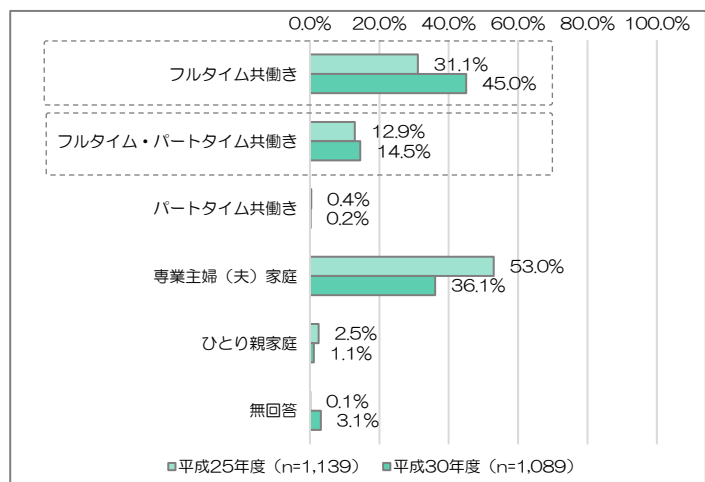
父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

#### <一人親家庭>

「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム共働き」が最も多く、45.0%となっています。「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は59.7%と、約6割となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイム共働き」が13.9%増加し、「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭が15.3%増加と大幅に増加しています。

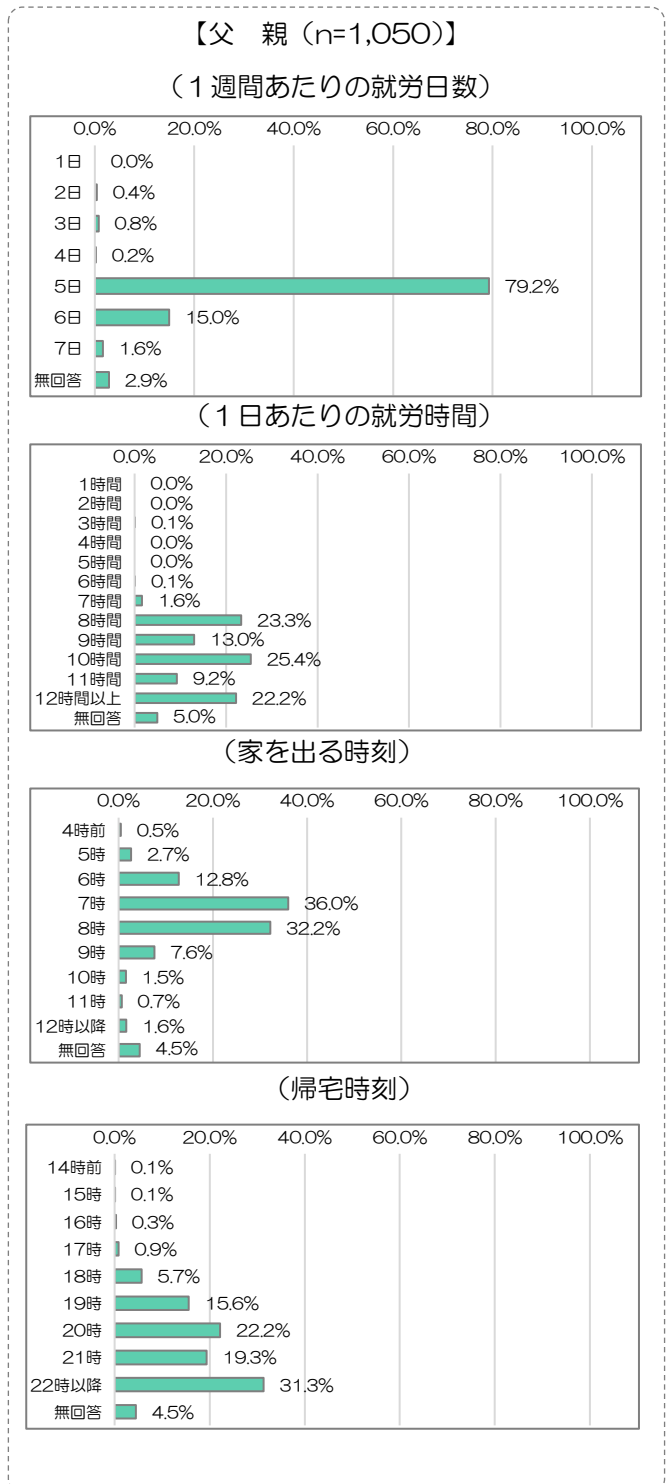
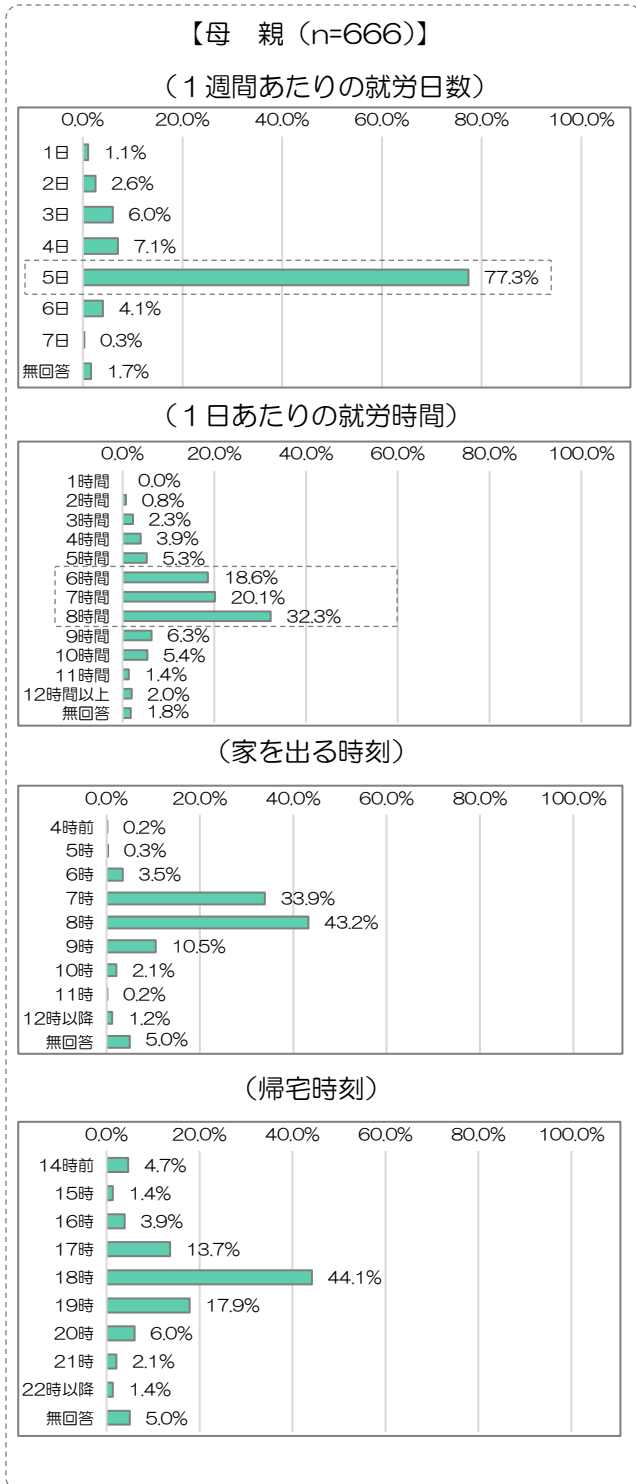




【「就労している」方のみ回答】

1週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。（数字を記入）

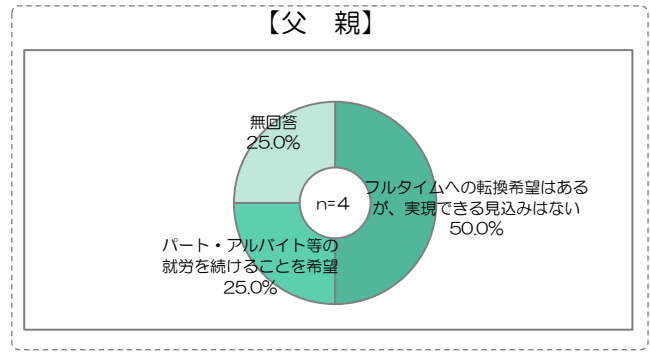
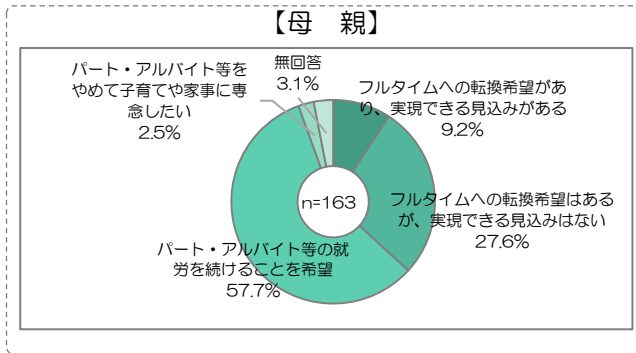
母親・父親それぞれの就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻について以下のとおりとなっています。特に母親の就労日数については週5日が最も多く77.3%、また就労時間については8時間が最も多く、32.3%となっています。



## 第2章 調査結果

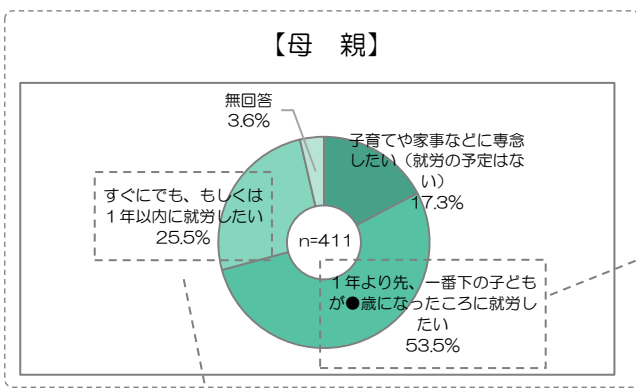
### 【「パート・アルバイト等で就労している」方のみ回答】

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

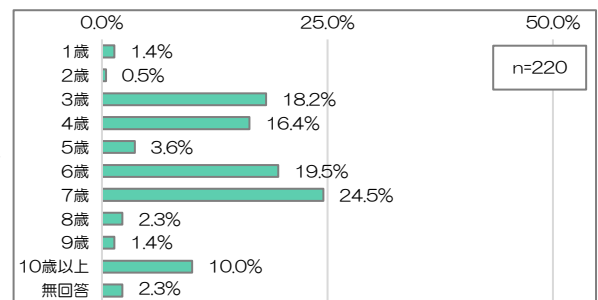


### 【「現在は就労していない」方のみ回答】

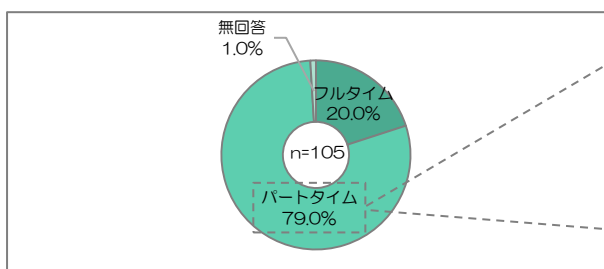
就労したいという希望はありますか。(1つに○)



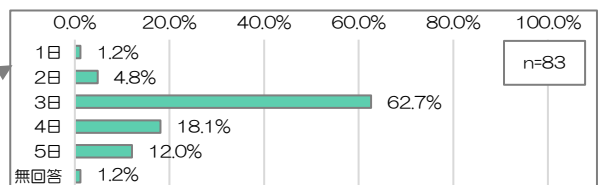
(一番下の子が何歳のときに就労したいか)



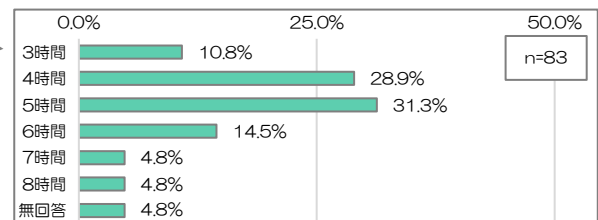
(すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態)



(パートタイムを希望する場合の1週あたり日数)

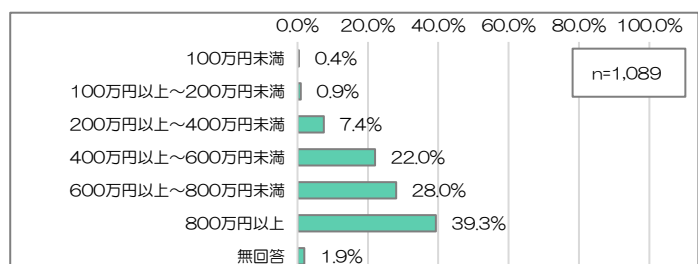


(パートタイムを希望する場合の1日あたり時間)



現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。(1つに○)

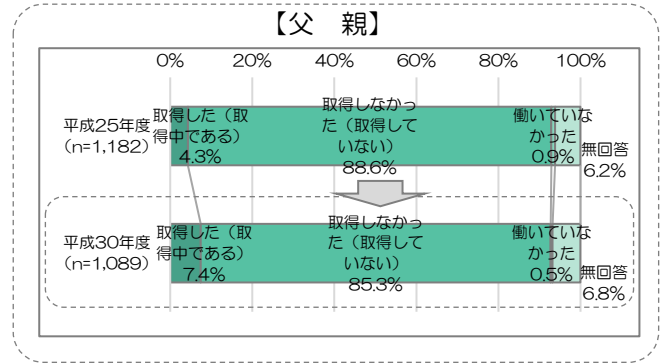
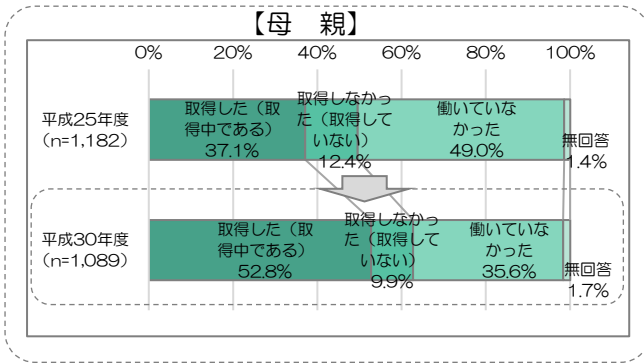
年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、39.3%となっています。



3 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

お子さんが生まれたとき育児休業を取得しましたか。(1つに〇)

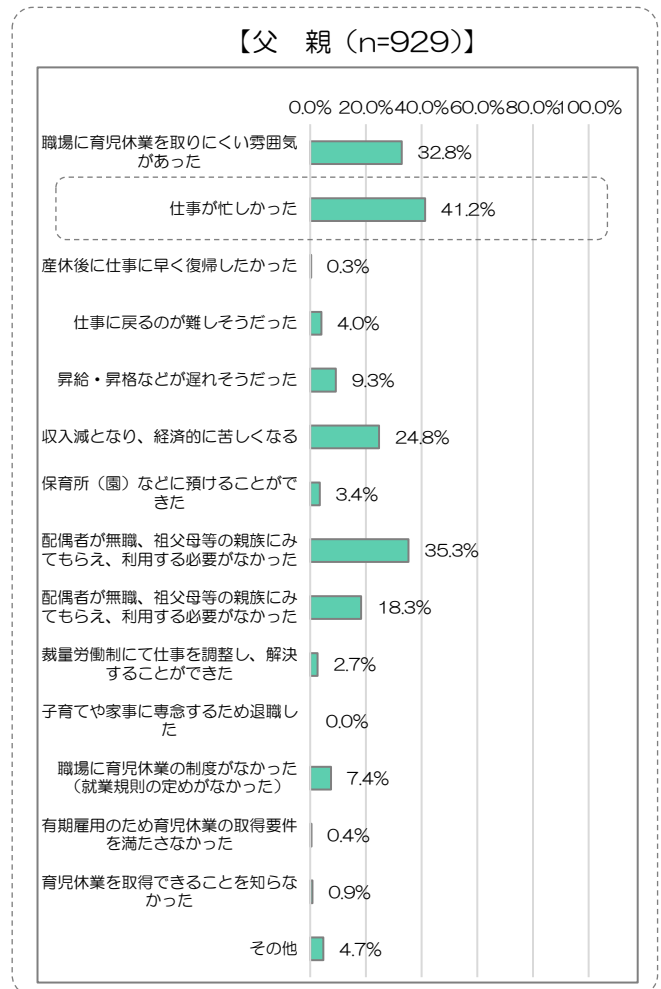
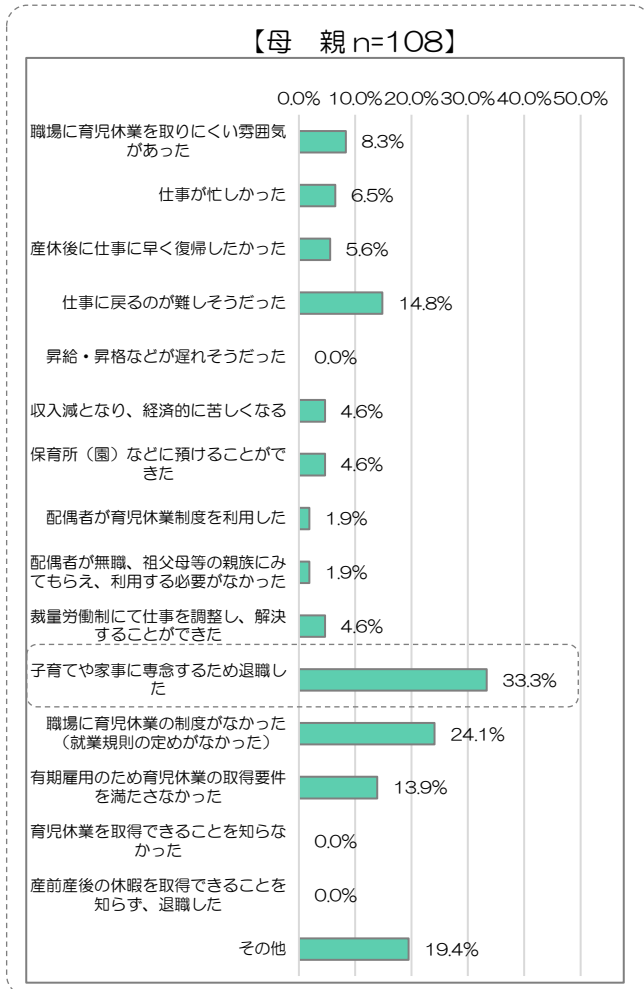
母親について、お子さんが生まれたとき「育児休業を取得した(取得中である)」と回答した方は52.8%となっています。また平成25年度調査と比較すると「育児休業を取得した(取得中である)」と回答した方が15.7%増加し、取得する方が大幅に増えています。一方、父親について、お子さんが生まれたとき「育児休業を取得した(取得中である)」と回答した方は7.4%となっており、平成25年度調査と比較すると「育児休業を取得した(取得中である)」と回答した方の上昇率は3.1%にとどまっています。



【育児休業を取得しなかった方のみ回答】

育児休業を取得しなかった(していない)理由はなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

育児休業を取得しなかった(していない)理由として母親では「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した方が最も多く33.3%となっています。一方、父親では「仕事が忙しかった」と回答した方が最も多く41.2%となっています。

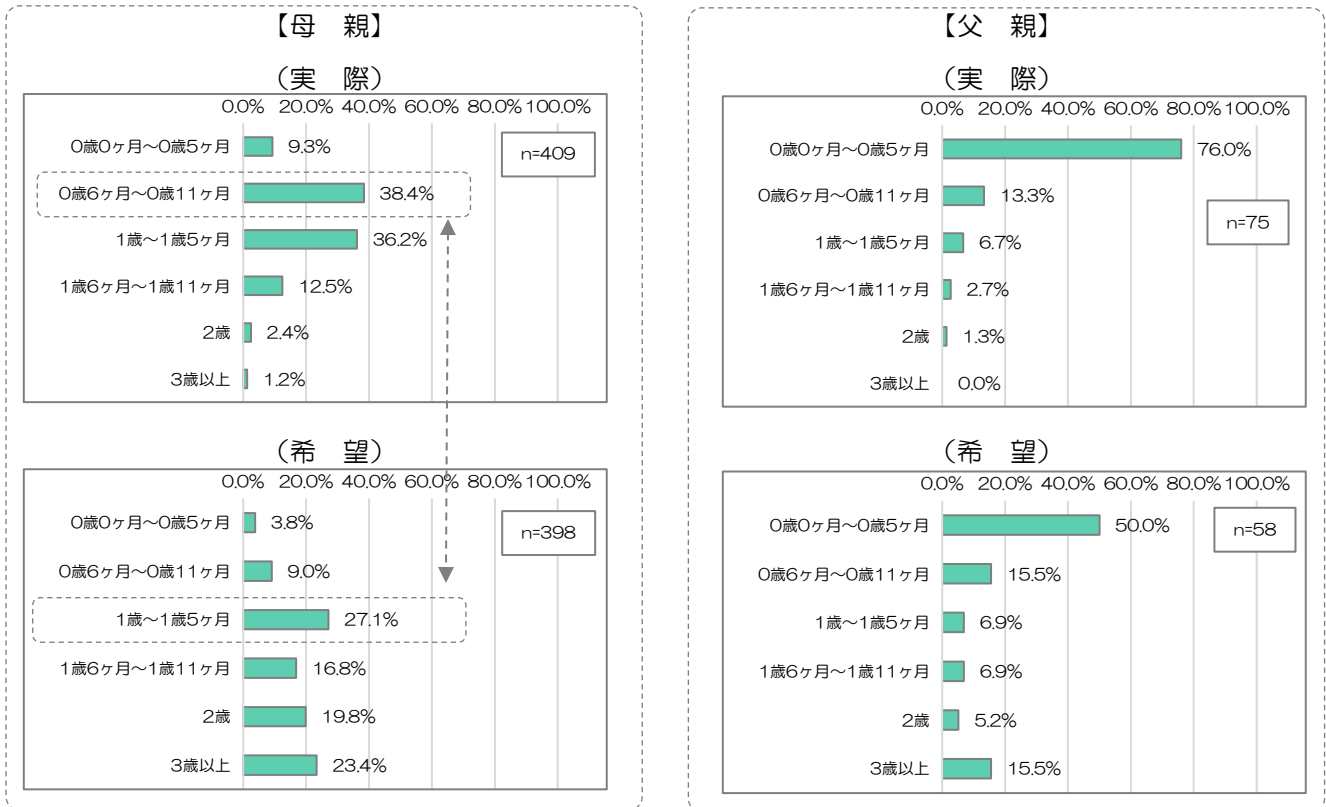


## 第2章 調査結果

### 【育児休業後、職場に復帰した方のみ回答】

育児休業から職場復帰したとき、お子さんは何歳何か月でしたか。また希望時期に職場復帰できる環境が整っていた場合、何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。（それぞれ1つに〇）

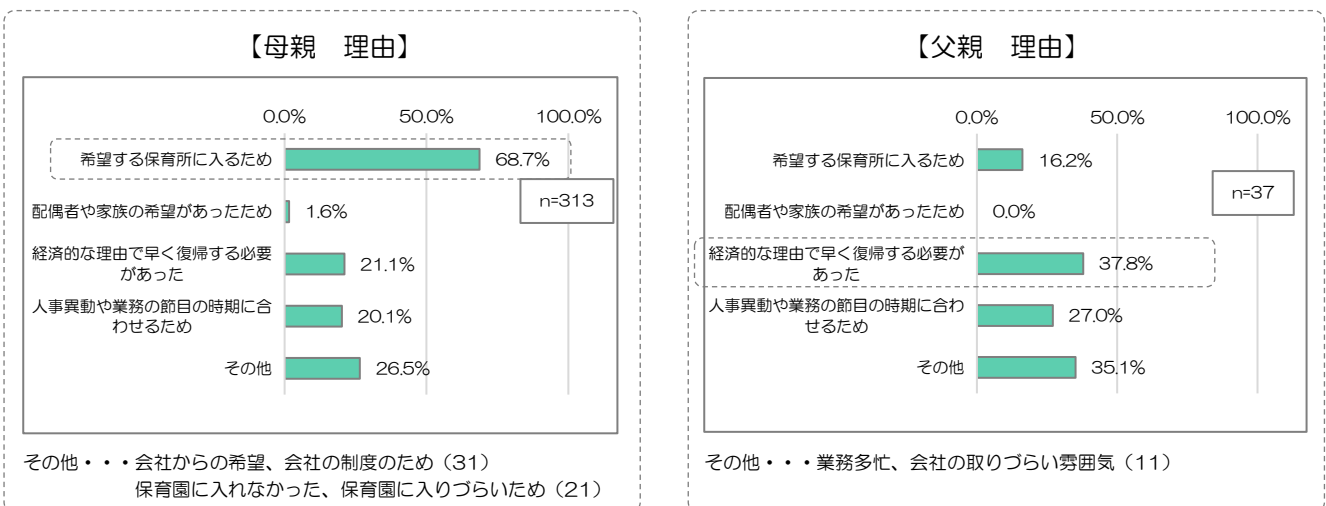
育児休業から職場復帰した際のお子さんの年齢について、母親は「6ヶ月から11ヶ月」が最も多く、38.4%となっています。一方希望については「1歳～1歳5ヶ月」が最も多く27.1%となっています。実際よりも6ヶ月程度長く育児休業を取りたいと希望する傾向となっています。



### 【実際の復帰と希望が異なる方のみ回答】

希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）

希望の時期に職場復帰しなかった理由として、母親は「希望する保育所に入るため」が最も多く68.7%となっています。一方父親は「経済的理由で早く復帰する必要があった」が最も多く37.8%となっています。

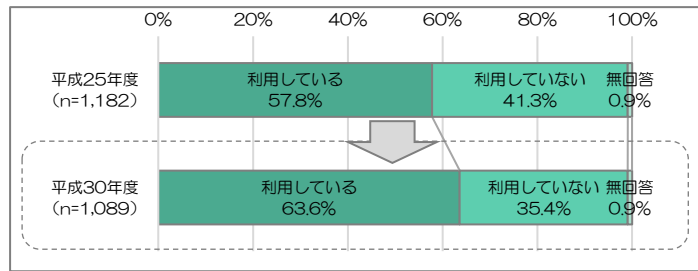


4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

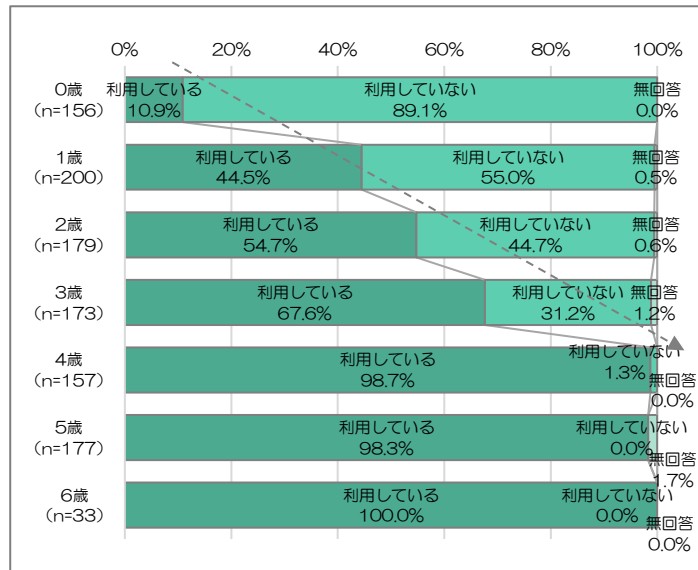
お子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに〇)

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業の利用について「利用している」と回答した方が63.6%となっています。

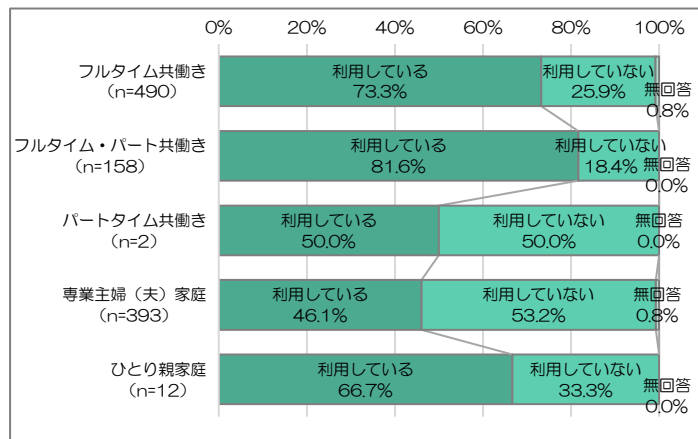
また、平成25年度調査と比較すると定期的な教育・保育の事業の利用について、利用率が5.8%高まっています。



お子さんの年齢別での定期的な教育・保育の事業の利用について、「0歳」では10.9%、「1歳～3歳」では44.5%～67.6%が「利用している」となり、「4歳以降」では、ほぼ利用の98.7%以上となっています。



家族類型別での定期的な教育・保育の事業の利用について、「フルタイム共働き」では73.3%、「フルタイム・パートタイム共働き」では81.6%と7割～8割の利用率となっています。

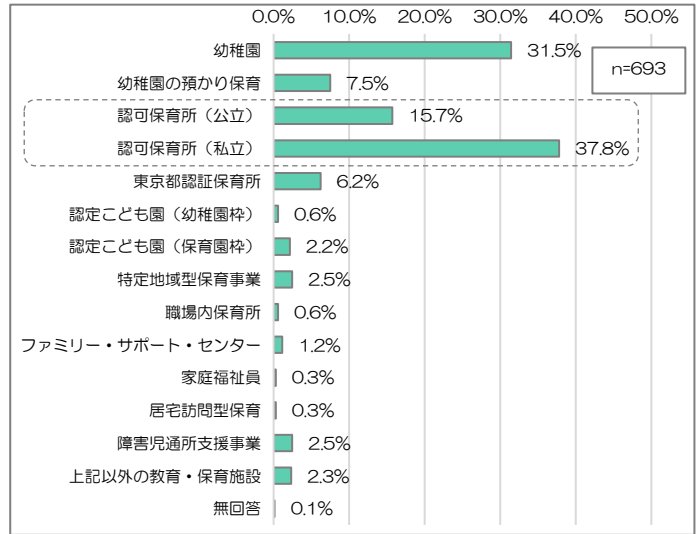


## 第2章 調査結果

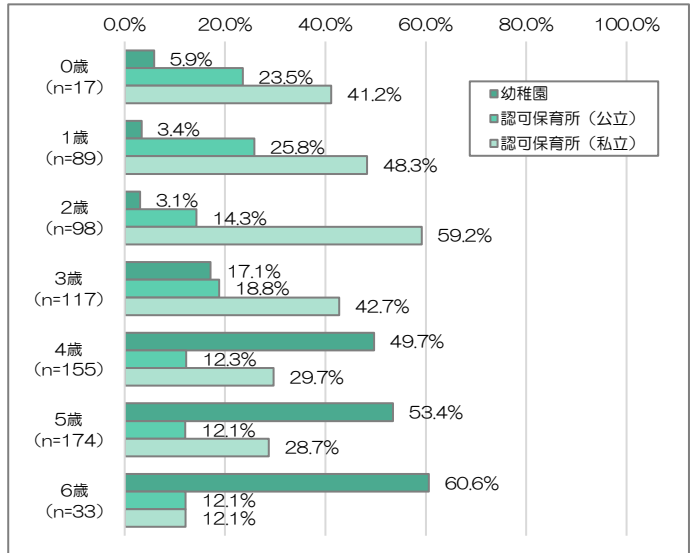
### 【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

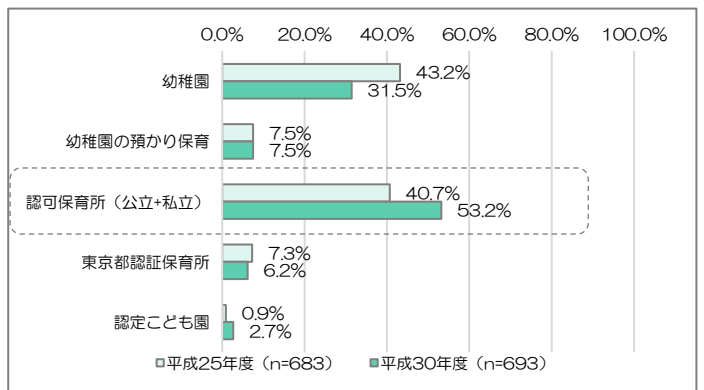
平日利用している教育・保育の事業について、「認可保育所（私立）」が最も多く 37.8%、次いで「幼稚園」が 31.5%となっています。  
 なお、認可保育所について私立・公立を合わせた利用率は 53.5%と半数を超えています。



また、年齢ごとの「幼稚園」「認可保育所（公立）」「認可保育所（私立）」の利用率は以下のとおりとなっており、「認可保育所（私立）」の利用について0歳から3歳にかけて利用率が高くなっています。特に1歳から2歳にかけて公立・私立合わせた認可保育所の利用率は73%~74%と非常に高くなっています。



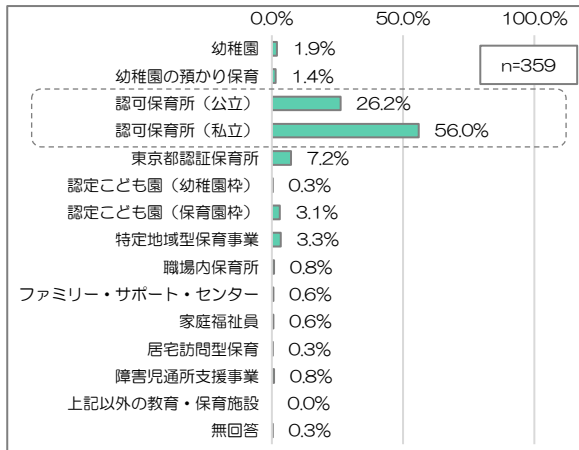
また平成25年度調査と比較すると、幼稚園については 11.7%利用率が下がる一方で、認可保育所については 12.5%と大幅に利用率が高まっています。



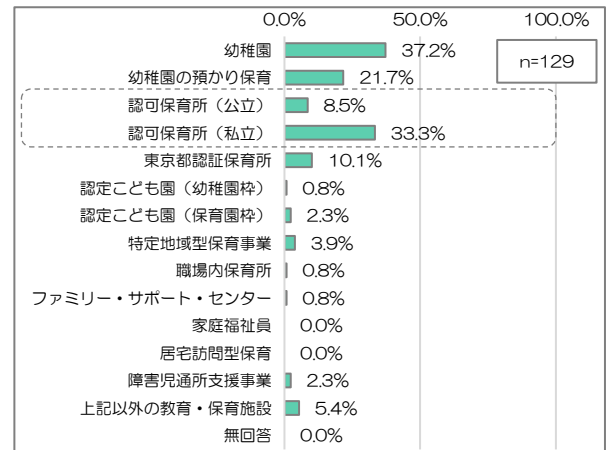
家族類型別での年間を通して「定期的に」利用している事業について、「フルタイム共働き」では「認可保育所（私立）」が56.0%、「認可保育所（公立）」が26.2%となり「認可保育所」について82.2%となっています。

また、「フルタイム・パートタイム共働き」では「認可保育所（私立）」が33.3%、「認可保育所（公立）」が8.5%となり「認可保育所」について41.8%となっています。

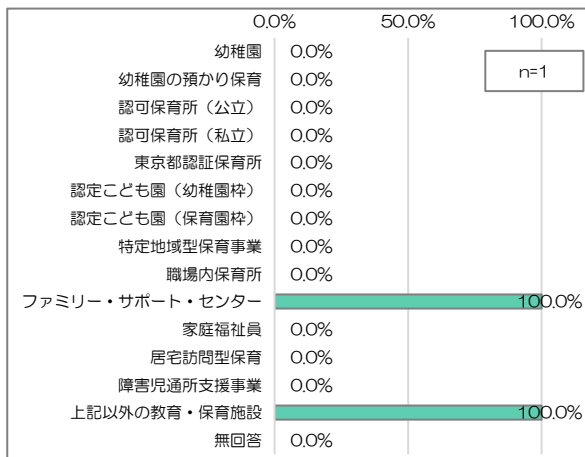
【フルタイム共働き】



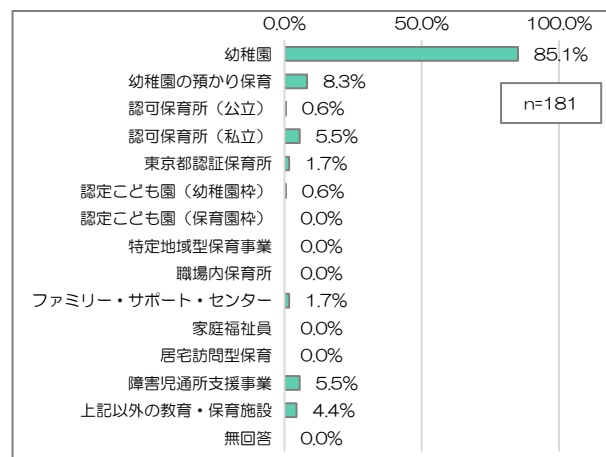
【フルタイム・パートタイム共働き】



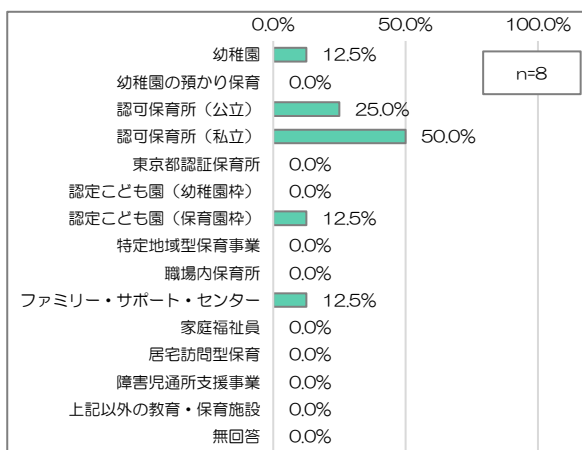
【パートタイム共働き】



【専業主婦（夫）家庭】



【ひとり親家庭】



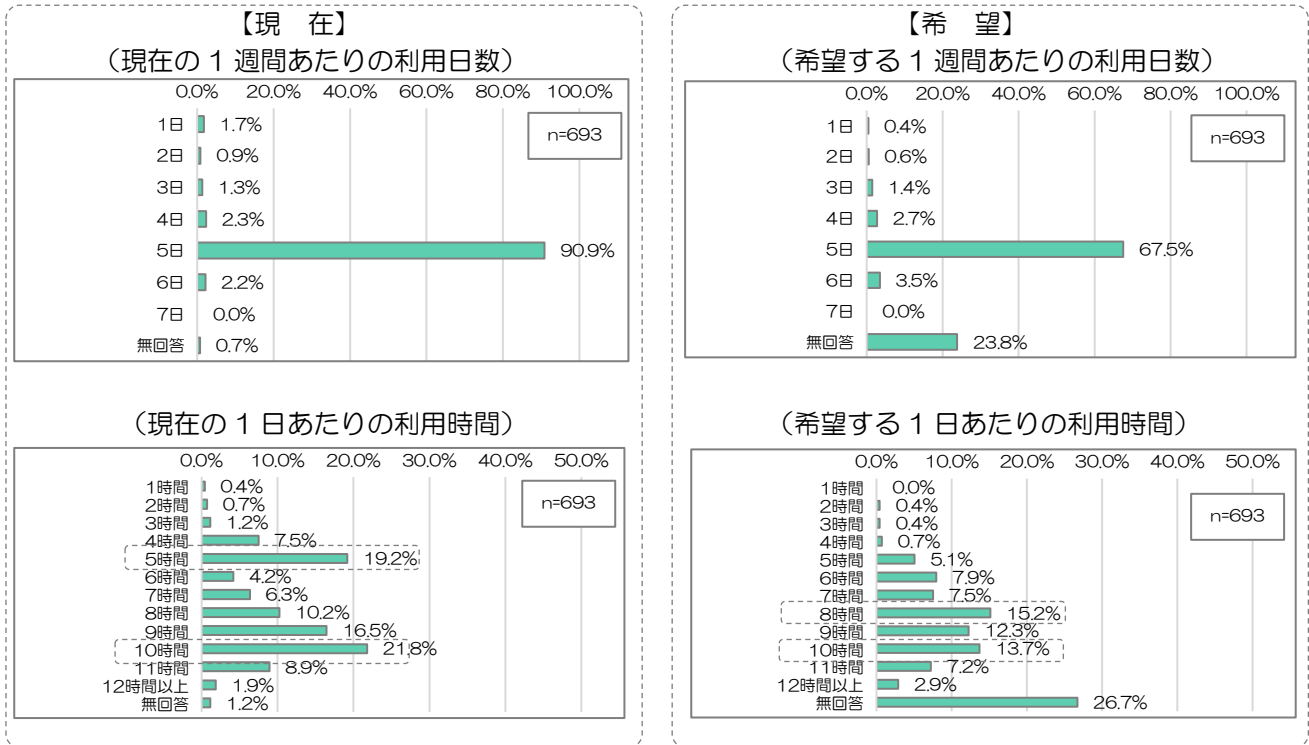
## 第2章 調査結果

### 【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）をお答えください。（数字を記入）

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在の1週間あたりの利用日数について「5日」が最も多くなっており、希望についても「5日」と回答する方が多くなっていきます。

また1日あたりの利用時間について、「10時間」と回答した方が最も多く、次いで「5時間」となっています。希望については「8時間」と回答した方が最も多く、現在「5時間」利用している方について、可能であれば「8時間」（会社の就労時間中）利用したい傾向があると言えます。

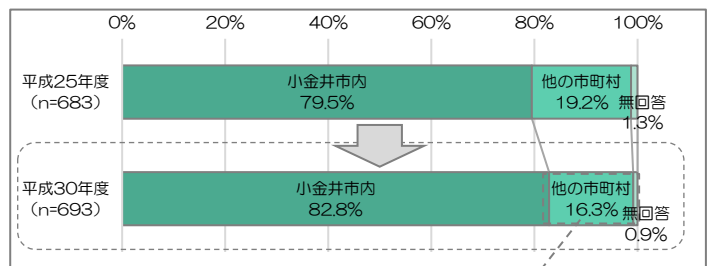


### 【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

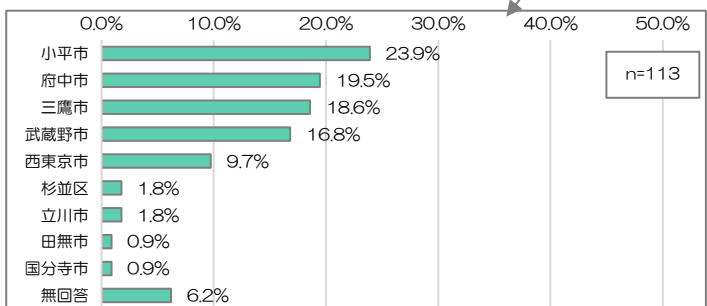
現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（1つに〇）

現在利用している教育・保育事業の実施場所として、「他の市町村」と回答した方は16.3%となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、小金井市内の利用率が3.3%上昇しています。

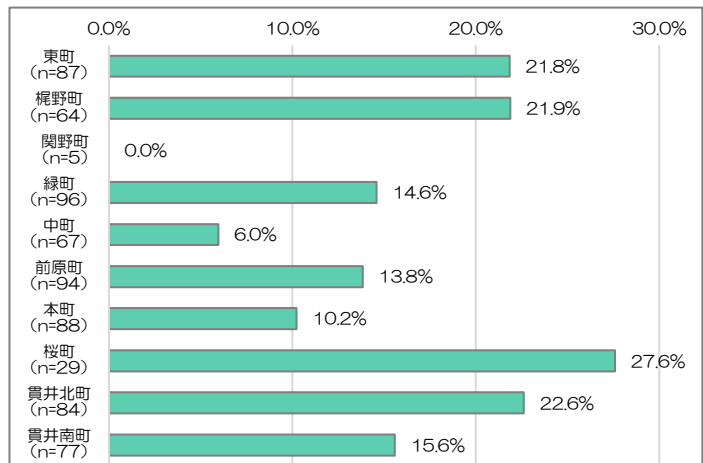


なお、「他の市町村」と回答した方の市町村内訳を見ると、「小平市」が最も多く、次いで「府中市」「三鷹市」となっています。

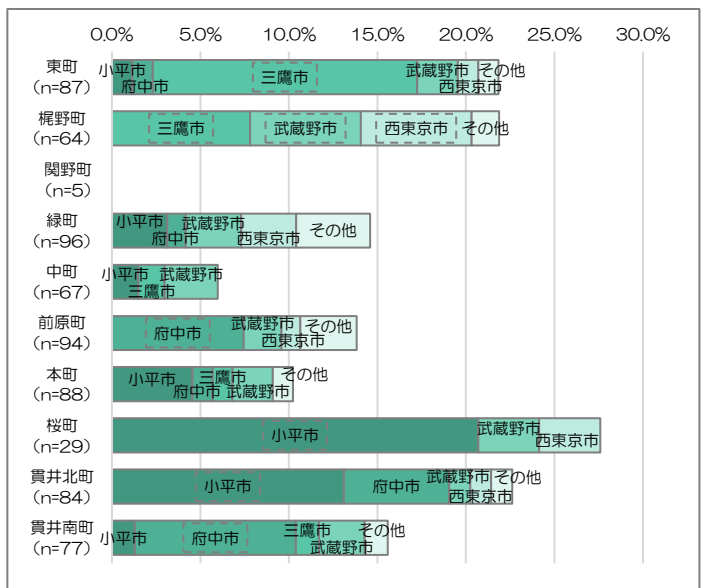




また、地区別に「他の市町村」の利用率を比較すると「桜町」が最も高く、次いで「梶野町」となっています。



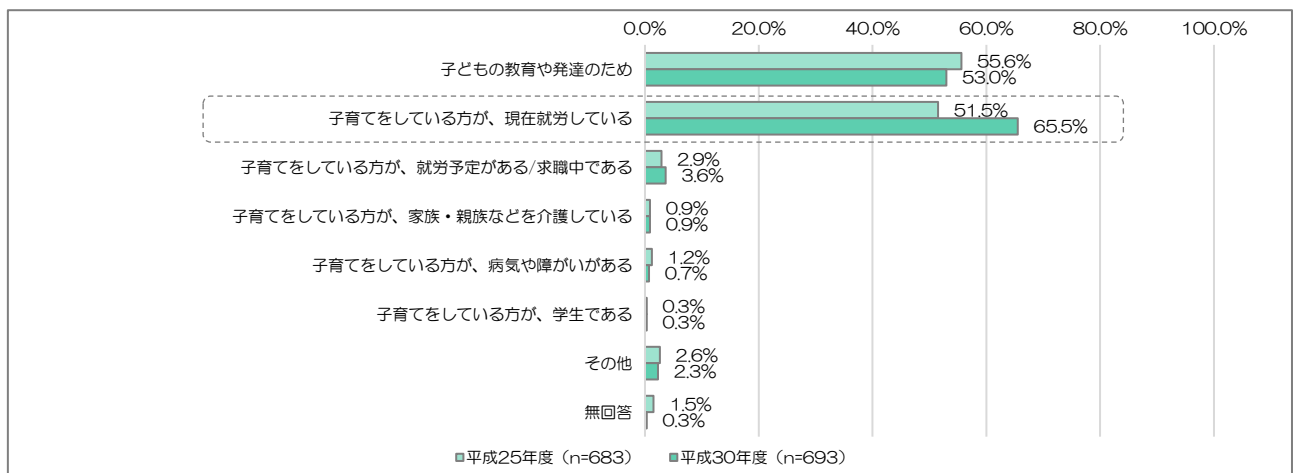
地区別の他市町村利用率のうち、利用の多い市町村「小平市」「府中市」「三鷹市」「武蔵野市」「西東京市」の5市で割合を見ると、「東町」「梶野町」で「三鷹市」の利用割合が高く、「桜町」「貫井北町」で「小平市」の利用割合、「前原町」「貫井南町」で「府中市」の利用割合が高くなっています。また、「梶野町」では「武蔵野市」「西東京市」の利用割合も高くなっています。



【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由として「子育てをしている方が就労しているため」と回答した方が最も多く65.5%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「就労しているため」と回答した方の割合が14.0%高まっており、就労による利用の需要が高まっています。

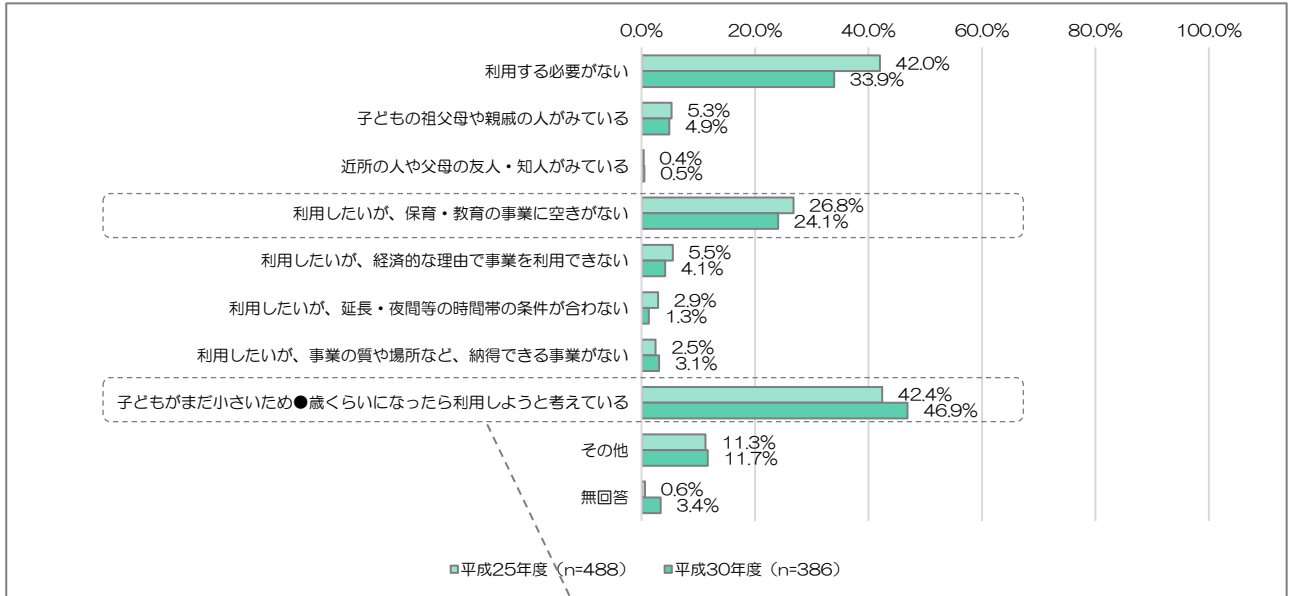


その他・・・自身のリフレッシュ (4)

【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用していない」方のみ回答】

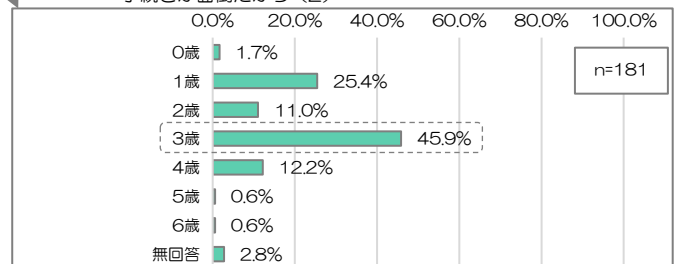
平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない主な理由として「子どもがまだ小さいため」と回答した方が最も多く 46.9%となっています。平成 25 年度調査と比較すると、「利用したいが空きがない」と回答した方の割合が 2.7%低下しています。



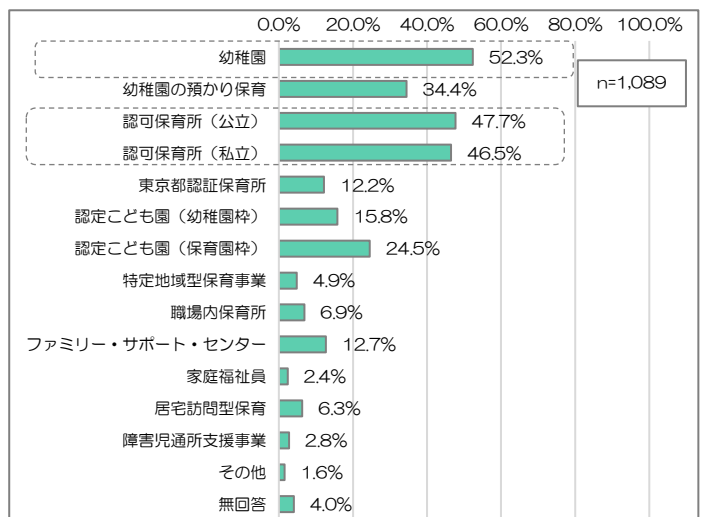
その他・・・来年4月から入園予定(申請中)のため(19)  
 育休中のため(11)  
 専業主婦だと優先順位が低いから(3)  
 手続きが面倒だから(2)

なお「子どもがまだ小さいため利用していない」と回答した方について何歳くらいになったら利用しようと考えているか、については「3歳」が最も多く 45.9%となり、次いで「1歳」となっています。



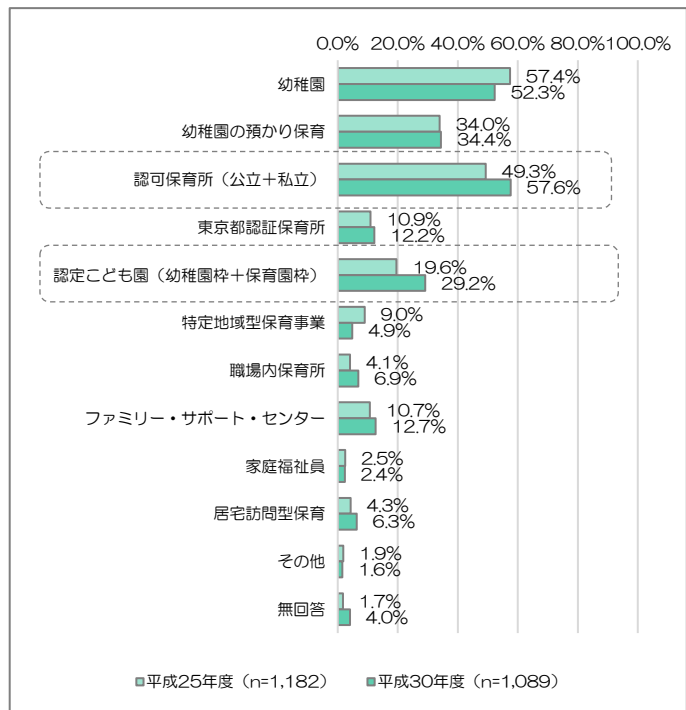
現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

定期的に利用したいと考える事業として「幼稚園」が最も多く 52.3%となり、次いで認可保育所(公立)、認可保育所(私立)となっています。なお、認可保育所について私立・公立を合わせた利用希望については、57.6%となり、幼稚園を上回っています。



その他・・・病児保育(8)

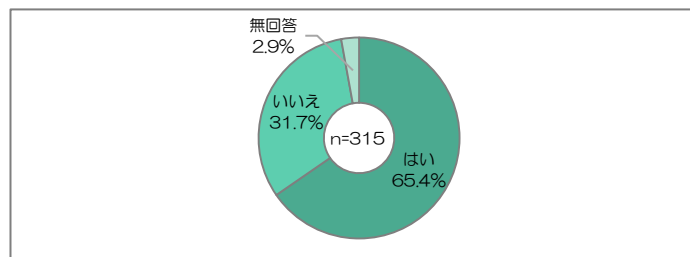
また、平成 25 年度調査と比較すると、「認可保育所」の利用希望については 8.3%高くなり、「認定こども園」についても 9.6%、利用希望が高くなっています。



【幼稚園の利用を希望してかつ、他の事業の利用も希望する方のみ回答】

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに〇）

幼稚園の利用を希望してかつ、他の事業の利用も希望する場合に、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望するかについては 65.4%が利用したいと希望しています。

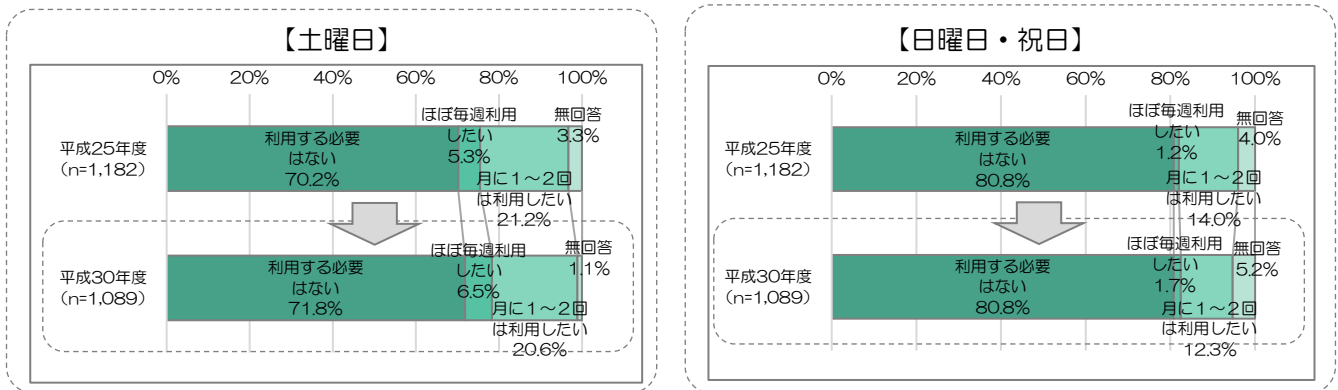


5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

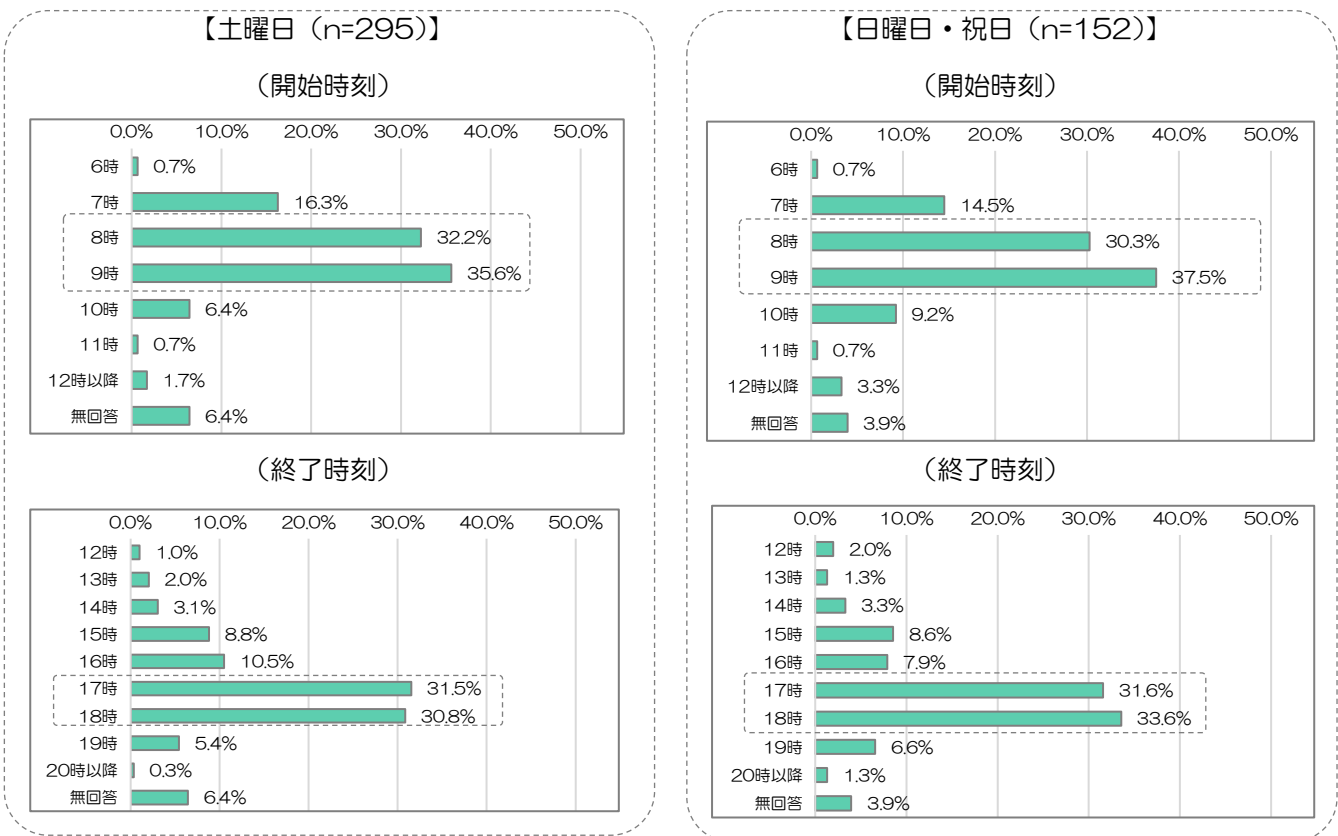
お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ1つに○）

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「月に1～2回は利用したい」は土曜日が20.6%、日曜日・祝日が12.3%、「ほぼ毎週利用したい」は土曜日が6.5%、日曜日・祝日が1.7%となり、土曜日については27.1%、日曜日・祝日については14.0%が利用希望となっています。

なお、平成25年度調査と比較すると、土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について割合に大きな変化は見られません。

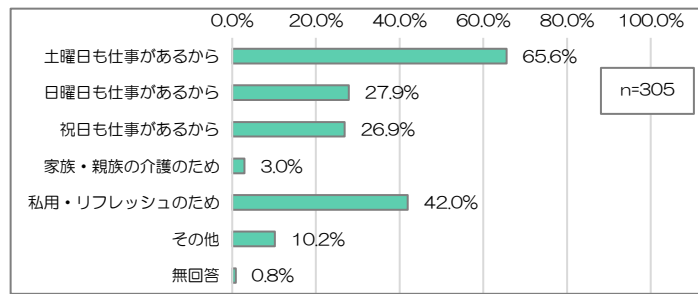


なお、土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業を利用希望される方について、利用開始希望時刻は土曜日と日曜日・祝日ともに8時～9時、利用終了希望時刻は17時～18時となっています。



【土曜日と日曜日・祝日にて教育・保育の事業を「ほぼ毎週」「月1～2回」利用したい方のみ回答】  
土曜日、日曜日・祝日に保育サービスを利用したい理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

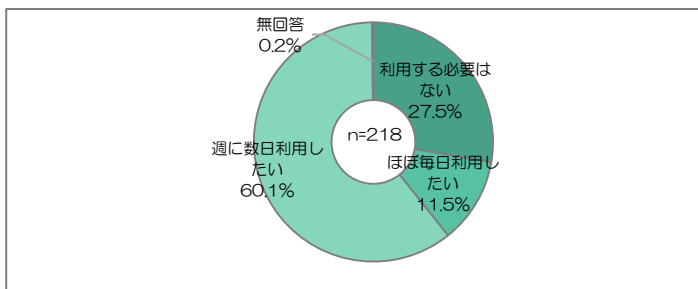
土曜日、日曜日・祝日に保育サービスを利用したい理由について、「土曜も仕事があるから」「日曜も仕事があるから」と、「仕事があるから」と回答した方が多い一方、「私用・リフレッシュのため」と回答した方の割合も高くなっています。



その他・・・きょうだいのフォロー・学校行事（7）  
教育のため（3）

【幼稚園を利用されている方のみ回答】  
お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（1つに○）

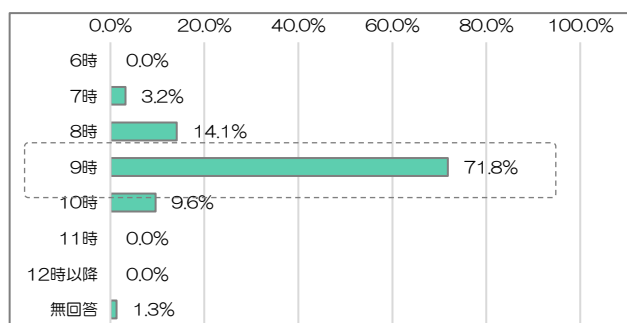
夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用について「週に数日利用したい」と回答した方が最も多く 60.1%となっています。



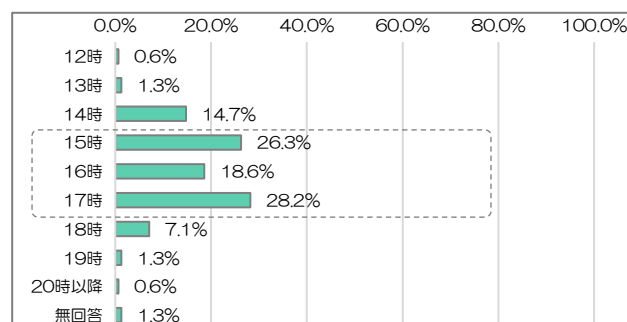
夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に教育・保育の事業を利用希望される方について、利用開始希望時刻は9時、利用終了希望時刻は15時～17時となっています。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中（n=156）】

（開始時刻）



（終了時刻）

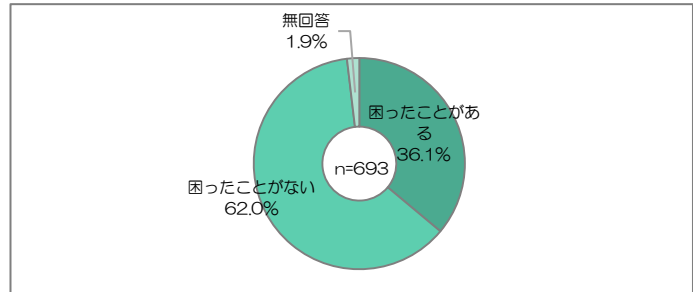


6 お子さんの病気の際の対応について

【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ回答】

お子さんが高熱を出すなど急病の時に、すぐに診てくれる医療機関がみつからず困ったことがありますか。(1つに○)

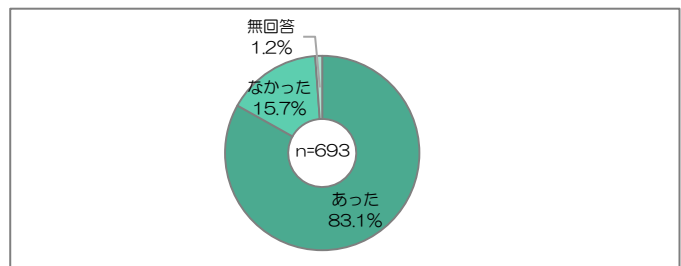
医療機関がみつからず「困ったことがある」と回答した方については、36.1%となっています。



【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ回答】

この1年間に、お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

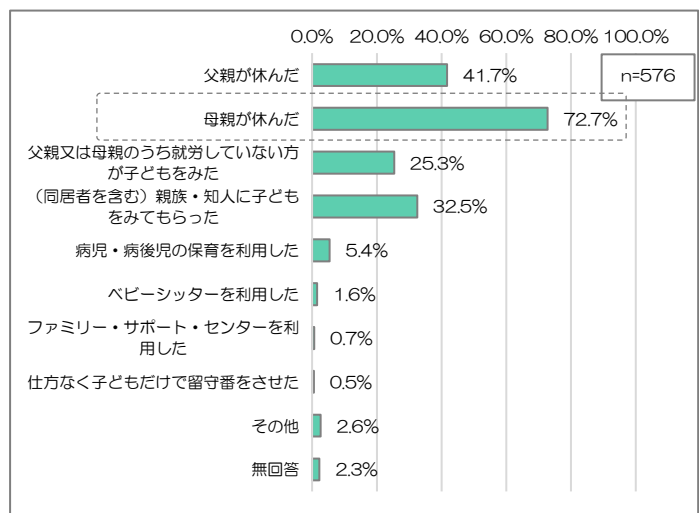
お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」と回答した方は83.1%となっています。



【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方で、病気やケガで利用できなかったことがある方のみ回答】

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間で行った対処方法をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

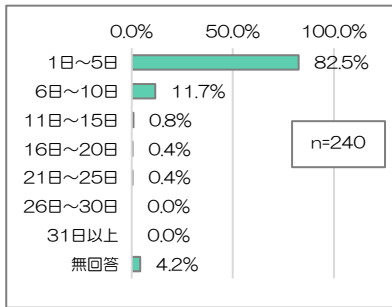
お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法について、「母親が休んだ」が72.7%と最も多くなっています。



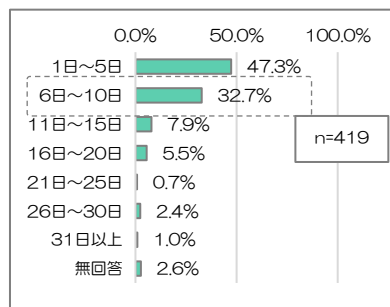
その他・・・祖父母に預けた(6)  
育休中だった(4)

また、各対処で要した日数は以下のとおりとなっており、母親が休んだ日数について「6～10日」が32.7%と、多く日数を要しています。

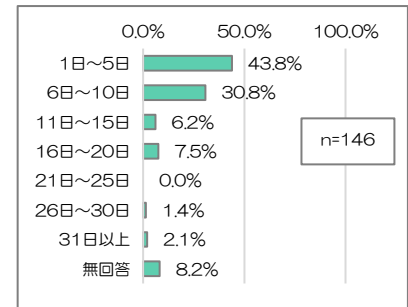
【父親が休んだ】



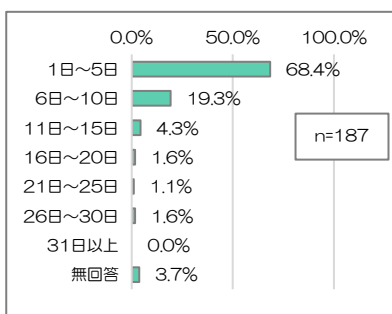
【母親が休んだ】



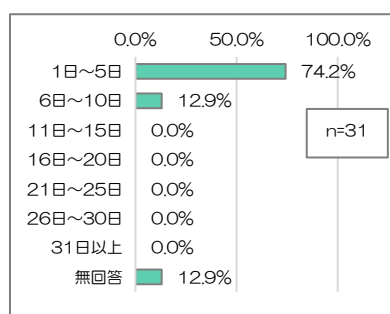
【父親・母親の就労していないほうが休んだ】



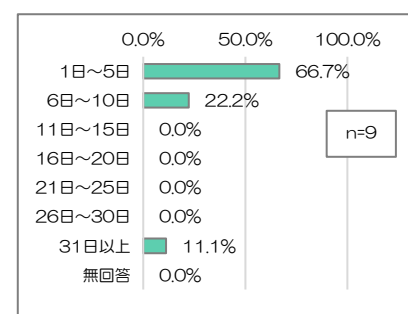
【親族・知人にみてもらった】



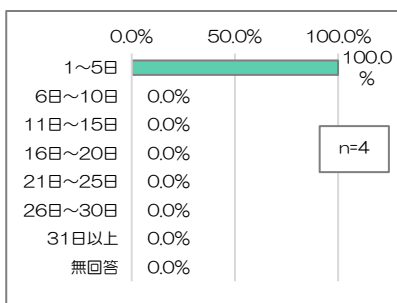
【病児・病後児の保育を利用した】



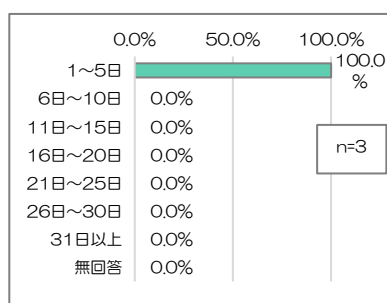
【ベビーシッターを利用した】



【ファミリー・サポート・センターを利用した】



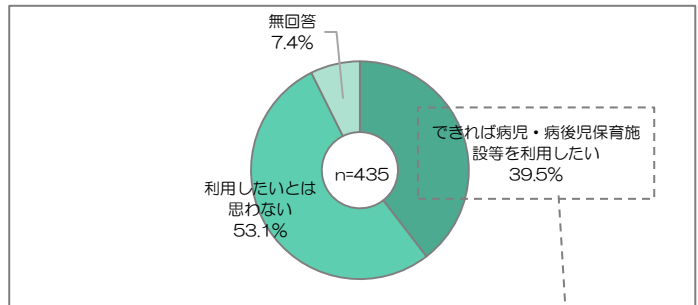
【子どもだけで留守番】



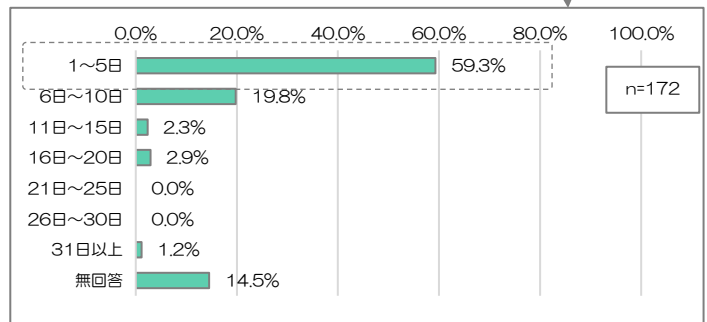
【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方で、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法として父親または母親が休んだ方のみ回答】

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つに○、数字を記入)

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、父親または母親が休んだ方について、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方は39.5%と約4割となっています。



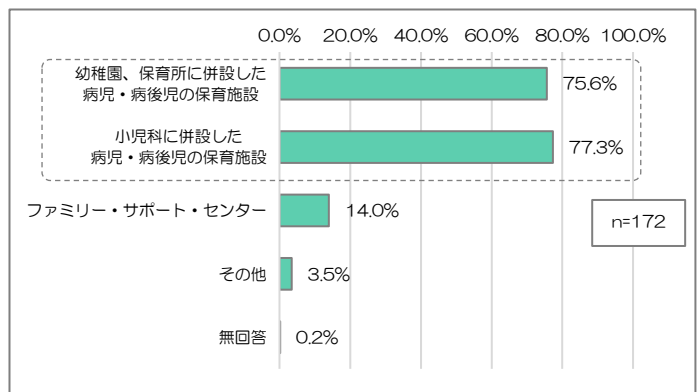
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと回答した方について、希望する日数については「1～5日」が最も多く59.3%となっています。



【お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい方のみ回答】

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できず、子どもを病児・病後児のための保育施設等に預ける場合、どのような形態が望ましいかについては「小児科に併設した病児・病後児の保育施設」が最も多く77.3%となり、またほぼ同等で「幼稚園、保育所に併設した病児・病後児の保育施設」が75.6%となっています。



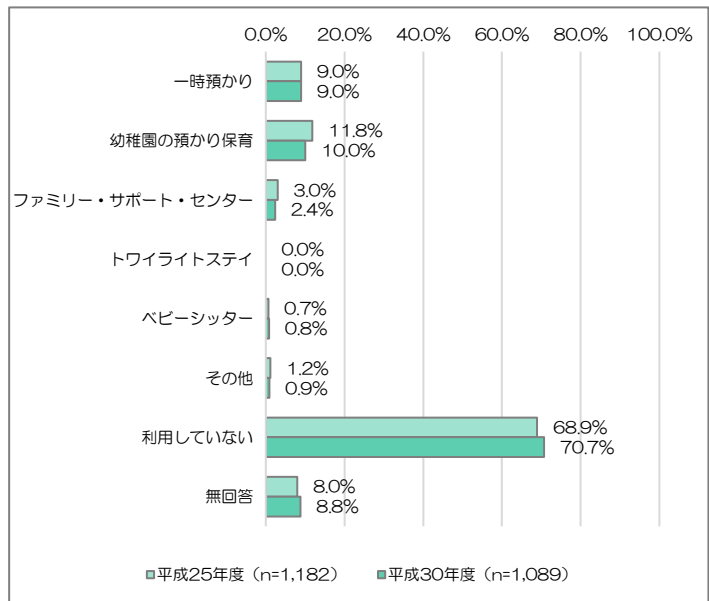


7 お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

お子さんについて、現在、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かり等の事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かり等の事業の利用について、「利用していない」が70.7%となり、「幼稚園の預かり保育」については10.0%となっています。

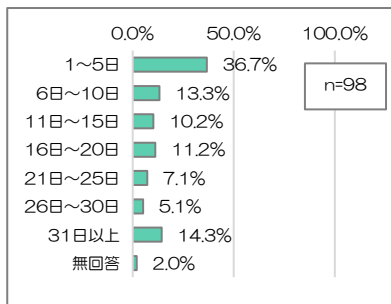
また、平成25年度調査と比較すると一時預かり事業の利用率に大きな変化は見られていません。



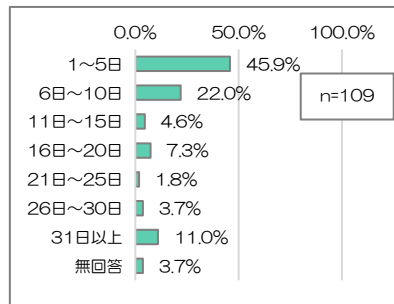
その他・・・生活クラブのエッコロ(2)  
シルバー人材センター(2)

また、各事業での利用日数は以下のとおりとなっており、「一時預かり」については31日以上が14.3%となるなど、利用日数について多くなっています。

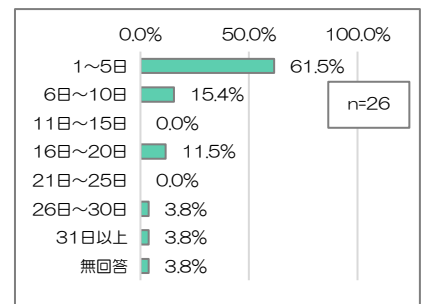
【一時預かり】



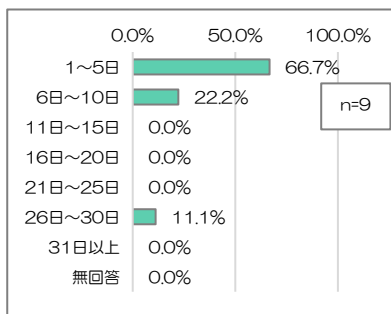
【幼稚園の預かり保育】



【ファミリー・サポート・センター】



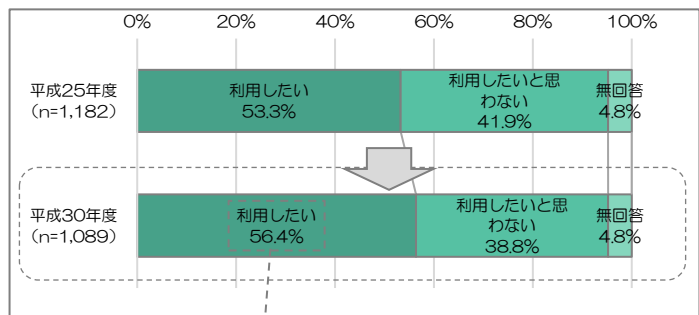
【ベビーシッター】



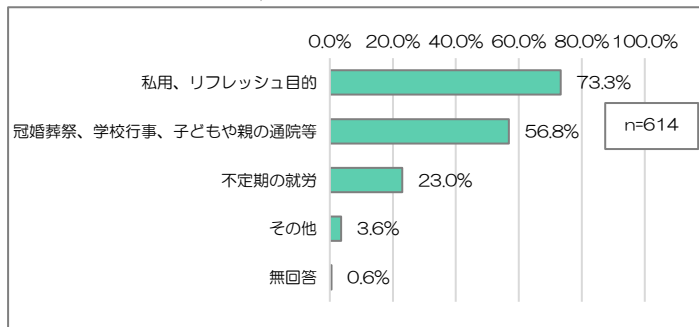
## 第2章 調査結果

お子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用したいと  
 思いますか。(1つに〇)

私用、親の通院、不定期の就労等の目的による一時預かり等事業の利用意向について、56.4%が今後「利用したい」となっています。また、平成25年度調査と比較すると3.1%利用意向が高まっています。

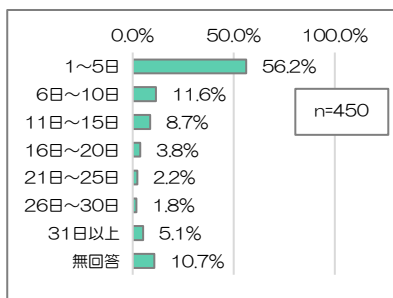


「利用したい」と回答した方の利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く73.3%となっています。

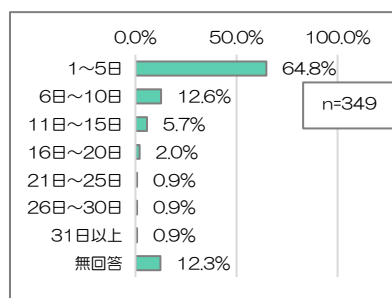


また、各目的別の希望日数については以下のとおりとなっており、「不定期の就労」については、6～10日あるいは31日以上の利用希望が多くなっています。

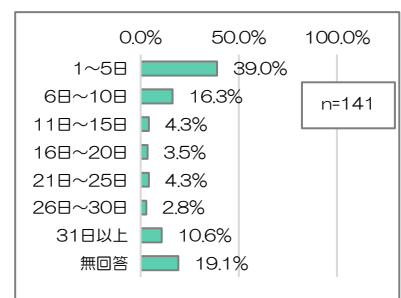
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事】

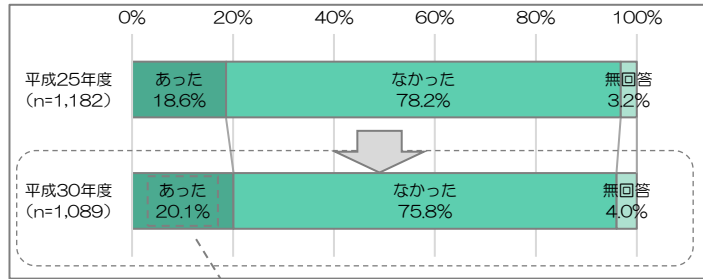


【不定期の就労】

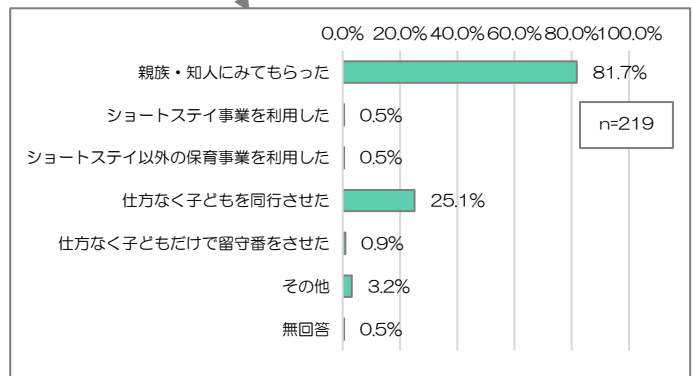


この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先がみつからなかった場合も含まれます）。（1つに○）

この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は20.1%となっています。平成25年度調査と比較すると、家族以外にみてもらわなければならないことがあった割合に大きな変化は見られていません。

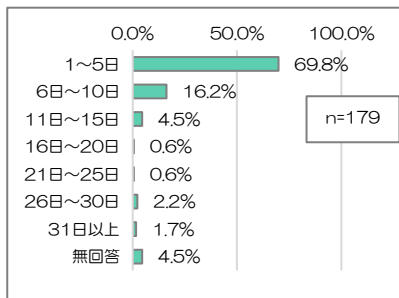


家族以外にみてもらわなければならない場合の預け先として、「親族・知人」が最も多く81.7%となっており、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が25.1%となっています。

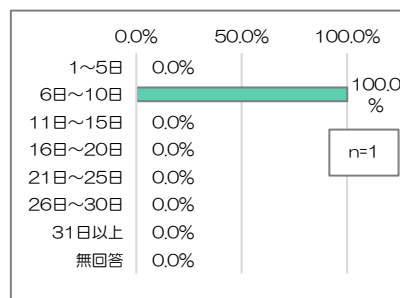


また、各預け先別の預け日数については以下のとおりとなっています。

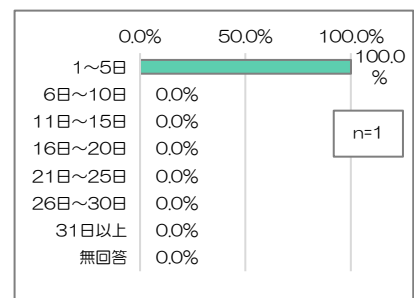
【親族・知人】



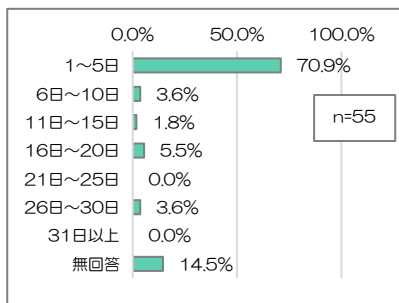
【ショートステイ事業を利用】



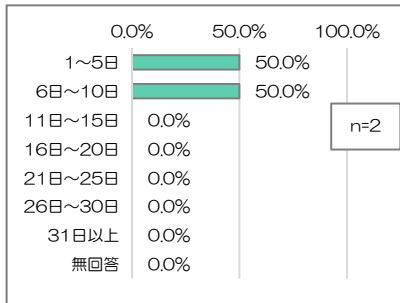
【ショート以外の保育事業を利用】



【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

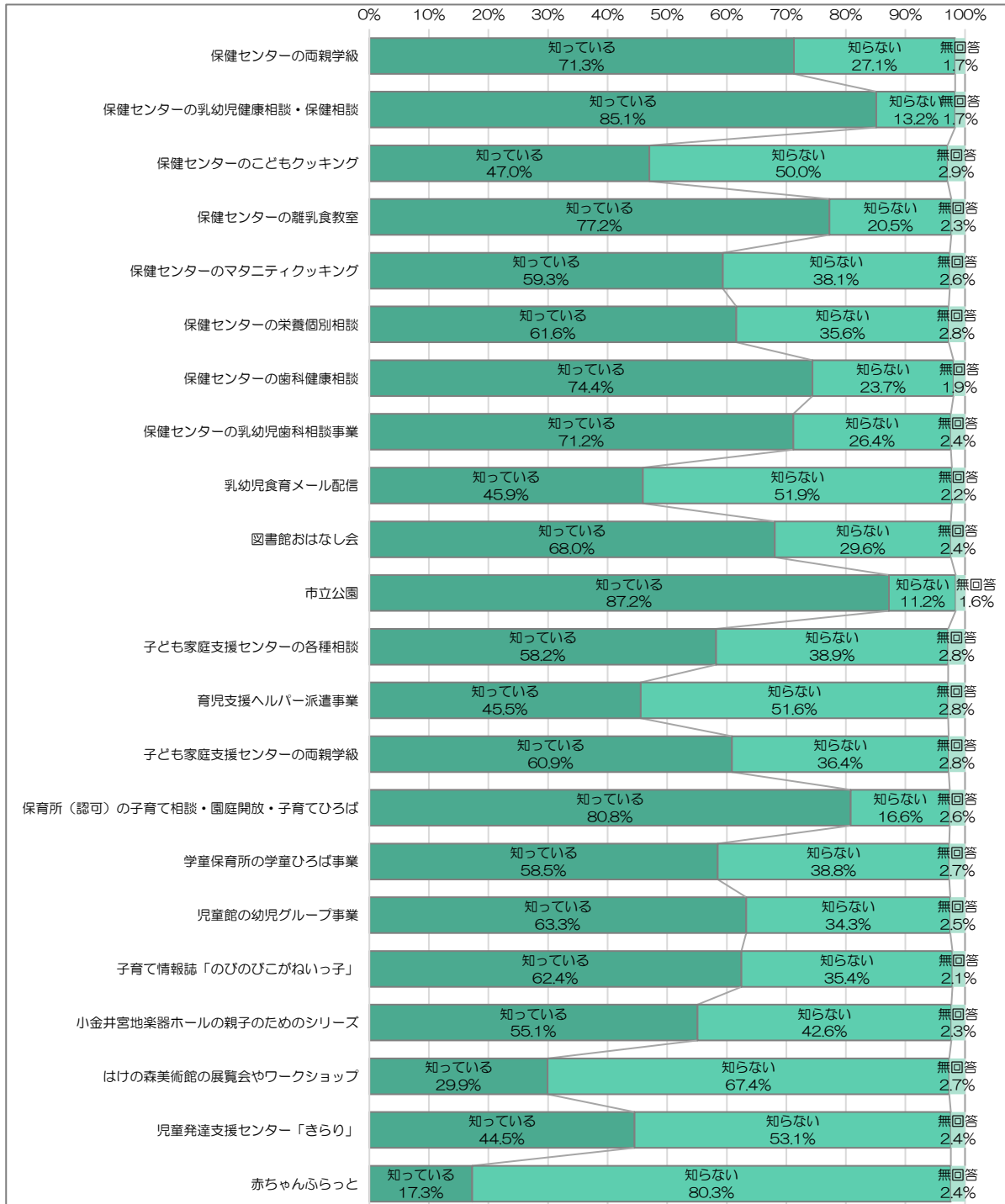


8 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

下記のサービスや事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。(1つに〇)

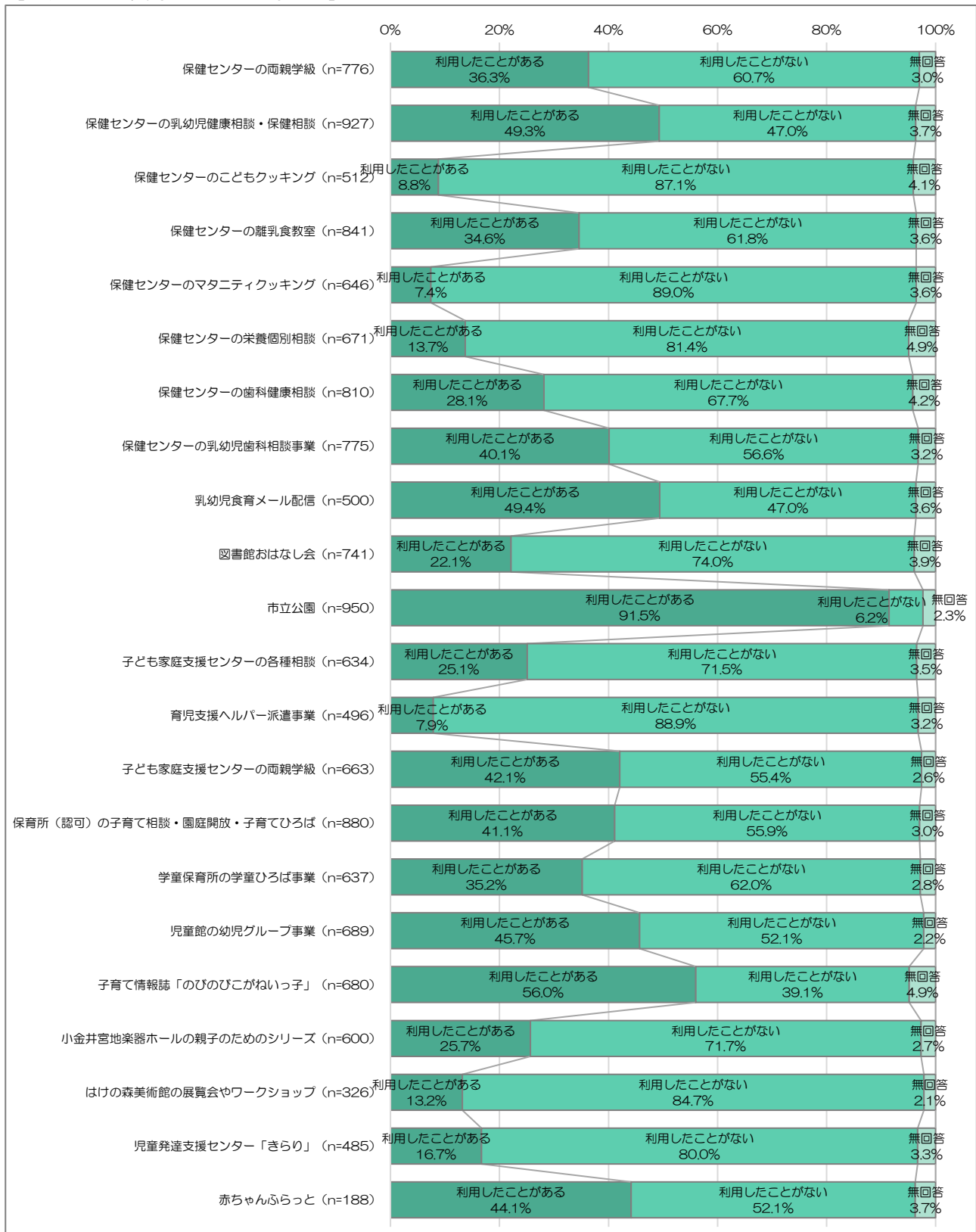
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「保健センターの乳幼児健康相談・保健相談」が85.1%、「保育所（認可）の子育て相談・園庭開放・子育てひろば」が80.8%と高い認知度となっています。一方、「はけの森美術館の展覧会やワークショップ」は29.9%、「赤ちゃんふらっと」は17.3%とこれらの事業については認知度が低くなっています。

【知っているか】(n=1,089)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「子育て情報誌「のびのびこがねいっ子」」が56.0%と高い利用率となっています。一方、「保健センターのマタニティクッキング」は7.4%、「育児支援ヘルパー派遣事業」は7.9%とこれらの事業については利用率が低くなっています。

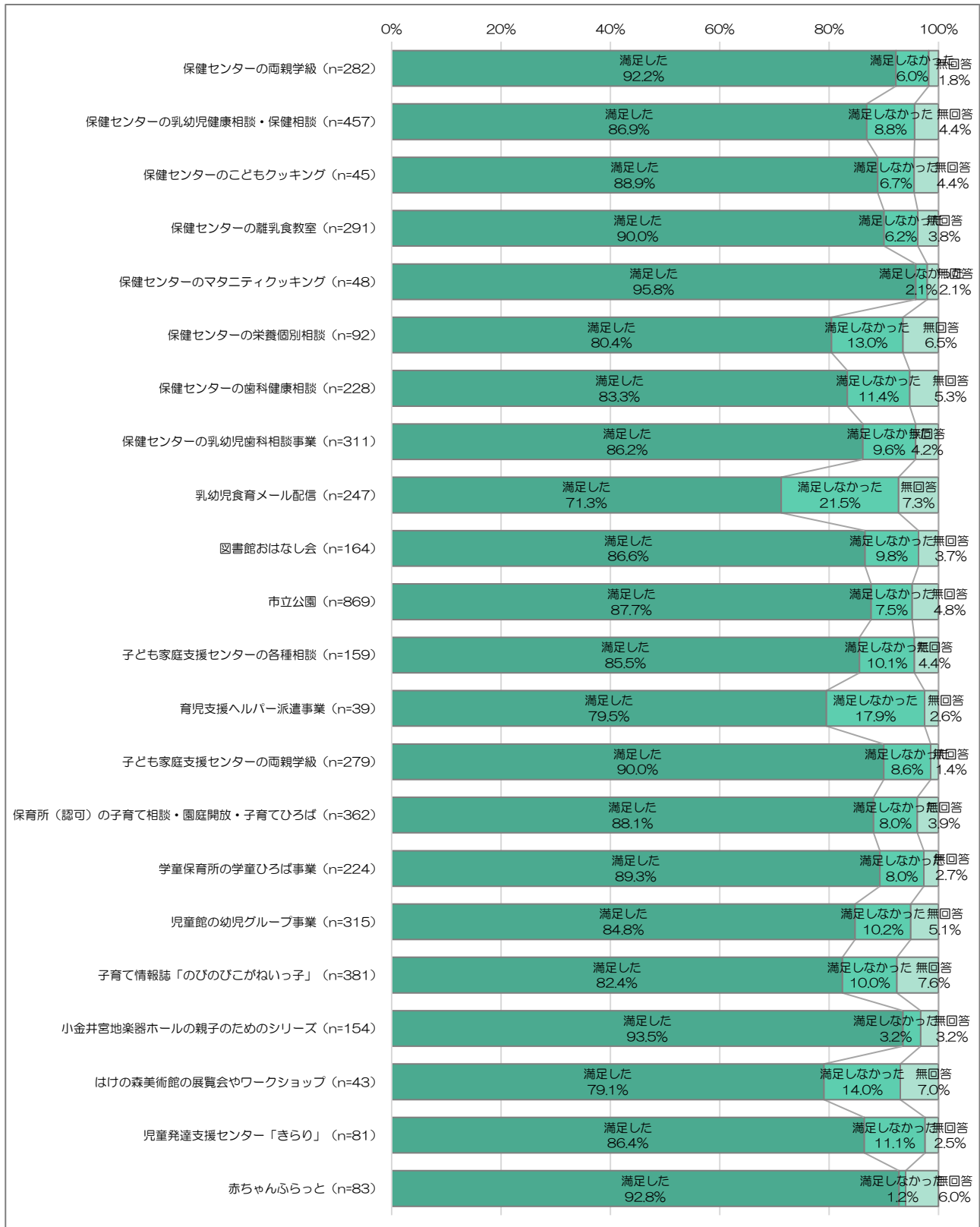
【これまでに利用したことがあるか】



## 第2章 調査結果

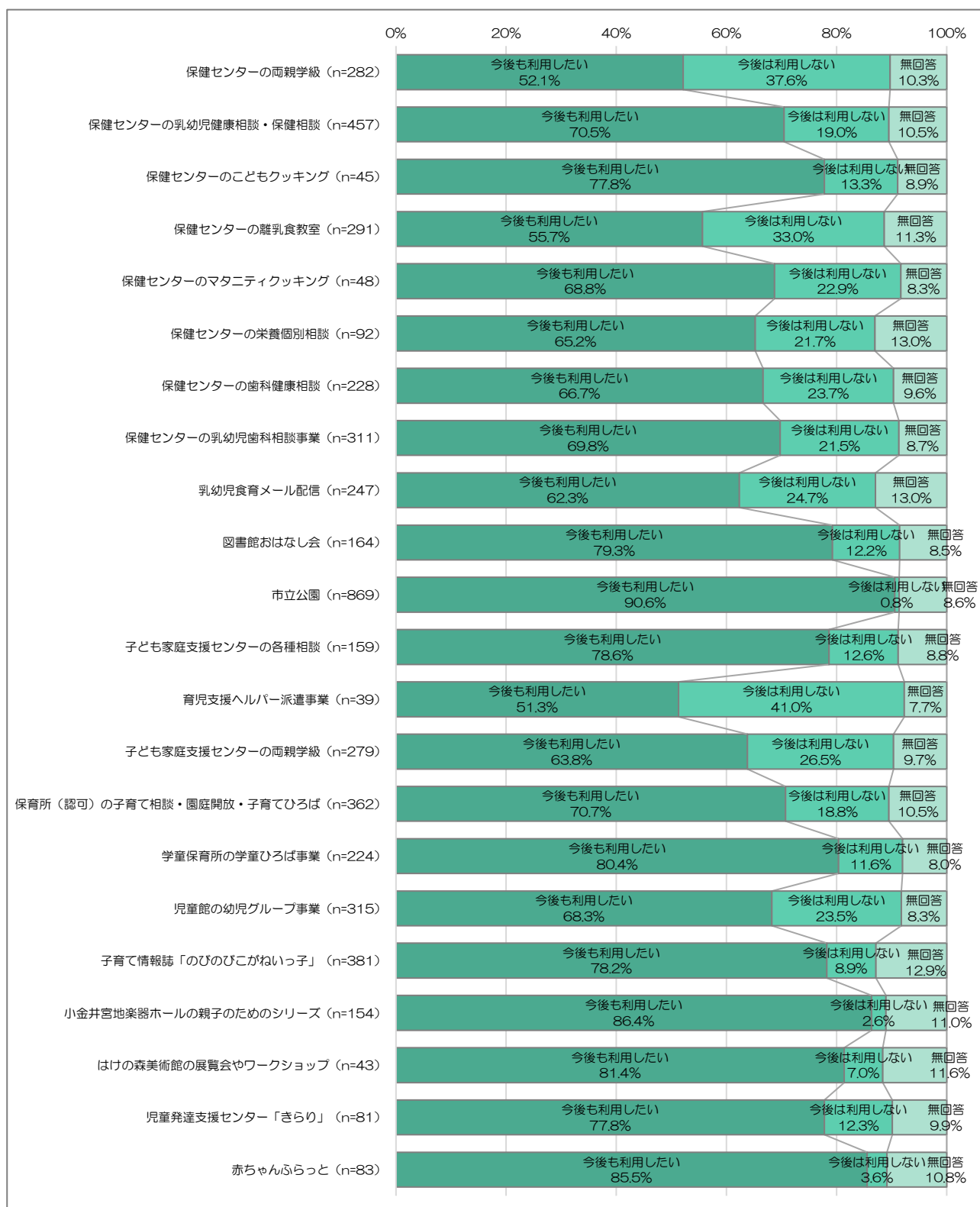
各事業の満足度について以下のとおりとなっており、「保健センターのマタニティクッキング」が95.8%、「小金井宮地楽器ホールの親子のためのシリーズ」が93.5%と高い満足度となっています。一方、「乳幼児食育メール配信」は71.3%と満足度が約7割にとどまっています。

### 【利用したことがある場合、満足したか】



各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「小金井宮地楽器ホールの親子のためのシリーズ」が86.4%、「赤ちゃんふらっと」が85.5%と再度の利用希望率が高くなっています。

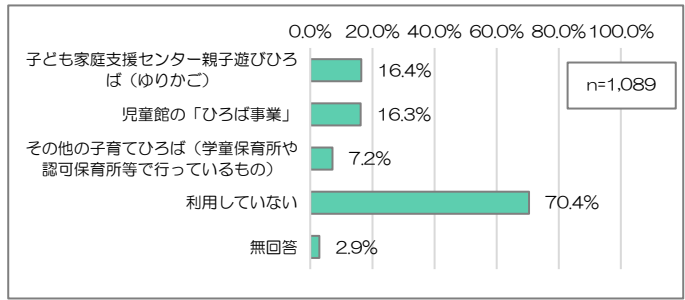
【今後も利用したいか】



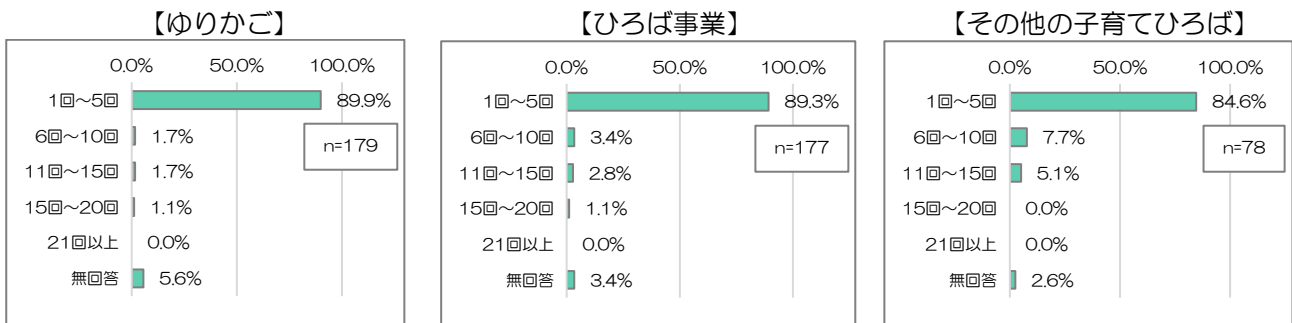
第2章 調査結果

お父さんは、現在、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等を利用してはいますか。利用している事業についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等の利用状況について、「ゆりかご」では16.4%、「ひろば事業」では16.3%となっています。

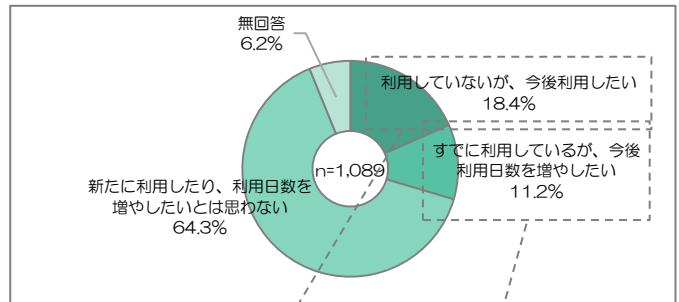


なお各事業のおおよその「ひと月あたり」の利用日数は以下のとおりとなっています。

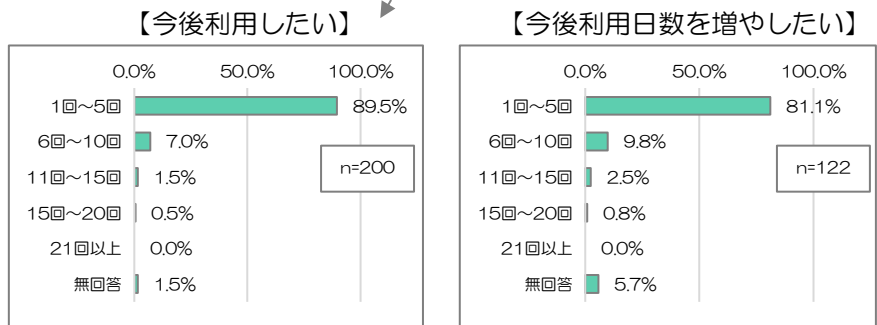


「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や児童館の「ひろば事業」等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（1つに○）

「ゆりかご」や「ひろば事業」について、「今後利用したい」と回答した方が18.4%、「利用日数を増やしたい」と回答した方は11.2%となっています。



なお「今後利用したい」、「利用日数を増やしたい」と回答した方のおおよその「ひと月あたり」の利用日数は以下のとおりとなっています。

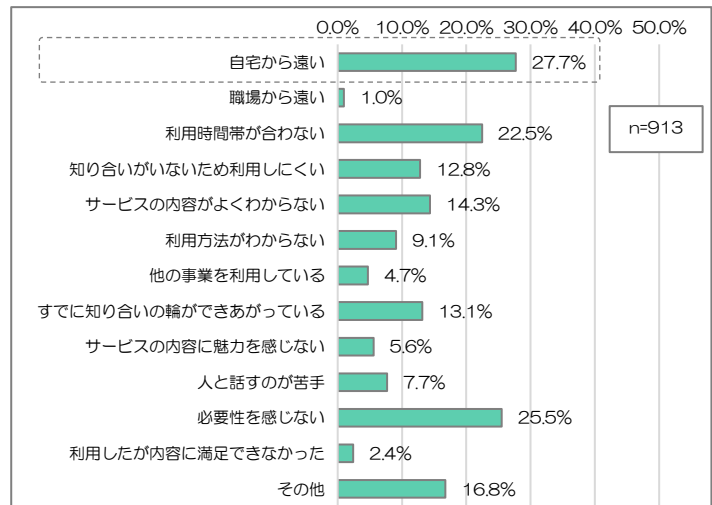




【「ゆりかご」や「ひろば事業」について、「利用していない」「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」方のみ回答】

利用していない、新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由はなんですか。（あてはまる番号すべてに○）

「ゆりかご」や「ひろば事業」を「利用していない」、または「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」理由について、「自宅から遠い」と回答した方が最も多く27.7%となっています。また、その他の回答として、年齢が小さすぎる、年齢が大きくなったため利用が合わないなど、対象となる年齢を理由としている回答が多く見られています。

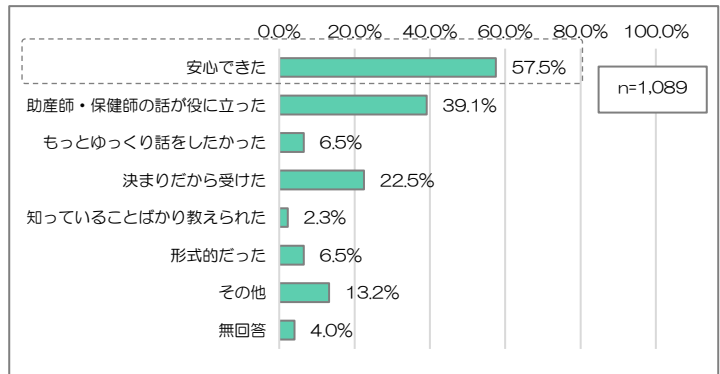


その他・・・保育園に通っているため（23）  
 子供が大きくなり利用が合わないため（21）  
 上の子がいて行きづらいため（12）  
 子供がまだ小さいため（10）  
 幼稚園に通っているため（9）  
 今の利用日数で満足しているため（8）  
 狭いため（8）  
 忙しくて行く暇がない（6）  
 児童館が古くて汚いので（6）  
 どこにあるか知らない（6）  
 病気をもらいやすい（4）

9 子育て全般について

新生児訪問を受けて、どう思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

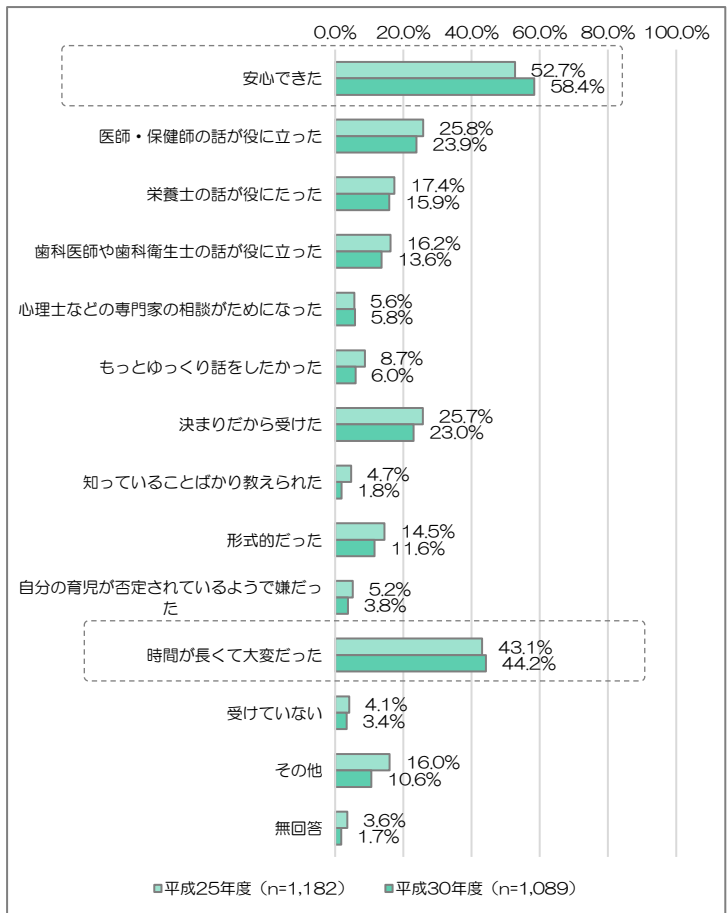
新生児訪問を受けた感想として「安心できた」と回答した方が最も多く57.5%となり、約6割の方が安心できたと回答しています。



その他・・・転入のため小金井市で受けていない (64)  
 受けていない (15)  
 相談にのっていただきありがたかった (9)  
 悩んでいることが解決されなかった (4)

乳幼児健康診査（3-4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診）について、どう思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

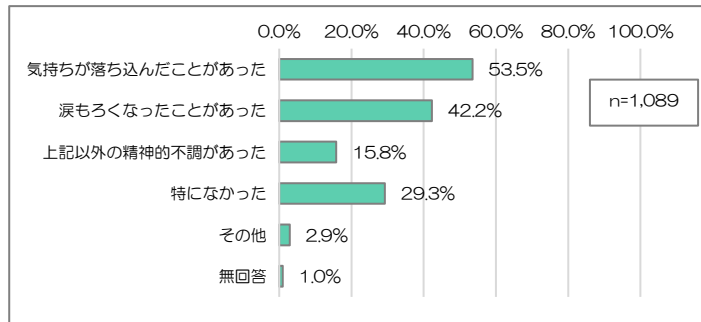
乳幼児健康診査（3-4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診）を受けた感想として「安心できた」と回答した方が最も多く58.4%となる一方、「時間が長くて大変だった」と回答した方も44.2%と半数近くが「大変だった」と回答しています。平成25年度調査と比較すると、「安心できた」と回答した方について5.7%、増えています。



その他・・・検診の時間帯がお昼寝の時間帯で大変だった (26)  
 場所が遠くて大変だった (24)  
 待ち時間が長くて大変だった (7)  
 平日で仕事を休まないといけないので非常に困った (5)

母親の方にうかがいます。(ご回答者が父親・その他の方の場合は、母親の状況がどうであったかでお答えください) 出産後の1年間で気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどしたことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

出産後の1年間で「気持ちが落ち込んだ」と回答した方は53.5%、「涙もろくなった」と回答した方は42.2%と約半数の方が気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりしたと回答しています。

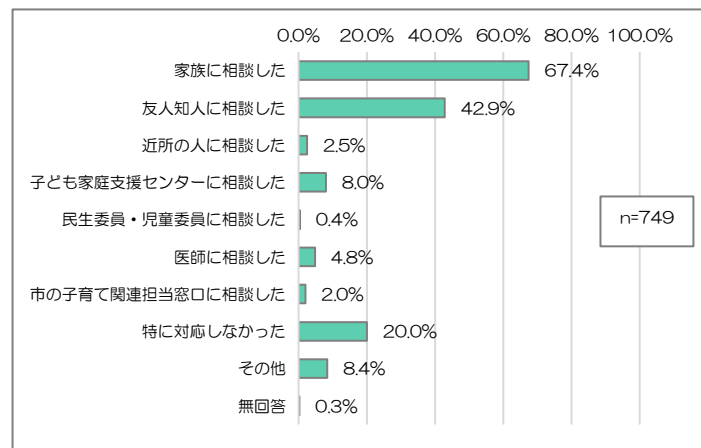


その他・・・イライラする事が多かった (8)  
体調不良が続いた (6)

【出産後の1年間で「気持ちが落ち込んだことがあった」「涙もろくなったことがあった」「それ以外の精神的不調があった」方のみ回答】

出産後の1年間で気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどした際、どのように対応しましたか。(あてはまるものすべてに○)

気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどした際、「家族に相談した」方が最も多く、67.4%となっています。

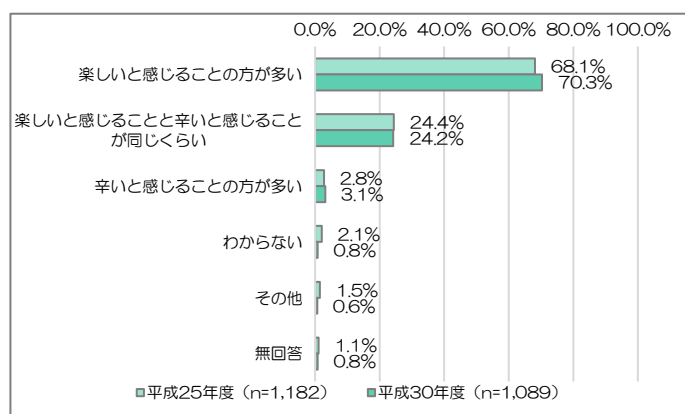


その他・・・助産師さんに相談した (9)  
新生児訪問時に相談した (8)  
インターネットで対応方法を検索した (8)

子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

子育てを「楽しいと感じることが多い」と回答した方が最も多く70.3%となり、約7割の方が楽しいと感じています。

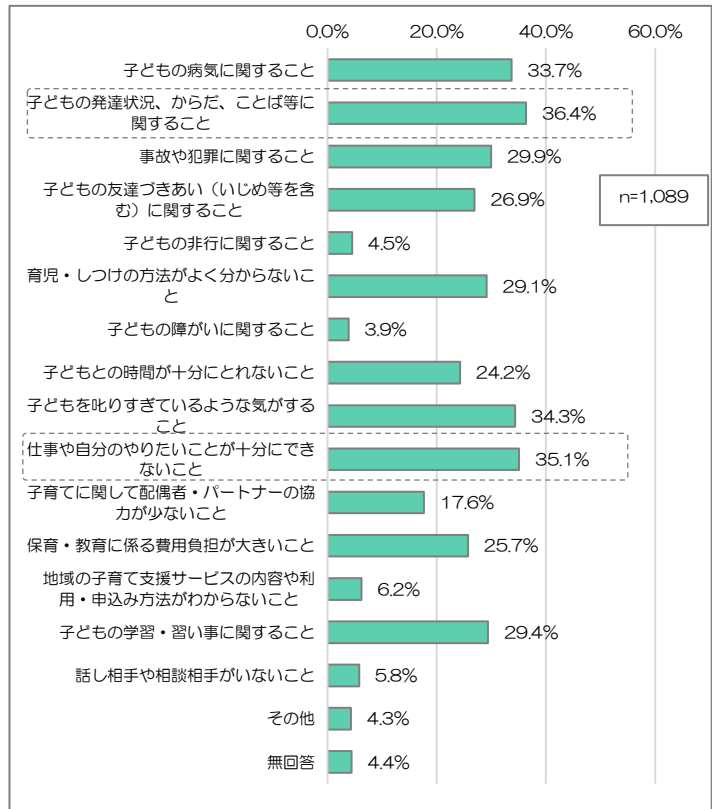
また、平成25年度調査と比較すると、子育てを楽しんでいる、あるいは辛いと感じる割合について、大きな変化は見られていません。



## 第2章 調査結果

子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

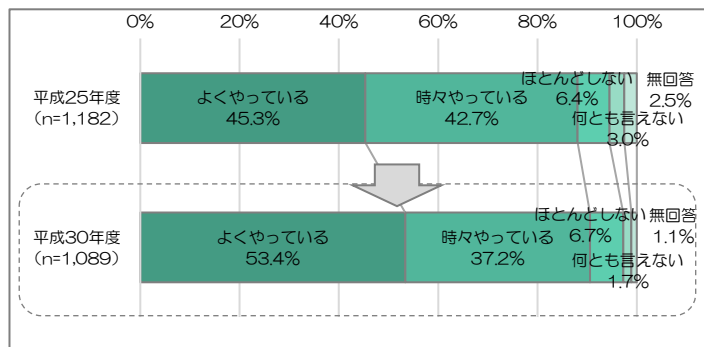
子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることとして、「子どもの発達状況、からだ、ことば等に関すること」が最も多く36.4%となるとともに、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が35.1%となり、子どものこととともに、自身に関する悩みも多くなっています。



その他・・・保育園に入れるか不安（10）  
子育てと仕事の両立のこと（4）

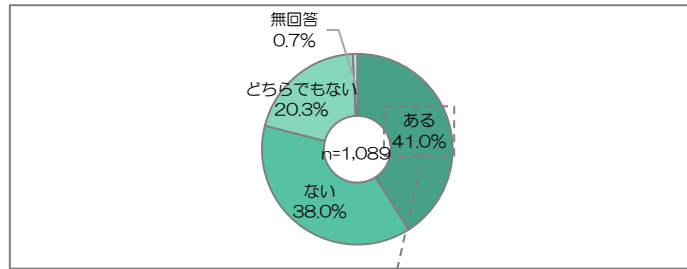
母親の配偶者・パートナーは育児をしていますか。（1つに○）

母親の配偶者・パートナーの育児について「よくやっている」と回答した方は53.4%と半数を超えています。平成25年度調査と比較すると「よくやっている」と回答した方の割合は8.1%、増えています。

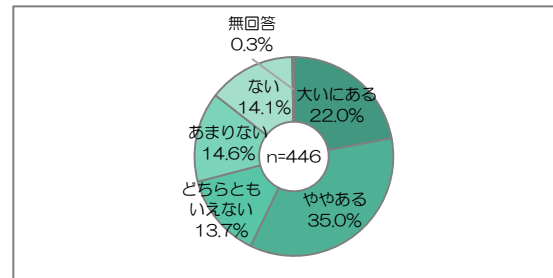


お子さんの小学校就学に関する不安はありますか。(1つに〇)

お子さんの小学校就学に関する不安について「ある」と回答した方は41.0%となっています。



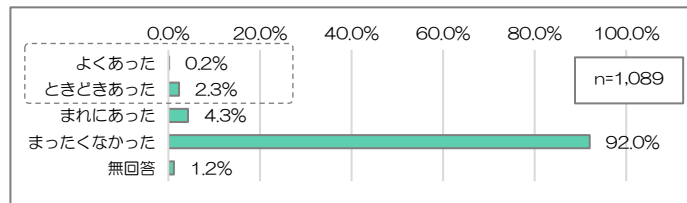
また、小学校就学に関する不安が「ある」と回答した方のうち、就学後の教育における金銭面での不安について「大いにある」と回答した方は22.0%、「ややある」と回答した方は35.0%となり、金銭面での「不安がある」方について57.0%となっています。



お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか(それぞれ、1つに〇)

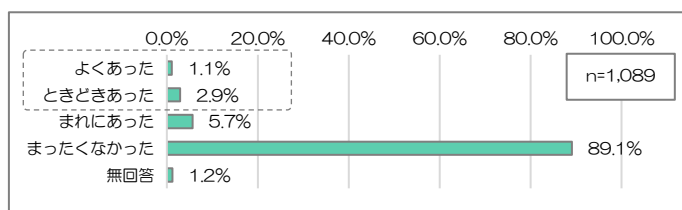
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は2.5%となっています。



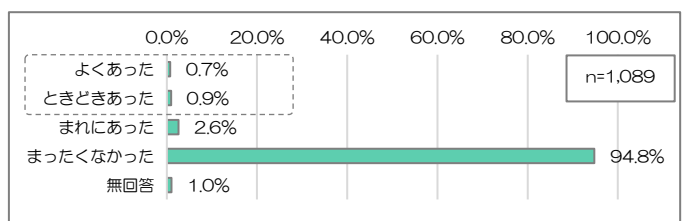
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は4.0%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は1.6%となっています。

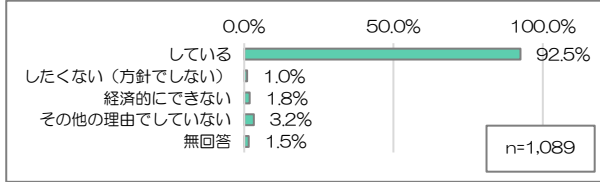


## 第2章 調査結果

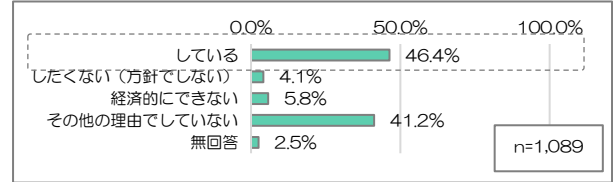
下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。(それぞれ、1つに○)

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が94.0%と多くなっています。また、「習い事に通わせる」についても「している」と回答した方が46.4%となり、就学前より習い事に通わせている方が約半数となっています。

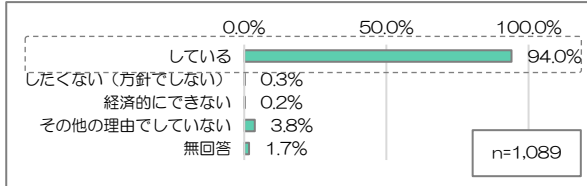
【毎年新しい洋服・靴を買う】



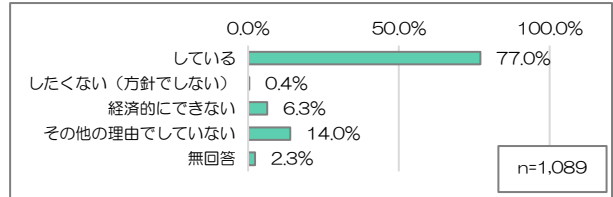
【習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる】



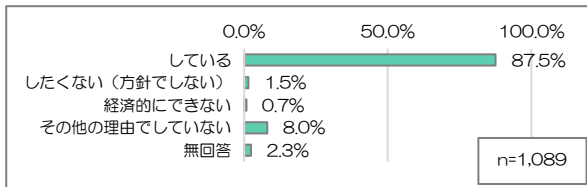
【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】

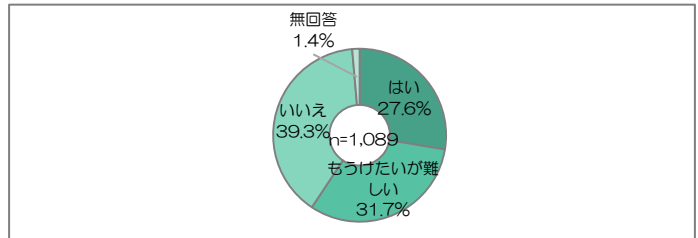


【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



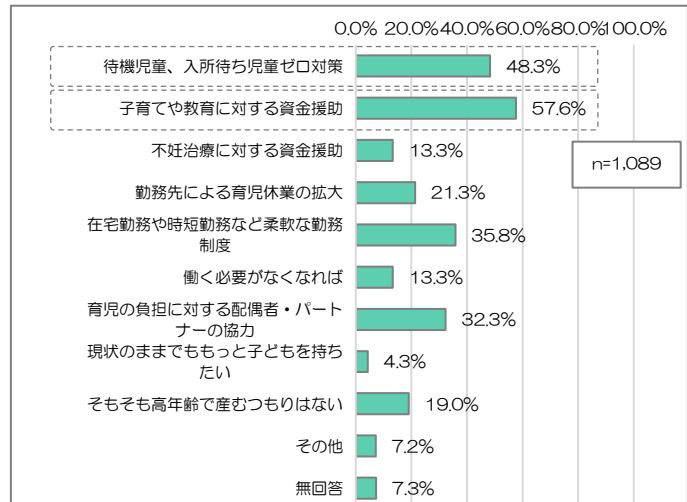
今後新たに子どもをもうけたいと思いますか。(1つに○)

今後新たに子どもをもうけたいと思うかについて、「もうけない」と回答した方が最も多く39.3%となっています。一方「もうけたい」と回答した方は27.6%となっています。



今後新たに子どもをもうけるとした場合、必要な条件としてあてはまるものを選択してください。(あてはまるものすべてに○)

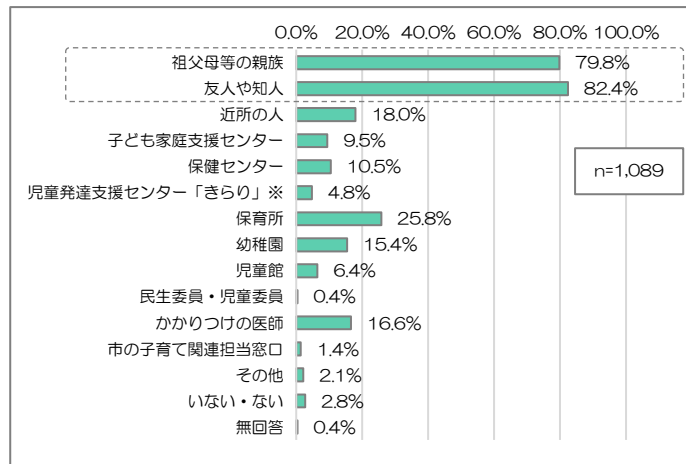
今後新たに子どもをもうけるとした場合に必要な条件として「子育てや教育に対する資金援助」と回答した方が最も多く57.6%、次いで「待機児童、入所待ち児童ゼロ対策」が48.3%となっています。



その他・・・現状の人数で満足(11)  
収入増(8)

子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）

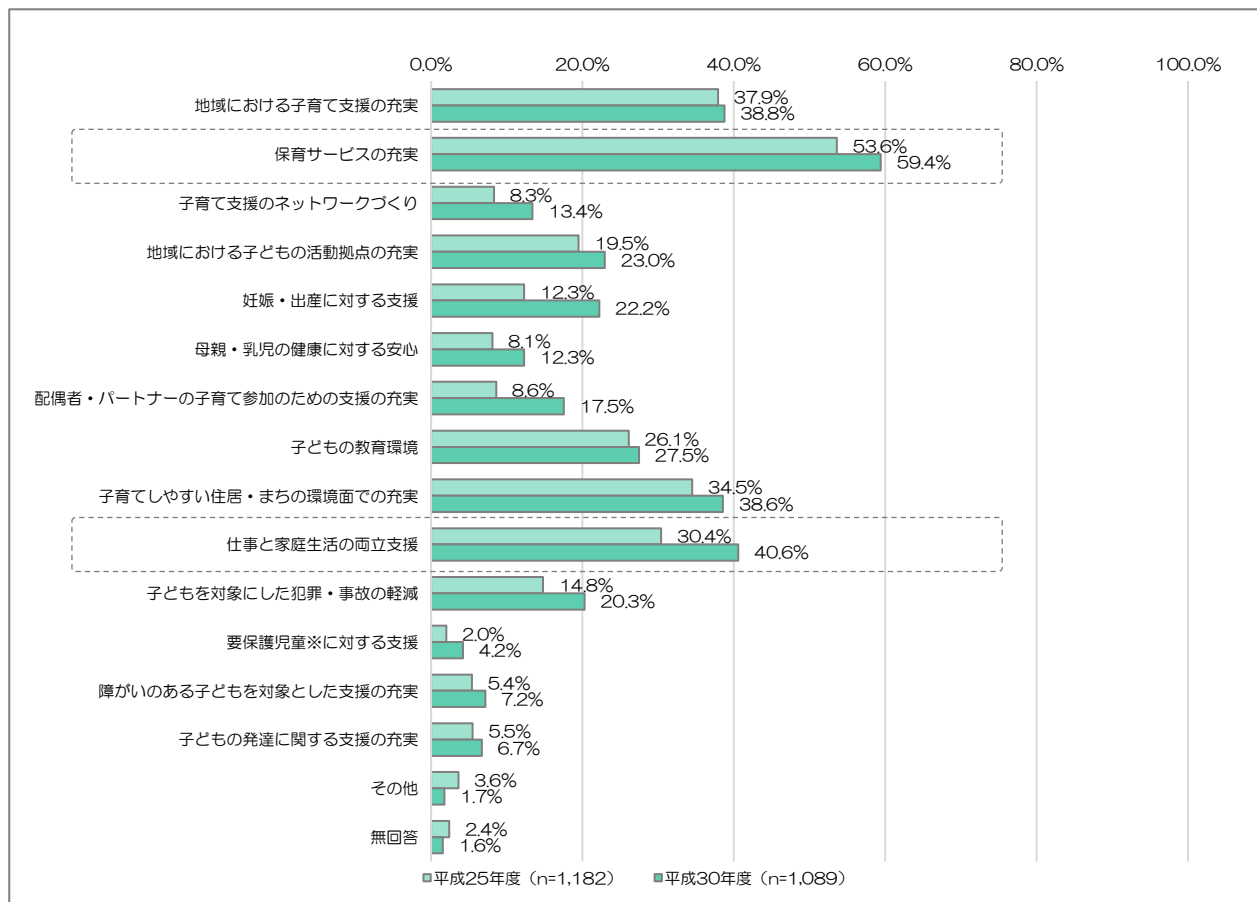
子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所として「友人や知人」が最も多く82.4%となり次いで「祖父母等の親族」が79.8%となっています。



その他・・・夫（6）  
 保育園の先生（3）  
 SNS（3）

あなたは、子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（3つまでに○）

子育てをする中で有効な支援・対策として「保育サービスの充実」が最も多く59.4%となり、次いで「仕事と家庭生活の両立支援」が40.6%となっています。平成25年度調査と比較すると、「保育サービスの充実」では5.8%、「仕事と家庭生活の両立支援」では10.2%高くなっており、共働き家庭への支援ニーズが非常に高まっています。



その他・・・経済的支援（3）  
 保育費用負担軽減（3）

子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「一時預かりを充実してほしい」というご意見が多く、気軽に利用できるようにしてほしい、病気などの緊急の場合に利用できるようにしてほしい、またその体制を拡充してほしいとの意見が多く見られています。

また、「気軽に話ができる機会として、同じ境遇、同じ世代で交流し気軽に話ができる機会を作って欲しい」との意見も多く見られています。医療費補助を含めた金銭的サポートに関する要望も多く見られています。

<p><b>一時預かりの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私用や少し1人になれる時間を作ることを目的に、いつでも気軽に一時預かりを利用できるようにしてほしい（40）</li> <li>・ 病気など緊急の時に、子どもを預けられる所があるとよい（24）</li> <li>・ 一時的に子どもを預かってもらえる場所や利用可能人数の枠を増やしてほしい（11）</li> <li>・ 中々予約がとれず利用できない状況にあるので、月に1回でも確実にとれるようにしてほしい、予約をオンライン化してほしい（7）</li> <li>・ 土曜、休日、夏休み、夜間に気軽に子どもを預けられる所があるとよい（6）</li> <li>・ 一時預かりに関する費用の負担軽減を行ってほしい（3）</li> </ul>	92
<p><b>気軽に話ができる機会の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（21）</li> <li>・ 気軽に声掛けするなど、話をするきっかけづくりをしてほしい（17）</li> <li>・ 育児と仕事の両立サポート、育休復帰支援のセミナーやひとり親向けセミナーなどを開催して話をする機会をつくるとよい（7）</li> <li>・ 子育て先輩の親が話をする、話を聞いてあげる活動があるとよい（2）</li> <li>・ 地域ごとにいろいろな世代の方と交流がもてるような催しがあればよい（2）</li> </ul>	50
<p><b>支援体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認可保育園・こども園を増やしてほしい（7）</li> <li>・ 支援サービス事業所、乳幼児健診、病院の小児科、役所等について土日の対応を行ってほしい（6）</li> <li>・ 保育士さんたちの就労環境の改善、保育事業所への十分なサポート（3）</li> <li>・ アレルギーがあっても受け入れ可能な体制づくり（2）</li> <li>・ 母親が1人でリフレッシュできる環境づくり（2）</li> </ul>	34
<p><b>経済・金銭的サポートの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的な補助を拡充してほしい（17）</li> <li>・ 児童手当の拡充（4）</li> <li>・ マル子（医療費支援）の所得制限を廃止してほしい（2）</li> </ul>	29
<p><b>居場所・安全な遊び場の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園などで安全に遊べる環境を増やしてほしい（10）</li> <li>・ 天気を気にせず利用できる室内遊び場を作ってほしい（5）</li> </ul>	23
<p><b>情報の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援、子どもへの様々なプログラムやイベントについてもっと情報提供してほしい（12）</li> <li>・ ホームページなどわかりやすくして情報提供してほしい（4）</li> </ul>	19

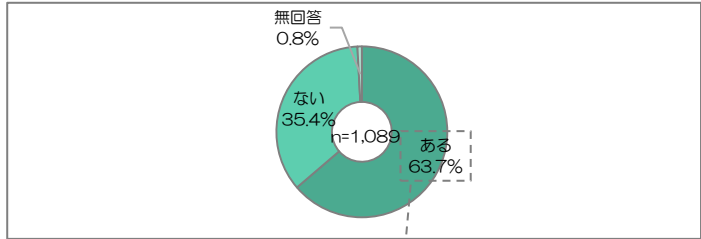


<b>相談しやすい環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児のことなど気軽に相談できる環境がほしい (6)</li> <li>・ 産前産後から相談できる、相談しやすい窓口を作って欲しい (3)</li> </ul>	18
<b>学童の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小1の壁、学童問題を解消してほしい、学童の時間の拡充、長期休暇に対応してほしい (7)</li> <li>・ 学童を利用できる年齢を引き上げてほしい。6年生まで (2)</li> </ul>	17
<b>病児、病後児保育施設の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病児保育事業を充実させてほしい (14)</li> </ul>	14
<b>発達、育児に関する講習会の開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの発達、子育てに関する講座、学習会などを行ってほしい (7)</li> <li>・ 父親の子育て講座・学習会などを行ってほしい (2)</li> </ul>	12
<b>子育てに関する地域づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内での声掛けを行う環境づくり (3)</li> <li>・ 地域の見守り、防犯の体制づくり (2)</li> <li>・ 日頃からの地域内のコミュニケーション (2)</li> </ul>	11
<b>医療費補助の拡充</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療費の所得制限を無制限にしてほしい (4)</li> <li>・ 予防接種の無料化 (3)</li> <li>・ 中学卒業まで医療費無料 (2)</li> </ul>	9
<b>家事支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に家事代行サービスを利用できるようにしてほしい (3)</li> <li>・ 育児ヘルパーなどを気軽に使いたい、手続きを簡易化してほしい (3)</li> </ul>	8
<b>教育費用の負担軽減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの教育に関する全ての助成金や補助金の所得制限をなくしてほしい (2)</li> <li>・ 習い事に対する補助金がほしい (2)</li> <li>・ 教育費の無償化 (2)</li> </ul>	8
<b>障がい児・発達障がい児サポートの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達障がいなどがある子どもへの理解を深めてほしい (3)</li> <li>・ 障がい児や養育困難の子どもへの保育やサポート体制 (3)</li> </ul>	7
<b>見守りの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通園、通学時の見守りの充実 (5)</li> </ul>	6
<b>移動手段・送迎手段の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健センターまでのシャトルバス (3)</li> <li>・ 平日の習い事の送迎など、気軽に送迎をお願いできる体制 (2)</li> </ul>	6

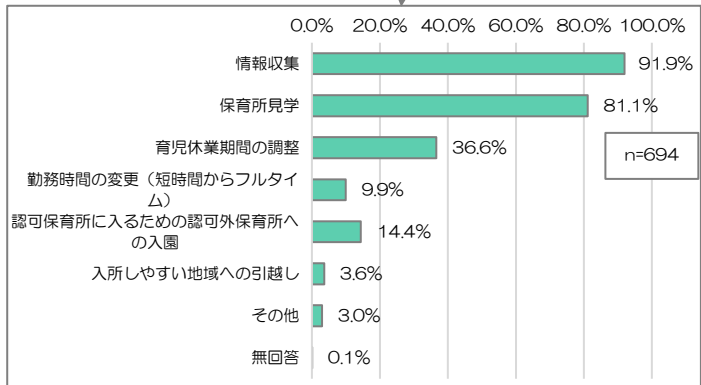
10 保育所に入れるための活動について

過去に子どもを保育所に入れるための活動を行ったことがありますか。(1つに○)

子どもを保育所に入れるための活動の経験について「ある」と回答した方は63.7%となっています。



またその活動の内容として「情報収集」が最も多く91.9%となり次いで「保育所見学」が81.1%となっています。保育所に関する情報提供が求められています。

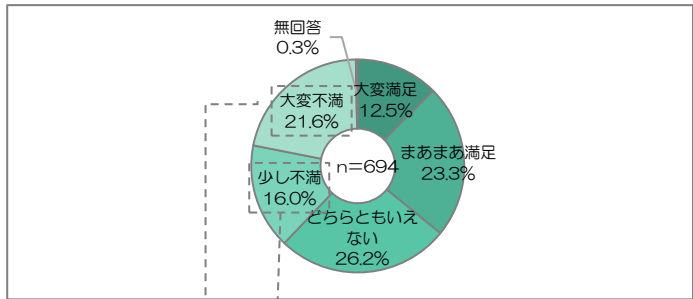


その他・・・認可外保育所への入園予約(3)  
一時保育の利用(3)

【過去に子どもを保育所に入れるための活動を行ったことがある方のみ回答】

子どもを保育所に入れるための活動及びその結果についてどのように思いますか(1つに○)

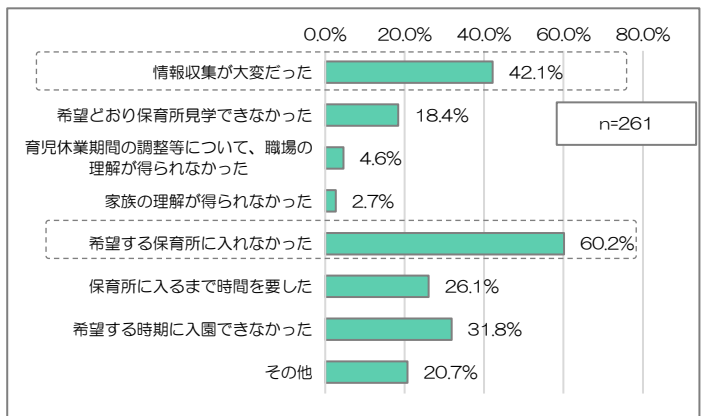
子どもを保育所に入れるための活動及びその結果について「大変不満」21.6%、「少し不満」が16.0%となり、不満に思っている方が37.6%となっています。一方「大変満足」「まあまあ満足」と満足に思っている方は35.8%となっていることから、保育所に入れるための活動及びその結果については不満のほうが多くなっています。



【子どもを保育所に入れるための活動及び結果について不満がある方のみ回答】

不満だと思う理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

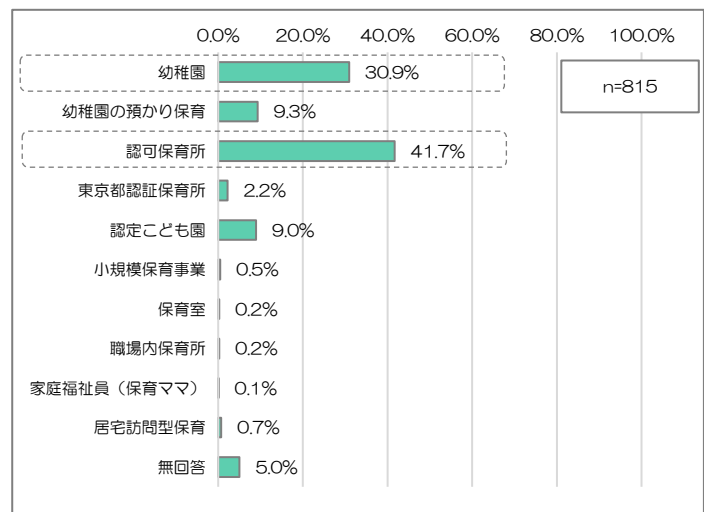
不満の理由として「希望する保育所に入れなかった」が最も多く60.2%となり、次いで「情報収集が大変だった」が42.1%となっています。



## 1.1 幼児教育・保育無償化について

幼児教育や保育が無償化となった場合、以下の事業において主に利用したいと思う事業はどれですか。(1つに○)

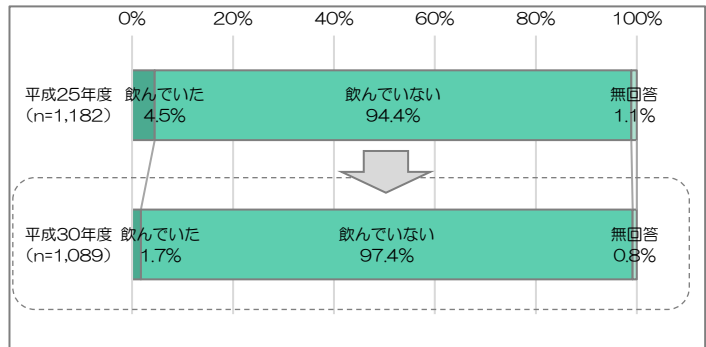
幼児教育や保育が無償化となった場合に利用したいと思う事業として「認可保育所」が最も多く41.7%、次いで「幼稚園」が30.9%となっています。



1.2 飲酒・喫煙について

母親は妊娠中にお酒を飲んでいましたか。(1つに〇)

妊娠中にお酒を「飲んでいた」と回答した方は1.7%となっています。平成25年度調査と比較すると飲んでいと回答した方の割合が2.8%低下しています。

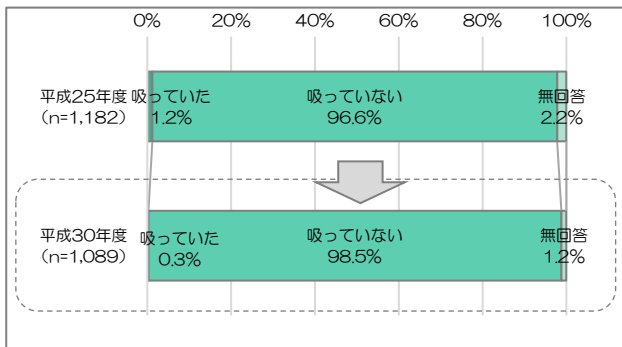


妊婦、妊婦の配偶者・パートナーは妊娠中、また現在タバコを吸っていましたか。(それぞれ1つに〇)

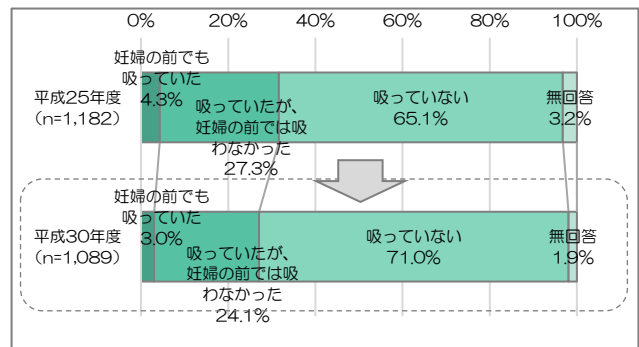
【妊娠中】

妊娠中、「タバコを吸っていたか」について、妊婦については吸っていたと回答した方が0.3%となり、平成25年度調査と比較すると0.9%減っています。パートナーについては妊婦の前で吸っていたと回答した方は3.0%となり、平成25年度調査と比較すると1.2%減っています。

【妊婦】



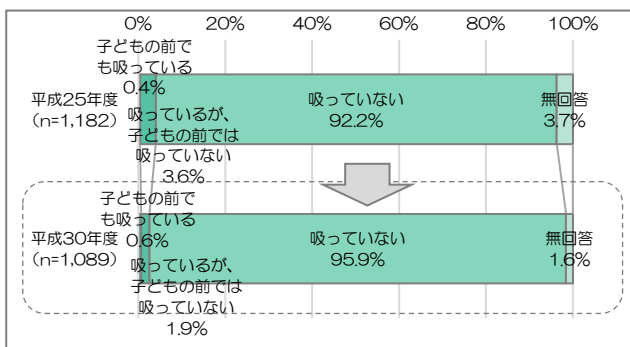
【妊婦の配偶者・パートナー】



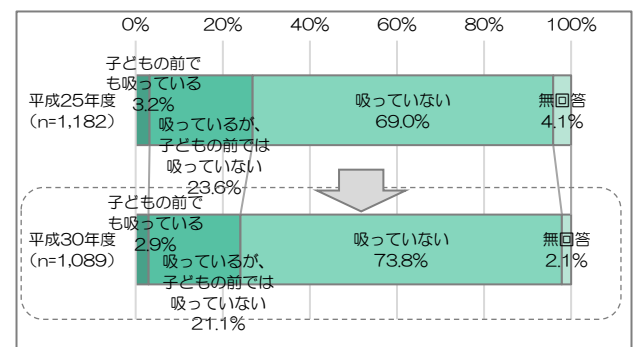
【現在】

現在、母親について、「子どもの前で吸っている」と回答した方が0.6%、「吸っているが、子どもの前では吸っていない」と回答した方が1.9%となり、平成25年度調査と比較するとタバコを吸っている方が1.5%減っています。パートナーについては「子どもの前で吸っている」と回答した方が2.9%となり、平成25年度調査と比較するとタバコを吸っている方が2.8%減っています。

【母親】



【母親の配偶者・パートナー】

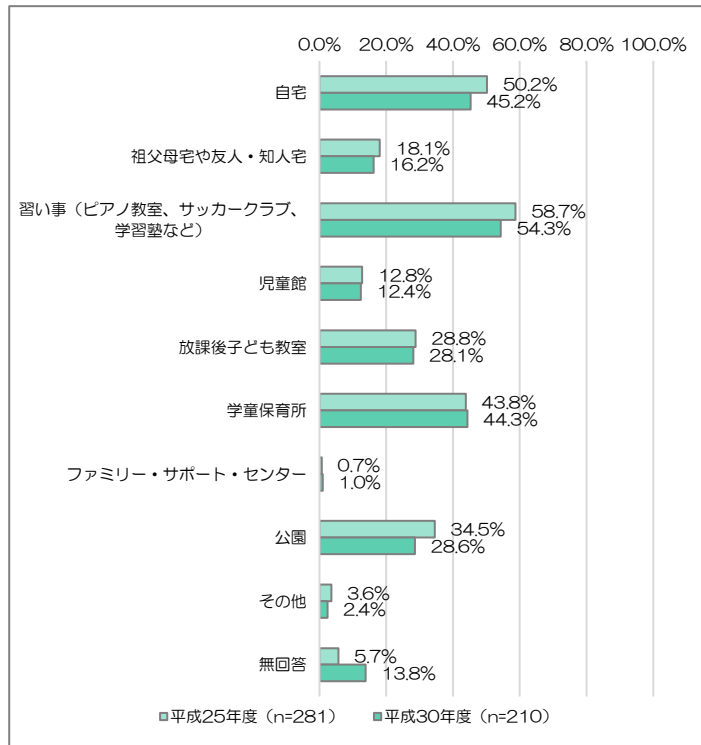


1.3 お子さんの小学校就学後における放課後の過ごし方について

【お子さんが5歳以上の方のみ回答】

お子さんについて、小学校就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

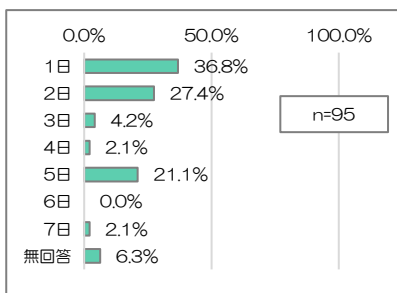
小学校就学後、放課後の時間で過ごしてもらいたい場所として「習い事」が最も多く54.3%となり、次いで「自宅」が45.2%、「学童保育所」が44.3%となっています。平成25年度調査と比較すると過ごさせたい場所として大きな変化は見られていません。



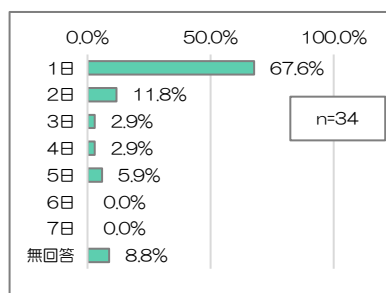
その他・・・放課後等デイサービス（3）  
友達の家（2）

また、それぞれの場所における週当たり希望日数については以下のとおりとなっています。

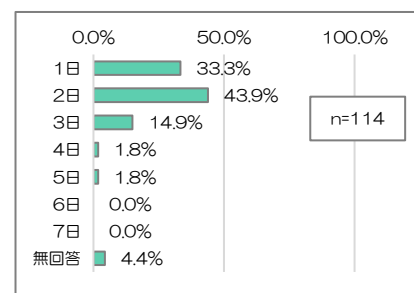
【自宅】



【祖父母宅や友人・知人宅】

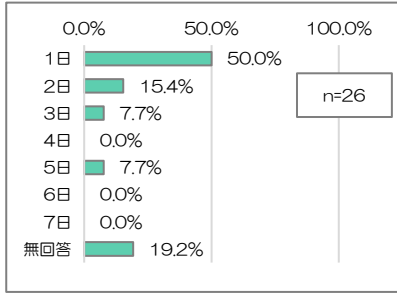


【習い事】

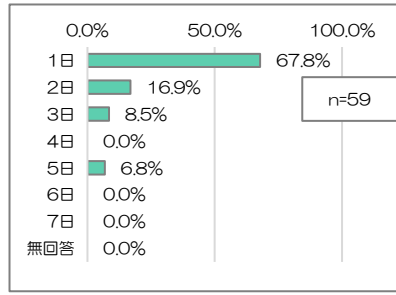


第2章 調査結果

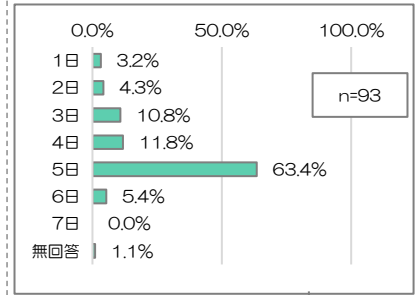
【児童館】



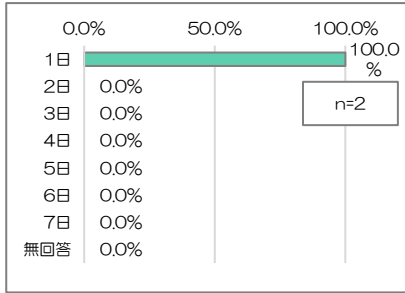
【放課後子ども教室】



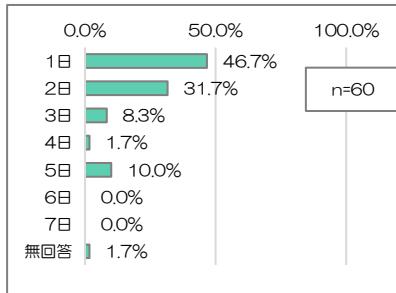
【学童保育所】



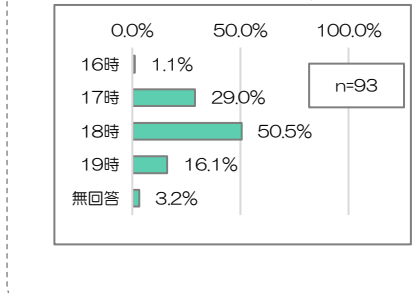
【ファミリー・サポート・センター】



【公園】



(何時まで)

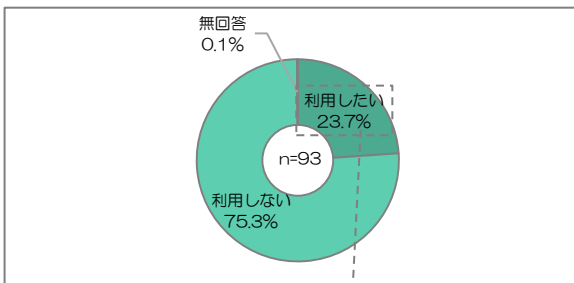


【学童保育所の利用を希望された方のみ回答】

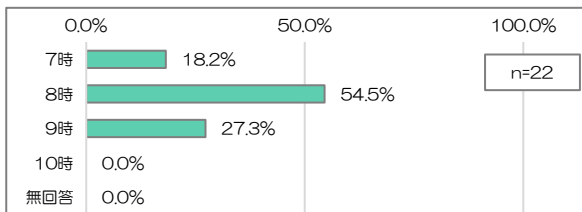
お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に学童保育所の利用希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

土曜日と日曜日・祝日の学童保育所の利用希望について、土曜日は23.7%、日曜日・祝日は7.5%の方が利用したいと回答しています。

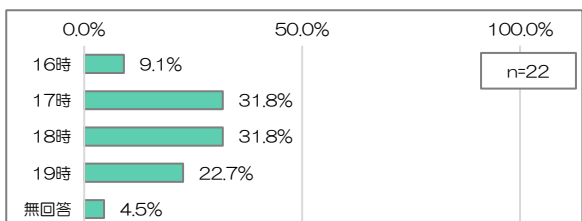
【土曜日】



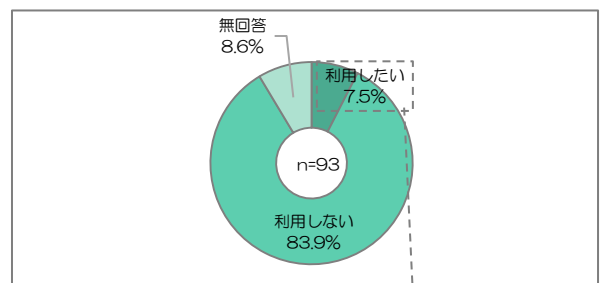
(開始時刻)



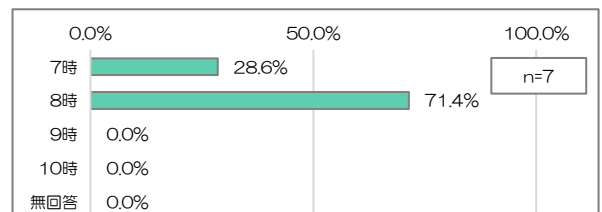
(終了時刻)



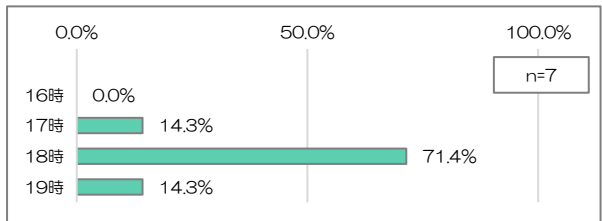
【日曜日・祝日】



(開始時刻)



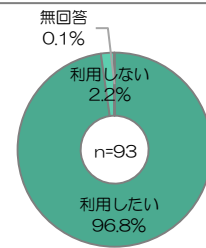
(終了時刻)



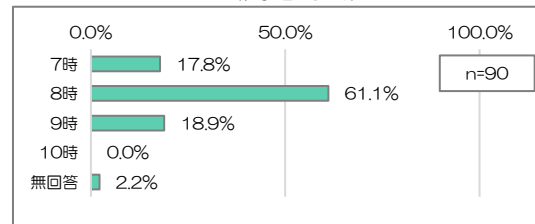
【学童保育所の利用を希望された方のみ回答】

お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。(1つに〇)

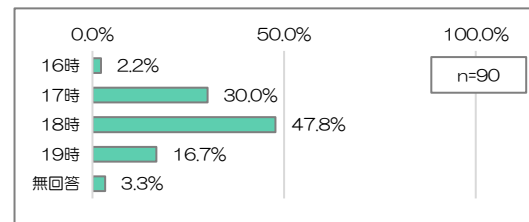
お子さんの夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中の学童保育所の利用希望について利用したいと回答した方については96.8%と、高い利用希望となっています。



(開始時刻)



(終了時刻)

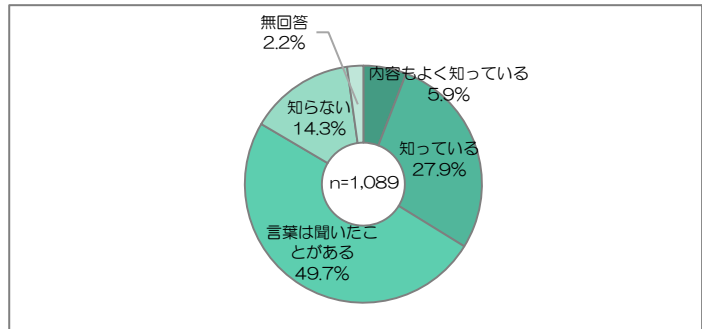


1.4 児童虐待に関することについて

児童虐待に関する下記の設問についてお答えください。

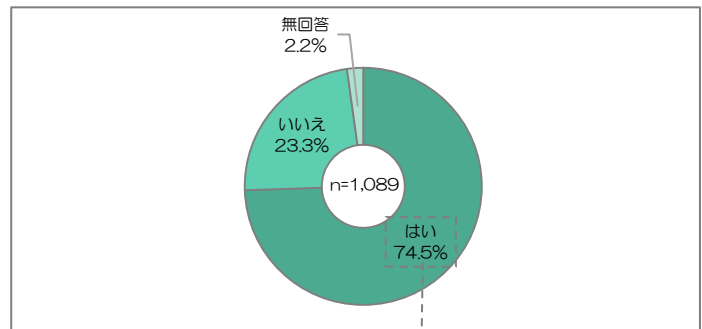
(1) 「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)を知っていますか。(1つに〇)

「児童虐待の防止等に関する法律」について「言葉は聞いたことがある」と回答した方が最も多く49.7%となっています。

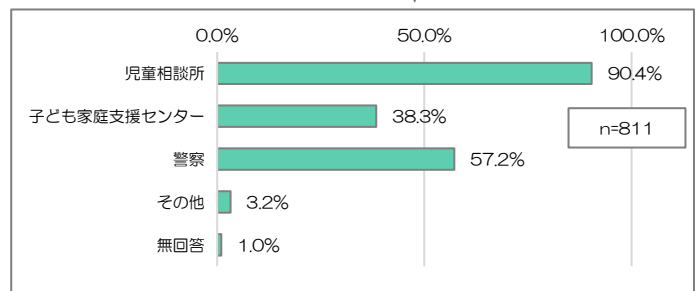


(2) 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つに〇)

児童虐待を発見した場合の通報先を知っていると回答した方の割合は74.5%となっています。



また、通報先として「児童相談所」と回答した方は90.4%となっています。



その他・・・189番(10)  
市役所(5)  
民生委員(3)

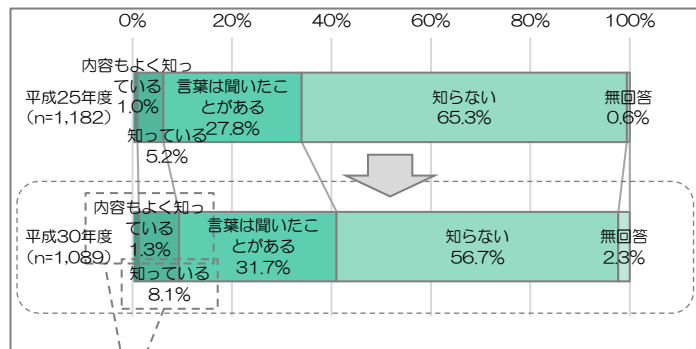


15 小金井市子どもの権利に関する条例について

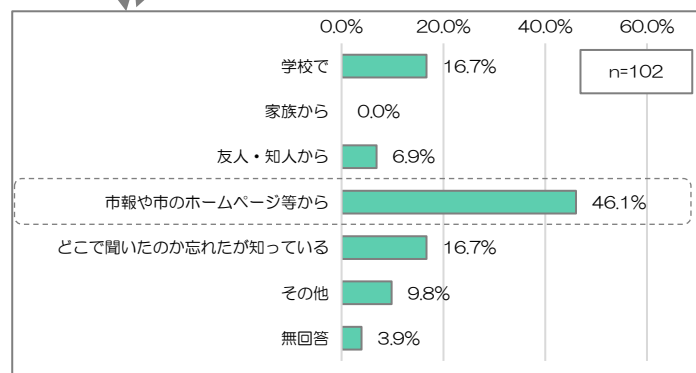
「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに〇)

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方は9.4%となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、「知らない」と回答した方の割合が8.6%減少しています。



また、「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「市報や市のホームページ等から」が最も多く、46.1%となっています。

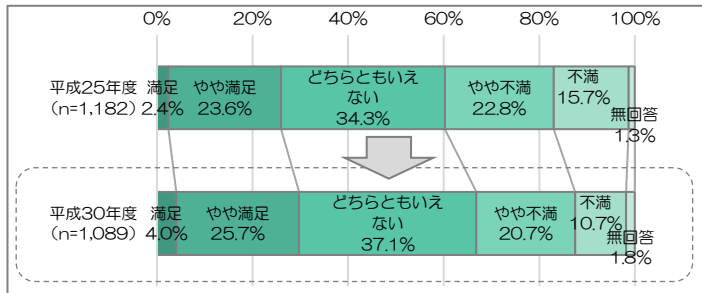


その他・・・保育園・幼稚園 (4)  
職場 (3)

16 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

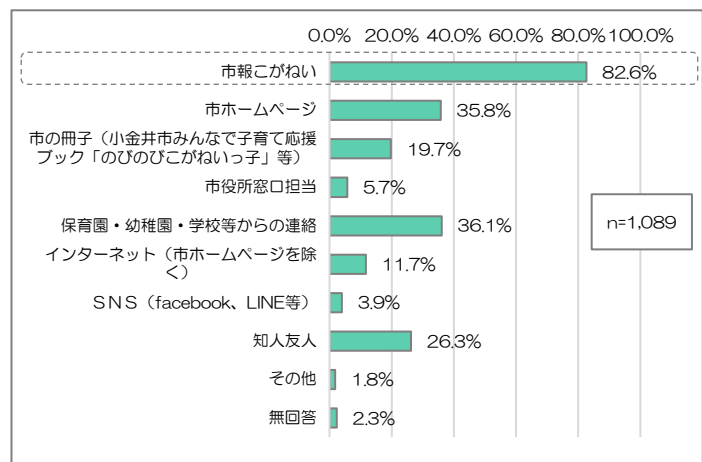
小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください（1つに○）

小金井市の子育ての環境や支援への満足度として「満足」「やや満足」と回答した方が29.7%となる一方、「不満」「やや不満」と回答した方が31.4%と、不満の方が満足より上回っています。また、平成25年度調査と比較すると、「満足」「やや満足」と回答した方の割合が3.7%増加しています。



小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て支援策の情報入手先として、「市報こがねい」が最も多く82.6%となっています。

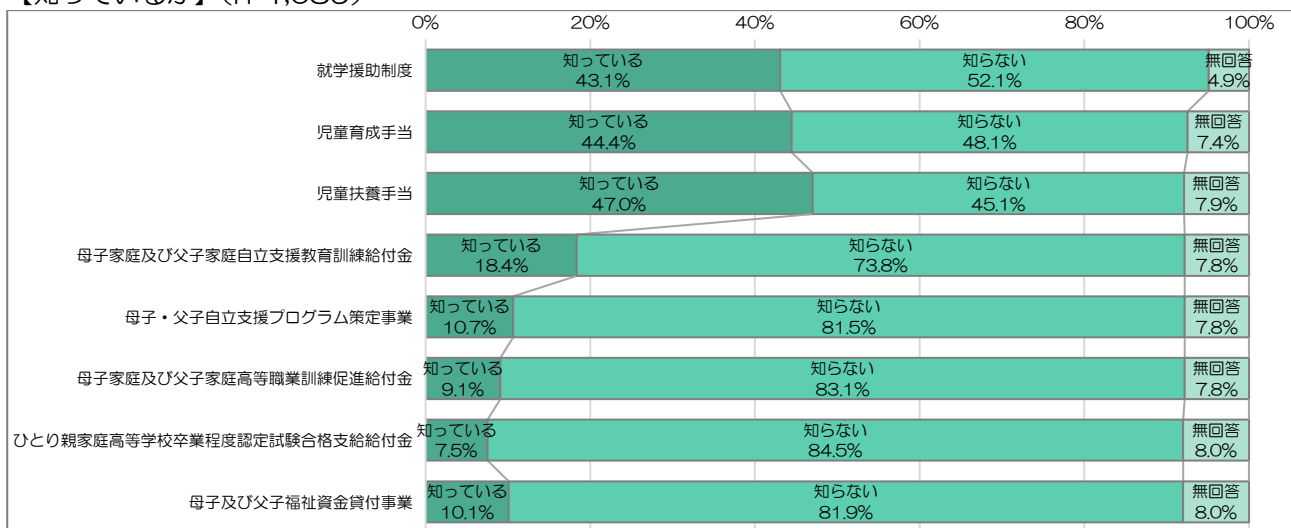


その他・・・児童館・ゆりかご・保健センターなどのはりがみ（8）  
街の掲示板（7）

下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに○）

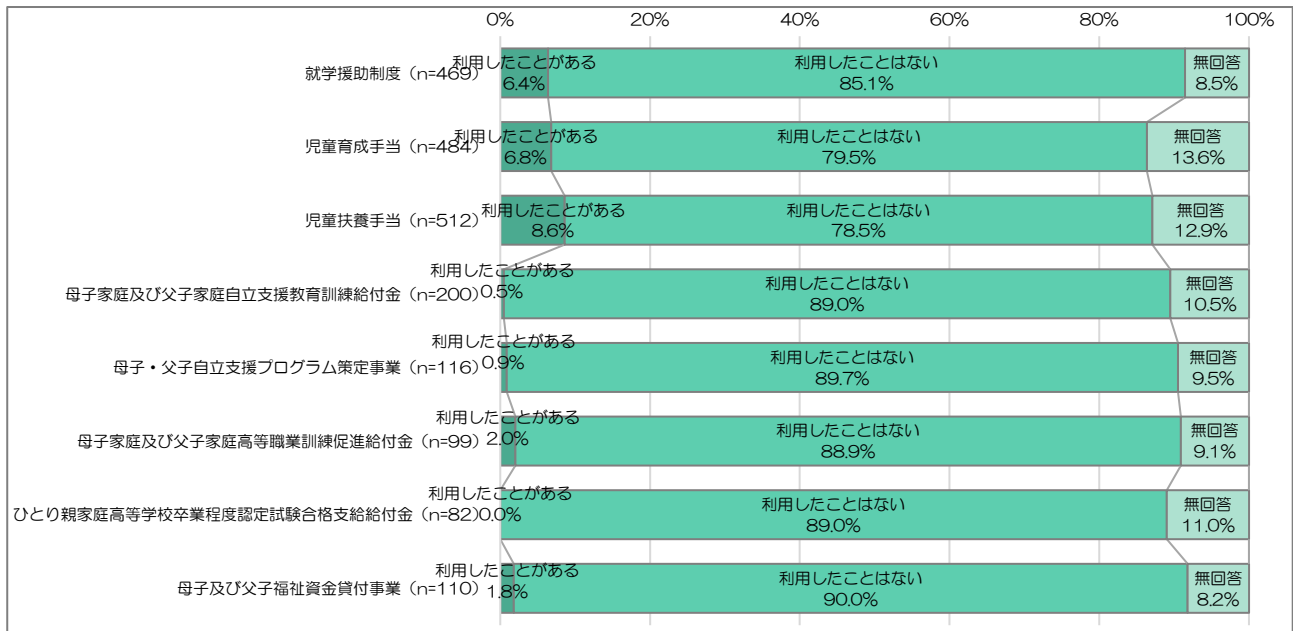
各施策の認知度について以下のとおりとなっており、「児童扶養手当」を始め、「就学援助制度」「児童育成手当」については約半数の方が知っていると回答した一方、それら施策以外の認知度については、約1割程度と認知度が低くなっています。

【知っているか】(n=1,089)



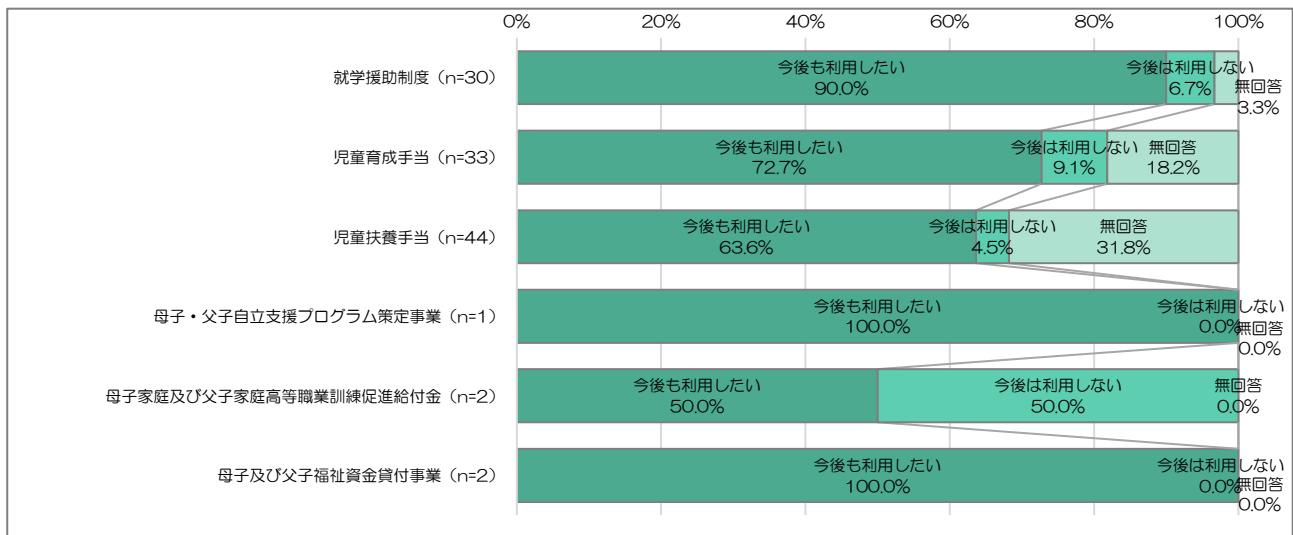
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「児童扶養手当」を始め、「就学援助制度」「児童育成手当」については6%から8%の方が利用していると回答した一方、それら施策以外の利用率については、2%未満と利用率が低くなっています。

【これまでに利用したことがあるか】



各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、各事業とも再度の利用希望率が高くなっています。

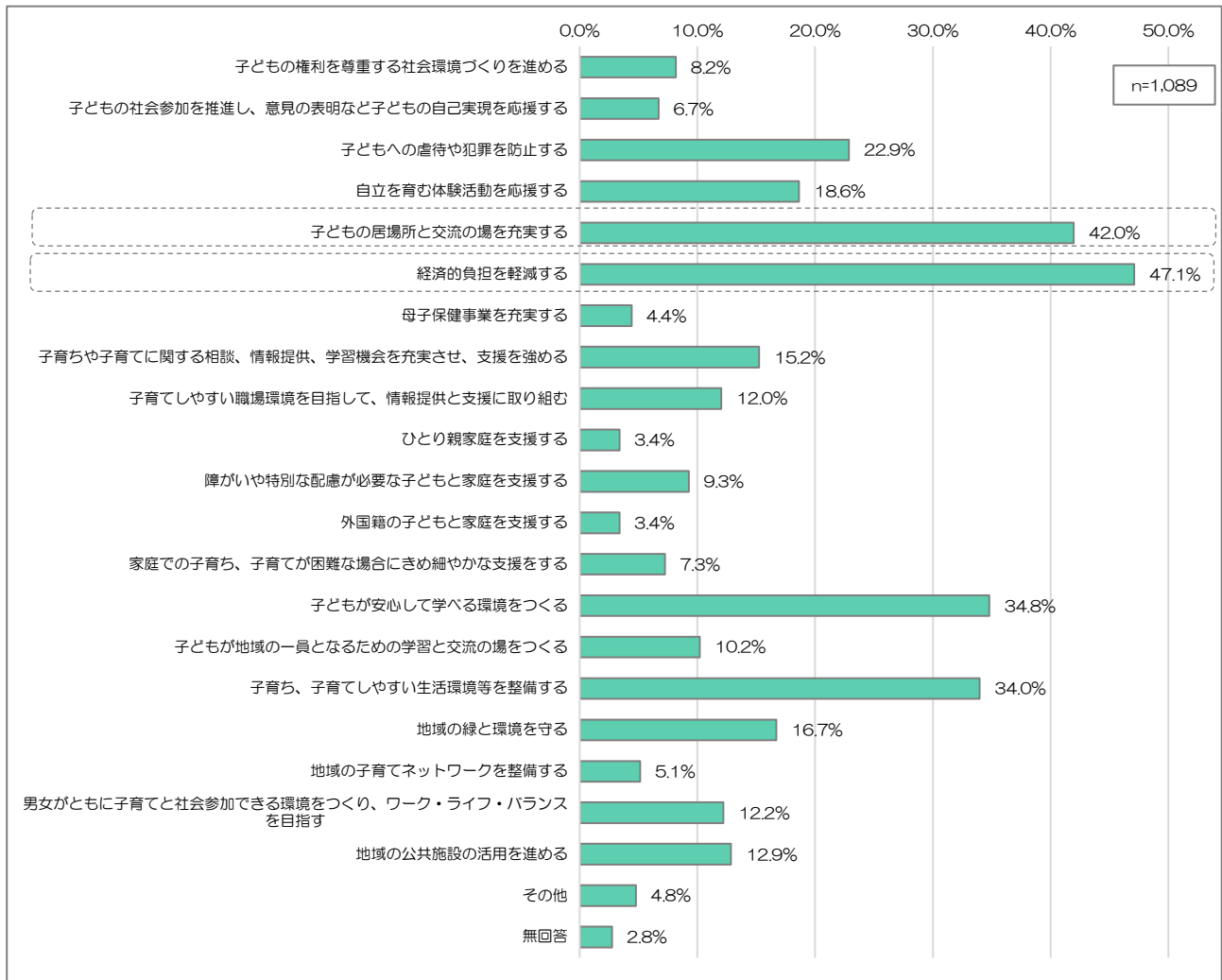
【今後も利用したいか】



## 第2章 調査結果

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに〇）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして、「経済的負担を軽減する」が最も多く47.1%、次いで「子どもの居場所と交流の場を充実する」となっています。



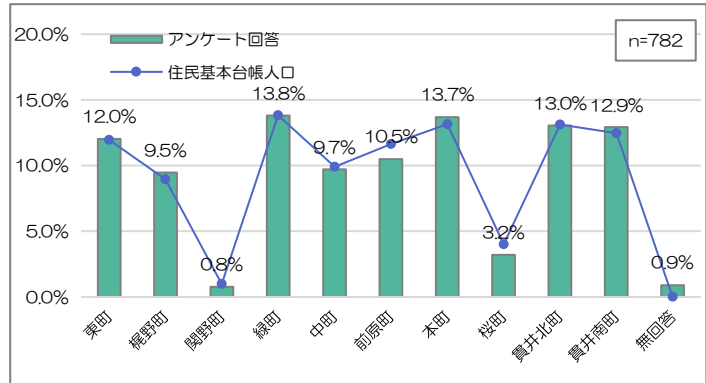
その他・・・認可保育園、保育園の拡充、充実（14）  
 小さい子が遊べる公園の拡充（7）  
 医療費の補助拡充（5）

## Ⅱ. 就学児童の保護者調査

### 1 回答者属性

お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による6歳から12歳の地区別人口割合と同等割合となっています。



#### <参考>

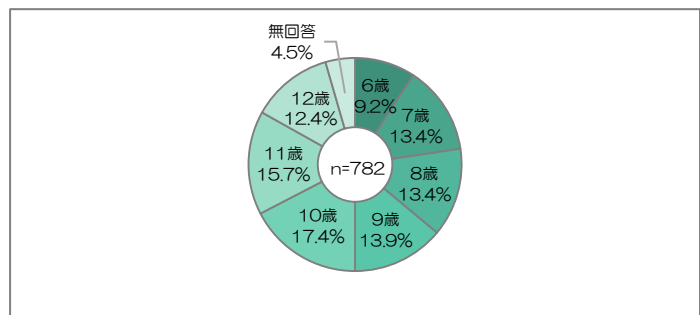
住民基本台帳による町別（6歳～12歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
6～12歳人口(人)	783	587	65	906	649	763	862	262	859	816	6,552
割合(%)	12.0%	9.0%	1.0%	13.8%	9.9%	11.6%	13.2%	4.0%	13.1%	12.5%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

お子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)(平成30年12月1日現在)

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。なお6歳児並びに12歳児については、本アンケート対象が就学児童を対象としている為、割合が少なくなっています。(6歳でかつ未就学児、12歳でかつ中学生は対象外)



#### <参考>

住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

年齢	6歳※	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳※	合計
人口(人)	975	993	964	959	953	935	836	6,615
割合(%)	14.7%	15.0%	14.6%	14.5%	14.4%	14.1%	12.6%	100.0%

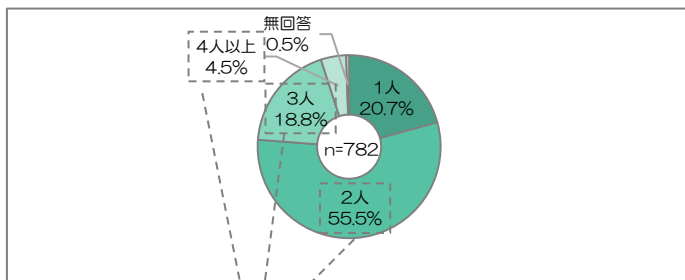
※6歳は就学前児童を、12歳は中学生を含む

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

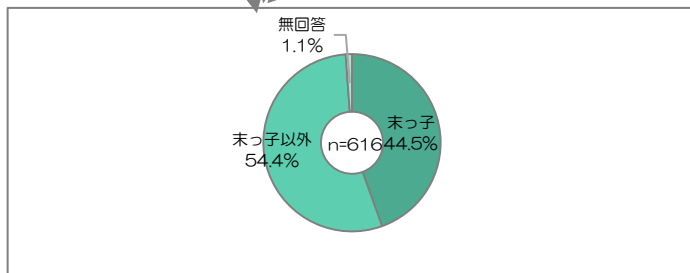
## 第2章 調査結果

お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。（数字を記入）

きょうだいの人数について「2人きょうだい」が最も多く、55.5%となっています。



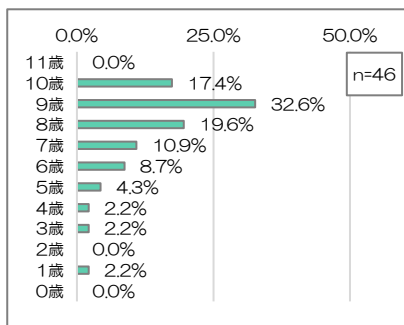
また、きょうだい2人以上の場合、回答の対象となるお子さんが末っ子である割合は44.5%となっています。



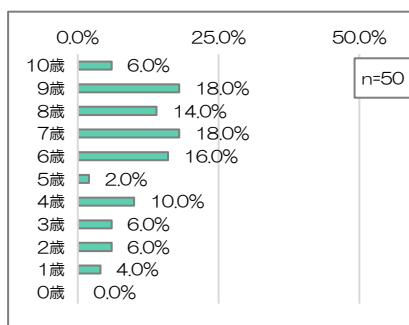
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月を記入してください。（数字を記入）

年齢毎の末子の年齢割合は以下のとおりとなっています。

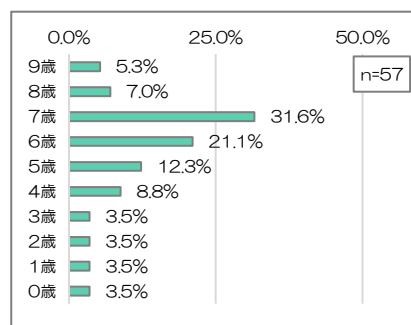
【12歳】



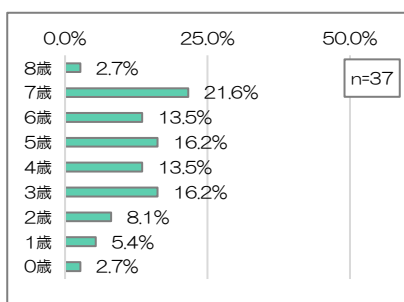
【11歳】



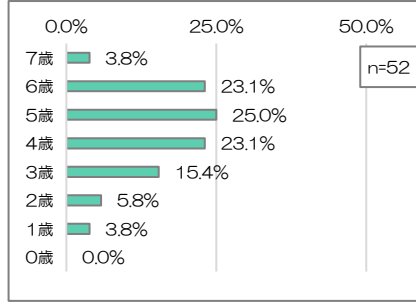
【10歳】



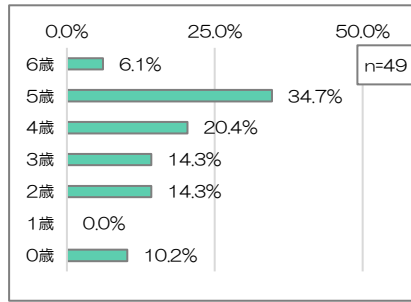
【9歳】



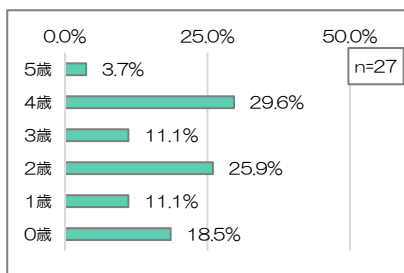
【8歳】



【7歳】

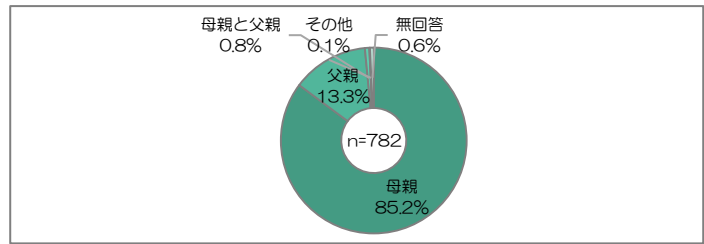


【6歳】



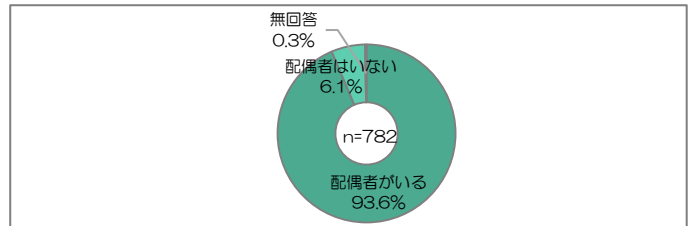
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに〇)

調査票の回答者について「母親」が最も多く85.2%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は0.8%となっています。



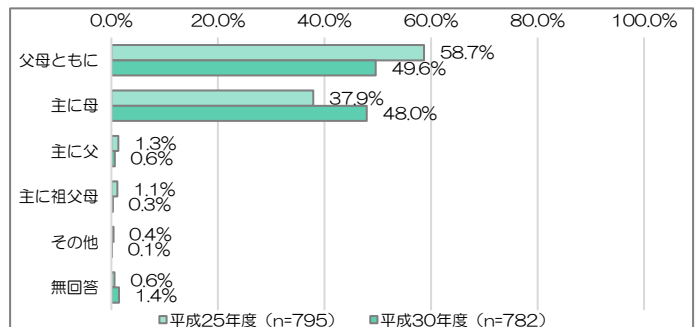
この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに〇)

調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は6.1%となっています。

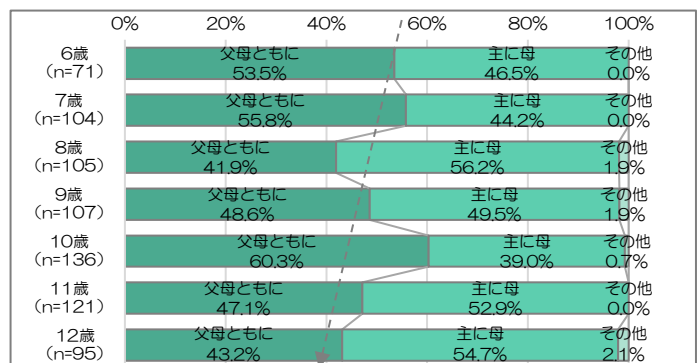


お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)

お子さんの子育てについて、「父母ともに」が最も多く49.6%、「主に母」が48.0%となっています。

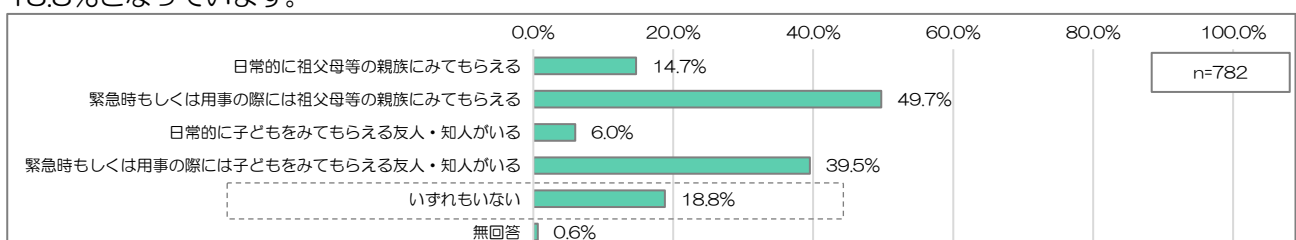


なお、お子さんの年齢別における子育ての主な方についての割合は、年齢が上がるごとに「父母ともに」と回答する方の割合が下がっていく傾向にあります。



日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに〇)

「緊急時や用事があるときにお子さんをみてもらえる祖父母等の親族がいる」と回答した方が最も多く49.7%となっています。一方「日常的」となると14.7%にとどまり、「いずれもない」と回答した方は18.8%となっています。

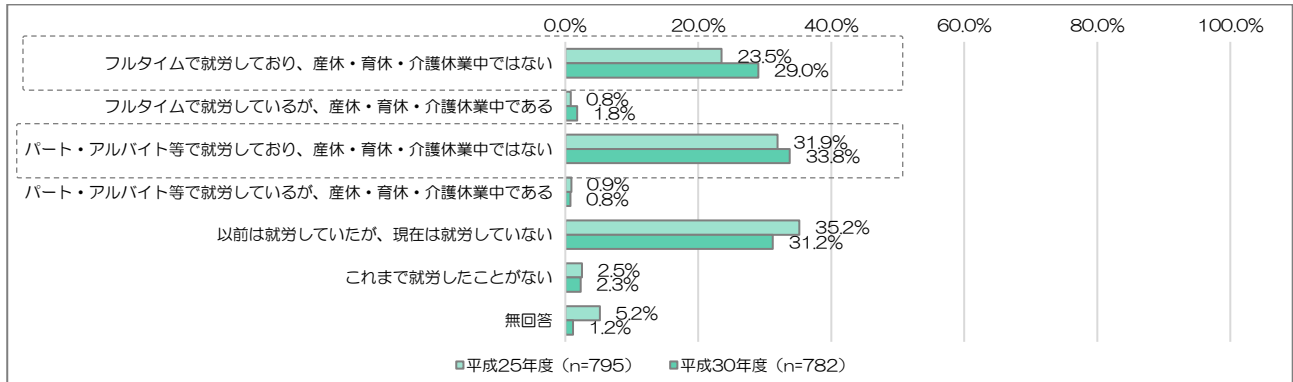


2 お子さんの保護者の就労状況について

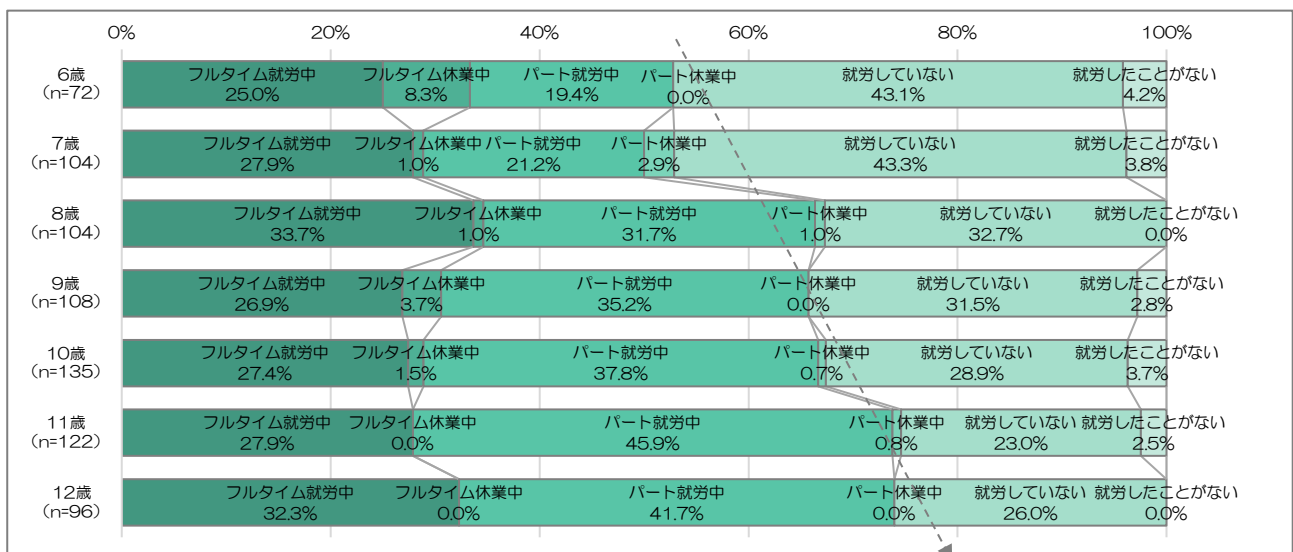
お子さんの保護者の現在の就労状況をお答えください。(1つに〇)

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が29.0%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が33.8%となり、休業せず就労している方の割合が62.8%と6割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイムでの就労」の方が5.5%、また「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」方が1.0%増えており、フルタイムでの就労率が6.5%増えています。



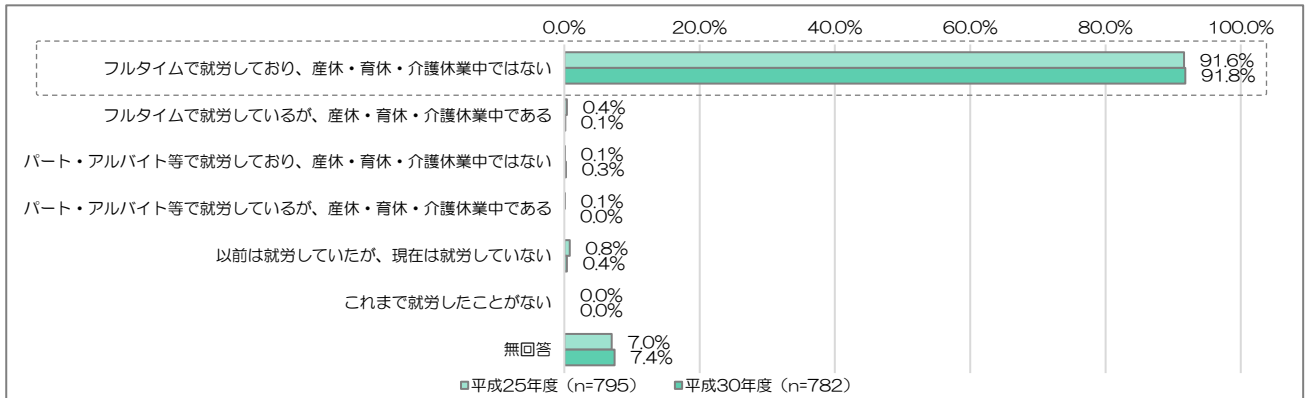
お子さんの年齢別（きょうだいがいる場合は末子の年齢）就労状況について、6歳児ではフルタイムまたはパートタイムで就労中の方は44.4%ですが、8歳児では65.4%と6割を超え、11歳児では73.8%と7割以上の方が就労しています。





【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが91.8%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が0.3%となっています。平成25年度調査と比較すると、就労に関して大きな変化はありません。



【家族類型】

＜フルタイム共働き＞

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

＜フルタイム・パートタイム共働き＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

＜パートタイム共働き＞

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

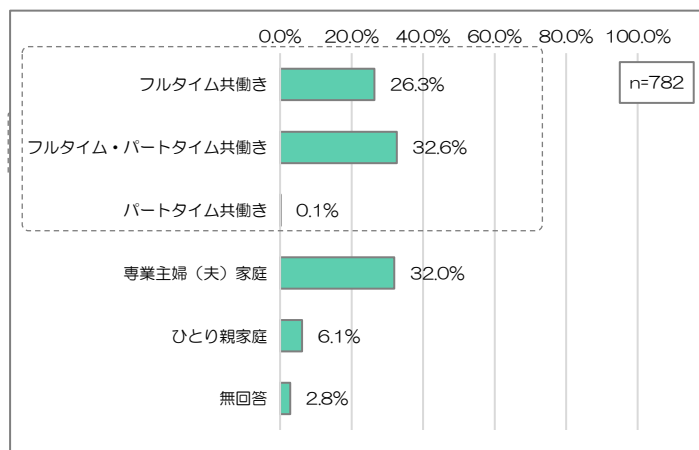
＜専業主婦（夫）＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

＜一人親家庭＞

「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多く、32.6%となっています。「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は58.9%と、約6割となっています。



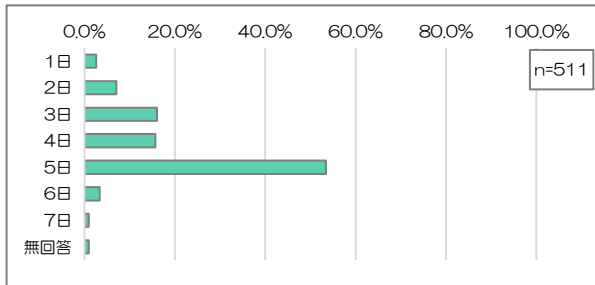
## 第2章 調査結果

### 【「就労している」方のみ回答】

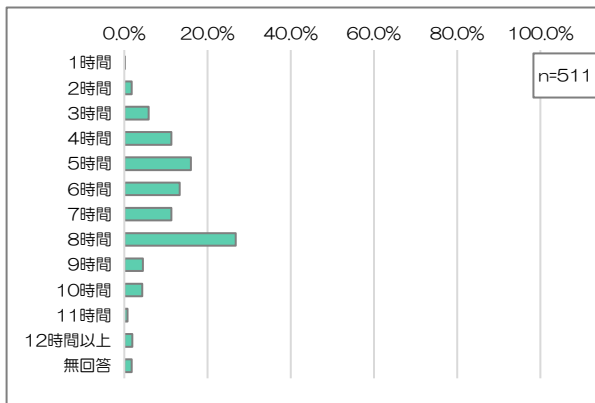
1週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。（数字を記入）

#### 【母親 (n=511)】

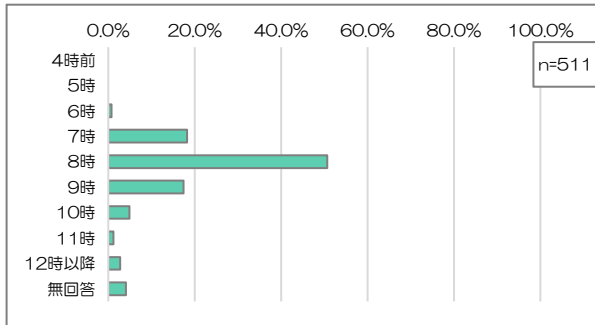
##### (1週間あたりの就労日数)



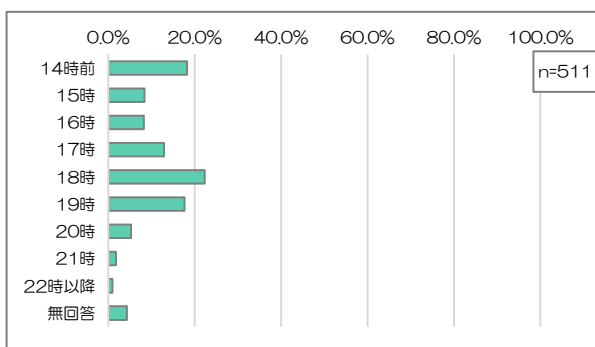
##### (1日あたりの就労時間)



##### (家を出る時刻)

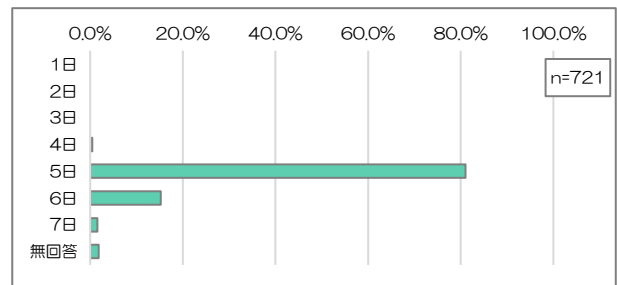


##### (帰宅時刻)

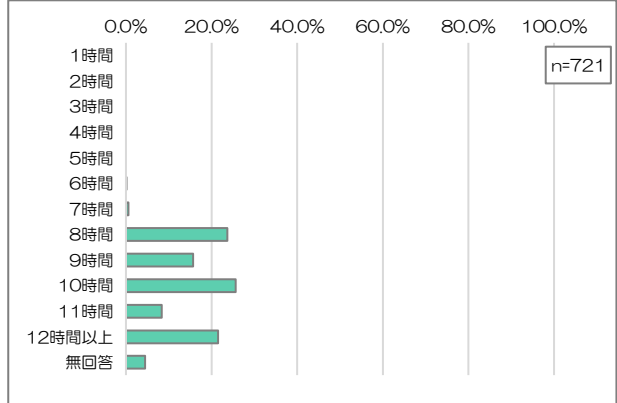


#### 【父親 (n=721)】

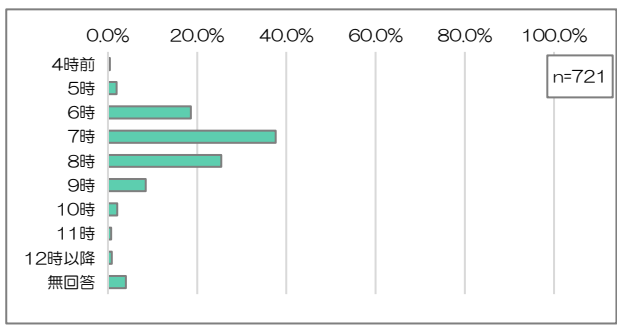
##### (1週間あたりの就労日数)



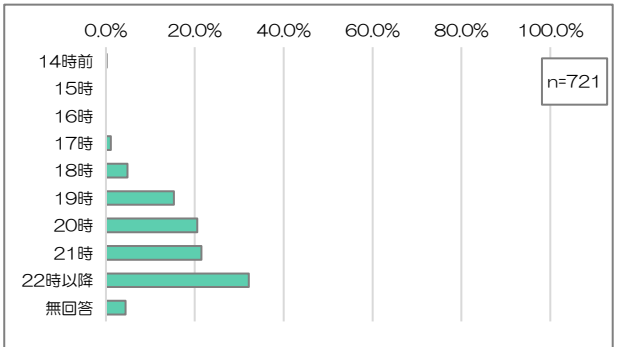
##### (1日あたりの就労時間)



##### (家を出る時刻)

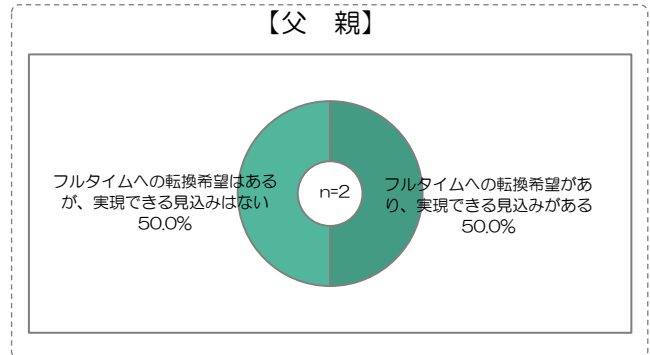
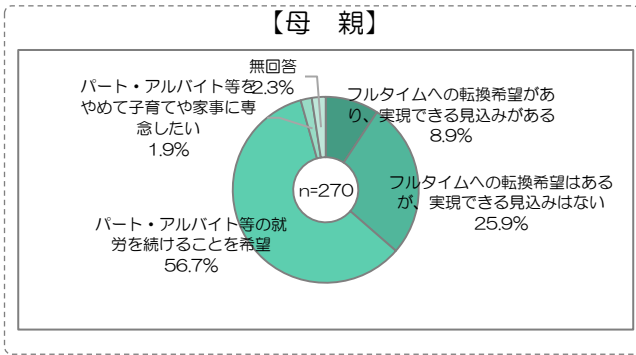


##### (帰宅時刻)



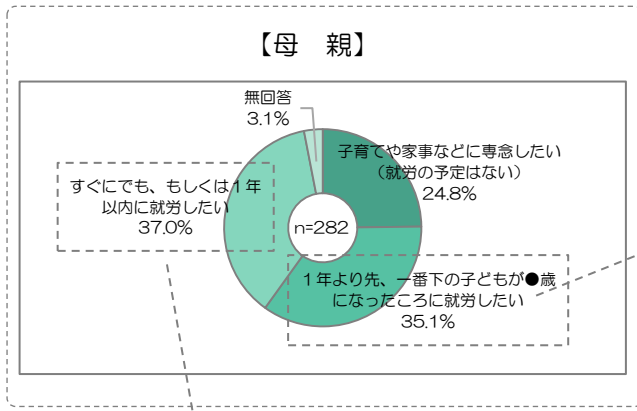
【「パート・アルバイト等で就労している」方のみ回答】

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに〇)

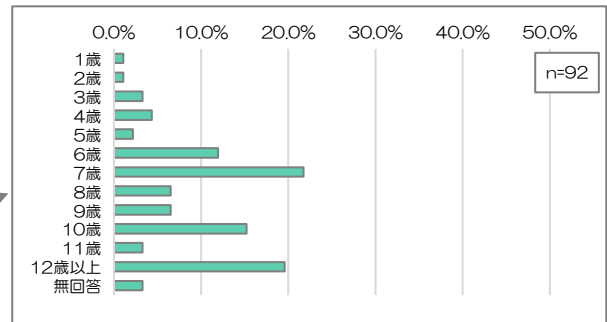


【「現在は就労していない」方のみ回答】

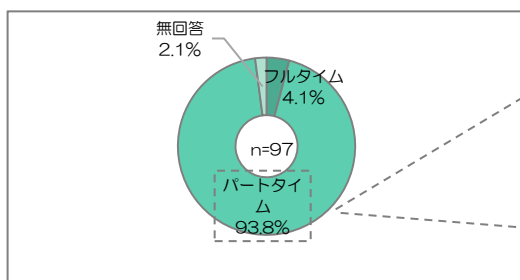
就労したいという希望はありますか。(1つに〇)



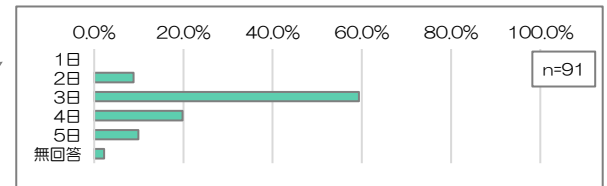
(一番下の子どもが何歳のときに就労したいか)



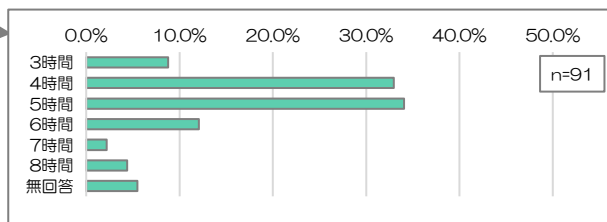
(すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態)



(パートタイムを希望する場合の1週あたり日数)

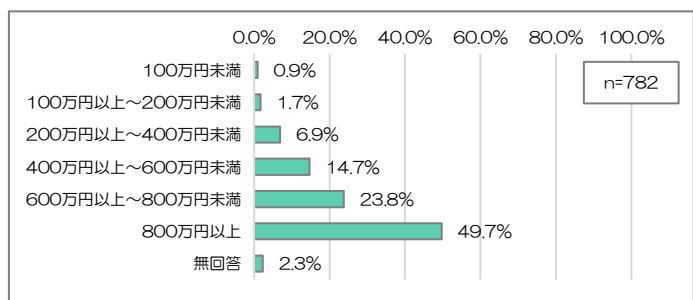


(パートタイムを希望する場合の1日あたり時間)



現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。(1つに〇)

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、49.7%と、約半数となっています。

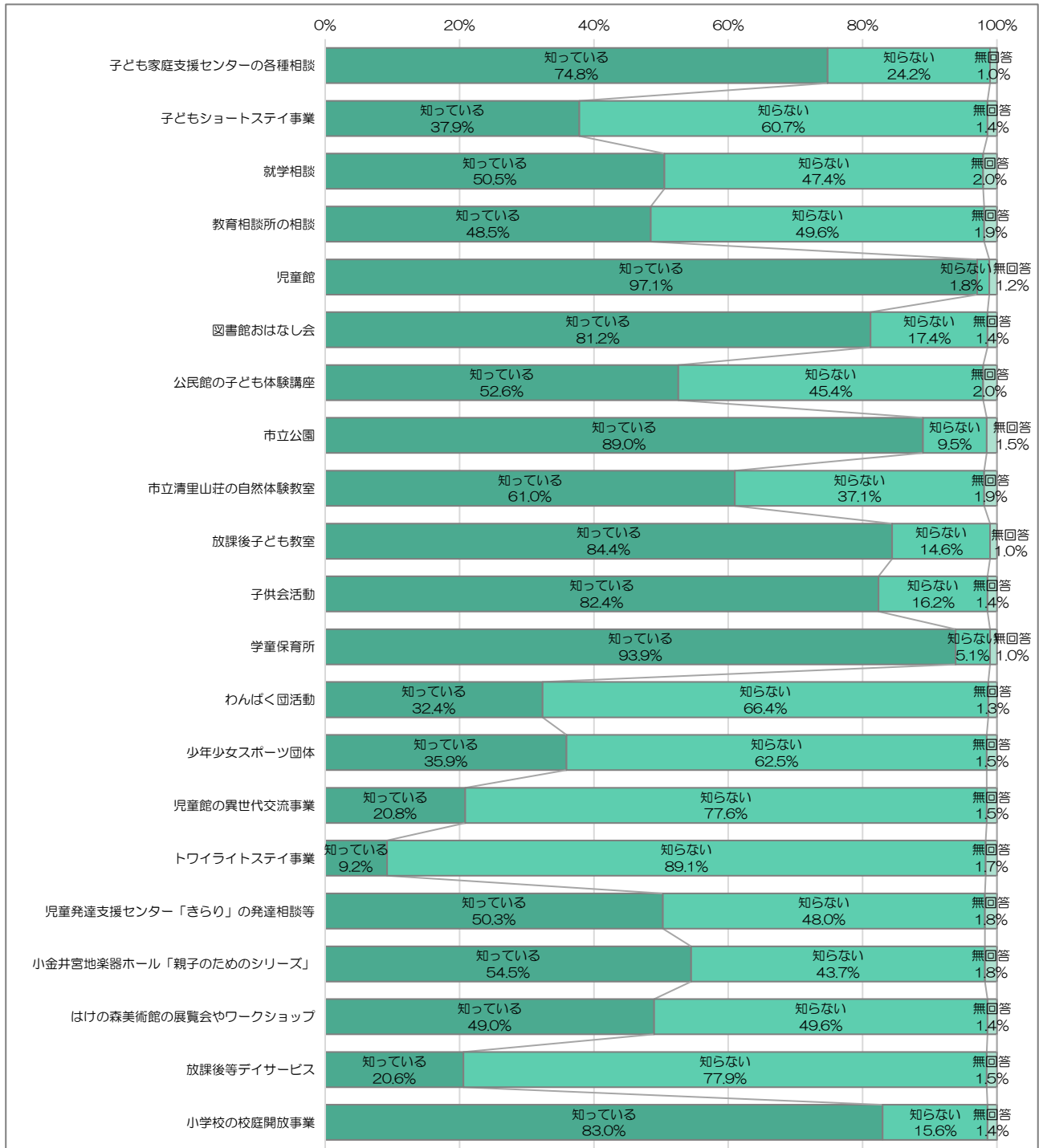


3 子育て全般に関して

下記のサービスや事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。(1つに〇)

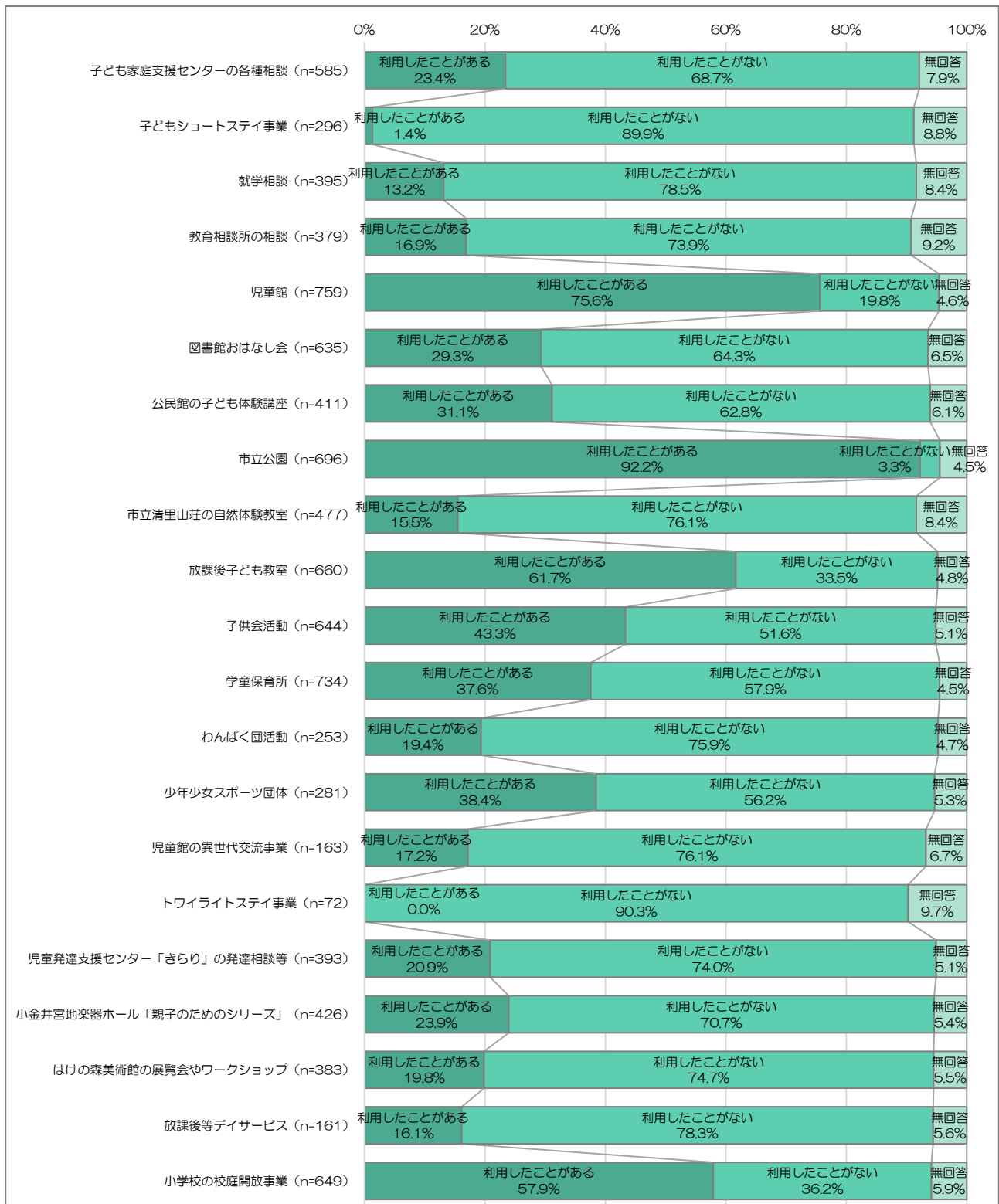
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「児童館」が97.1%と最も高く、次いで「学童保育所」が93.9%と高い認知度となっている一方、「トワイライトステイ事業」(小金井市では実施していない)が9.2%、「放課後等デイサービス」が20.6%、「児童館の異世代交流事業」が20.8%と認知度が低くなっています。特に異世代交流事業は認知度が高い「児童館」での実施に反した認知度の結果となっています。

【知っている】(n=782)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「市立公園」を始め、「児童館」が75.6%と高い利用率となっています。一方、「就学相談」が13.2%、「教育相談所の相談」が16.9%と、相談に関する利用率が低くなっています。

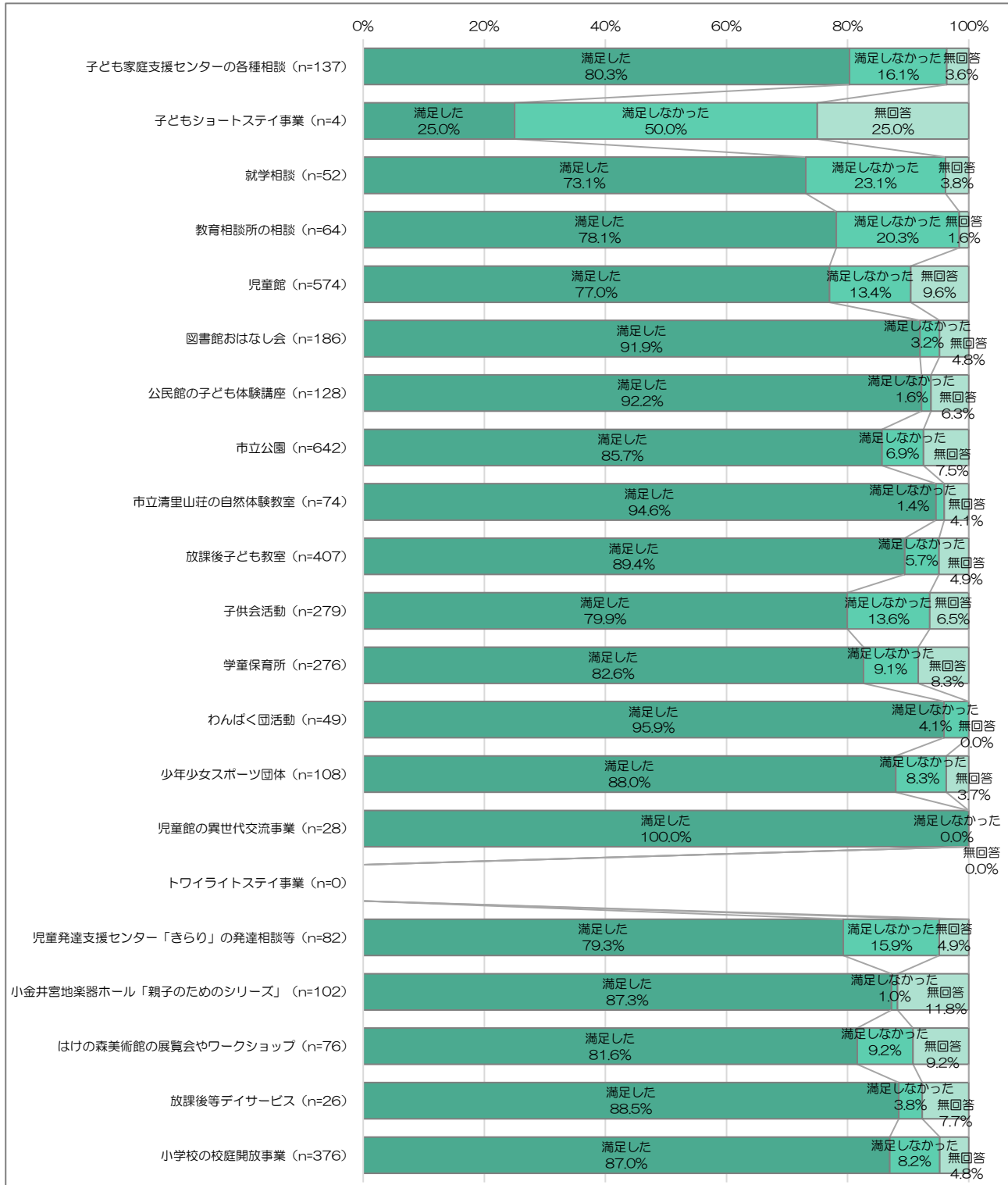
【これまでに利用したことがあるか】



## 第2章 調査結果

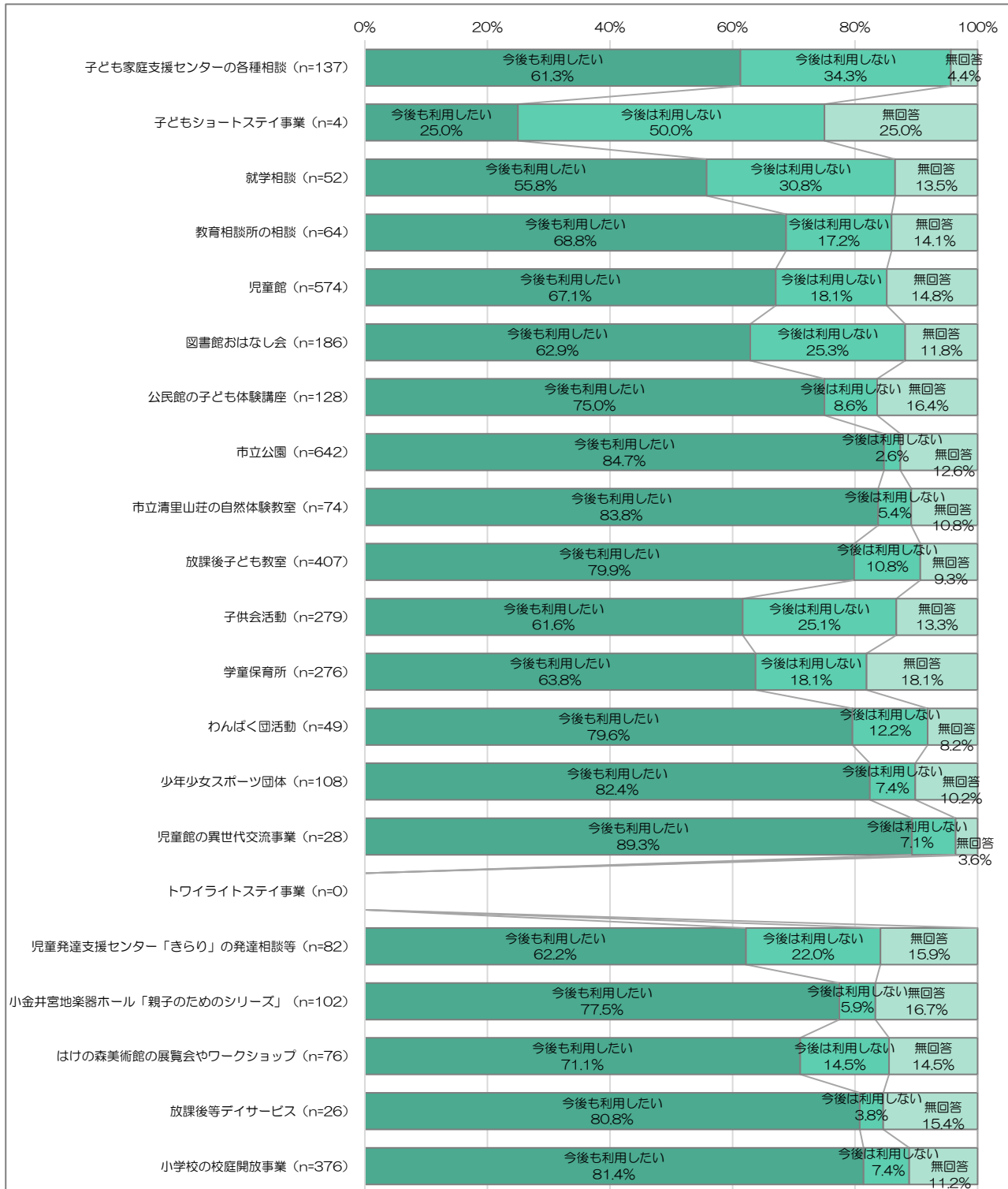
各事業の満足度について以下のとおりとなっており、「児童館異世代交流事業」が100.0%、「わんぱく団活動」が95.9%、「市立清里山荘の自然体験教室」が94.6%と高い満足度となっています。これらの事業について認知度が低く、利用率も低いことから、認知度や利用率を高め、より多くの方々に利用していただくことが望まれます。

### 【利用したことがある場合、満足したか】



各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「児童館異世代交流事業」が89.3%、「市立清里山荘の自然体験教室」が83.8%と、満足度とともに再度の利用希望率も高くなっています。

【今後も利用したいか】

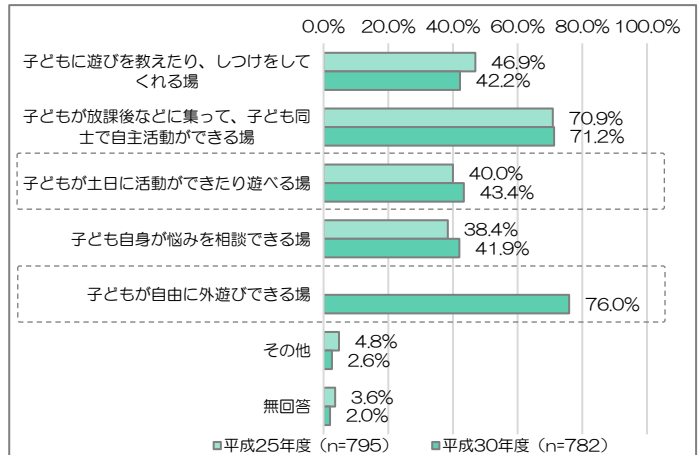


## 第2章 調査結果

身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

望ましいと思う子ども同士が交流等を行うことのできる場として「子どもが自由に外遊びできる場」（平成 30 年度調査より選択肢を追加）が最も多く 76.0%となっています。

また、平成 25 年度調査と比較すると、「土日に活動ができたり遊べる場」が 3.4%増えており、平日含めて日頃から外遊びできる場の提供が求められています。

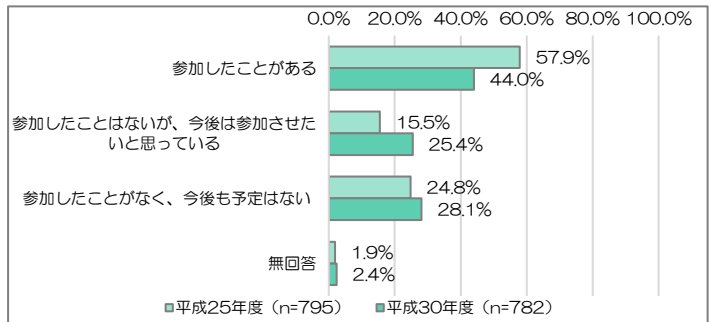


その他・・・ボール遊びできる場（7）  
宿題ができる場（3）

お子さんは地域活動や、学校や習い事以外でのグループ活動などに参加されたことがありますか。（1つに○）

地域活動やグループ活動などの参加状況について、「参加したことがある」と回答した方が 44.0%と半数以下となっています。

なお、平成 25 年度調査と比較すると参加率が 13.9%下がっている一方、今後参加させたいとの回答率は 9.9%上昇していることから、対策を考慮する必要があります。

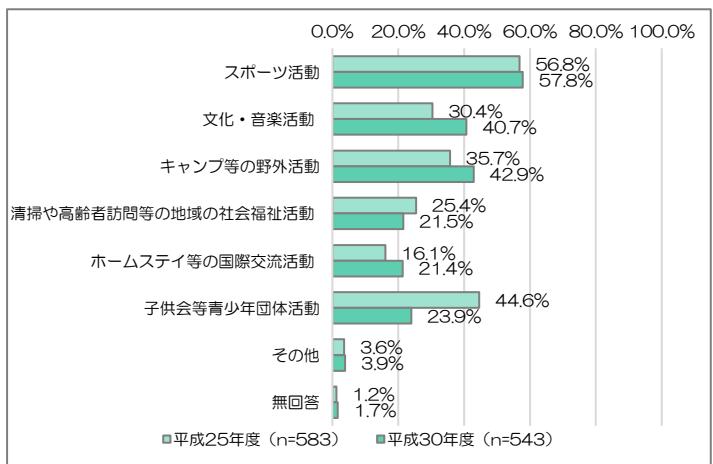


【地域活動やグループ活動などに参加したことがある、または今後参加させたいと思う方のみ回答】

参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

参加したことがある、あるいは参加させたい活動として「スポーツ活動」が最も多く 57.8%となっています。

また平成 25 年度調査と比較すると「文化・音楽活動」が 10.3%、「キャンプ等の野外活動」が 7.2%伸びており、これらの活動を活性化して地域活動の参加率を高めることが求められています。

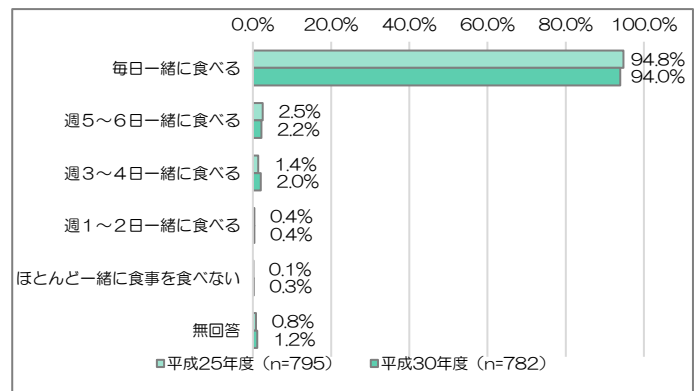


その他・・・阿波おどり（4）



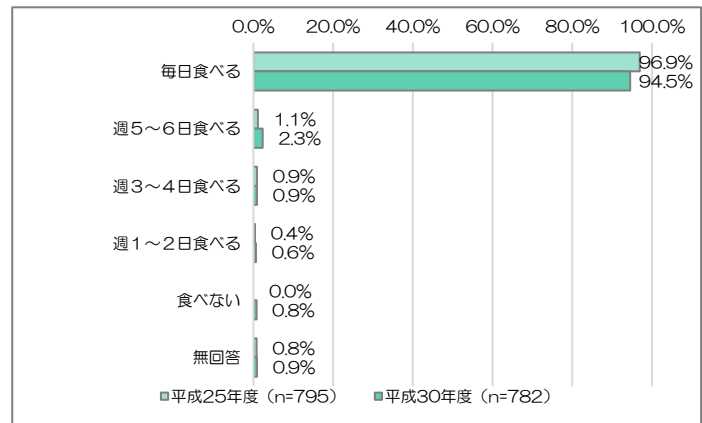
お子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。(1つに〇)

食事の際、家族の誰かと一緒にとっているかについて、「毎日一緒に食べる」と回答した方は94.0%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



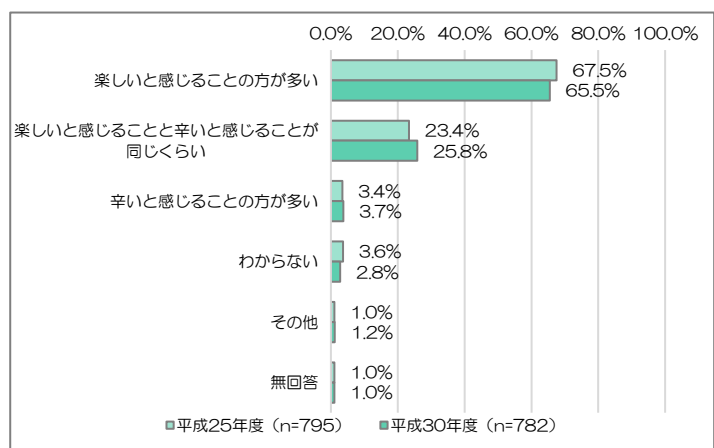
お子さんは、毎日朝食をとっていますか。(1つに〇)

朝食について「毎日食べる」と回答した方は94.5%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(1つに〇)

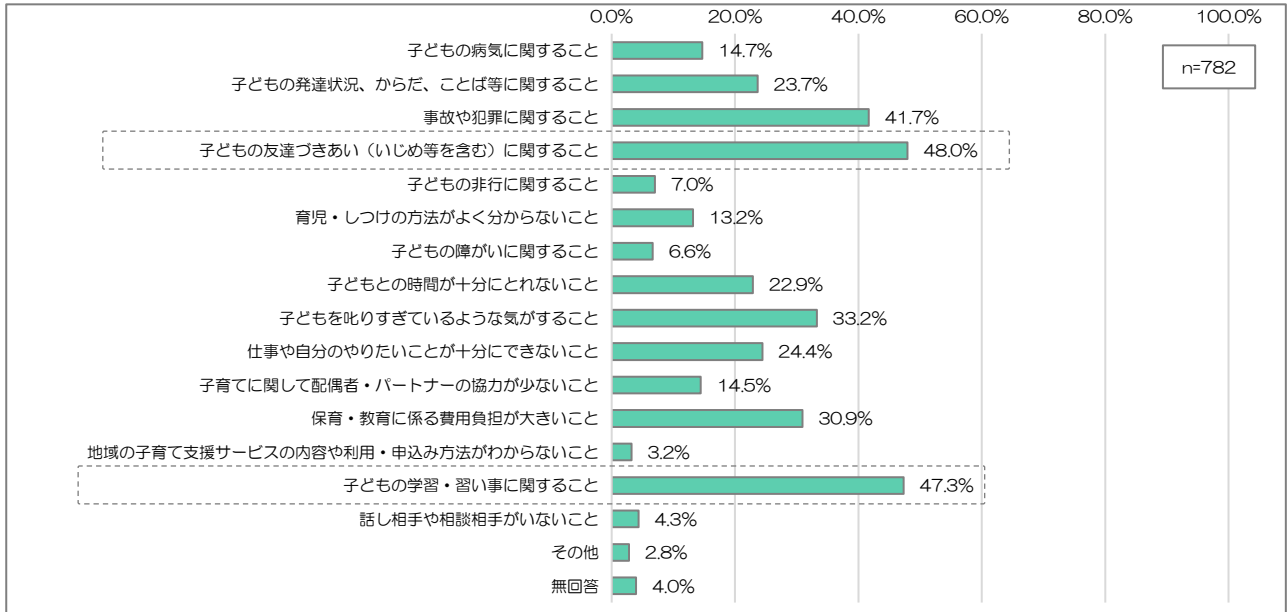
子育てを楽しんでいるかについて、「楽しいと感じることが多い」と回答した方が最も多く65.5%となっています。平成25年度調査と比較してもその割合に大きな変化は見られていません。



## 第2章 調査結果

子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

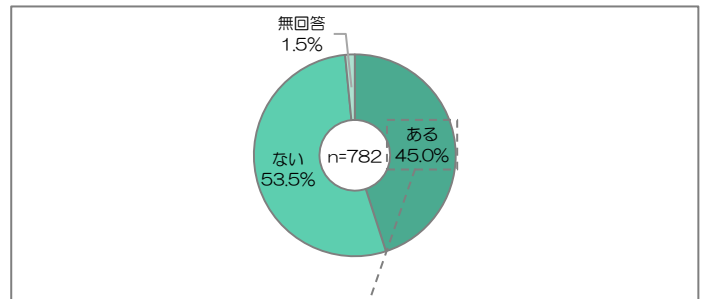
子育てに関して、日頃悩んでいること気になることとして「子どもの友達つきあいに関すること」が最も多く48.0%となっており、次いで「子どもの学習・習い事に対すること」が47.3%となっています。



その他・・・医療費に関すること（3）  
 タブレット等の視聴やゲームに関すること（2）  
 小児科に関すること（2）

お子さんの中学校進学に関する不安はありますか。（1つに○）

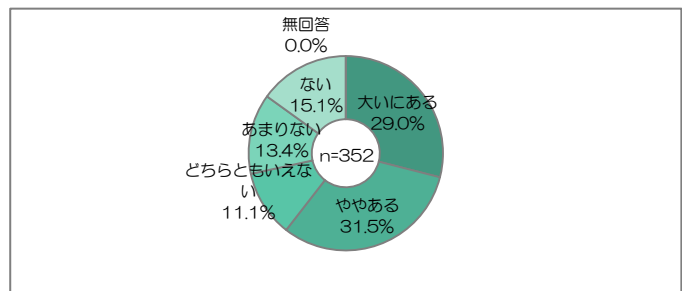
中学校進学に関する不安について「ある」と回答した方については45.0%となっています。



【中学進学に関する不安がある方のみ回答】

進学における金銭面での不安はありますか（1つに○）

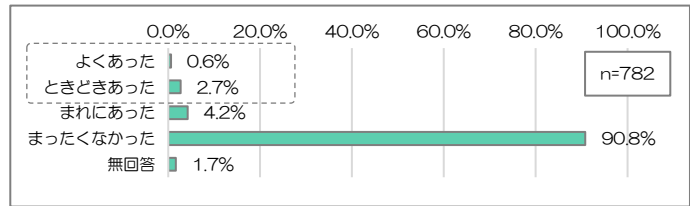
進学における金銭面での不安について、「大いにある」「ややある」と不安があると回答した方が60.5%とり、6割の方が金銭面について不安に思っています。



お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか（それぞれ、1つに○）

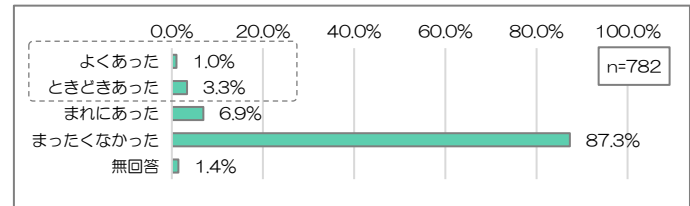
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 3.3%となっています。



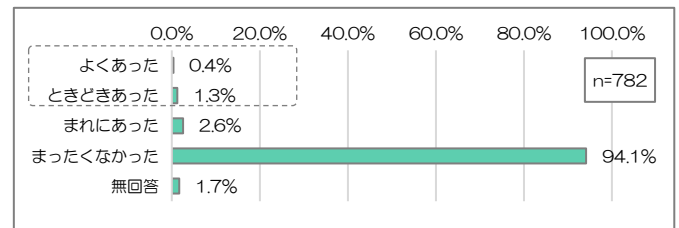
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 4.3%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

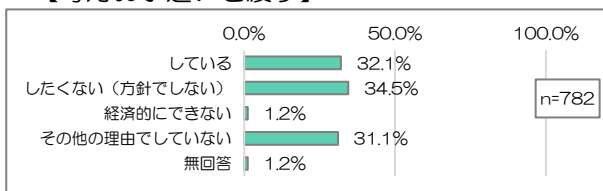
お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 1.7%となっています。



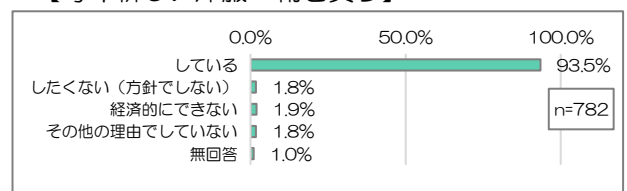
下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。（それぞれ、1つに○）

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が 98.0%と多くなっています。また、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」ことについても「している」と回答した方が 39.6%となり、約 4 割の方が学習塾に通わせている（または家庭教師に来てもらう）こととなっています。

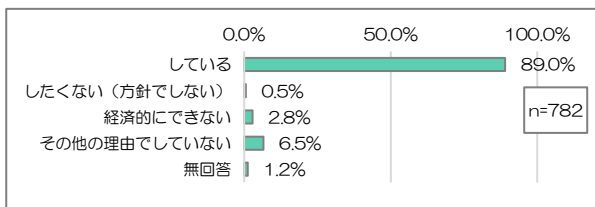
【毎月お小遣いを渡す】



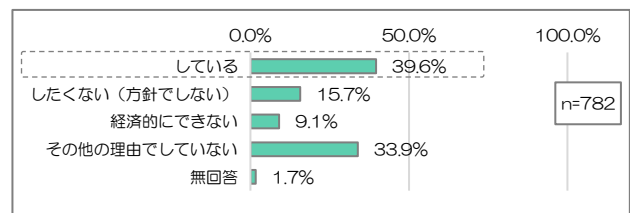
【毎年新しい洋服・靴を買う】



【習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】

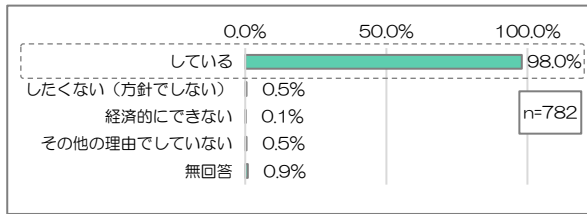


【学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）】

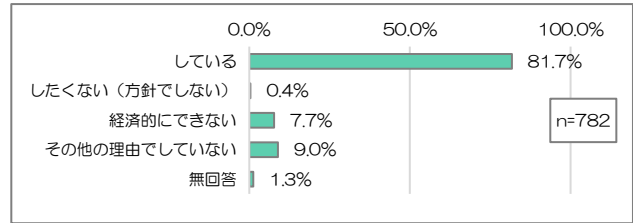


## 第2章 調査結果

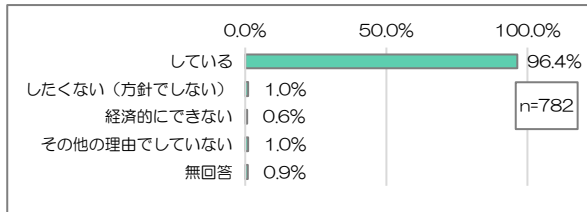
### 【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



### 【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】

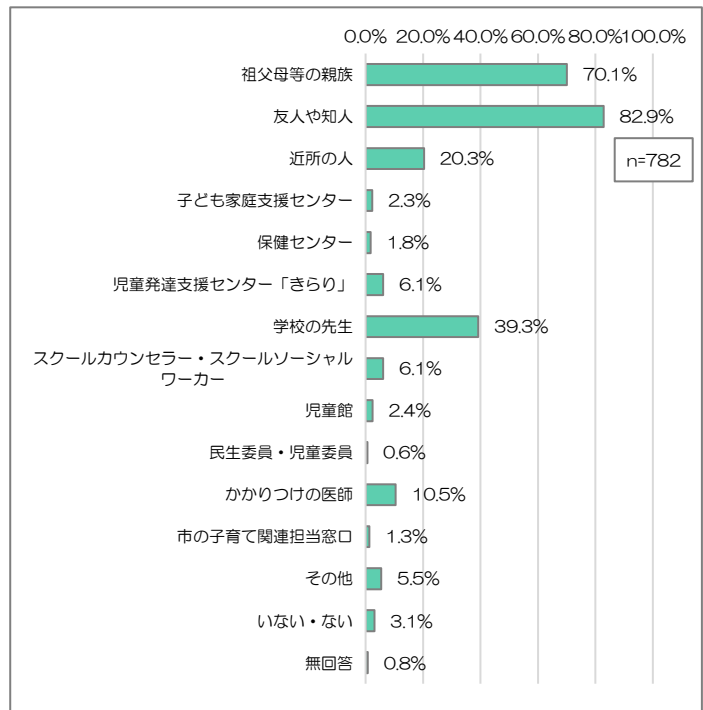


### 【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



### 子育て(教育を含む)をする上で、相談できる人や場所はありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育て(教育を含む)をする上での相談できる人や場所について「友人や知人」が最も多く82.9%となっています。



その他・・・学童の先生(13)  
配偶者(8)  
学習塾の先生(7)

子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「放課後等に勉強をサポートしてくれる場があるとよい」というご意見が多く、放課後の単なる居場所づくりではなく、教育の機会を増やしてほしいとの意向が強く見られています。

また一時預かりに関するサポートの要望も多く、特に病気などの緊急時における一時預かりについて充実してほしいとの意見が多く見られています。また放課後の居場所づくりとして、ボール遊びを含めた安全に利用できる場所や、また学童保育については4年生以降の利用、夏休みの間の利用について多くの利用意向が見られています。

<b>勉強のサポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後に勉強をサポートしてくれる場所・人、無料で学習を見てくれる場があるとよい（27）</li> <li>・専門的知識のある人による教育サポートがあるとよい（3）</li> <li>・楽器、陶芸や絵画など芸術系の学びの場があるとよい（3）</li> </ul>	36
<b>一時預かりの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気など緊急の時に、子どもを預けられる所があるとよい（19）</li> <li>・土曜、休日、夏休み、夜間に気軽に子どもを預けられる所があるとよい（6）</li> <li>・一時預かりに関する費用の負担軽減を行ってほしい（3）</li> </ul>	30
<b>放課後の居場所づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後から夕方まで子ども同士で遊べる安全な場所を提供してほしい（11）</li> <li>・児童館を小学校区ごとに整備する等してほしい（4）</li> <li>・子ども達が安心してボール遊びなど自由に遊べる場（公園）があったらよいと思う（4）</li> </ul>	26
<b>学童の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生以降小学生の間、学童を利用できるようにしてほしい（9）</li> <li>・夏休み等の長期休みに学童を利用できるようにしてほしい（6）</li> <li>・学童の要件、就労日数週4日を緩和してほしい（3）</li> </ul>	24
<b>気軽に話ができる機会の提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（10）</li> <li>・子育て先輩の親が話をする、話を聞いてあげる活動があるとよい（5）</li> <li>・地域ごとにいろいろな世代の方と交流がもてるような催しがあればよい（2）</li> </ul>	20
<b>相談しやすい環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、進学のことなど気軽に相談できる環境がほしい（13）</li> </ul>	18
<b>情報の提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援、子どもへの様々なプログラムやイベントについてもっと情報提供してほしい（6）</li> <li>・塾や習い事の情報が多く得られるとよいと思う（2）</li> <li>・よくある相談を公開したらいいのではと思う（2）</li> </ul>	17
<b>見守り・安全環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時のパトロール・見守りを強化してほしい（8）</li> <li>・防犯対策、セキュリティを強化してほしい（3）</li> </ul>	12
<b>医療費補助</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費の補助を中学卒業（高校）までにしてほしい（6）</li> </ul>	9

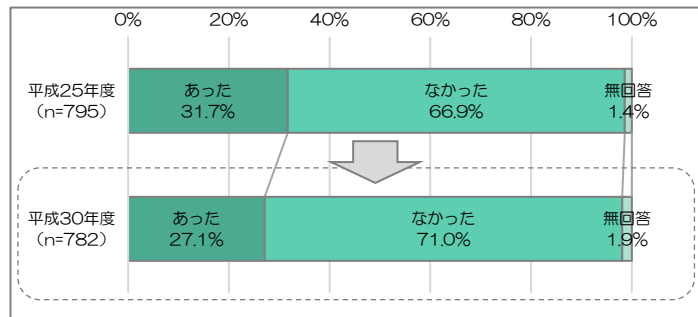
## 第2章 調査結果

<b>教育負担金補助</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育にかかる金額負担（塾代等）を補助してほしい（3）</li><li>・所得制限を緩和してほしい（3）</li></ul>	9
<b>障がい児・発達障がい児サポートの充実</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・障がい児サポートサービスを充実してほしい（3）</li><li>・発達障がいに関する相談支援の充実とサポートサービスの充実（2）</li></ul>	6

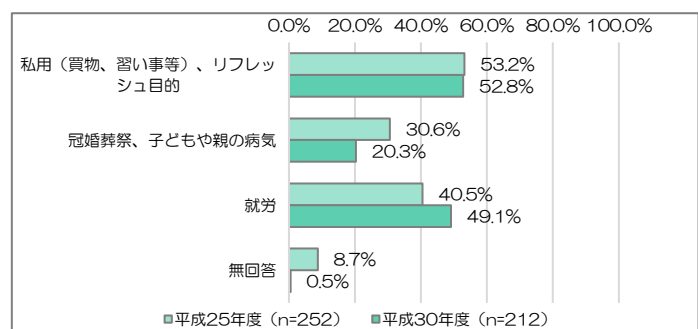
4 お子さんの一時預かりのことについて

お子さんについて、この1年間で私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(1つに〇)

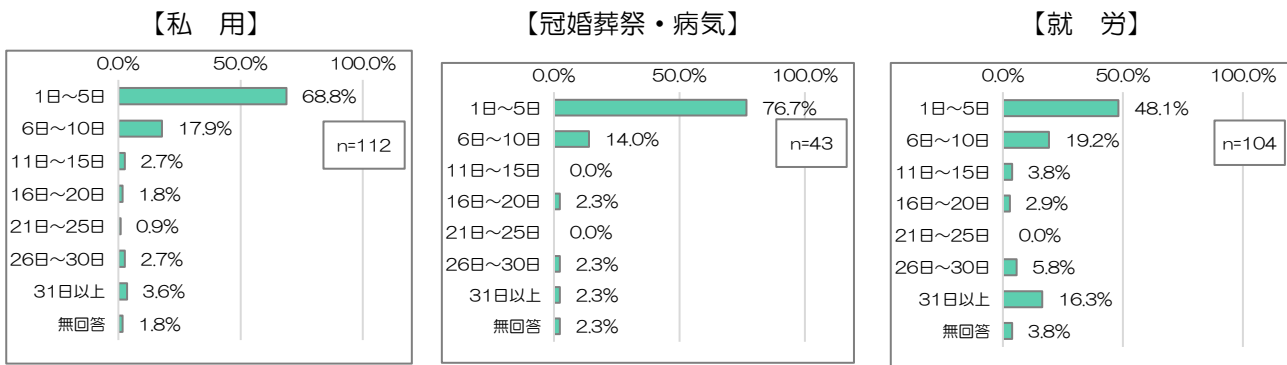
お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあったかについて、27.1%の方が「あった」と回答しています。平成25年度調査と比較すると、一時的に預けたことがあったと回答した方について4.6%減少しています。



また、その目的として「私用」が最も多く52.8%となる一方、「就労のため」も49.1%と多くなっています。平成25年度調査と比較すると、「就労のため」が8.6%増加しています。

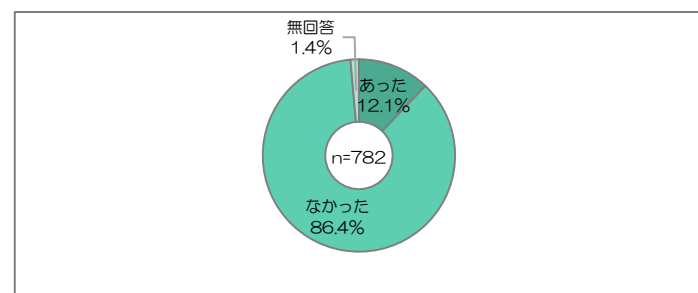


またそれぞれの目的ごとの1年間の一時的に預けた日数については以下のとおりとなっています。



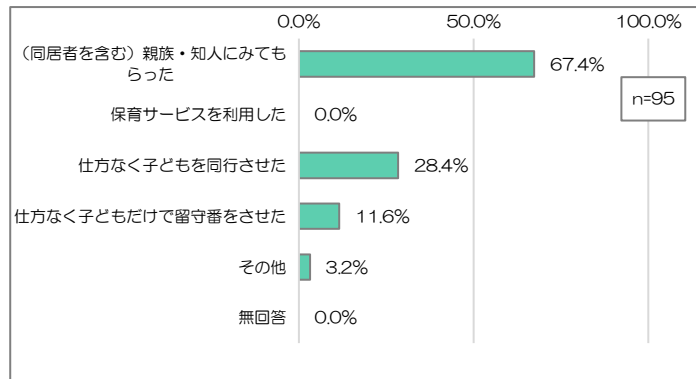
この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先がみつからなかった場合も含みます)。(1つに〇)

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、12.1%の方が「あった」と回答しています。

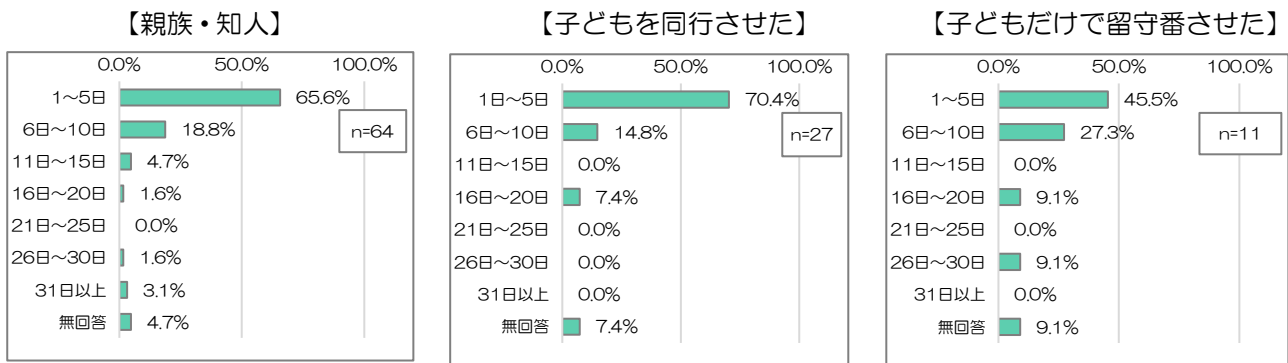


## 第2章 調査結果

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法として、「親族・知人に見てもらった」が一番多く67.4%、一方で「仕方なく子どもを同行させた」が28.4%となっています。また「保育サービス」については利用がなかったとなっています。



またそれぞれの対処方法ごとの1年間の日数については以下のとおりとなっています。

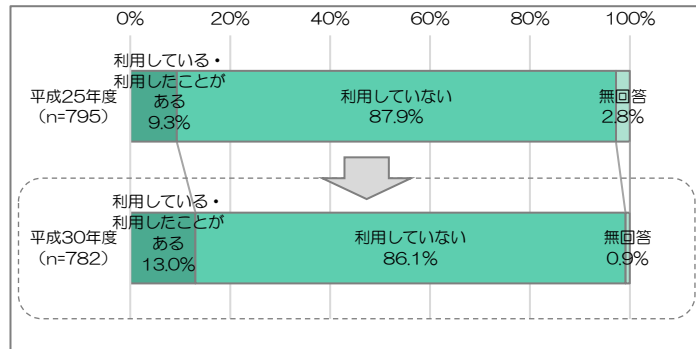




5 ファミリー・サポート・センターの利用について

ファミリー・サポート・センターを利用していますか、または、過去に利用したことがありますか。(1つに〇)

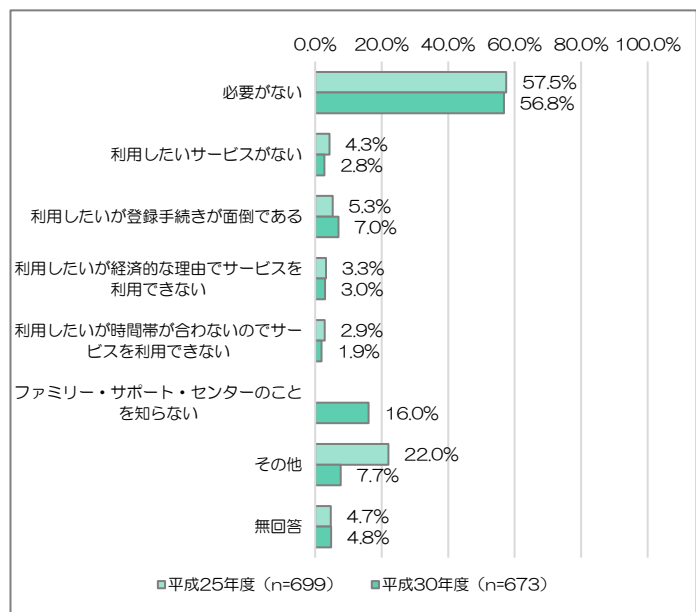
ファミリー・サポート・センターについて「利用している・利用したことがある」と回答した方は13.0%となっています。また、平成25年度調査と比較すると3.7%利用率が高まっています。



【ファミリー・サポート・センターを利用していない・利用したことが無い方のみ回答】

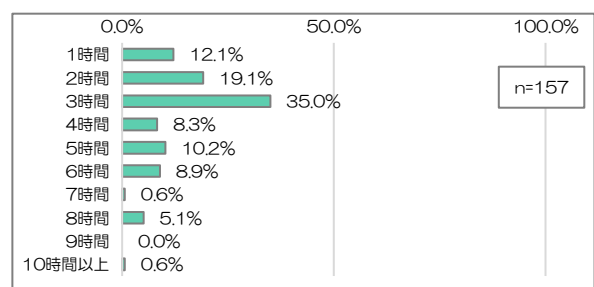
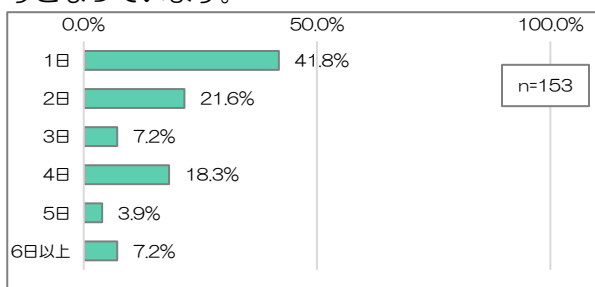
ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は何ですか。(1つに〇)

ファミリー・サポート・センターを利用していない理由として「必要がない」が最も多く56.8%となる一方、「ファミリー・サポート・センターのことを知らないから」(平成30年度調査より選択肢を追加)が16.0%となっています。



その他・・・他人に子どもをお願いする等に抵抗がある(4)  
人見知りがあり不安(4)  
急な時に利用できない(3)

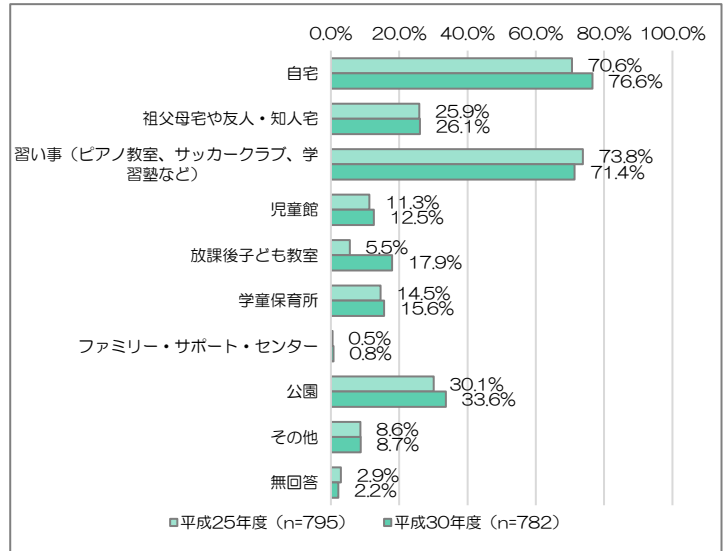
また、今は利用していないが、できれば利用したい場合の日数と1回あたりの時間については以下のとおりとなっています。



6 お子さんの放課後の過ごし方について

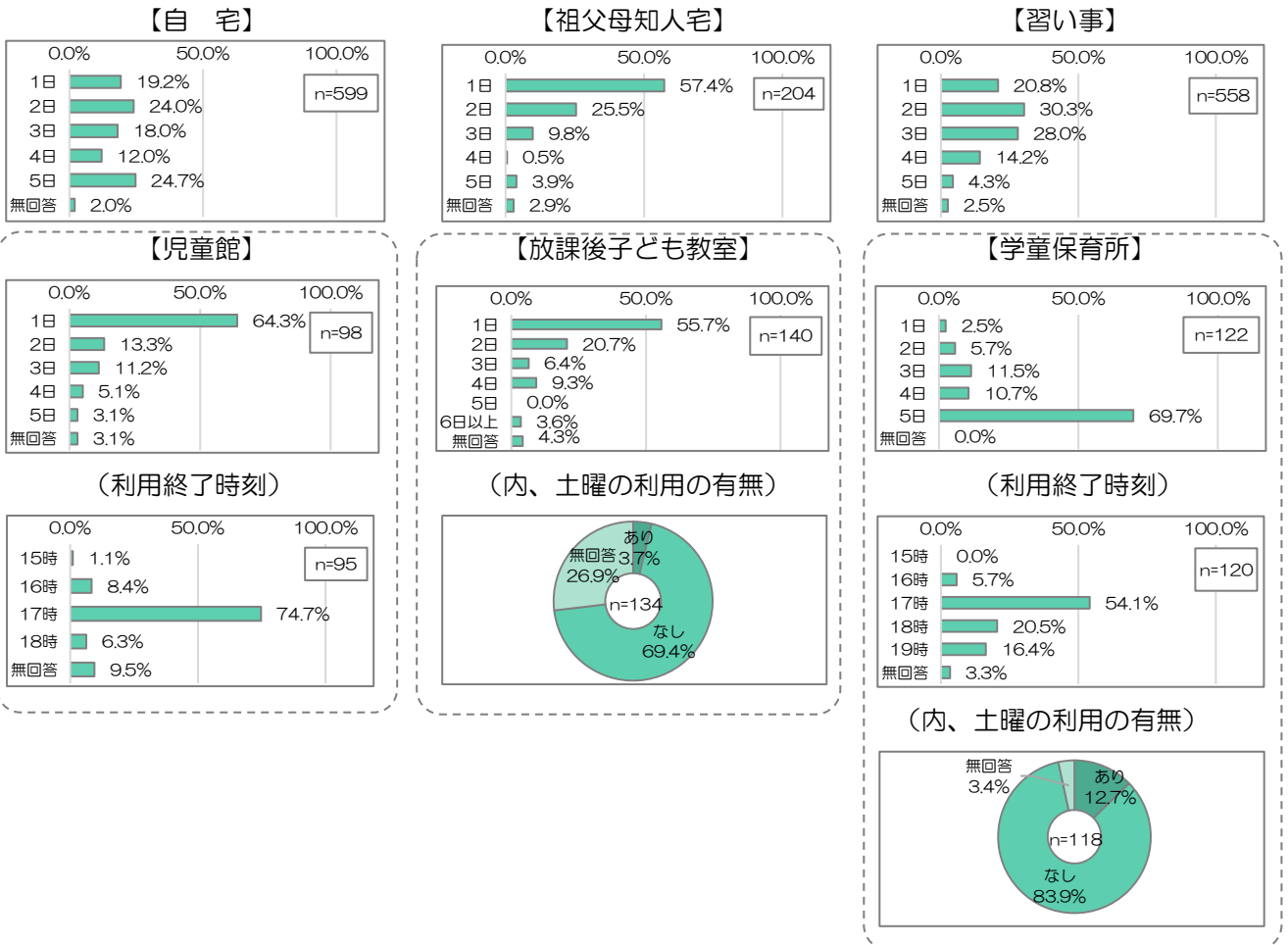
お子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後（平日の小学校終了後）の時間で過ごす場所として「自宅」が最も多く76.6%となっており、次いで「習い事」が71.4%となっています。7割以上の児童が習い事で放課後の時間を過ごしています。また、平成25年度調査と比較すると「放課後子ども教室」で過ごす割合が12.4%伸びており、放課後を過ごす場所として利用割合が高まっています。



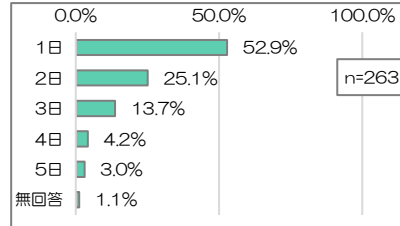
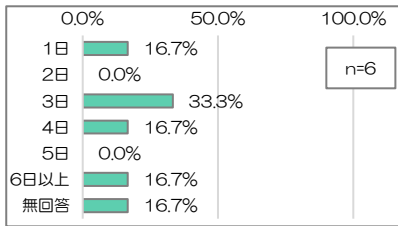
その他・・・放課後等デイサービス (9)  
 プレーパーク (8)  
 友人宅 (8)

また、それぞれの一週間当たりの日数については以下のとおりとなっています。



【ファミリー・サポート・センター】

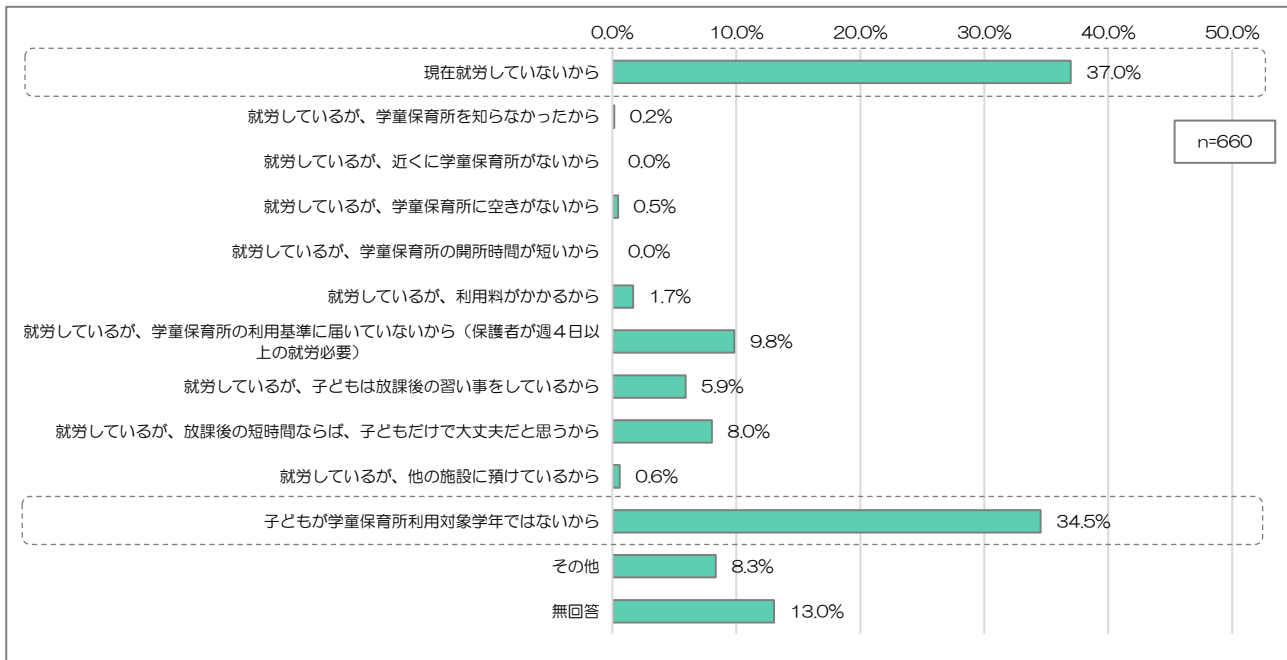
【公園】



【学童保育所を利用されていない方のみ回答】

学童保育を利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

学童保育を利用していない理由として「現在就労していないから」が最も多く 37.0%となっており、次いで「子どもが利用対象学年ではないから」が 34.5%となっています。

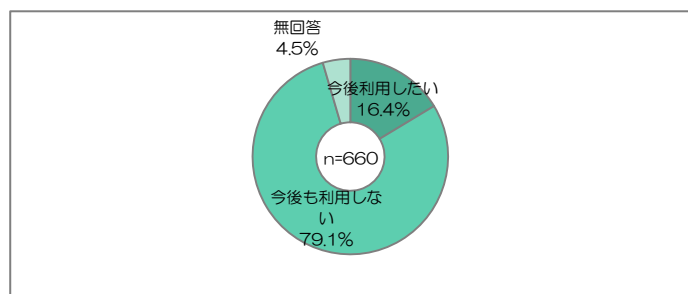


その他・・・就労しているが、下校時間までには帰ってくるため（20）  
親族に見てもらっているため（3）

【学童保育所を利用されていない方のみ回答】

お子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。（1つに○）

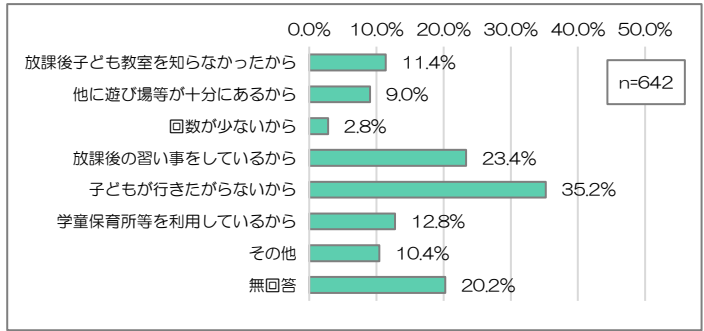
学童保育所を利用されていない方における、今後の学童保育所の利用意向について、16.4%の方が「今後利用したい」と回答しています。



【放課後子ども教室を利用されていない方のみ回答】

放課後子ども教室を利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

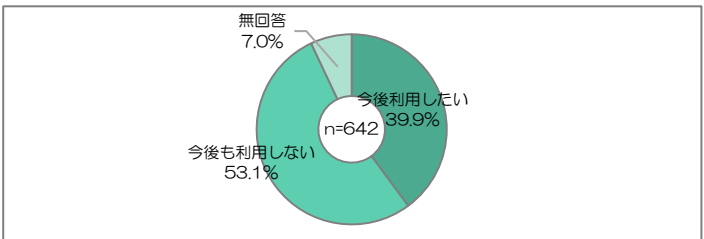
放課後子ども教室を利用していない理由として「子どもが行きたがらないから」が最も多く35.2%となっています。



その他・・・私立小学校に通っているため（4）  
障がいがあり利用しにくい（4）  
送迎ができないため（2）

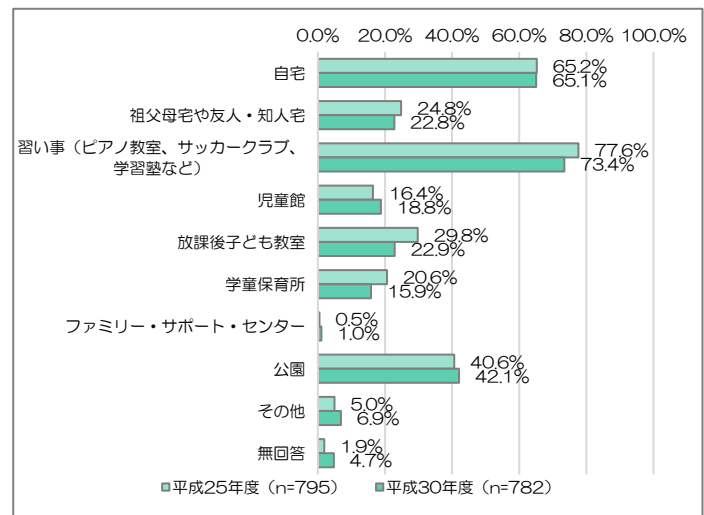
お子さんについて、今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。（1つに○）

放課後子ども教室を利用されていない方における、放課後子ども教室の利用意向について、39.9%の方が「今後利用したい」と回答しています。



お子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

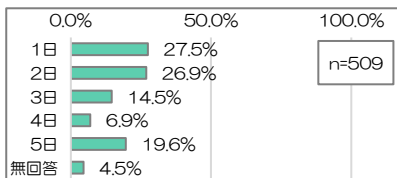
今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、「習い事」と回答した方が最も多く73.4%となっています。現状としては自宅で過ごしているお子さんが、今後はできるだけ習い事で放課後を過ごしてほしいという希望が多いことが垣間見えます。



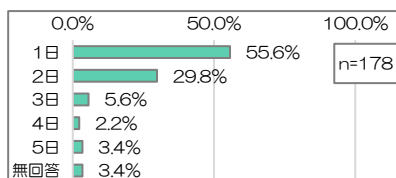
その他・・・校庭開放（10）  
放課後等デイサービス（10）  
プレーパーク（7）  
東センター（4）

また、それぞれの一週間あたりの日数については以下のとおりとなっています。

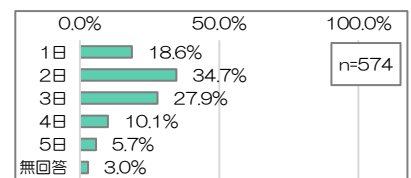
【自宅】

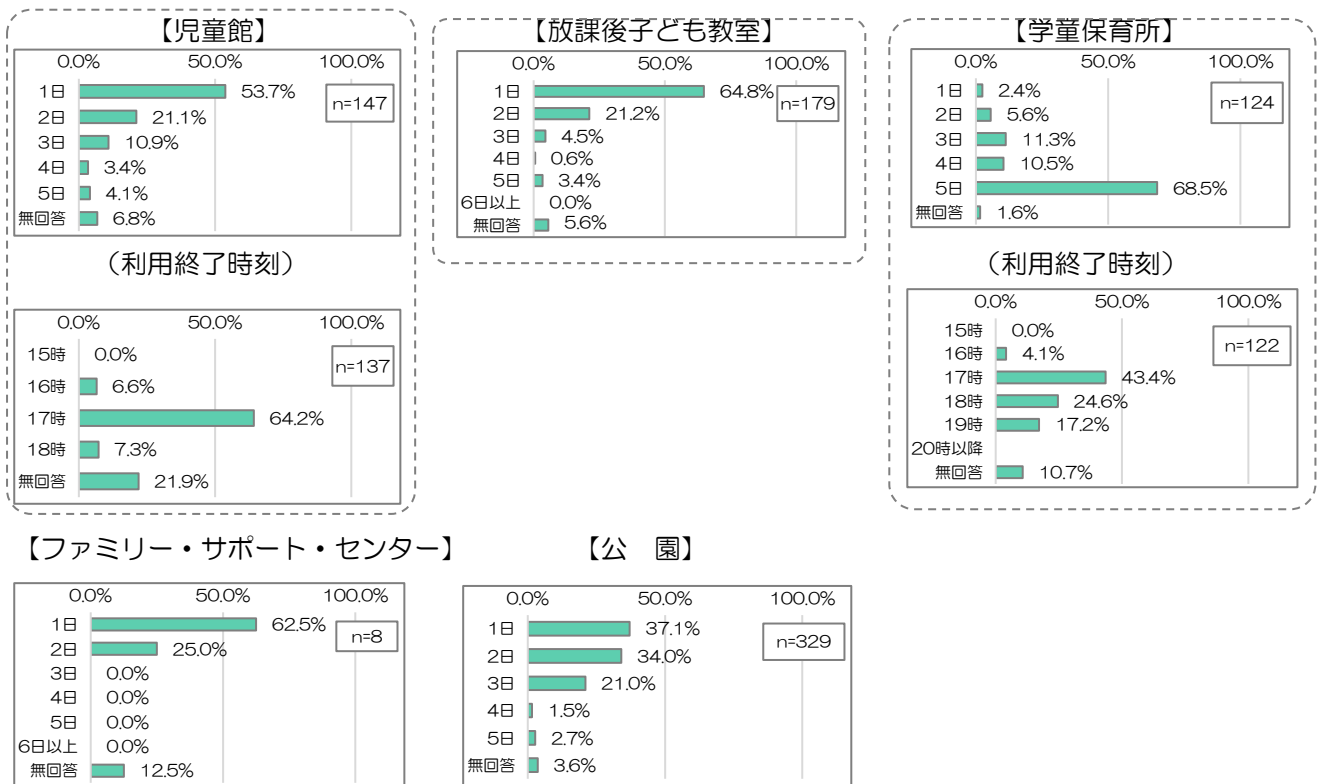


【祖父母知人宅】



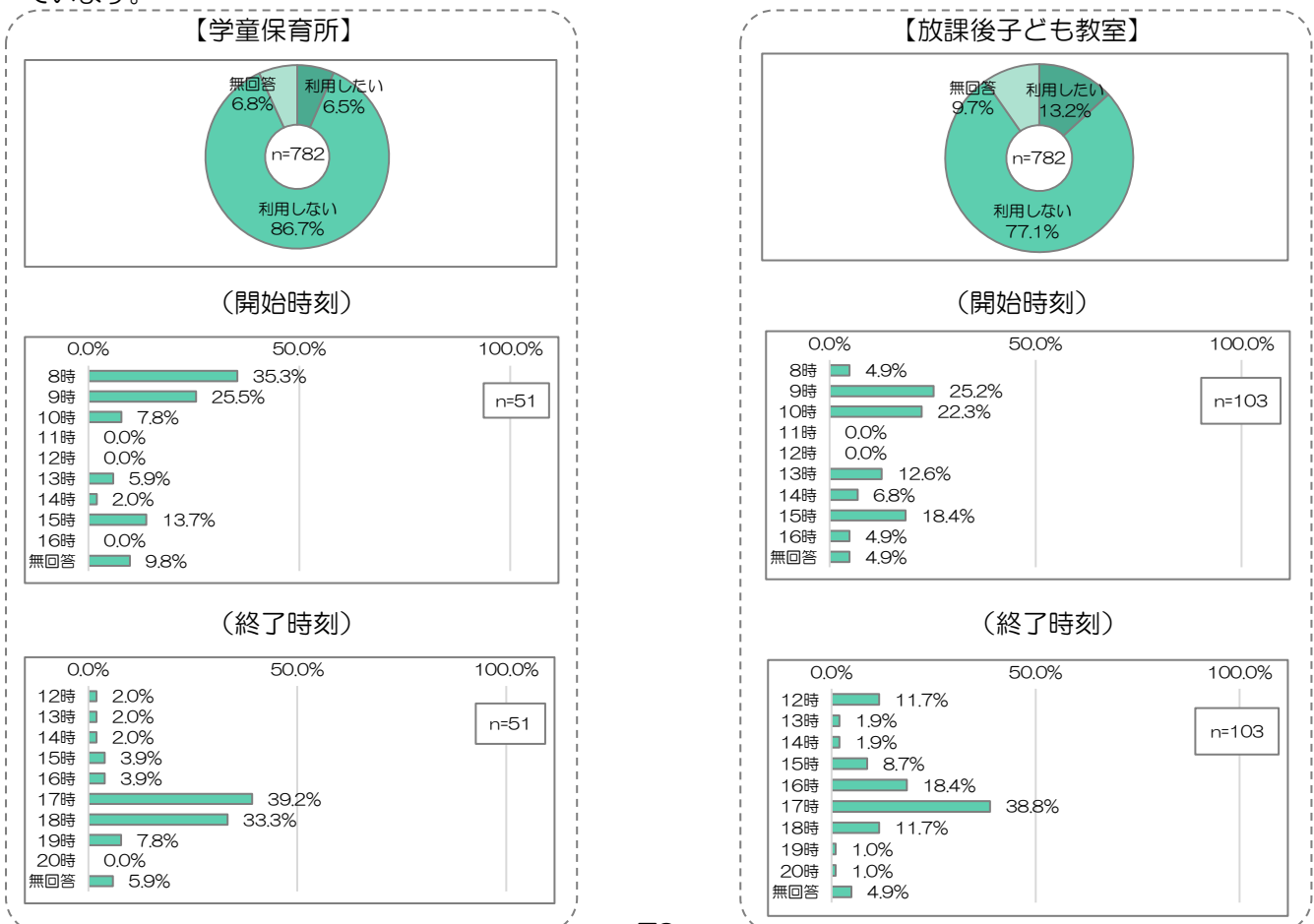
【習い事】





お子さんについて、日曜日・祝日に、「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望はありますか。  
(1つに〇)

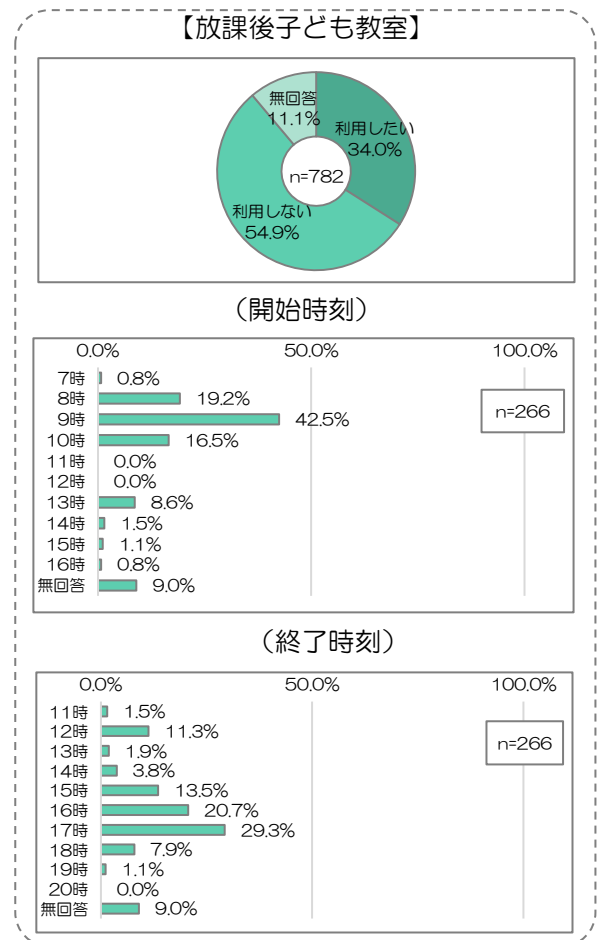
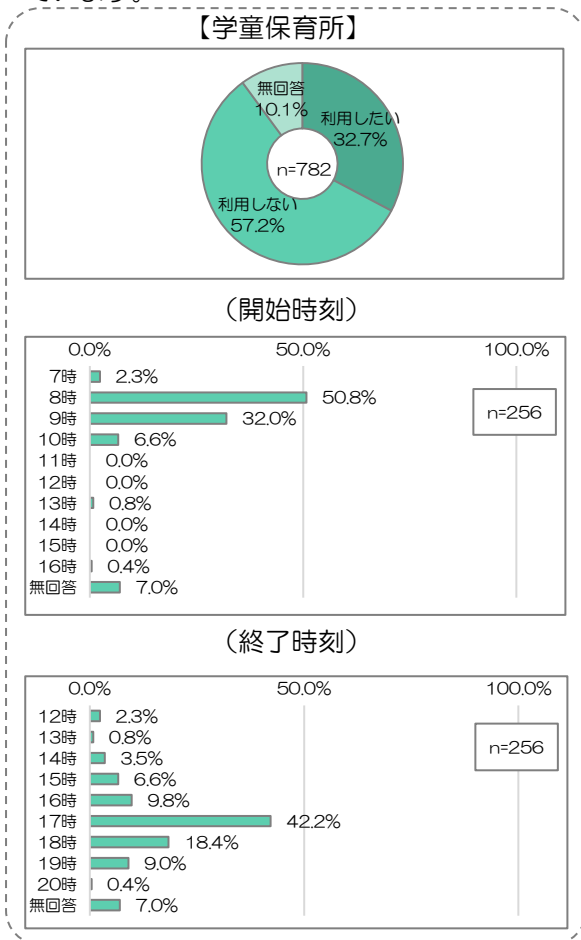
日曜日・祝日での「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望については以下のとおりとなっています。



## 第2章 調査結果

お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望はありますか。（1つに○）

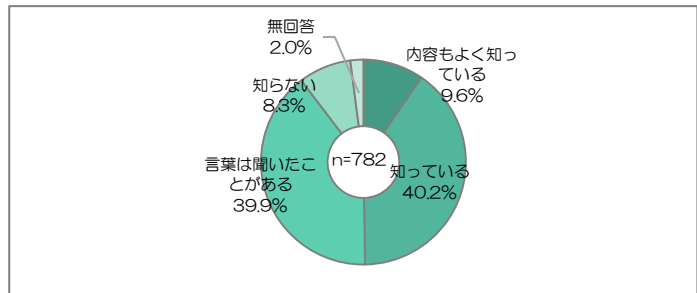
長期休暇期間中の「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望については以下のとおりとなっています。



7 児童虐待に関することについて

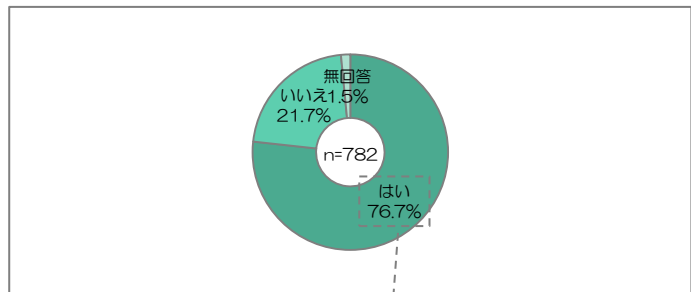
「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）を知っていますか。（1つに○）

「児童虐待の防止等に関する法律」について、「内容も知っている」「知っている」と回答した方が49.8%となり約5割の方が知っていると回答しています。

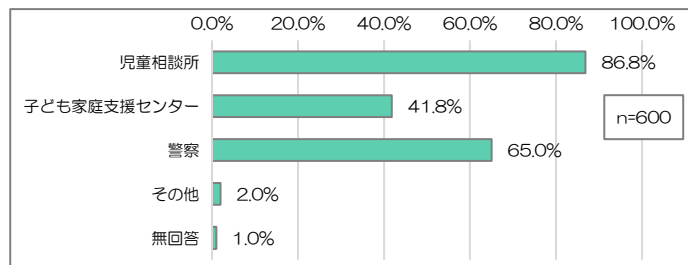


児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（1つに○）

児童虐待を発見した場合の通報先について「知っている」と回答した方の割合は76.7%となっています。一方、「知らない」と回答した方は21.7%と2割以上となっています。



また、通報先として考えられる場所として「児童相談所」が最も多く86.8%となっています。一方、「子ども家庭支援センター」は41.8%となっています。

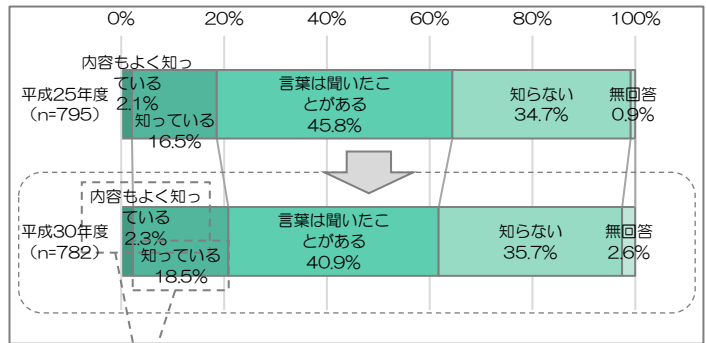


その他・・・学校（9）  
市役所（3）  
福祉事務所（2）

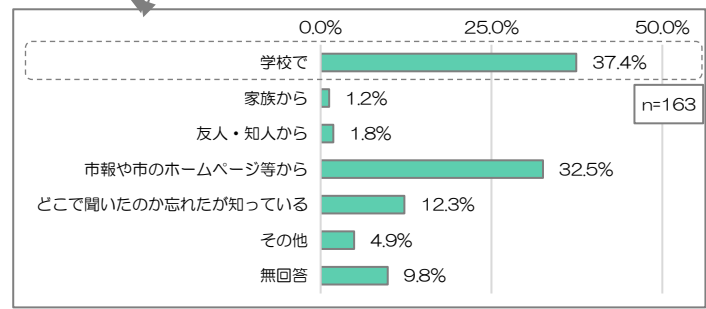
8 小金井市子どもの権利に関する条例について

「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに○)

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が20.8%となり、認知率については約2割となっています。また平成25年度調査と比較しても、認知率についてはあまり高まってはいません。



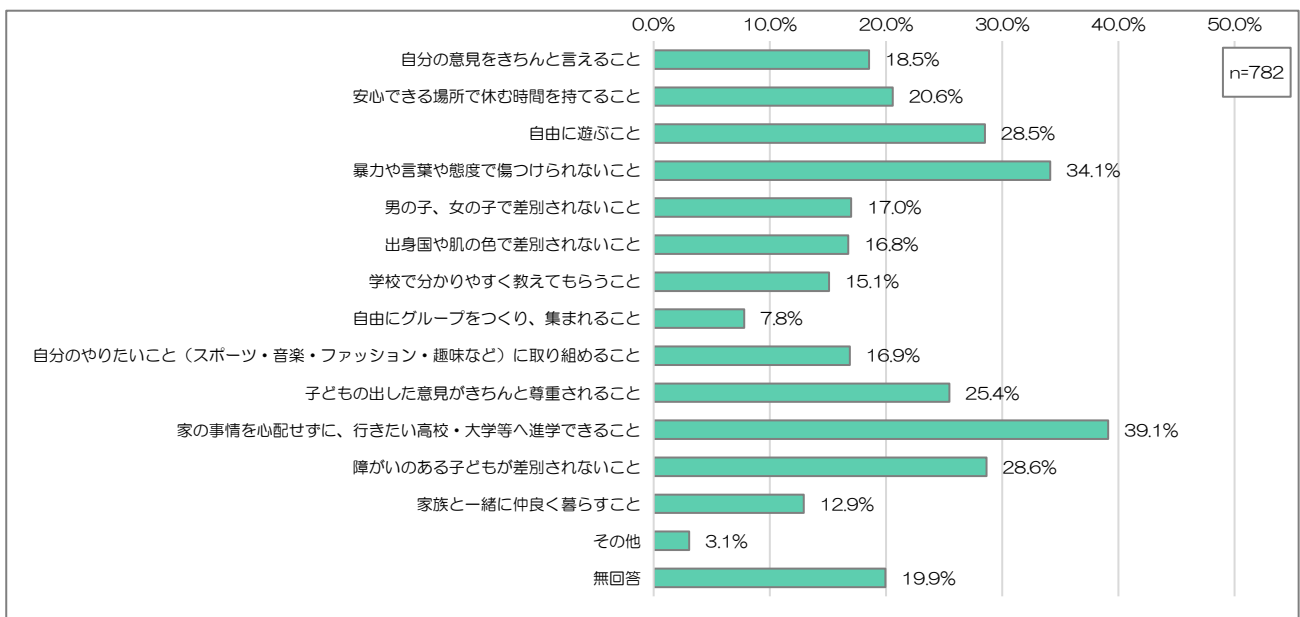
また、「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く37.4%となっており、次いで「市報や市のホームページ」が32.5%となっています。



その他・・・パンフレット・チラシ (3)

ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」と思う子どもの権利について、「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学等へ進学できること」が最も多く39.1%となっています。



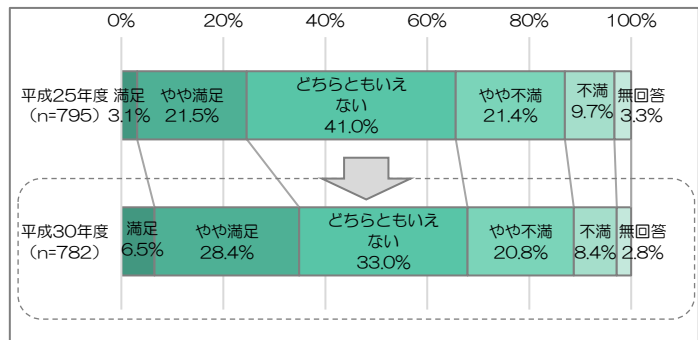
その他・・・特になし (8)



9 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

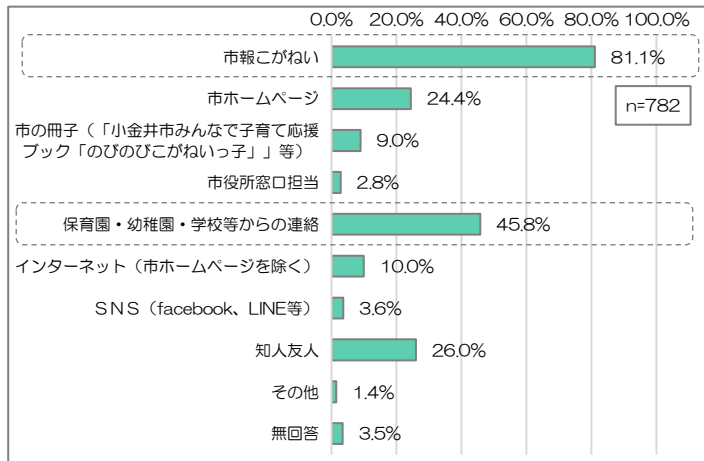
小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。(1つに〇)

小金井市の子育ての環境や支援について「満足」「やや満足」と回答した方について34.9%となっています。また平成25年度調査と比較すると満足度については10.3%向上しています。



小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。(あてはまるものすべてに〇)

子育て支援策に関する情報の入手先として「市報こがねい」が最も多く81.1%となり、次いで「保育園・幼稚園・学校等からの連絡」が45.8%となっています。



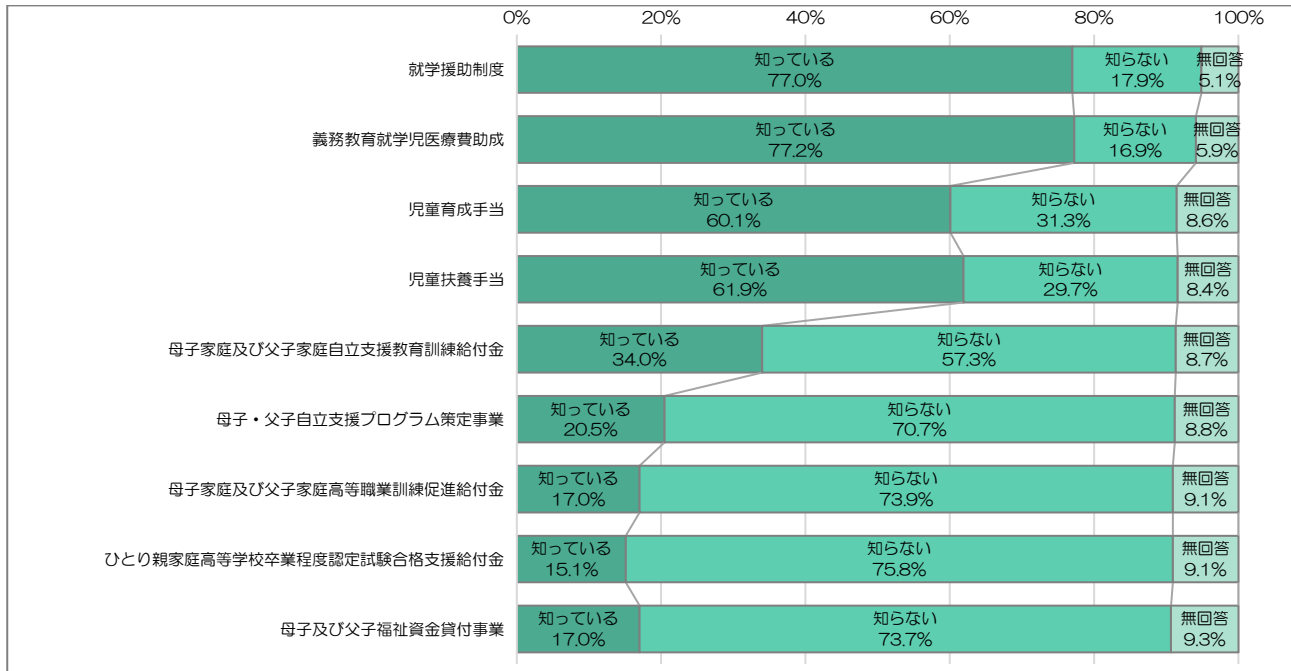
その他・・・きりり(2)

## 第2章 調査結果

下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに〇）

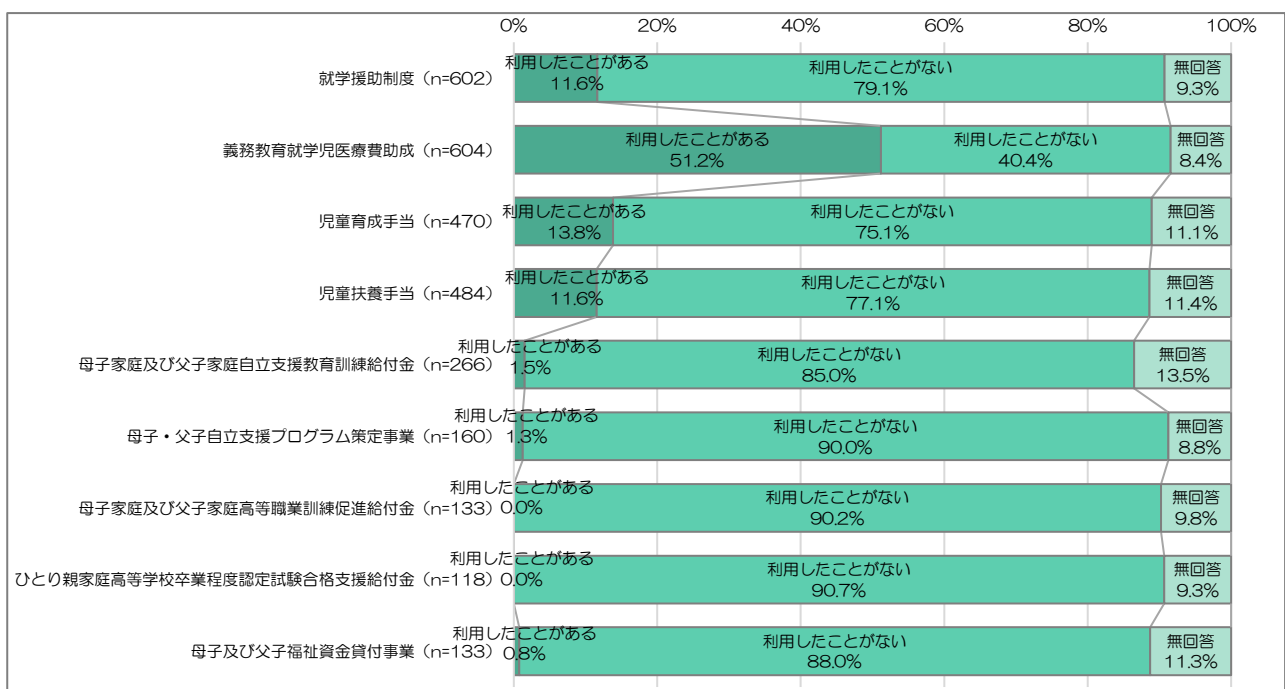
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が77.2%、「就学援助制度」が77.0%と高くなっています。一方、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」が15.1%、「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」「母子及び父子福祉資金貸付事業」が17.0%と認知度が低くなっています。

### 【知っている】(n=782)



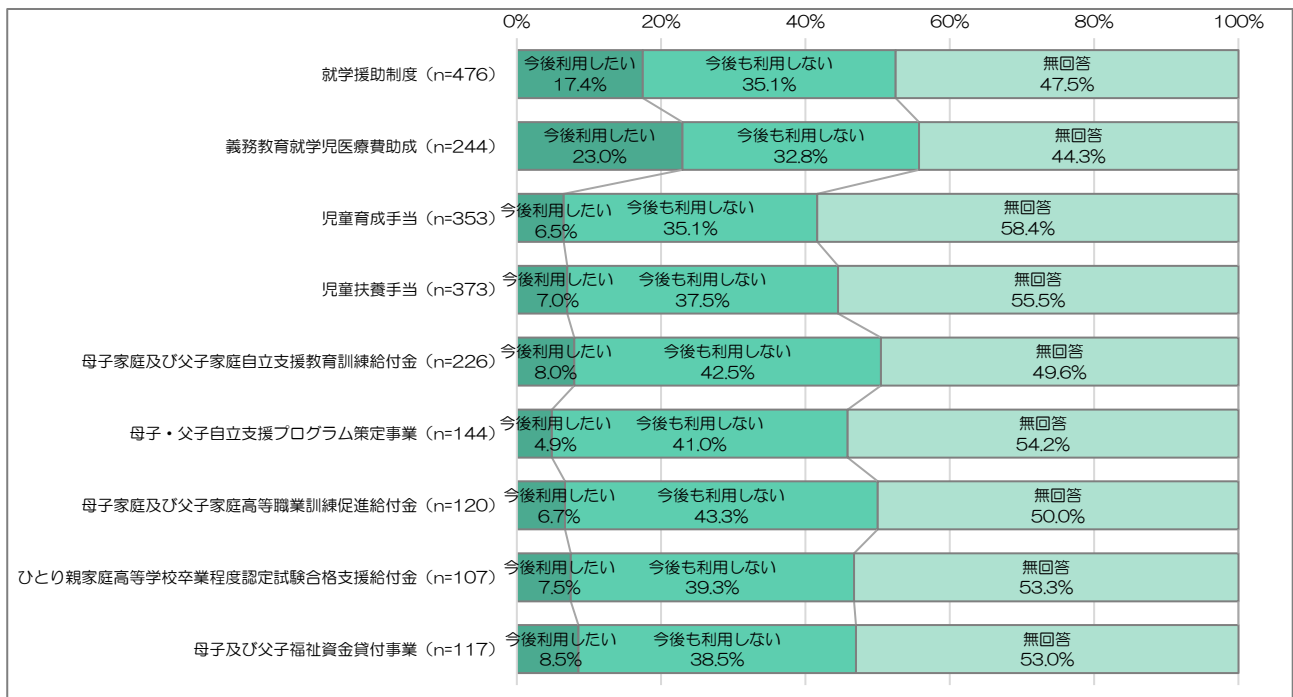
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が51.2%と高い利用率となっています。

### 【これまでに利用したことがあるか】



今は利用していないが、今後利用したいかについては「義務教育就学児医療費助成」が23.0%、「就学援助制度」が17.4%となっています。

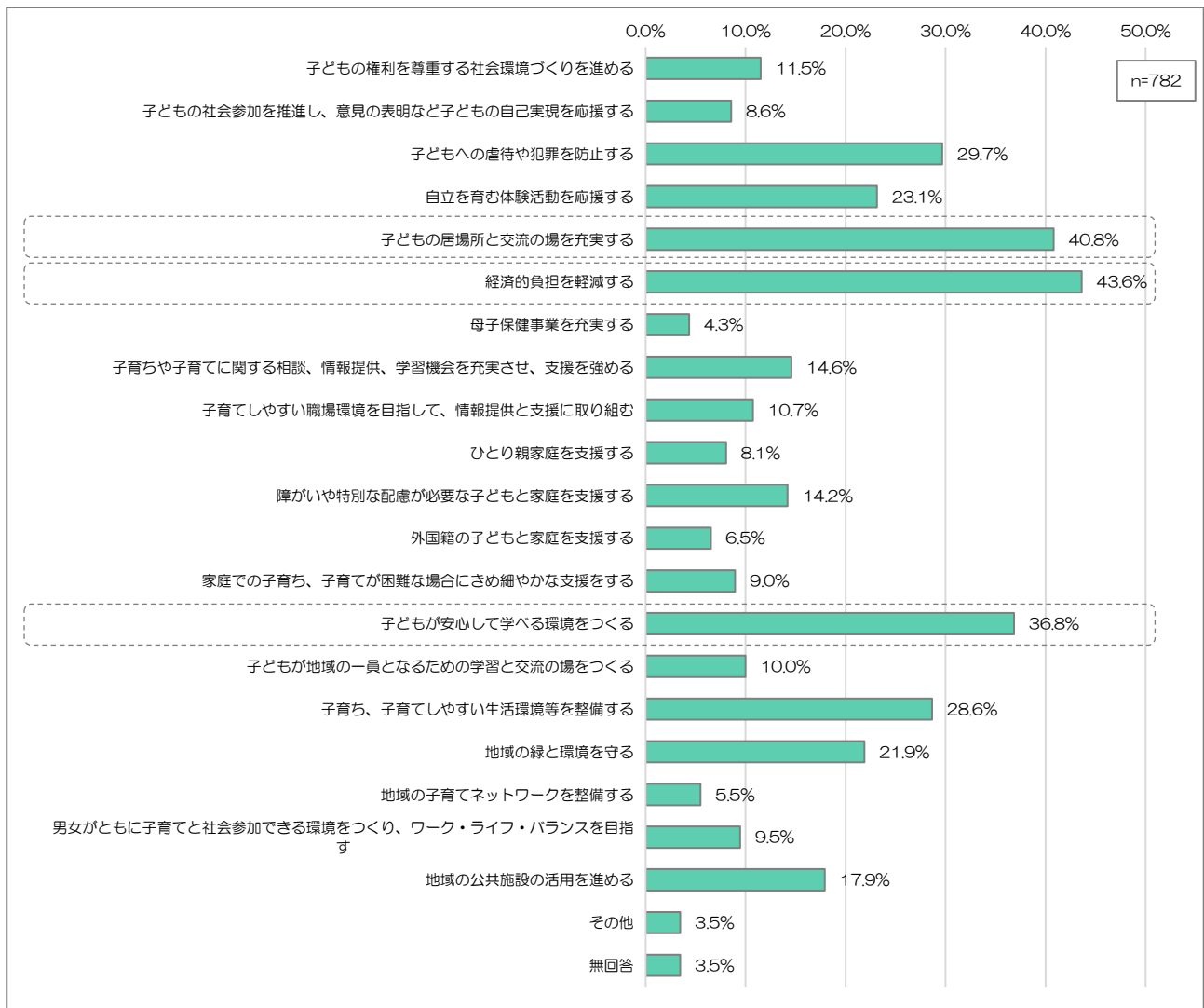
【今後利用したいか】



## 第2章 調査結果

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに○）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして「経済的負担を軽減する」が最も多く 43.6%となっています。次いで「子どもの居場所と交流の場を充実する」が 40.8%、「子どもが安心して学べる環境をつくる」が 36.8%となっており、子どもの居場所や学ぶ場所の確保が望まれています。



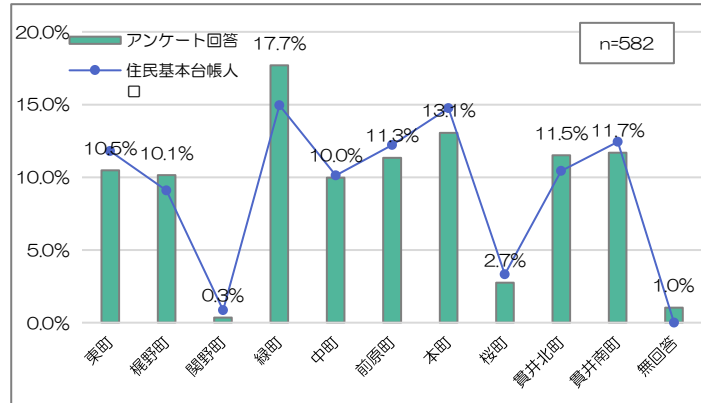
その他・・・医療費補助の拡充（3）  
 図書館の充実や学級文庫・学校図書の実施（3）  
 公園の環境整備（3）

Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査

1 回答者属性

お住まいの地区はどこですか。(1つに〇)

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の地区別人口割合と比較すると、緑町からの回答割合が他地区と比較して高くなっています。



<参考>

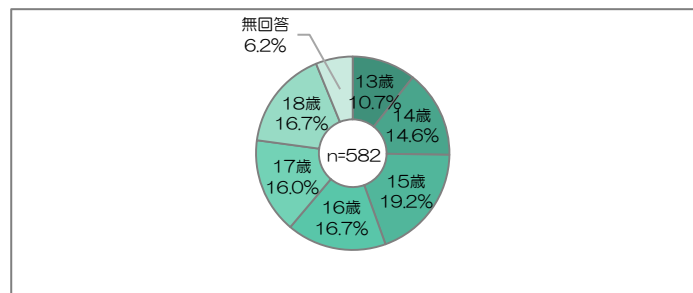
住民基本台帳による町別(13歳~18歳)人口 (平成30年12月1日現在)

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	眞井北町	眞井南町	合計
13~18歳人口(人)	694	535	51	879	595	718	867	196	613	731	5,879
割合(%)	11.8%	9.1%	0.9%	15.0%	10.1%	12.2%	14.7%	3.3%	10.4%	12.4%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

お子さんの生年月を記入してください。(数字を記入) (平成30年12月1日現在)

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。



<参考>

住民基本台帳による年齢別人口 (平成30年12月1日現在)

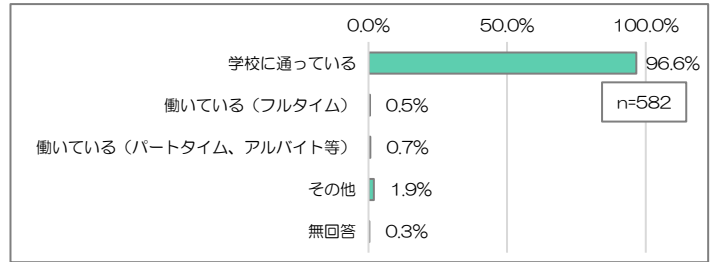
年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
人口(人)	975	993	964	959	953	935	5,779
割合(%)	14.7%	15.0%	14.6%	14.5%	14.4%	14.1%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より  
割合は独自計算

## 第2章 調査結果

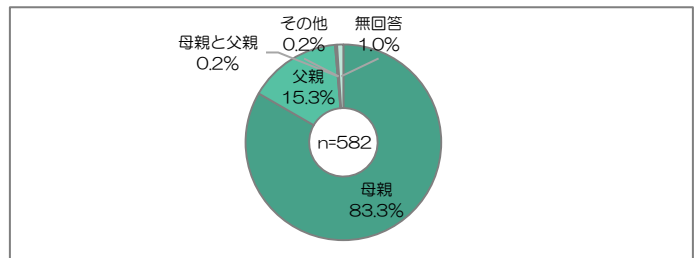
お子さんは、学校に通っていますか。働いていますか。（1つに○）

アンケート回答者のお子さんについて、「学校に通っている」が96.6%、「働いている（フルタイム+パートタイム）」方が1.2%となっています。



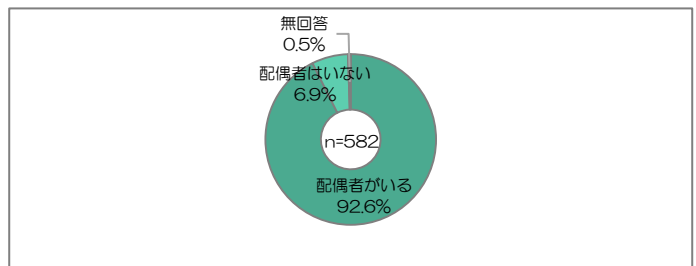
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

調査票の回答者について「母親」が最も多く83.3%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は0.2%となっています。



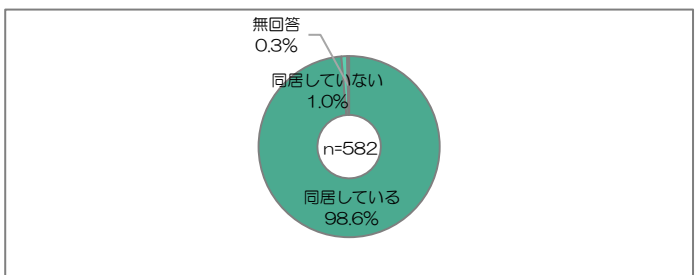
この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は6.9%となっています。



お子さんと同居していますか。（1つに○）

お子さんとの同居割合について「同居している」と回答した方は98.6%となっています。

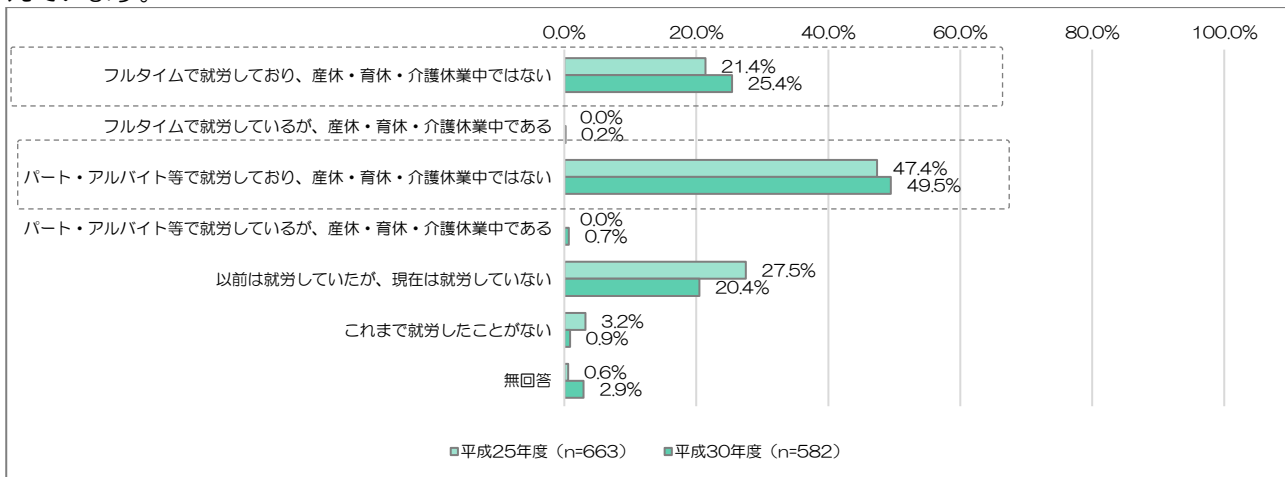


## 2 お子さんの保護者の就労状況について

お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を母親・父親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方はご自身に関する設問のみお答えください）（1つに〇）

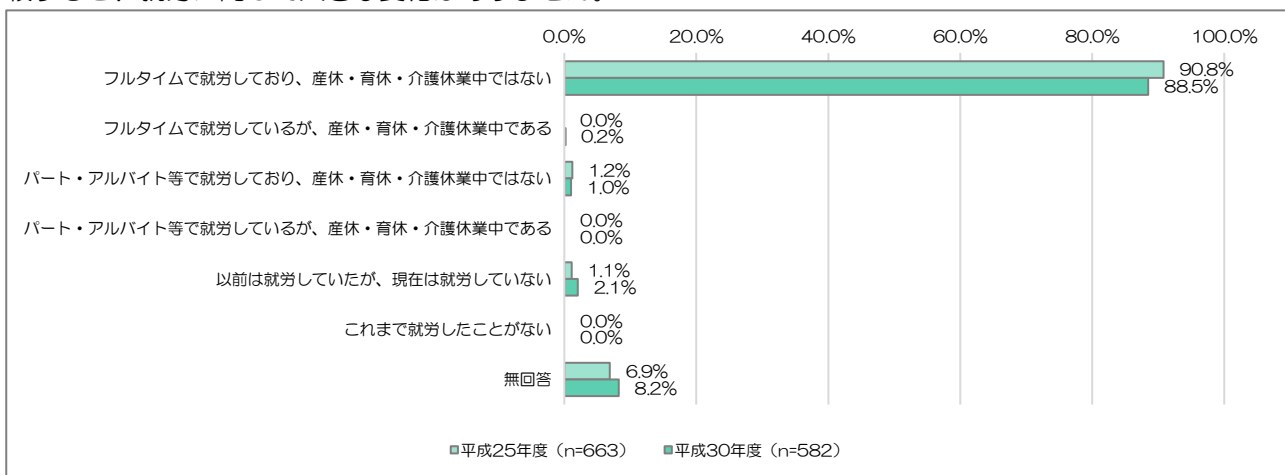
## 【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が25.4%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が49.5%となり、休業せず就労している方の割合が74.9%と7割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイムでの就労」の方が4.0%、また「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」方が0.2%増えており、フルタイムでの就労率が4.2%増えています。



## 【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが88.5%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が1.0%となっています。平成25年度調査と比較すると、就労に関して大きな変化はありません。



【家族類型】

＜フルタイム共働き＞

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

＜フルタイム・パートタイム共働き＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

＜パートタイム共働き＞

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

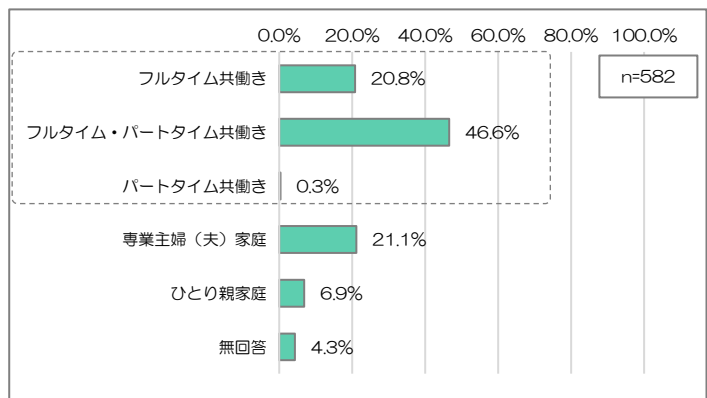
＜専業主婦（夫）＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

＜一人親家庭＞

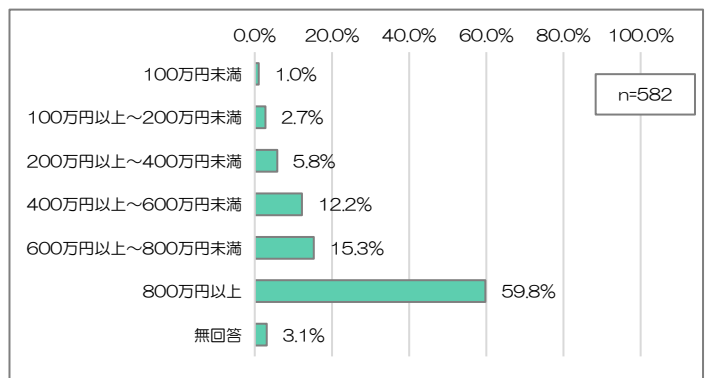
「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多く、46.6%となっています。「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は67.4%と、7割近くとなっています。



現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。（1つに○）

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、59.8%と、約6割近くとなっています。



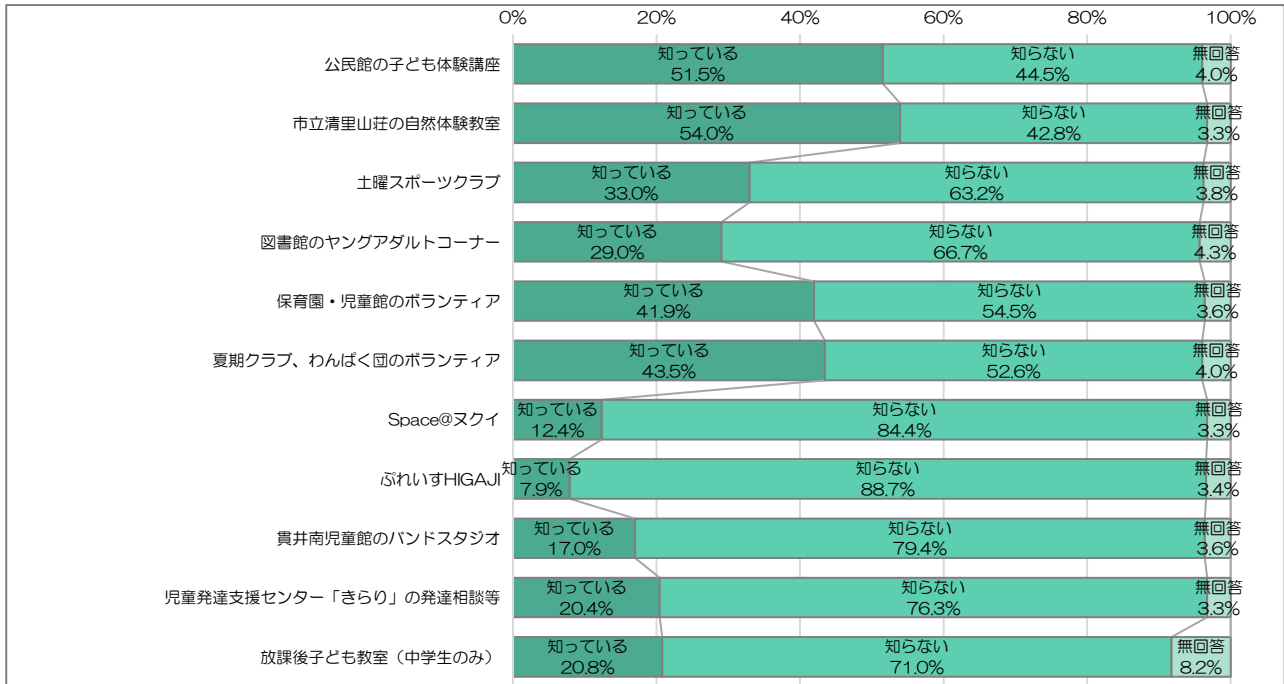


### 3 子育て全般について

下記のサービスや事業について知っているか、これまでに利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は今後も利用させたいかお答えください。(1つに〇)

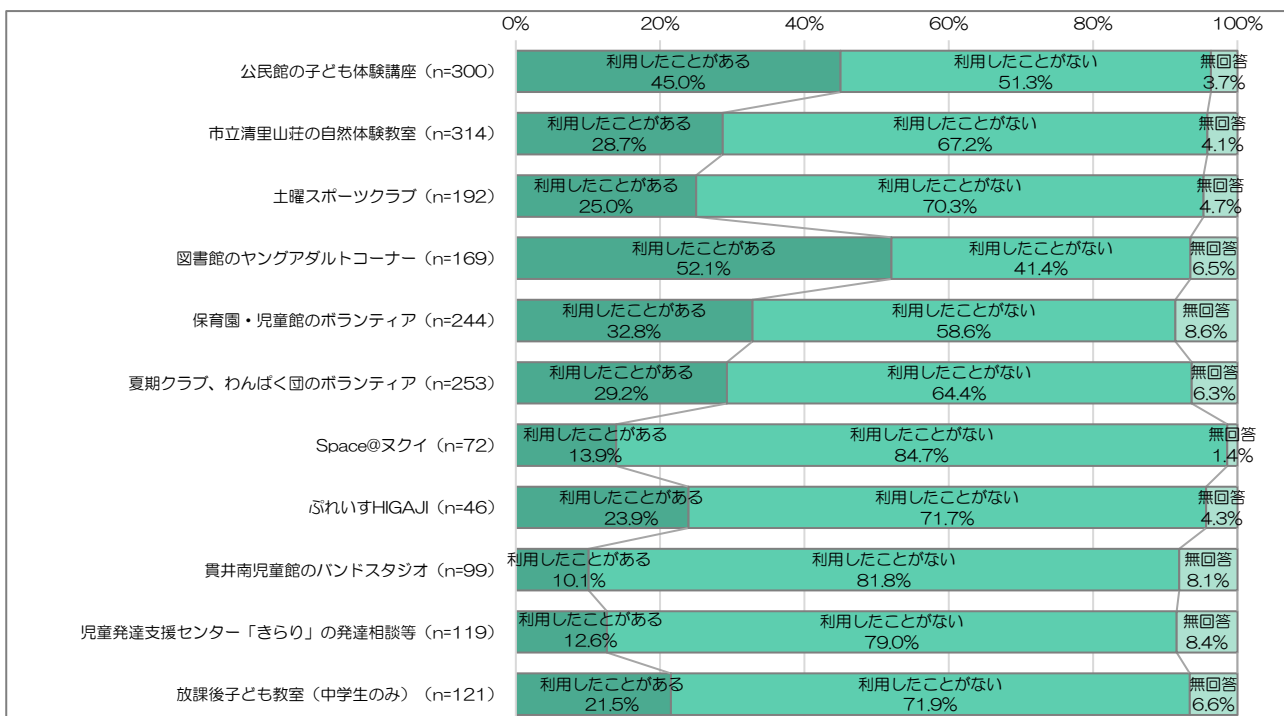
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立清里山荘の自然体験教室」が54.0%と最も高く、次いで「公民館の子ども体験講座」が51.5%となっています。一方、「ふれいす HIGAJI」が7.9%、「Space@ヌクイ」が12.4%と認知度が低くなっています。

【知っている】(n=582)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が52.1%と高い利用率となっています。一方、「貫井南児童館のバンドスタジオ」が10.1%と利用率が低くなっています。

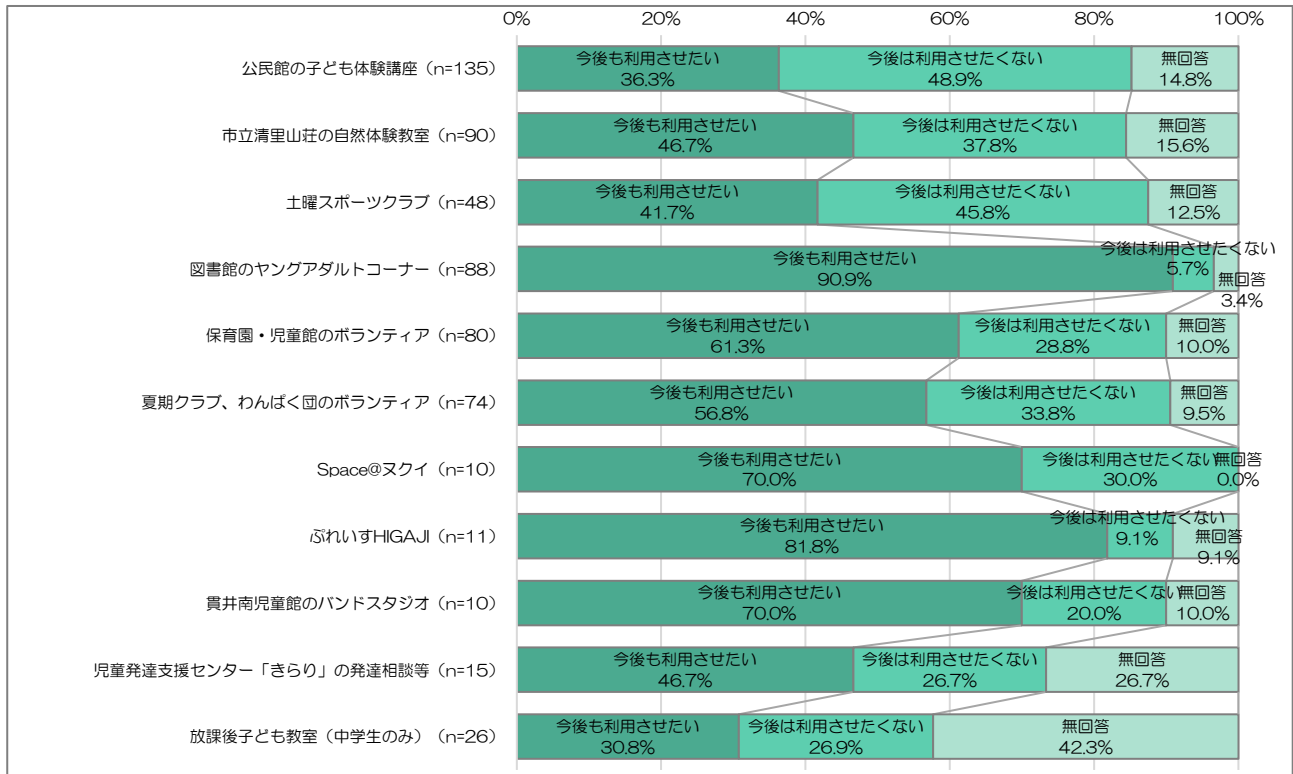
【これまでに利用したことがあるか】



## 第2章 調査結果

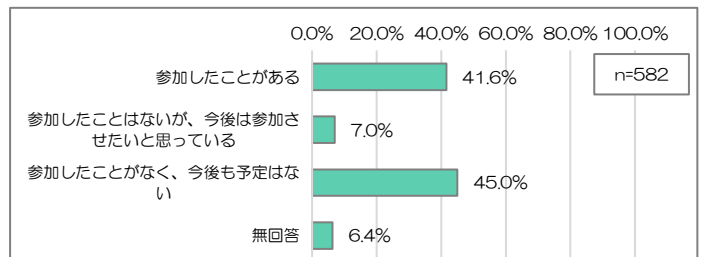
各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が90.9%、「ぶれいす HIGAJI」が81.8%と、再度の利用希望率が高くなっています。

### 【今後も利用したいか】



おさんは地域活動や、学校や習い事以外でのグループ活動などに参加されたことがありますか。(1つに○)

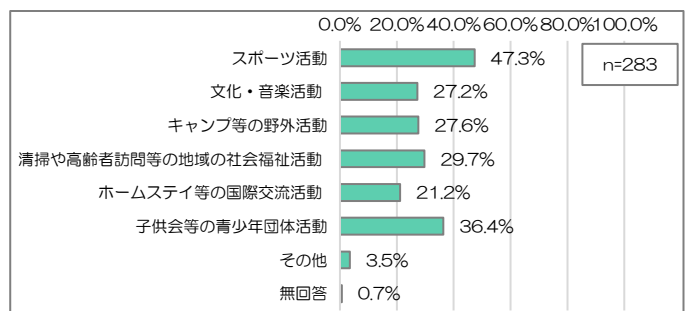
地域活動やグループ活動などの参加状況について、「参加したことがある」と回答した方が41.6%と半数以下となっています。



### 【地域活動やグループ活動などに参加したことがあるまたは今後参加させたいと思う方のみ回答】

参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

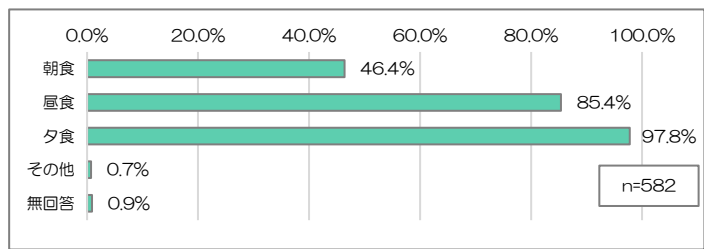
参加したことがある、あるいは参加させたい活動として「スポーツ活動」が最も多く47.3%となっています。



その他・・・地域のボランティア (3)

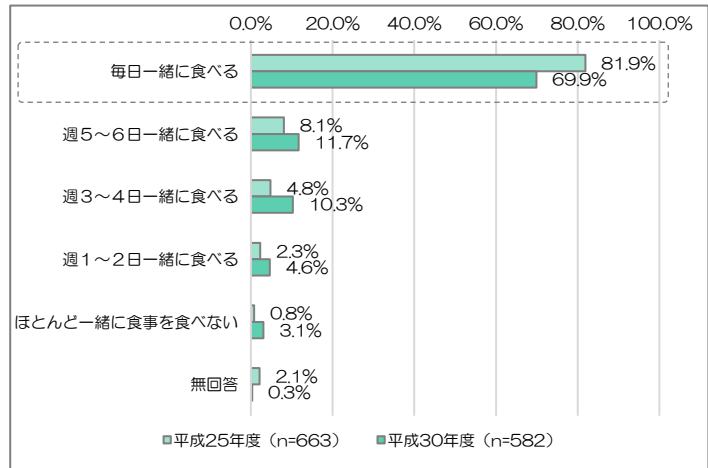
お子さんは平日に、1日のうちで主食と主菜と副菜のそろった食事をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1日のうちで主食と主菜と副菜のそろった食事をとっているかについて、夕食でとっていると回答した方は97.8%となっています。



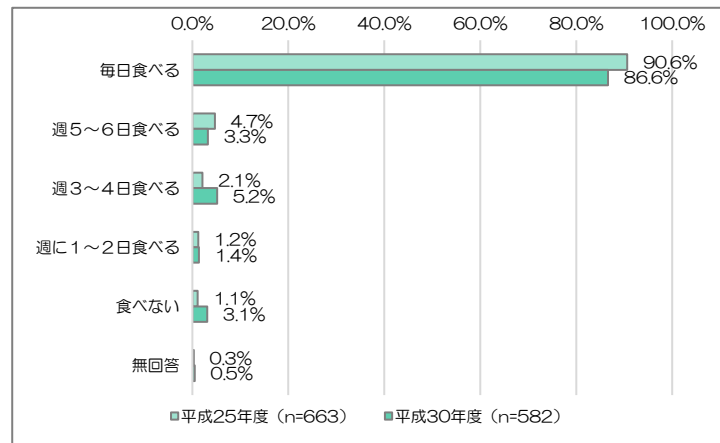
お子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。(1つに○)

食事の際、家族の誰かと一緒にとっているかについて、「毎日一緒に食べる」と回答した方は69.9%となっており、平成25年度調査と比較するとその割合が減っています。



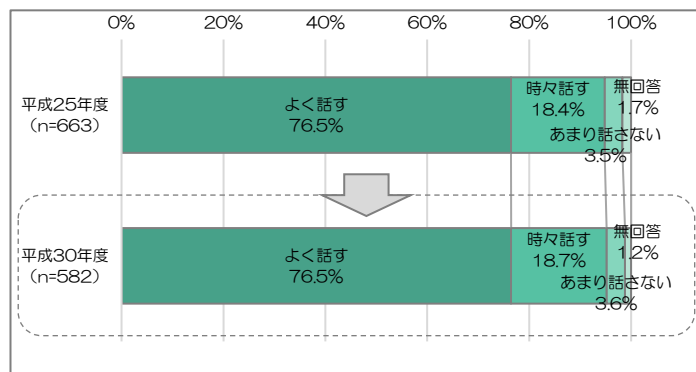
お子さんは、毎日朝食をとっていますか。(1つに○)

朝食について「毎日食べる」と回答した方は86.6%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



お子さんとよく話をしますか。(1つに○)

お子さんとの話について「よく話す」と回答した方は76.5%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。

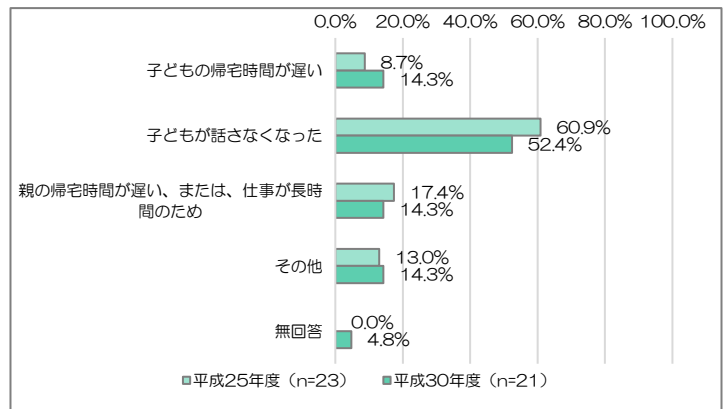


## 第2章 調査結果

### 【お子さんとあまり話さない方のみ回答】

あまり話さない理由はなんですか。（1つに〇）

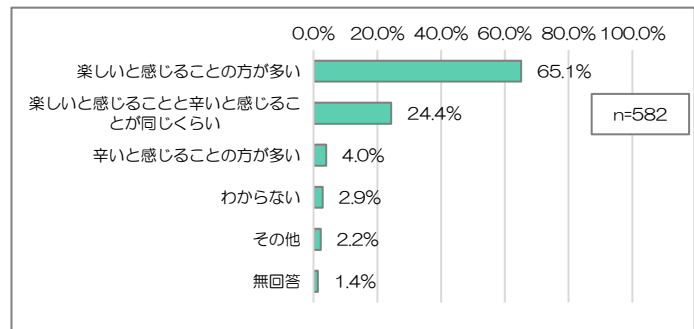
あまり話さない理由として「子どもが話さなくなった」が最も多く、52.4%となっています。平成 25 年度調査と比較すると「子どもの帰宅時間が遅い」を理由としている方の割合が5.6%多くなっています。



その他・・・家族と話すことを嫌がる (2)

子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（1つに〇）

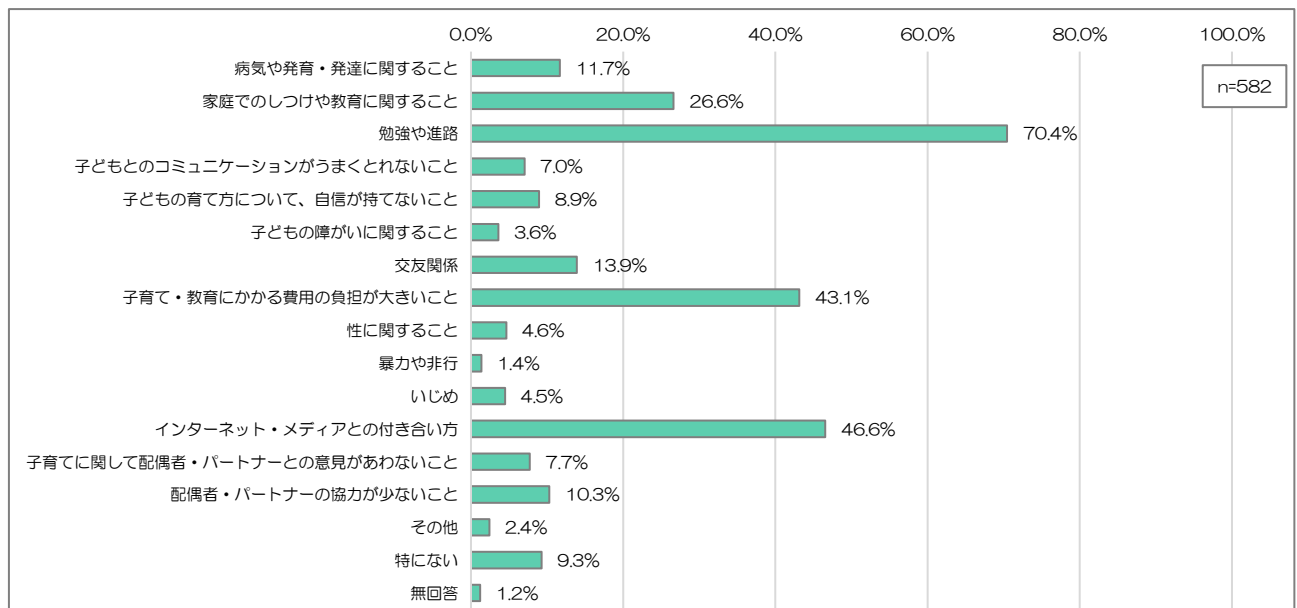
子育てを楽しんでいると感じるかについて、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した方が最も多く 65.1%となっています。



その他・・・辛いというより大変 (6)

現在、お子さんの教育や子育てのことでどのようなことに悩んだり、困ったりしていますか。（あてはまるものすべてに〇）

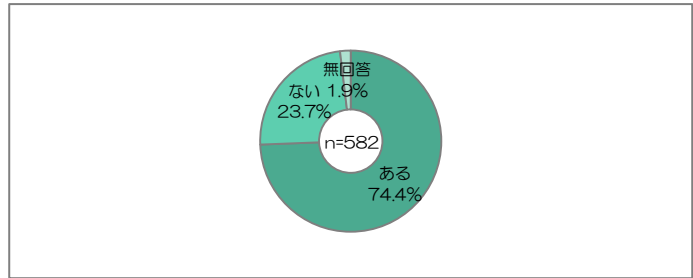
子育てに関して、日頃悩んでいること気になることとして「勉強や進路」が最も多く 70.4%となっており、次いで「インターネット・メディアとの付き合い方」が46.6%となっています。



その他・・・子どもの将来のこと (4)

お子さんの高校・大学等への進学に関する不安はありますか。(1つに〇)

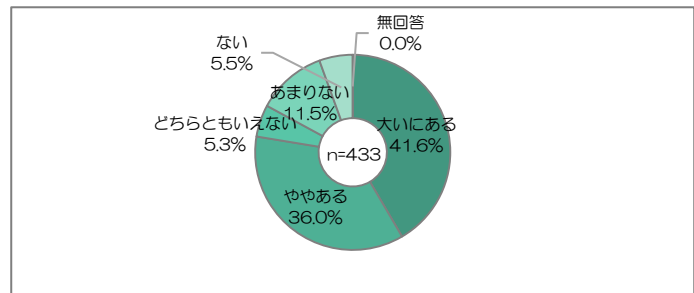
高校・大学等への進学に関する不安について「ある」と回答した方については74.4%となっています。



【高校・大学等への進学に関する不安がある方のみ回答】

進学における金銭面での不安はありますか。(1つに〇)

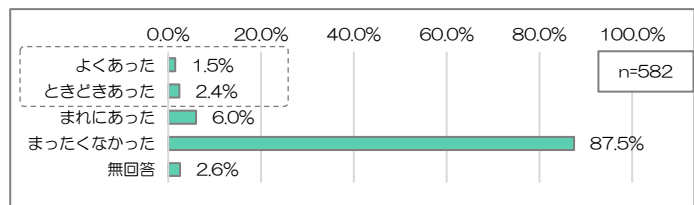
進学における金銭面での不安について、「大いにある」「ややある」と不安があると回答した方が77.6%となり、約8割の方が金銭面について不安に思っています。



お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか(それぞれ、1つに〇)

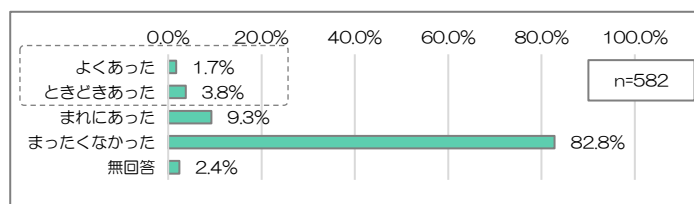
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は3.9%となっています。



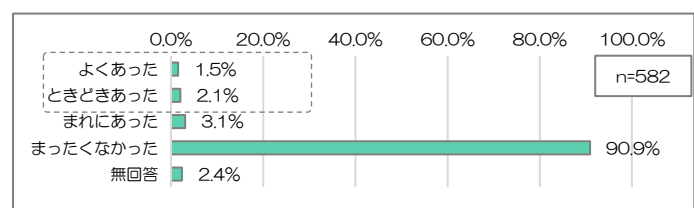
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は5.5%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

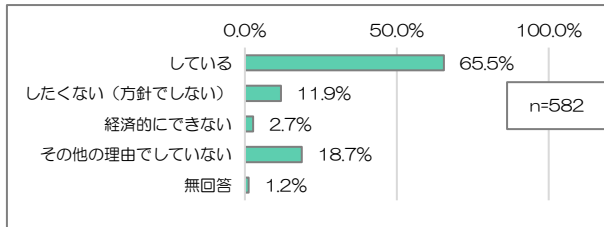
お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は3.6%となっています。



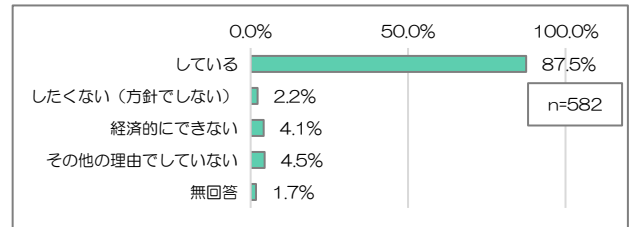
下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。(それぞれ1つに〇)

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が92.4%と多くなっています。また、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」ことについても「している」と回答した方が57.6%となり、約6割の方が学習塾に通わせている(または家庭教師に来てもらう)こととなっています。

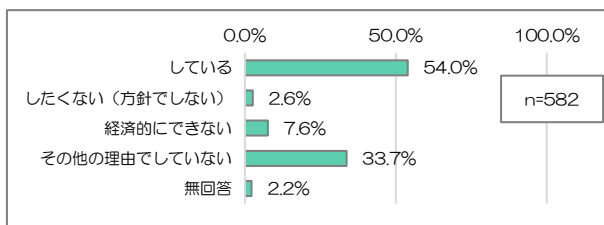
【毎月お小遣いを渡す】



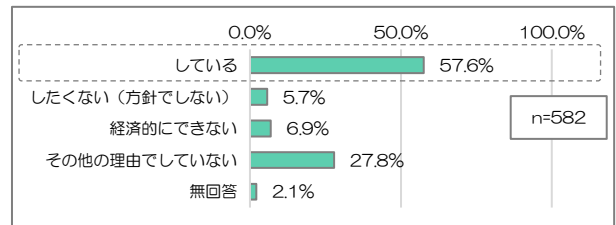
【毎年新しい洋服・靴を買う】



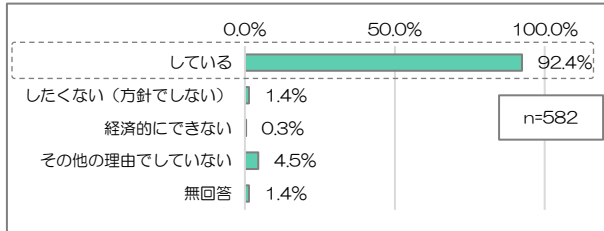
【習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる】



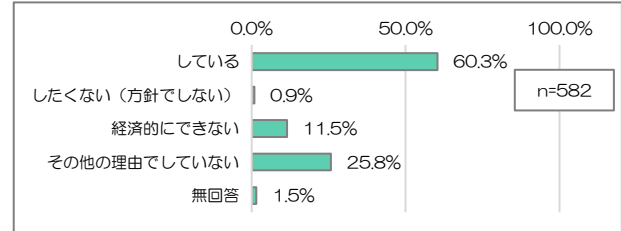
【学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)】



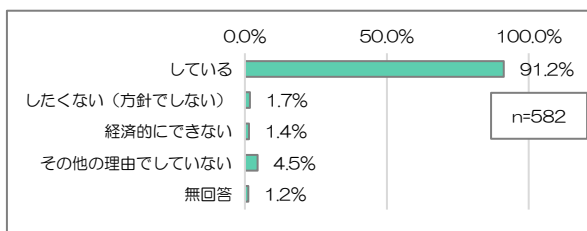
【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】



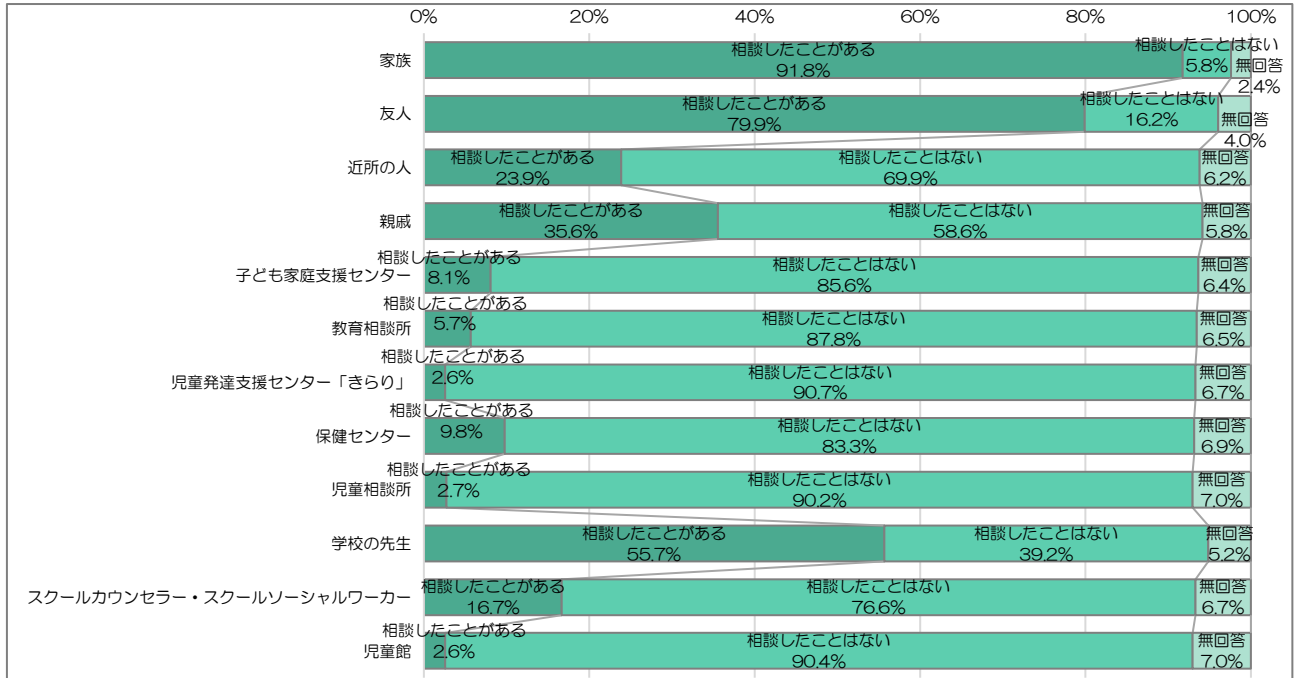
【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



下記の相談先について、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるかお答えください。相談したことがある場合は相談結果についてお答えください。（それぞれ1つに○）

悩んだ時や困った時に相談した先として「家族」が最も多く91.8%、次いで「友人」の79.9%となっています。

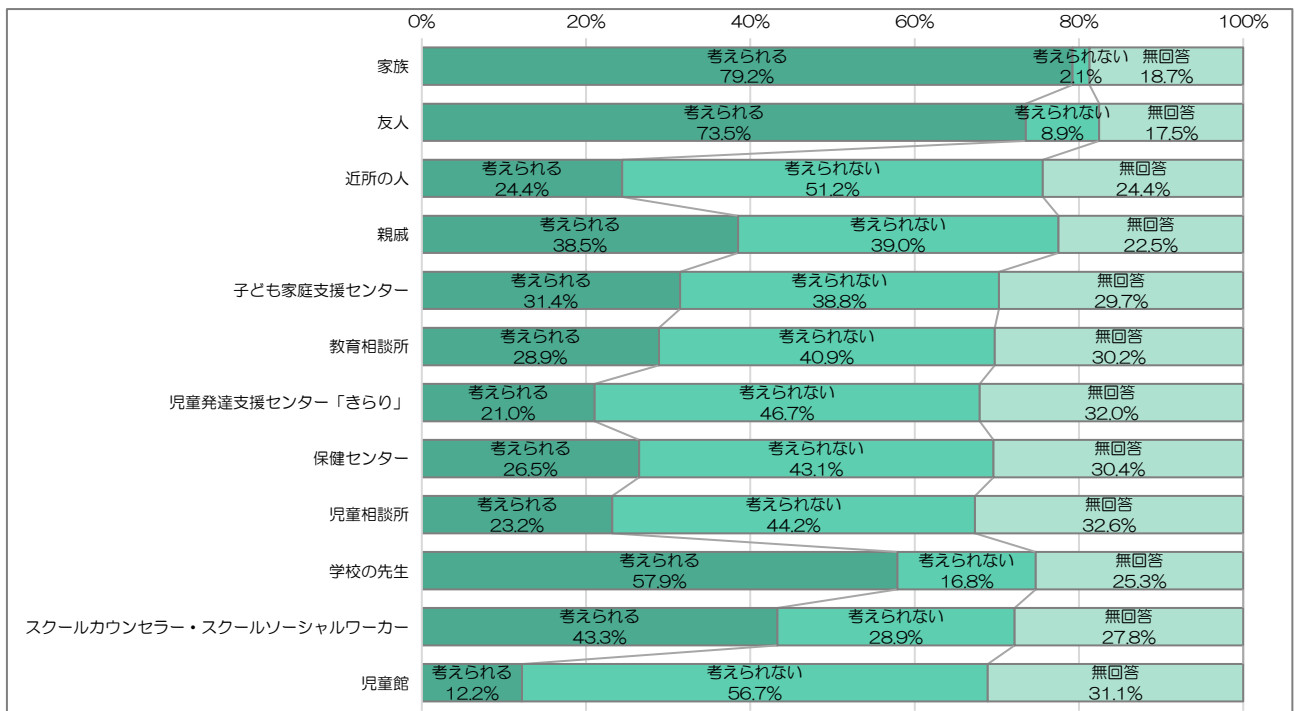
【相談したことがある】(n=582)



その他・・・カウンセラー (3)  
主治医 (3)

また、相談先として考えられるかについては以下のとおりとなっており、「家族」「友人」とともに「学校の先生」も相談先として57.9%の方が「考えられる」と回答しています。

【相談先として考えられるか】(n=582)

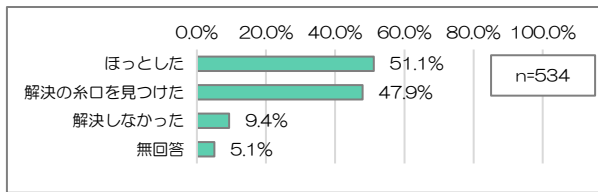


## 第2章 調査結果

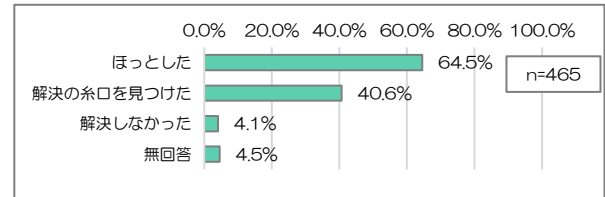
また、相談結果については以下のとおりとなっており、「ほっとした」と回答した方の割合が「児童館」で高くなっています。

### 【相談結果】

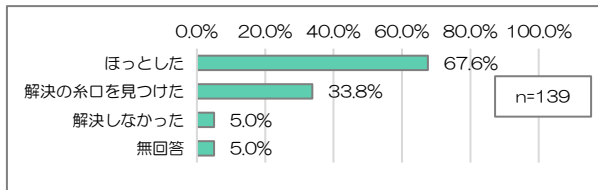
#### 【家族】



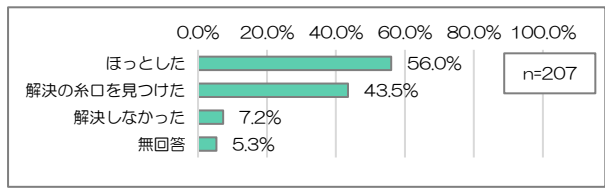
#### 【友人】



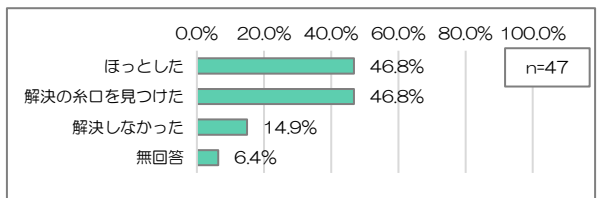
#### 【近所の人】



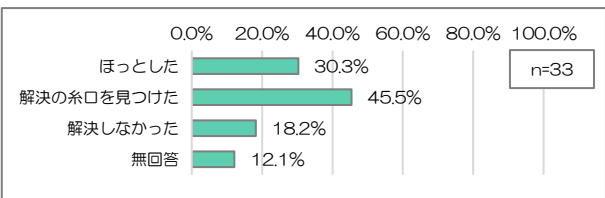
#### 【親戚】



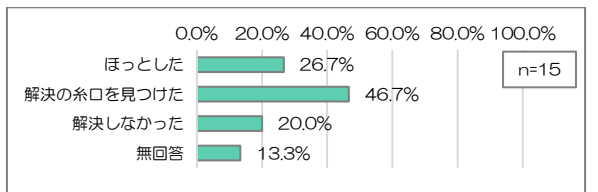
#### 【子ども家庭支援センター】



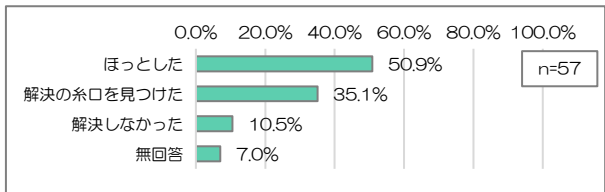
#### 【教育相談所】



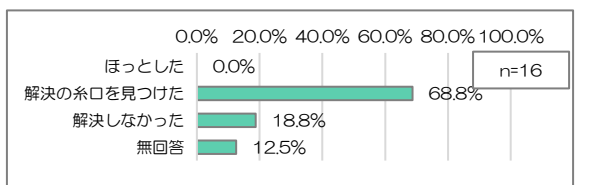
#### 【児童発達支援センター「きらり」】



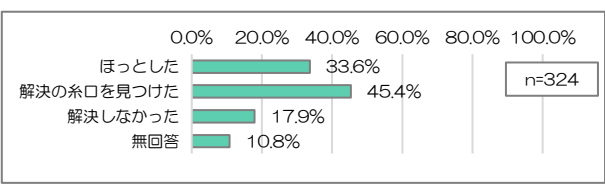
#### 【保健センター】



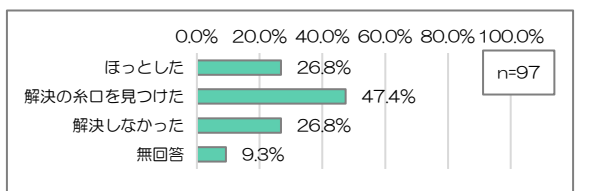
#### 【児童相談所】



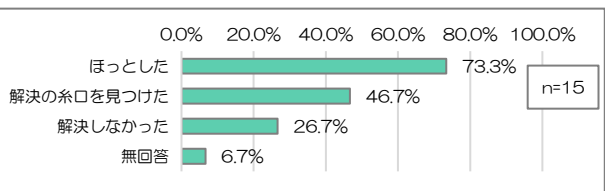
#### 【学校の先生】



#### 【スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー】



#### 【児童館】





子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「気軽に話ができる機会があるとよい」というご意見が多く、同じ世代や境遇の方、近所の方同士で気軽に話ができ、そこから情報を得るなどができればよいという意見が多く見られています。

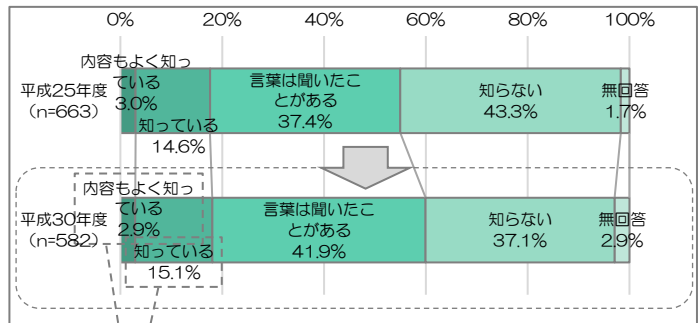
また相談の環境として気軽に相談できる、メールやSNSなどを活用して相談できるような環境作りが求められています。またこれらの相談や支援について情報を確実に伝えてほしいといったことも意見として多くなっています。

<b>気軽に話ができる機会の提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしっかり聞いてもらえる場がほしい（10）</li> <li>・同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（8）</li> <li>・近所の人で気軽に話せる人がいるとよい（6）</li> <li>・別の観点から、気軽に話ができる場がほしい（2）</li> <li>・定期的に家に来てもらい、話す時間を作ってほしい（2）</li> </ul>	28
<b>相談しやすい環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し気軽に学習面や友人関係の悩みを相談できる場（メール、SNSなどの活用）が欲しい（12）</li> <li>・実際にあった相談例や解決した事例や、ささいな悩みの具体例を示してほしい（3）</li> <li>・スクールカウンセラーが毎日1名は居るべき（3）</li> <li>・市報などの隅に相談コーナーなど投書できるように、定期的にアンケートを行う（2）</li> <li>・病気（起立性調節障害）に対して理解ある相談先がほしい（1）</li> </ul>	25
<b>情報の提供・情報の発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口や子育て支援に関する情報をもっと提供してほしい（4）</li> <li>・補助金の情報などお金に関する情報をもっと提供してほしい（3）</li> <li>・進路についての情報、塾に関する情報をもっと提供してほしい（3）</li> </ul>	15
<b>教育に関する費用の援助</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にかかる費用の負担を減らしてほしい（13）</li> <li>・教育費用の無償化を行ってほしい（2）</li> </ul>	15
<b>勉強のサポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生や若い方達からの勉強のサポートを行ってほしい（3）</li> <li>・子ども達が気軽に行ける勉強をサポートして貰える場所があるとよい（2）</li> </ul>	6
<b>自習スペースなど子供の居場所の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に利用できるような、安全で快適な自習スペースがあるとよい（3）</li> <li>・屋内で自由に遊んだり勉強できるところがあったらよい（3）</li> </ul>	6
<b>預かり、見守り、家事支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きのため、夏休みなど長期休暇時などに食事を提供してくれる場あればと思う（3）</li> <li>・家事のサポートや子ども送り迎えをしてほしいとよい（2）</li> </ul>	6
<b>医療費の補助</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども手当や医療費の負担など、18才までに引き上げていただけるとありがたい（4）</li> <li>・医療費の無償化（1）</li> </ul>	5

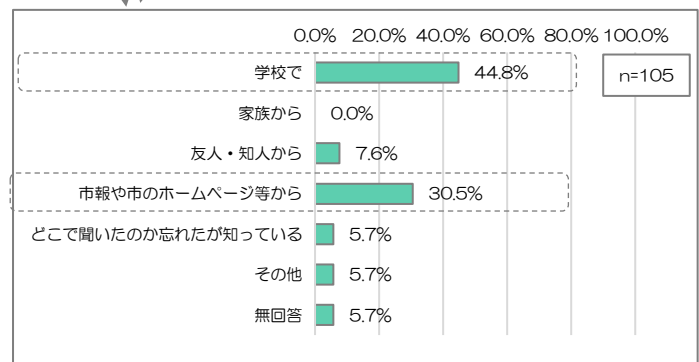
4 小金井市子どもの権利に関する条例について

「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに〇)

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が18.0%となり、認知率については約2割となっています。また平成25年度調査と比較すると、「知らない」と回答した方の割合が6.2%減少しています。

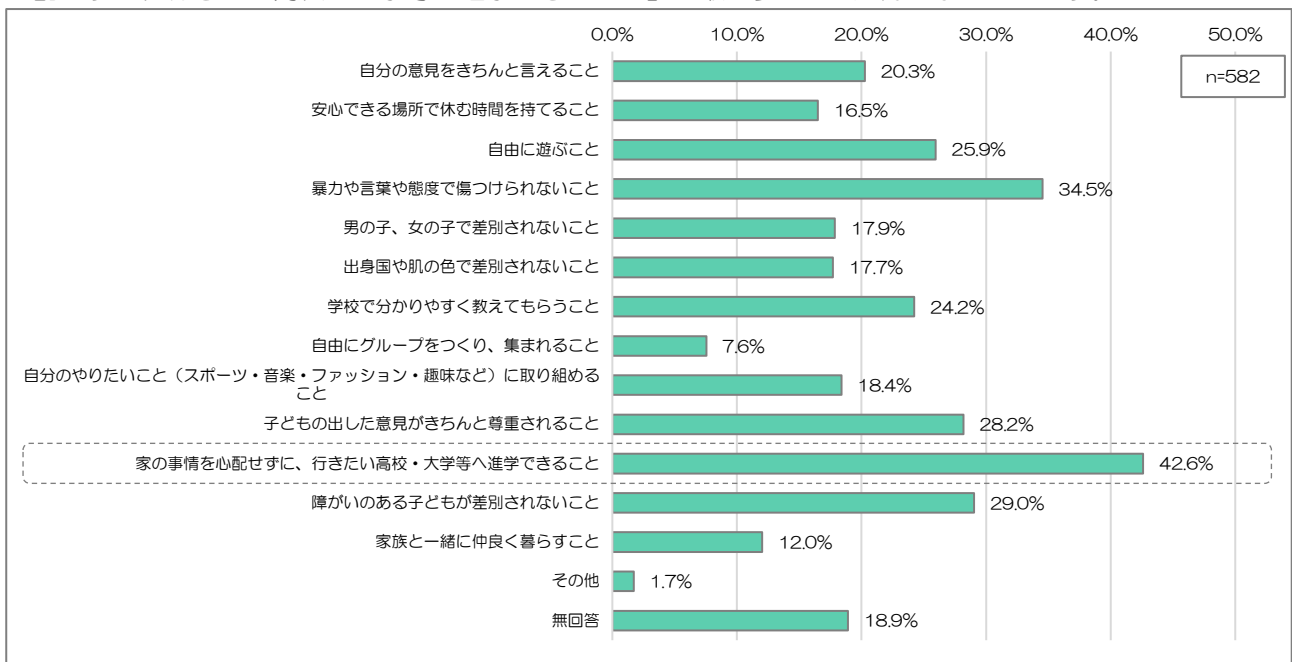


また、「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く44.8%となっており、次いで「市報や市のホームページ」が30.5%となっています。



ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに〇)

ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」と思う子どもの権利について、「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学等へ進学できること」が最も多く42.6%となっています。

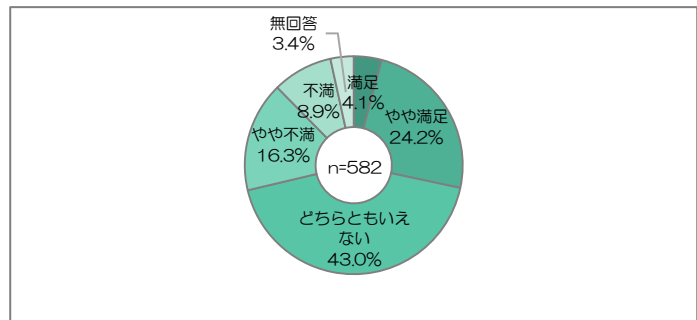


その他・・・特になし(8)

## 5 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

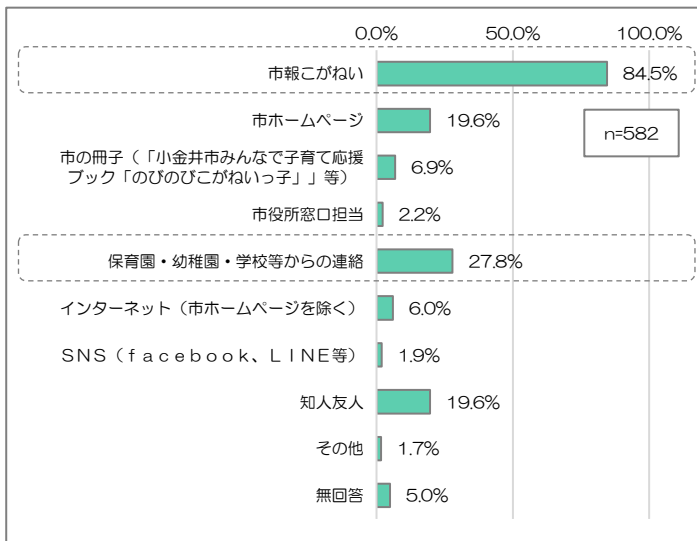
小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。（1つに○）

小金井市の子育ての環境や支援について「満足」「やや満足」と回答した方について28.3%となっています。



小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て支援策に関する情報の入手先として「市報こがねい」が最も多く84.5%となり、次いで「保育園・幼稚園・学校等からの連絡」が27.8%となっています。



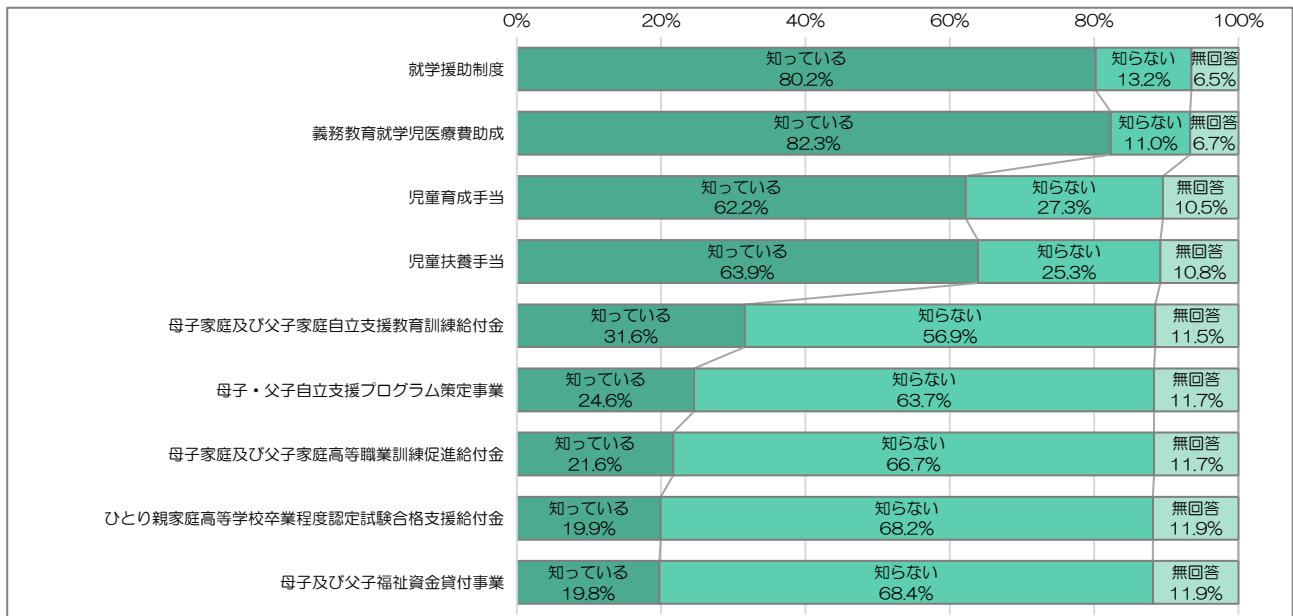
その他・・・情報収集していない（10）

## 第2章 調査結果

下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに〇）

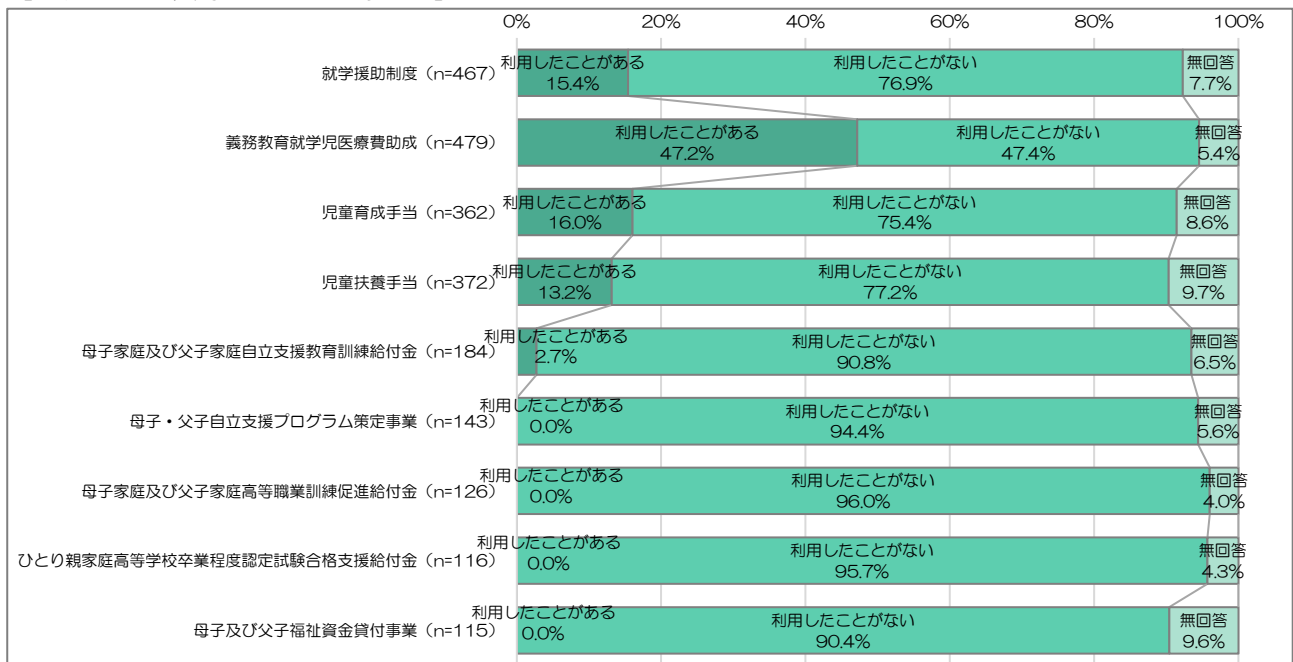
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が82.3%、「就学援助制度」が80.2%と高くなっています。一方、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」が19.9%、「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」21.6%「母子及び父子福祉資金貸付事業」が19.8%と認知度が低くなっています。

### 【知っている】(n=582)



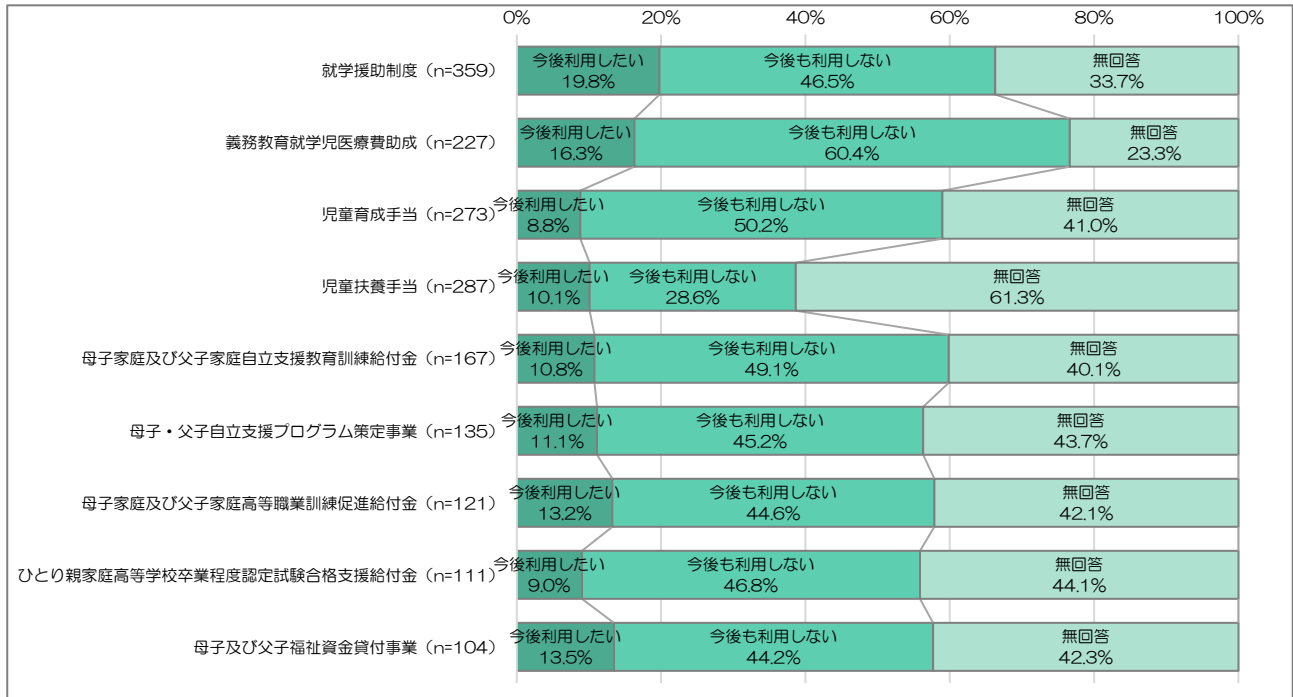
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が47.2%と高い利用率となっています。

### 【これまでに利用したことがあるか】



今は利用していないが、今後利用したいかについては「就学援助制度」が19.8%、「義務教育就学児医療費助成」が16.3%となっています。

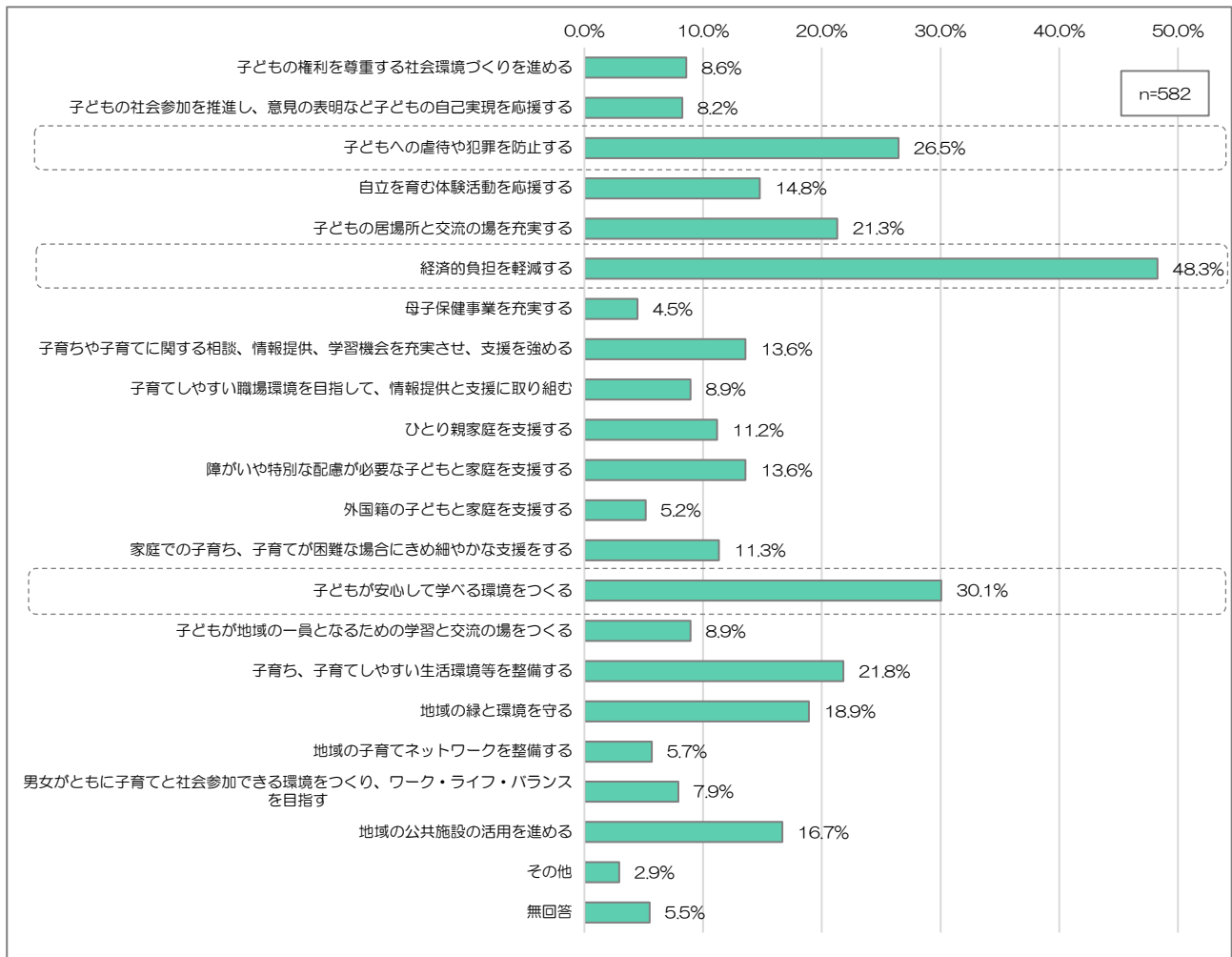
【今後利用したいか】



## 第2章 調査結果

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに〇）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして「経済的負担を軽減する」が最も多く 48.3%となっています。次いで「子どもが安心して学べる環境をつくる」が 30.1%、「子どもへの虐待や犯罪を防止する」が 26.5%となっています。



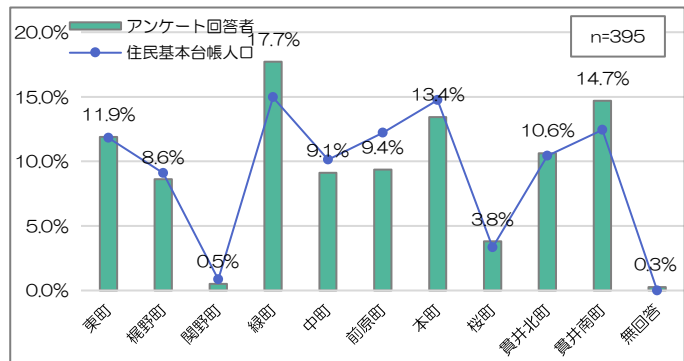
その他・・・図書館の充実（7）

IV. 中学校・高校年代の青少年調査

1 回答者属性

お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の地区別人口割合と比較すると、「緑町」並びに「貴井南町」からの回答割合が他地区と比較して高くなっています。



<参考>

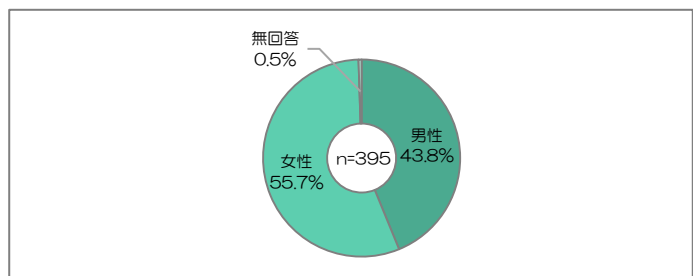
住民基本台帳による町別（13歳～18歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
13～18歳人口(人)	694	535	51	879	595	718	867	196	613	731	5,879
割合(%)	11.8%	9.1%	0.9%	15.0%	10.1%	12.2%	14.7%	3.3%	10.4%	12.4%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より割合は独自計算

性別を教えてください。(1つに○)

アンケート回答者の性別割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の性別人口割合と比較すると「女性」からの回答割合が高くなっています。



<参考>

住民基本台帳による性別（13歳～18歳）人口（平成30年12月1日現在）

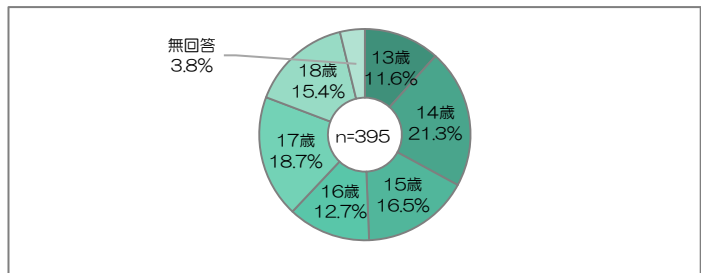
性別	男性	女性	合計
13～18歳人口(人)	3,079	2,875	5,954
割合(%)	51.7%	48.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より割合は独自計算

## 第2章 調査結果

生年月を記入してください。(数字を記入) (平成30年12月1日現在)

アンケート回答者の年齢割合は右のとおりとなっています。



<参考>

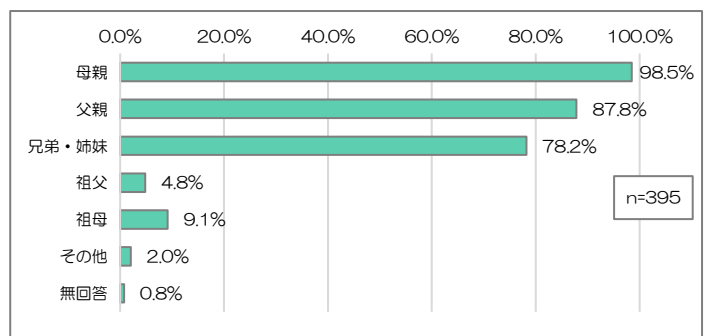
住民基本台帳による年齢別人口 (平成30年12月1日現在)

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
人口 (人)	975	993	964	959	953	935	5,779
割合 (%)	14.7%	15.0%	14.6%	14.5%	14.4%	14.1%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町別年齢別人口より  
割合は独自計算

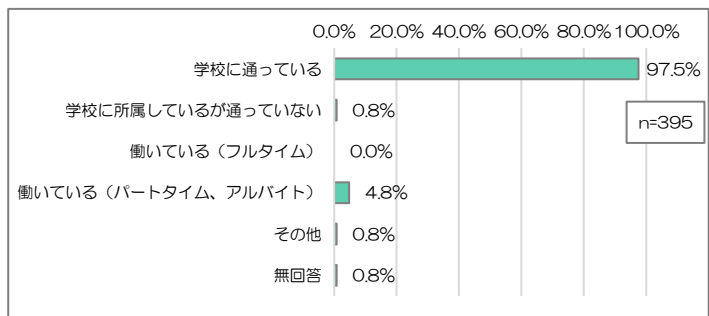
どなたと同居していますか。(あてはまるものすべてに○)

同居している方について「母親」が98.5%、「父親」が87.8%となっています。



学校に通っていますか。働いていますか。(あてはまるものすべてに○)

アンケート回答者の就学・就労状況について、「学校に通っている」方の割合は97.5%、「働いている」方の割合は4.8%となっています。



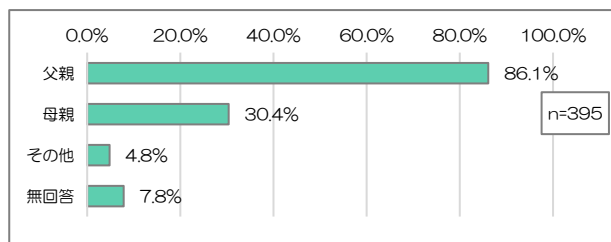


## 2 同居している家族の就労状況について

同居している家族のうち、フルタイムまたはパートタイム・アルバイトで働いている方はどなたですか。  
(それぞれ1つに○)

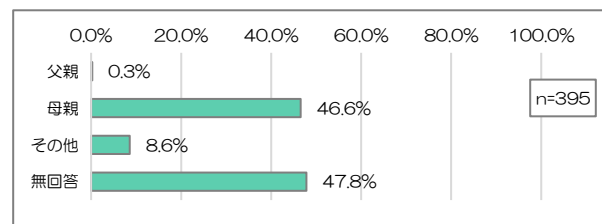
フルタイムまたはパートタイム・アルバイトで働いている同居している家族について、「父親」が86.1%、「母親」が30.4%の方についてフルタイムで働いており、「母親」は46.6%の方がパートタイムで働いています。

【フルタイム】



その他・・・兄弟・姉妹 (14)  
祖父母 (5)

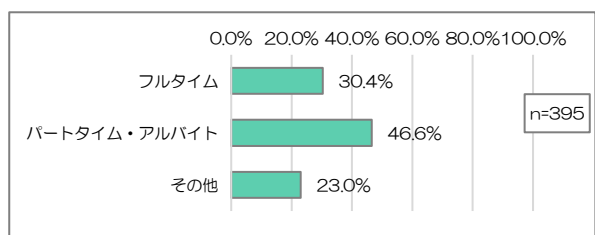
【パートタイム・アルバイト】



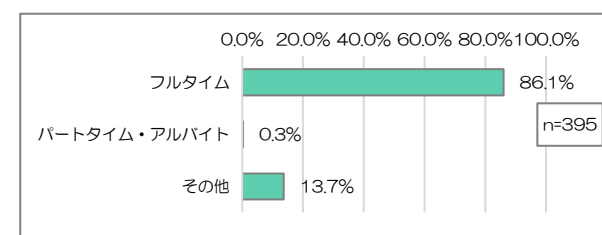
その他・・・兄弟・姉妹 (34)  
祖父母 (3)

なお、母親・父親別での就労状況に置き換えると以下のとおりとなります。

【母親】



【父親】



3 放課後や休日の過ごし方について

ふだん、放課後や休日をどのように過ごしていますか。過ごし方で一番多いものについて、下の枠内に「どこで」「どのように」に分けて具体的に記入してください。

放課後では学校で過ごしていることが最も多く、内容は部活となっています。次いで家で過ごすことが多く、内容は勉強となっています。また塾で勉強している方も多く見られています。

また、休日においては家で過ごしていることが最も多く、内容は勉強となっています。次いで学校での部活、塾での勉強となっています。

【放課後】

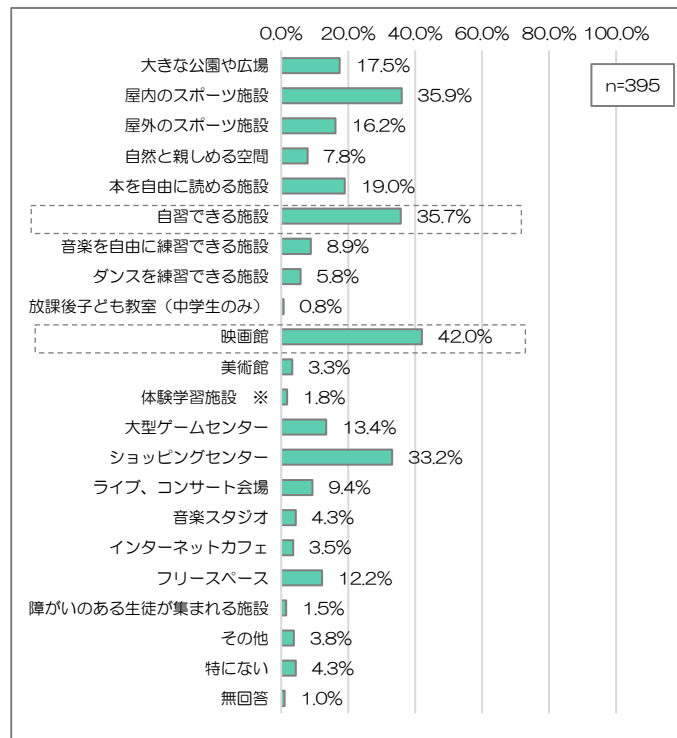
どこで	どのように過ごしている	数
<b>学校</b>		<b>220</b>
	部活をしている	183
	勉強している	20
	友だちと遊んでいる・話している	5
<b>家</b>		<b>87</b>
	勉強している	38
	ゲームをしている	12
	寝ている	8
	のんびりしている	6
	スマホを見ている	5
	テレビを見ている	4
<b>塾</b>		<b>48</b>
勉強している	48	
<b>バイト先</b>		<b>5</b>
働いている	5	
<b>グラウンド</b>		<b>5</b>
サッカーしている	5	

【休日】

どこで	どのように過ごしている	数
<b>家</b>		<b>217</b>
	勉強している	88
	ゲームをしている	25
	のんびりしている	24
	テレビを見ている	21
	寝ている	15
	スマホを見ている	10
遊んでいる	7	
<b>学校</b>		<b>60</b>
部活をしている	60	
<b>塾</b>		<b>28</b>
勉強している	28	
<b>グラウンド</b>		<b>12</b>
	サッカーしている	7
野球をしている	5	
<b>図書館</b>		<b>10</b>
	勉強している	8
読書をしている	2	
<b>バイト先</b>		<b>8</b>
働いている	8	

放課後や休日を過ごすのに、どのような施設や遊び場が家の近所にあるとうれしいですか。(3つまでに〇)

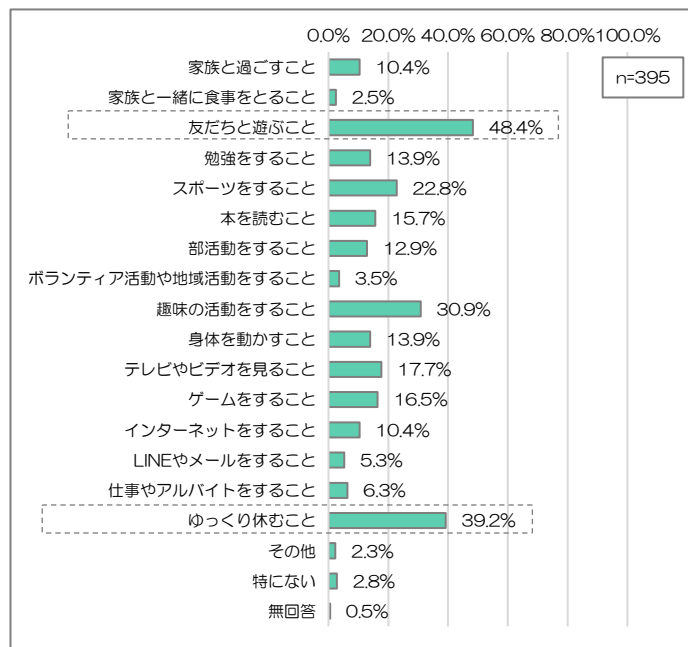
放課後や休日を過ごす施設や遊び場について、「映画館」と回答した方が最も多く42.0%となっています。また、「自習できる施設」と回答した方も35.7%となっており、放課後や休日を過ごす場として遊び場だけでなく、学習する場についても求められています。



その他・・・カラオケ(3)

あなたが日ごろ、もっとしたいと思っていることは何ですか。(3つまでに〇)

日ごろ、もっとしたいと思っていることとして、「友だちと遊ぶこと」が最も多く48.4%となっており、次いで「ゆっくり休むこと」が39.2%となっています。

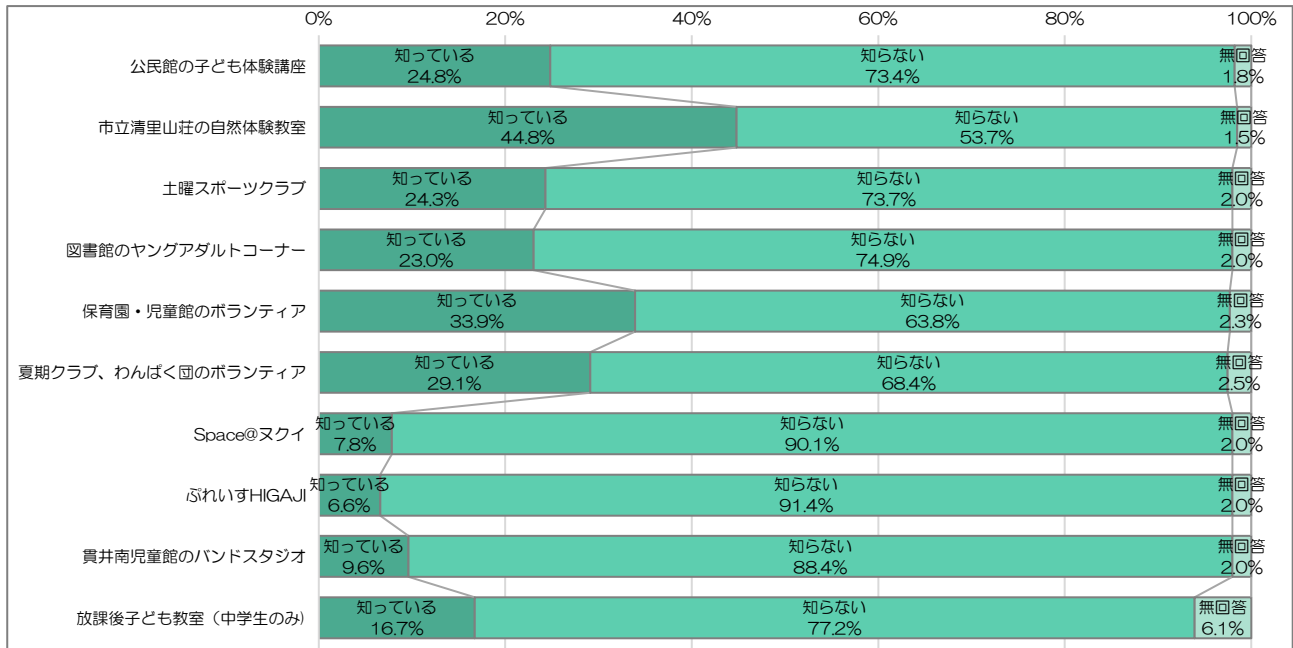


4 小金井市の事業や施設について

下記のサービスや事業について、知っているか、これまでに利用したことがあるか教えてください。また、利用したことがある場合は今後も利用したいか教えてください。(1つに〇)

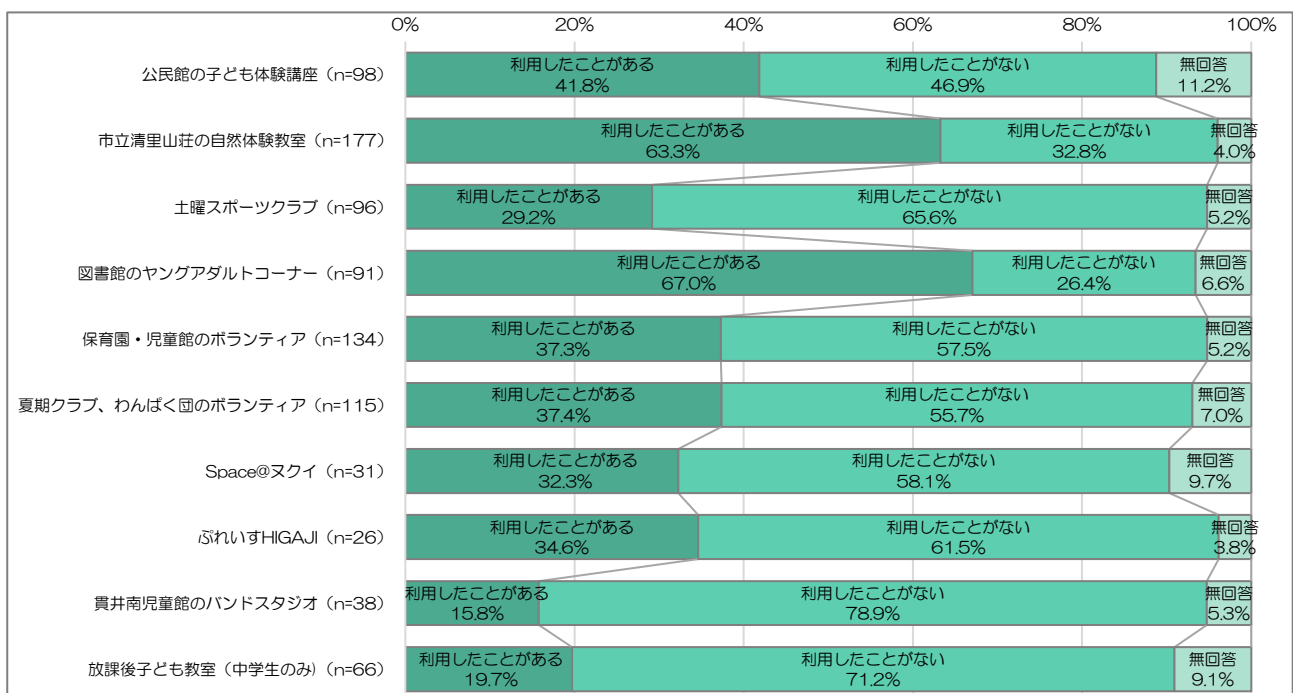
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立清里山荘の自然体験教室」が44.8%と最も高く、次いで「保育園・児童館のボランティア」が33.9%となっている一方、「ぶれいず HIGAJI」が6.6%、「Space@ヌクイ」が7.8%と認知度が低くなっています。

【知っている】(n=395)



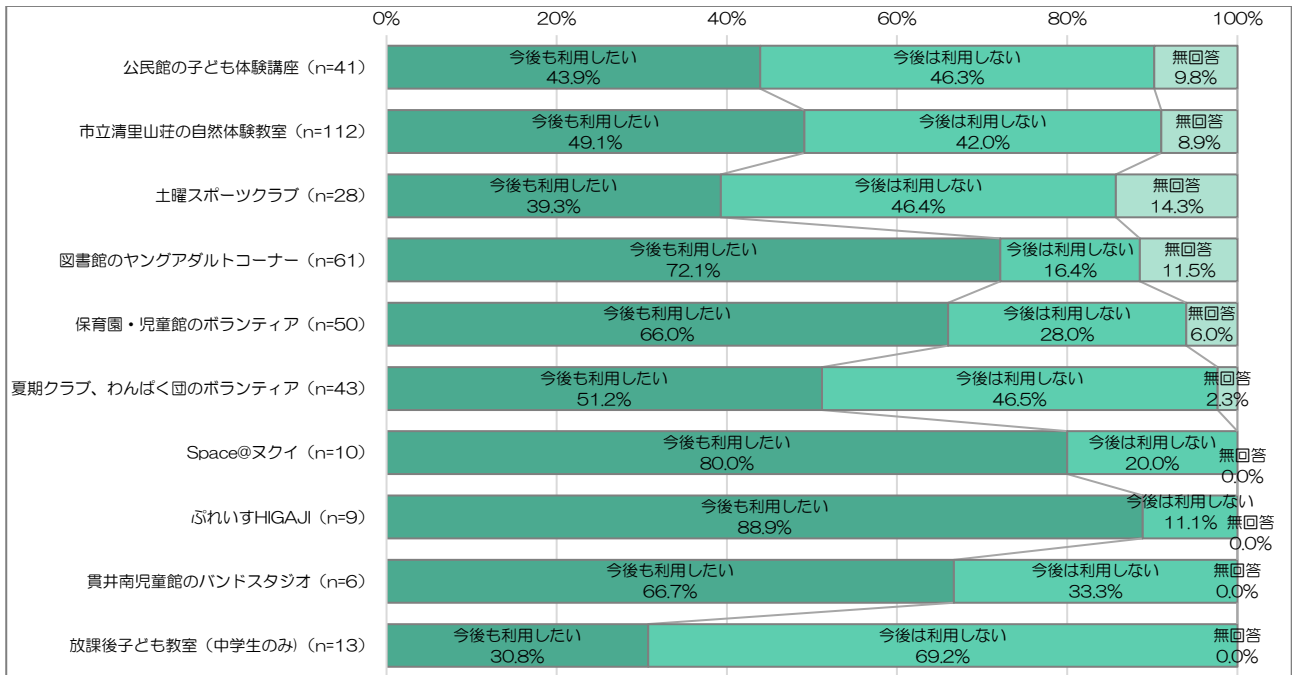
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が67.0%と高い利用率となっている一方、「貫井南児童館のバンドスタジオ」が15.8%と利用率が低くなっています。

【これまでに利用したことがあるか】



各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「ぶれいす HIGAJI」が88.9%、「Space@ヌクイ」が80.0%と、再度の利用希望率が高くなっています。

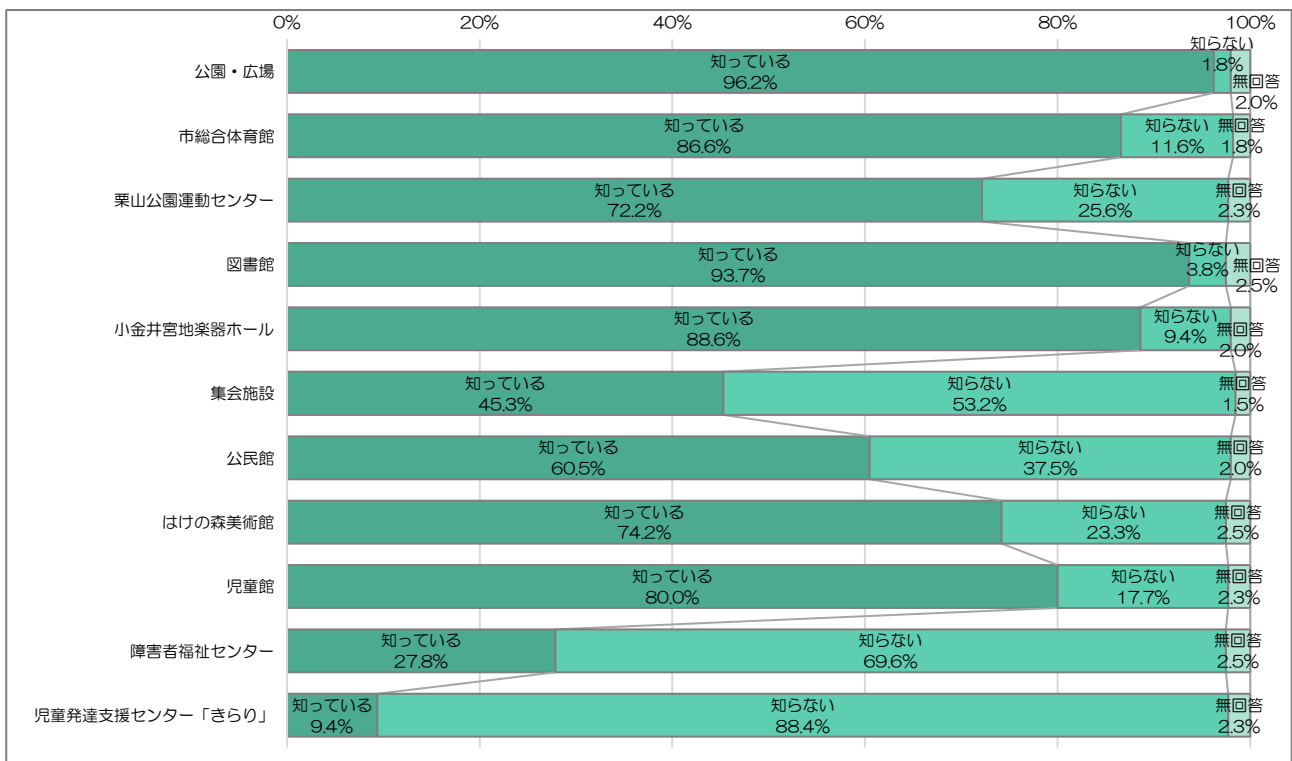
【今後も利用したいか】



下記の施設について、知っているか、これまでに利用したことがあるか教えてください。また利用したことがある場合は満足したか、今後も利用したいか教えてください。(1つに〇)

各施設の認知度について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い認知度と同等に「小金井宮地楽器ホール」の認知度が88.6%、約9割と高くなっています。

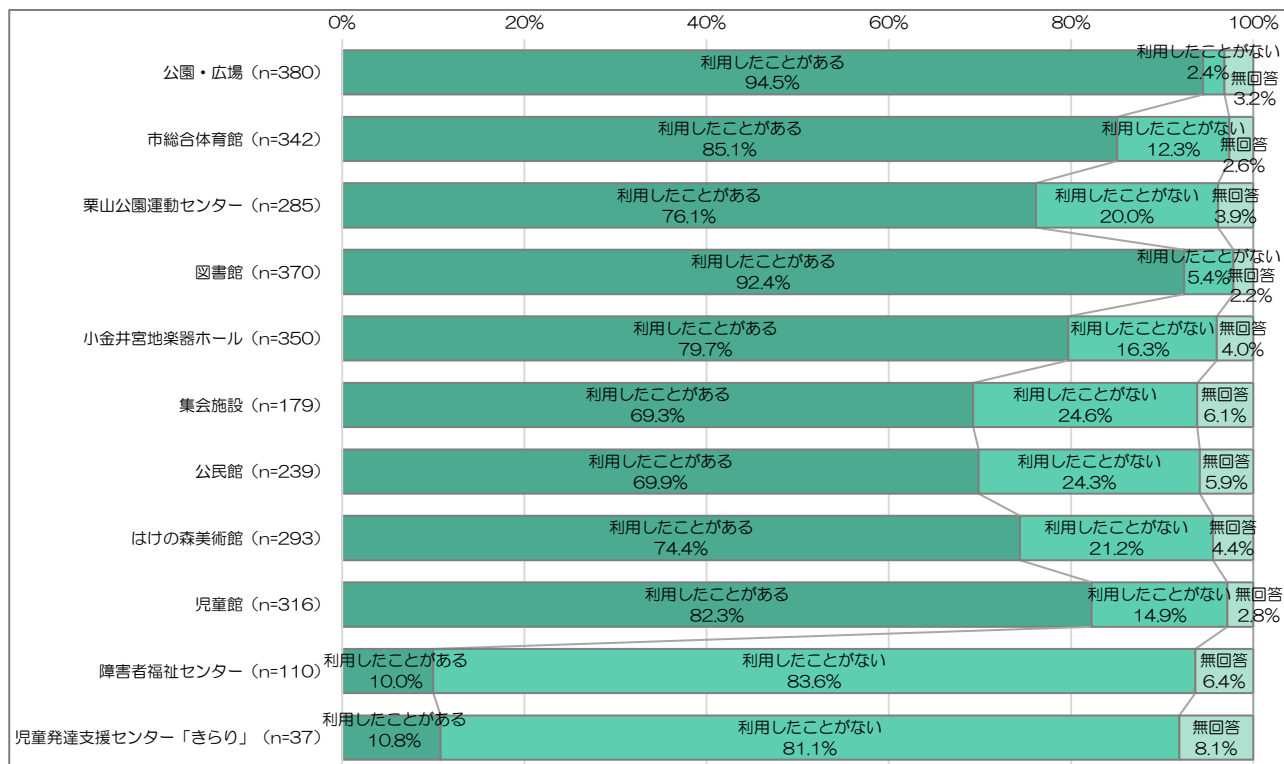
【知っている】(n=395)



## 第2章 調査結果

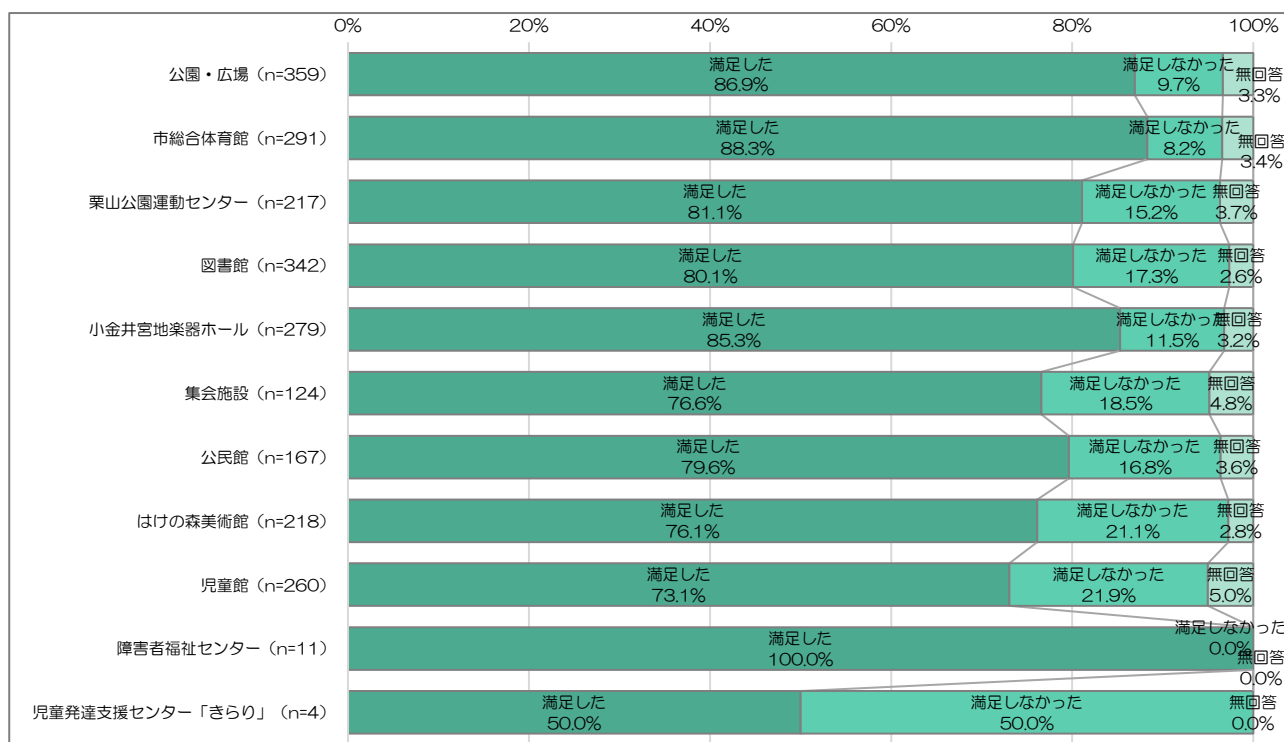
各施設の利用率について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い利用率と同等に「児童館」が82.3%、「小金井宮地楽器ホール」が79.7%と約8割の利用率となっています。

### 【これまでに利用したことがあるか】



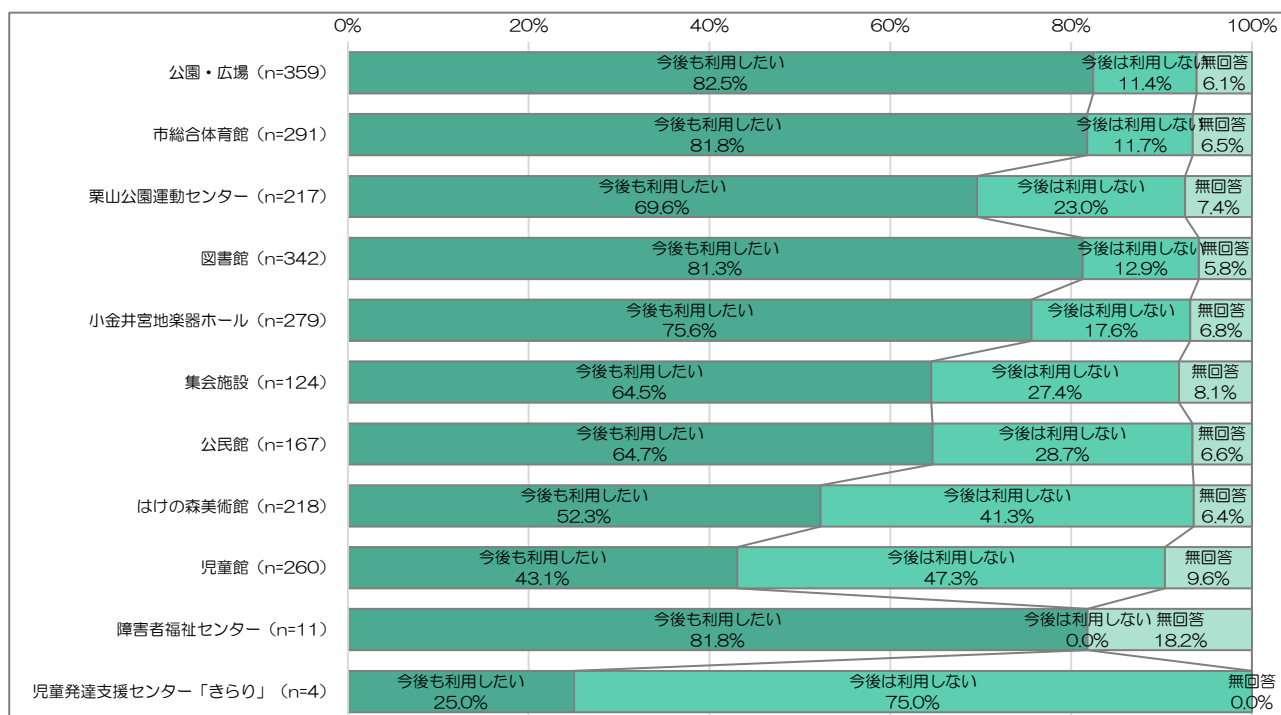
各施設の利用満足度について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い満足度と同等に「小金井宮地楽器ホール」が85.3%、「障害者福祉センター」が100.0%と、満足度が高くなっています。

### 【満足したか】



各施設の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い再度の利用意向と同等に「小金井宮地楽器ホール」が75.6%、「障害者福祉センター」が81.8%と、利用意向が高くなっています。

【今後も利用したいか】



どの施設の内容を充実してほしいですか。下の枠内に具体的に記入してください。

施設で充実してほしいこととして、図書館の自習スペースを増やしてほしいが最も多くなっています。また、小金井宮地楽器ホール、公民館についても自習スペースを増やしてほしいとの要望が多くなっています。また図書館では本の数や種類も増やしてほしいということも多くなっています。公園、市総合体育館、スポーツ施設ではいろいろなスポーツができるようにしてほしい、特に公園においてはサッカーや野球、バスケットなど球技ができるようにしてほしいとの要望が見られています。

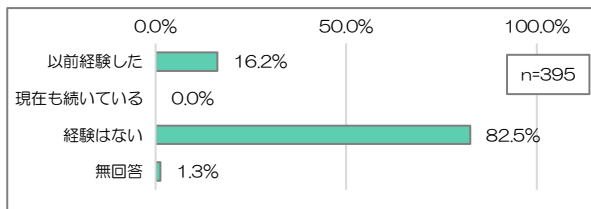
施設名	充実してほしいこと	数	施設名	充実してほしいこと	数
<b>図書館</b>	自習スペースを増やしてほしい	48	<b>スポーツ施設</b>	色んなスポーツができるようにしてほしい	5
	本の数・種類を増やしてほしい	32		<b>小金井宮地楽器ホール</b>	自習スペースを増やしてほしい
	席を増やしてほしい	3	<b>児童館</b>		大きくしてほしい
	開館時間を延ばしてほしい	3		<b>公民館</b>	自習スペースを増やしてほしい
<b>公園</b>	色んなスポーツ（球技）ができるようにしてほしい	7	<b>学校</b>		トイレをきれいにしてほしい
	球技の設備（ゴール）を設置してほしい	5		施設をキレイにしてほしい	4
	プールを拡充してほしい	4			
	プールをきれいにしてほしい	3			
	施設をきれいにしてほしい	3			
	トイレをキレイにしてほしい	3			
<b>市総合体育館</b>	色んなスポーツができるようにしてほしい	5			
	施設をキレイにしてほしい	3			
	バドミントンのスペースを広げてほしい	3			

5 日々の生活の問題などについて

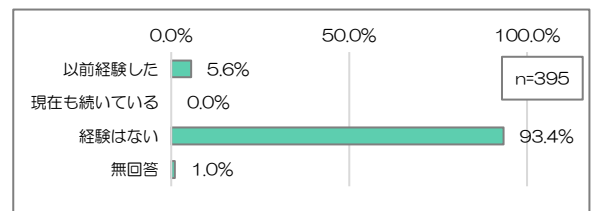
いじめや虐待、非行、不登校の経験はありますか。(それぞれ、1つに〇)

いじめについて、16.2%の方が受けたことがあると回答し、5.6%の方がしたことがあると回答しています。また、虐待については2.5%の方が経験したことがあると回答し、0.3%の方(1人)が虐待が今も続いていると回答しています。不登校については5.6%の方が経験したと回答しています。

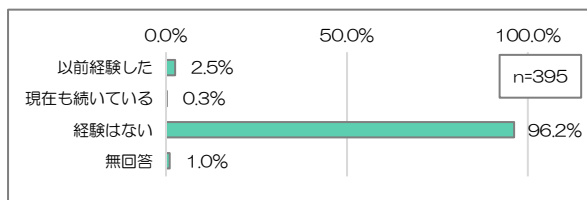
【いじめを受けたこと】



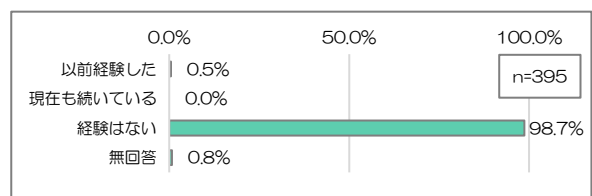
【いじめをしたこと】



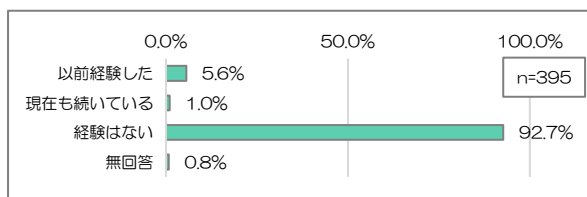
【虐待を受けたこと】



【非行】



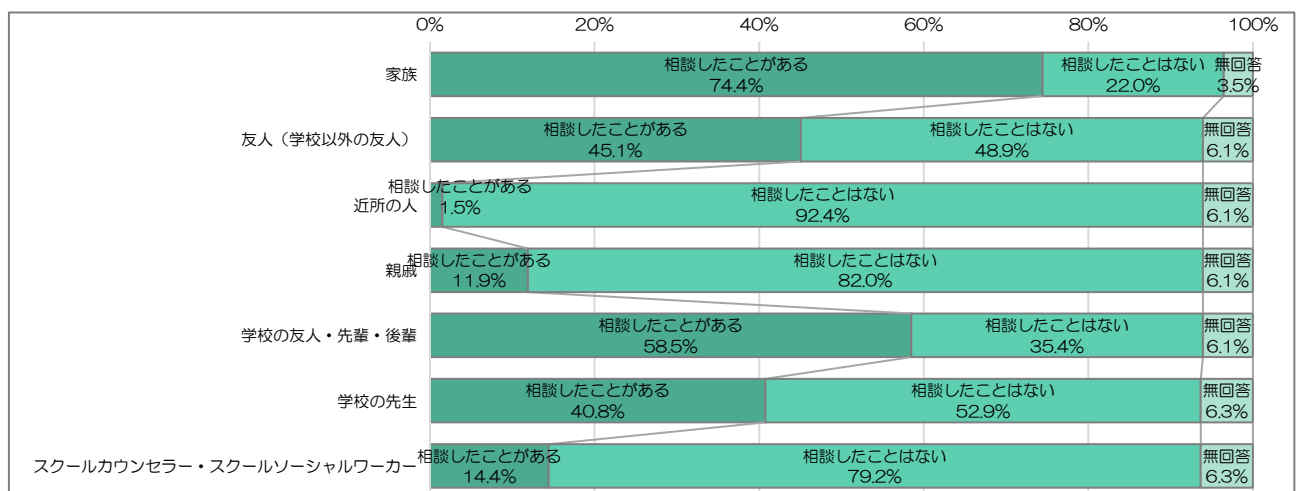
【不登校】



下記の相談先について、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるか教えてください。また、相談したことがある場合は相談結果について教えてください。(1つに〇)

相談先ごとの相談の経験について以下のとおりとなっており、「家族」とともに「学校の友人・先輩・後輩」が相談先として多くなっています。

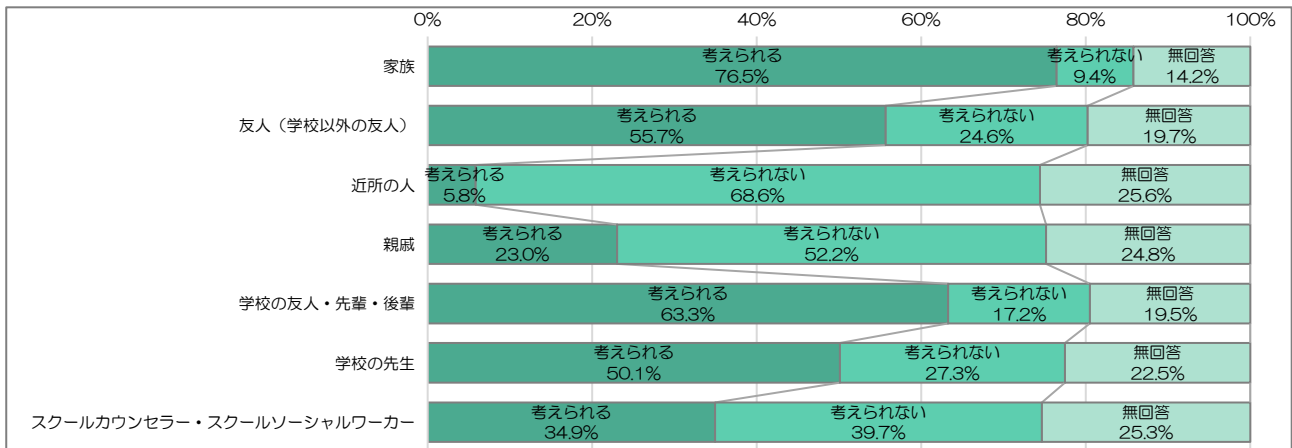
【相談したことがある】(n=395)





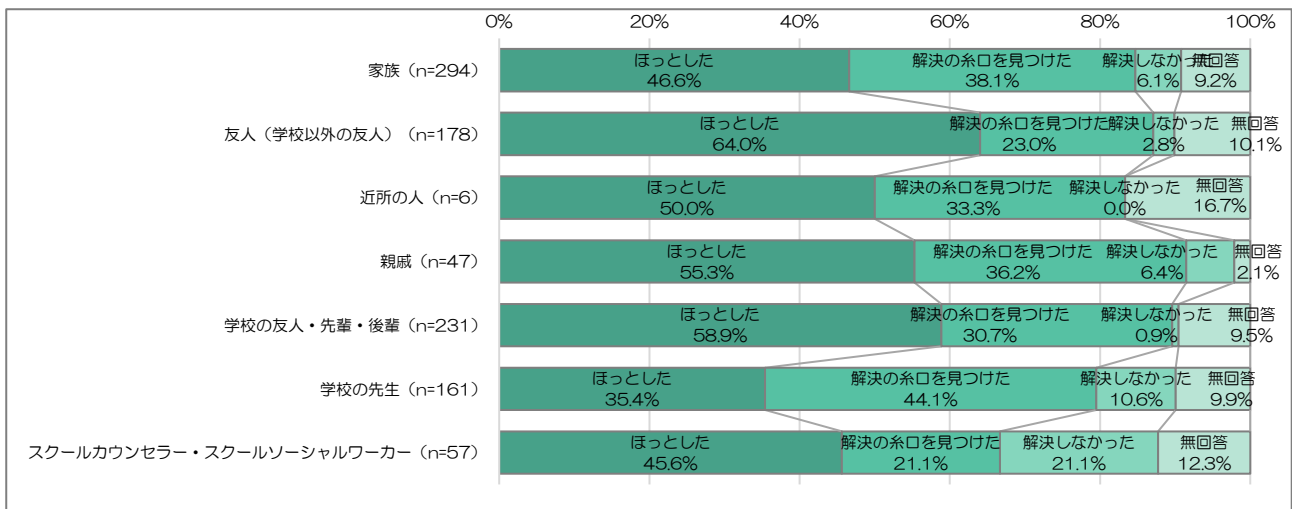
また、相談先として考えられるかについては以下のとおりとなっており、相談の経験同様に「家族」「学校の友人・先輩・後輩」が相談先として考えられるとした回答が多くなっています。

【相談先として考えられるか】(n=395)



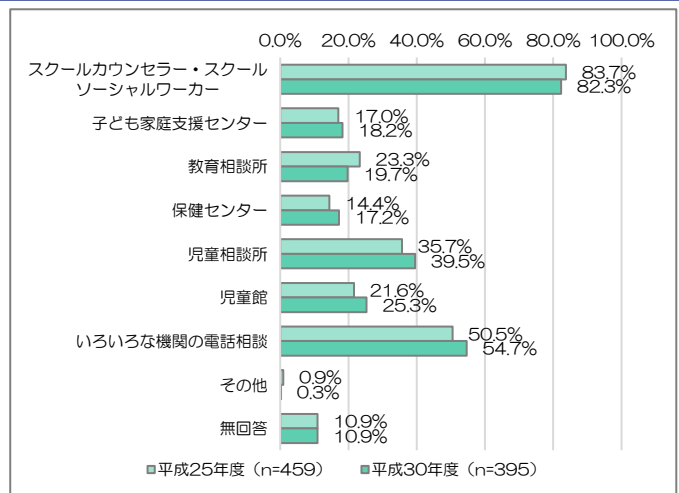
また、相談先ごとの相談結果については以下のとおりとなっており、「解決の糸口を見つけた」としては「学校の先生」が最も多く44.1%となっています。

【相談結果】



悩みごとや困ったことがある場合、次のような相談する場所があることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

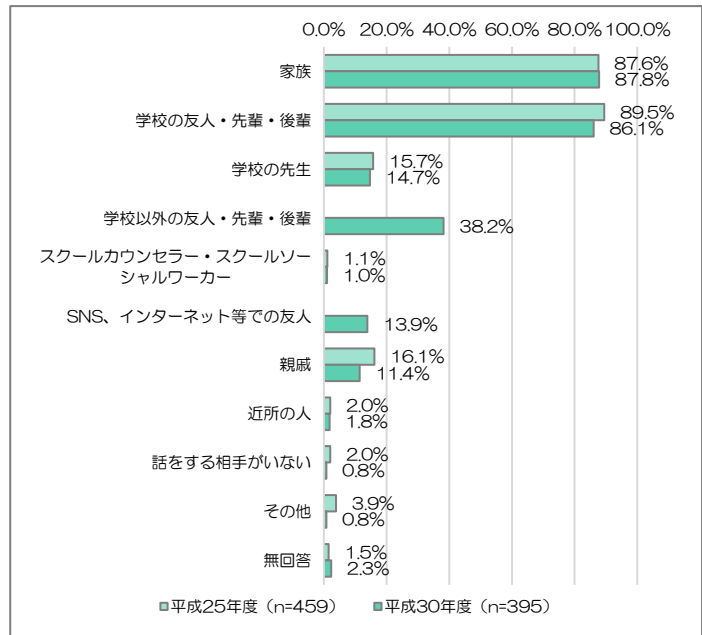
相談する場所の認知度について、「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」の認知度は高く82.3%となっています。また、平成25年度調査と比較しても相談場所の認知度に大きな変化は見られていません。



## 第2章 調査結果

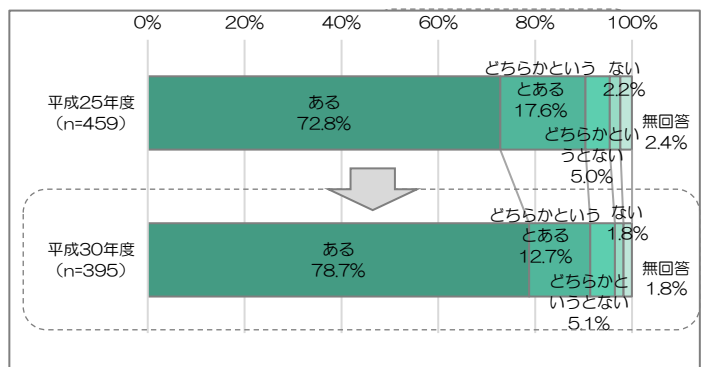
うれしいことがあった時、誰に話をしますか。(あてはまるものすべてに○)

うれしいことがあった時の話先について、「家族」が一番多く87.8%となり、次いで「学校の友人・先輩・後輩」となっています。また平成25年度調査と比較しても話し相手としての割合に大きな変化は見られていません。



自分がほっとする居場所がありますか。(1つに○)

ほっとする居場所について「ある」「どちらかというところ」と回答した方は91.4%となり9割以上の方があると回答しています。また平成25年度調査と比較すると、「ある」「どちらかというところ」と回答した方の合計割合に大きな変化は見られていません。



ほっとする居場所を具体的に記入してください。

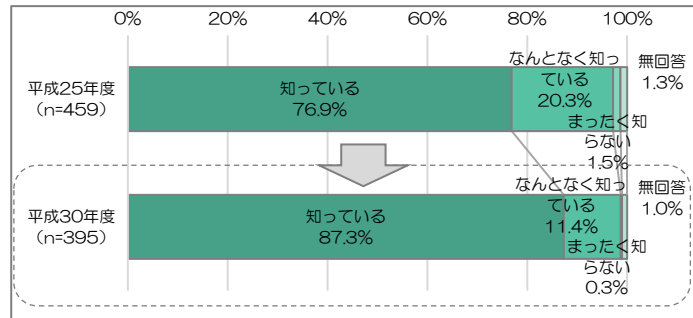
ほっとする居場所については「自宅」が最も多く、次いで「自分の部屋」となっています。

居場所	数
自宅	226
自分の部屋	45
学校	19
布団の中	14
友人	6
家のトイレ	6
図書館	5
部活	5
お風呂	3

6 あなたの健康について

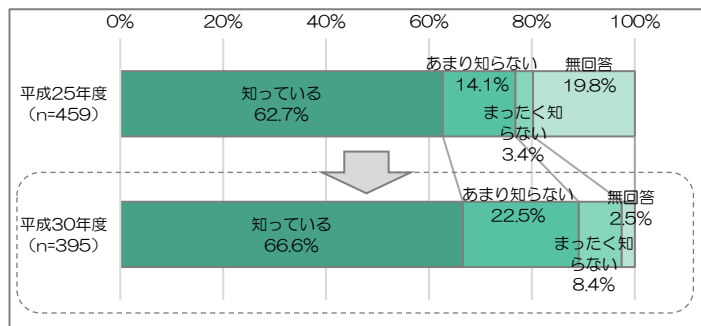
薬物乱用の有害性について知っていますか。(1つに〇)

薬物乱用の有害性について「知っている」と回答した方は87.3%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「知っている」と回答した方の割合が10.4%増えており、その有害性についての認知度が高まっていると考えられます。



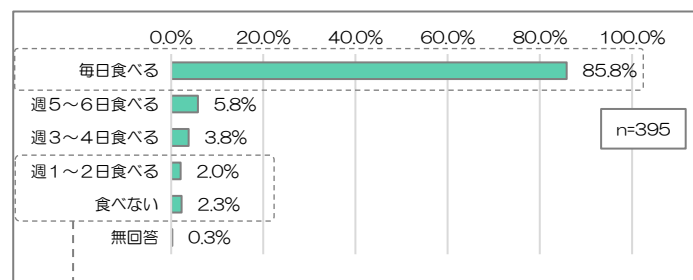
性感染症が体に及ぼす影響について知っていますか。(1つに〇)

性感染症が体に及ぼす影響について「知っている」と回答した方は66.6%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「知っている」と回答した方の割合が3.9%増えており、その影響についての認知度が高まっていると考えられます。

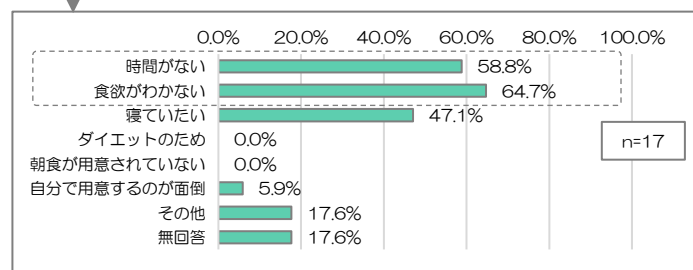


毎日朝食をとっていますか。(1つに〇)

朝食について「毎日食べている」と回答した方は85.8%となっています。一方、「食べない」と回答した方は2.3%となっています。



また、朝食を「食べない」「週に1~2日食べる」と回答した方について、朝食をあまり食べない理由としては、「食欲がわからないから」が最も多く64.7%、次いで「時間がないから」が58.8%となっています。

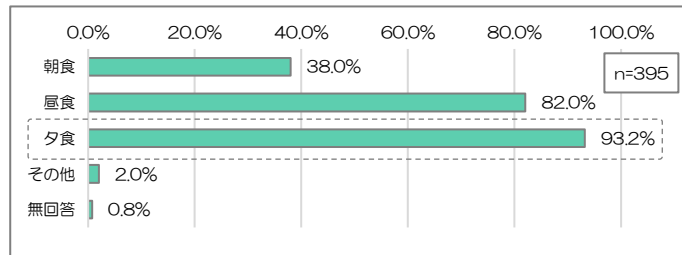


その他・・・食べる体調が悪くなる (5)

## 第2章 調査結果

平日に1日で主食と主菜と副菜のそろった食事をとっていますか。主食と主菜と副菜をとっている食事に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

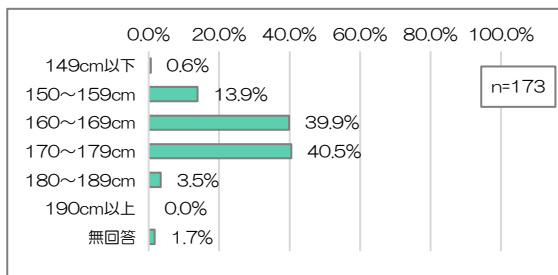
主食と主菜と副菜がそろった食事をする機会として、「夕食」が最も多く93.2%となっています。



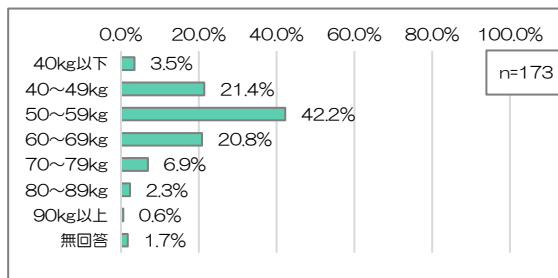
あなたの身長・体重を教えてください。(数字を記入)

### 【男性】

#### (身長)

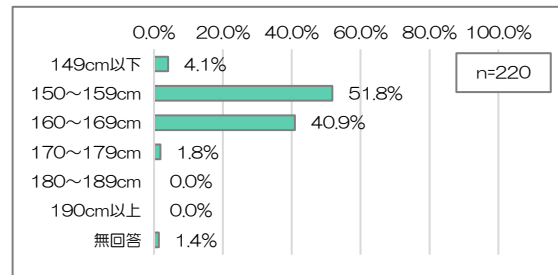


#### (体重)

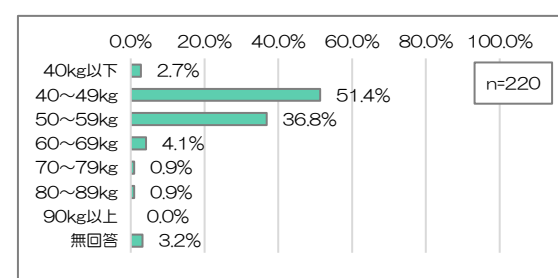


### 【女性】

#### (身長)

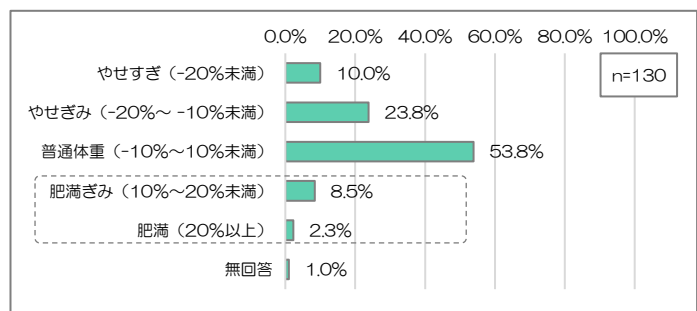


#### (体重)



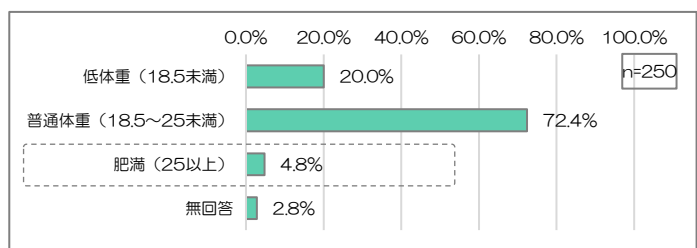
### 【13歳~14歳】

13歳~14歳の方について、日比式肥満度= $(\text{実測体重(kg)} - \text{標準体重(kg)}) \div \text{標準体重(kg)} \times 100$ による、それぞれの肥満程度分類に該当する方の割合は右のとおりとなり、「肥満ざみ」「肥満」となっている方については10.8%となっています。



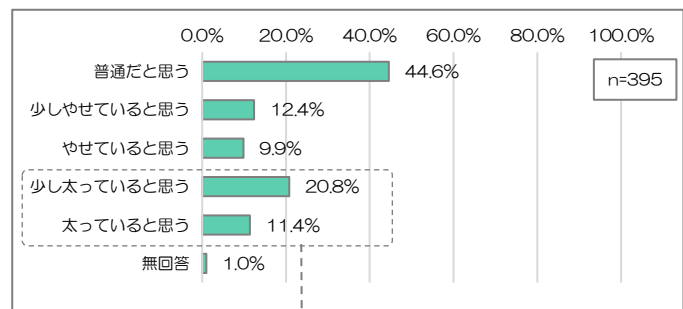
### 【15歳~18歳】

15歳~18歳の方について、BMI値= $\text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)})^2$ による、それぞれの肥満程度分類に該当する方の割合は右のとおりとなり、「肥満」となっている方については4.8%となっています。

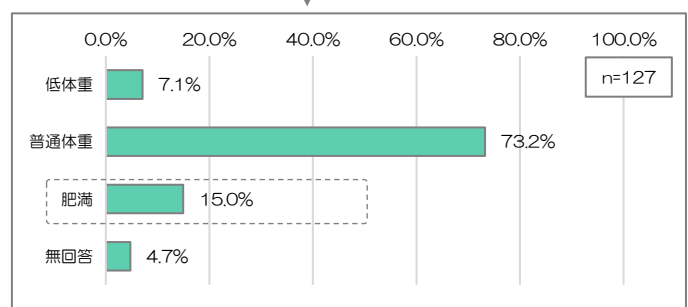


## 自身の体型をどう思いますか（1つに○）

自身の体型について、「少しやせている」「やせている」と思うと回答した方の割合は 22.3%、「少し太っている」「太っている」と思うと回答した方の割合は 32.2%となっています。



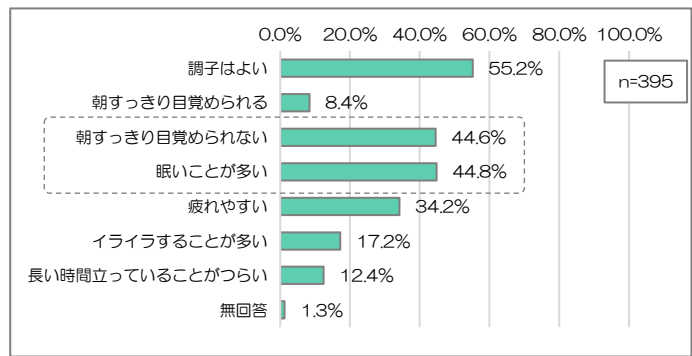
なお、「少し太っていると思う」「太っていると思う」と回答した方について、日比式肥満度あるいはBMIの値による実際の肥満度について見てみると、「太っている」と思っているにもかかわらず実際に肥満である方については 15.0%となっています。



## 第2章 調査結果

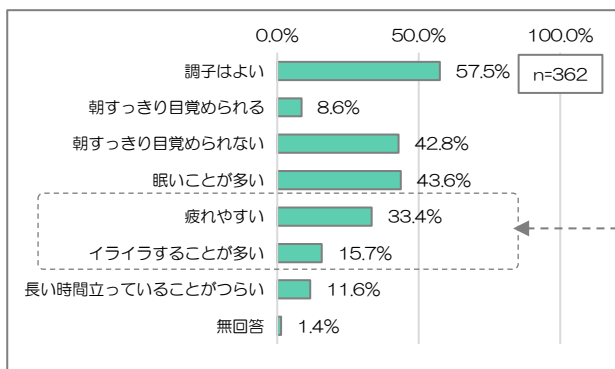
### ふだんの体の調子はどうですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの体の調子について「調子はよい」と回答した方の割合は 55.2%にとどまっており、「朝すっきり目覚められない」「眠いことが多い」と回答した方の割合が約 45%となっています。

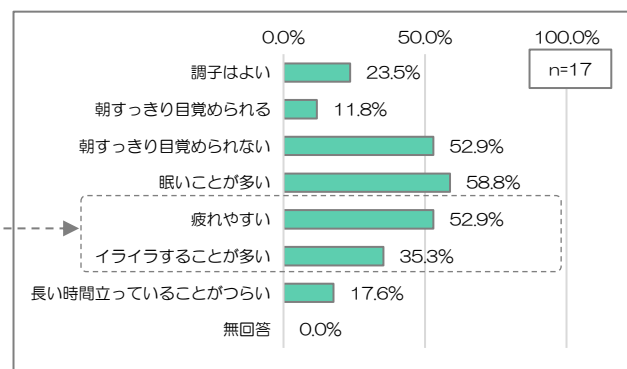


なお、朝食を「毎日食べている」「週5～6日食べる」方と「週1～2日食べる」「食べない」方について、体の調子に関する回答は以下のとおりとなり、朝食を食べない方について「疲れやすい」「イライラすることが多い」と回答した方の割合が高くなっています。

#### 【朝食を「毎日食べている」「週5～6日食べる」】

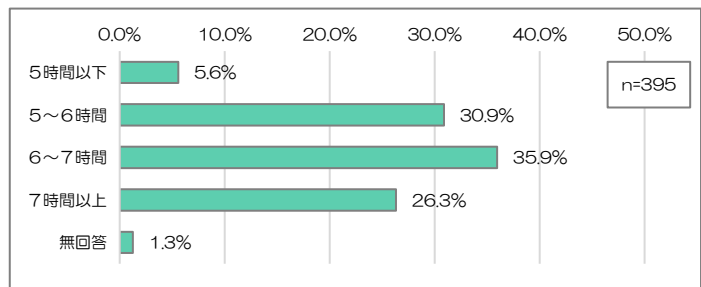


#### 【朝食を「週1～2日食べる」「食べない」】

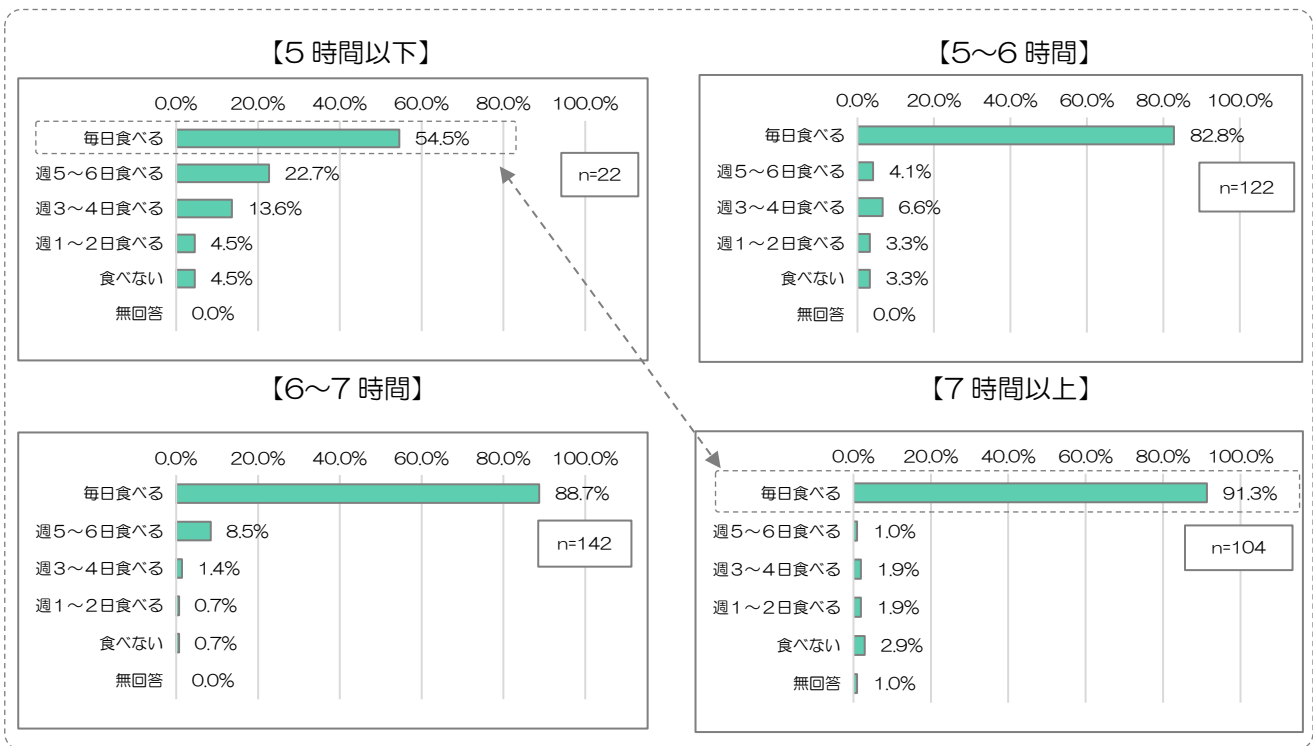


### 睡眠時間はどのくらいですか。(1つに○)

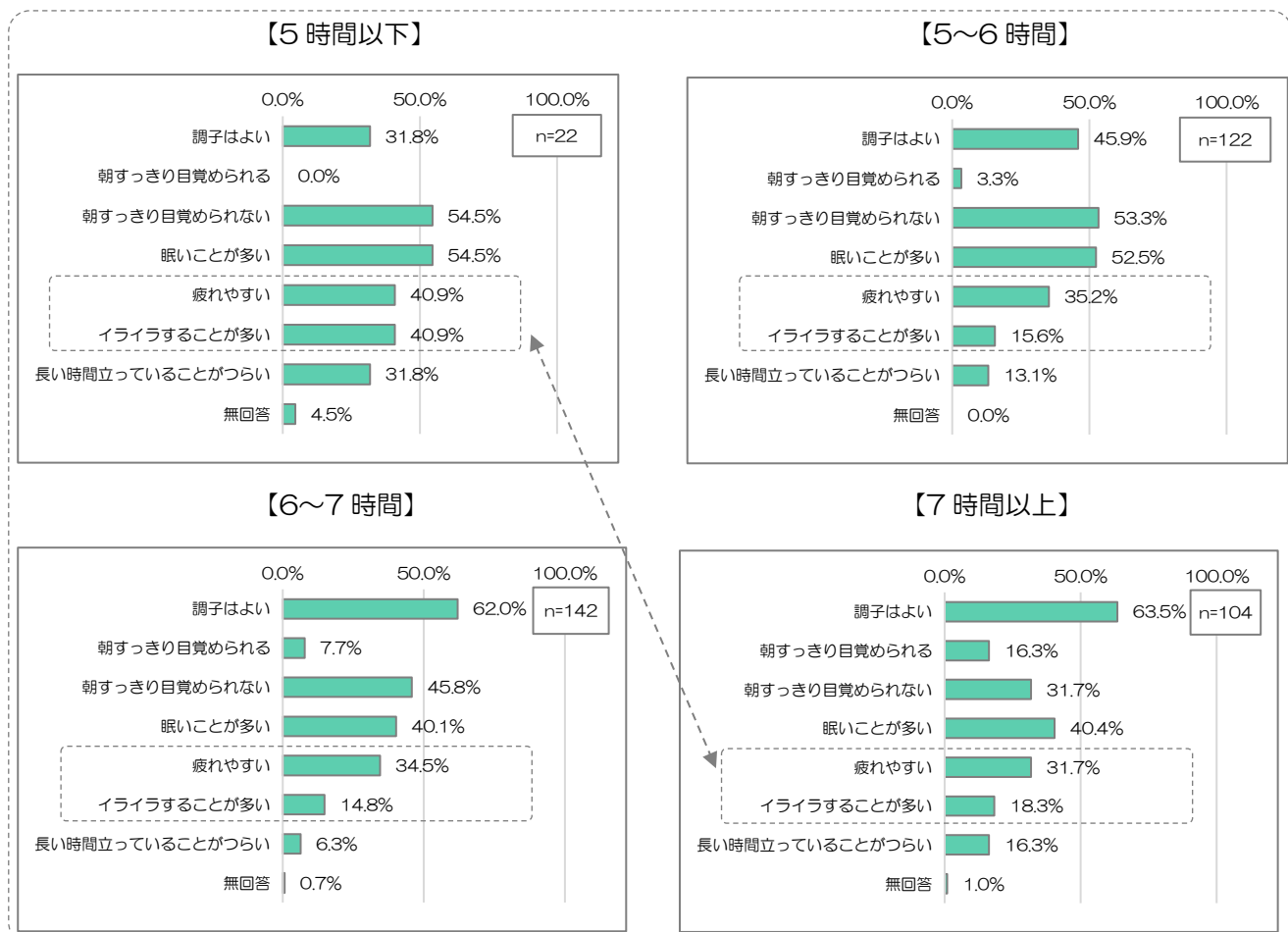
睡眠時間について「6～7 時間」が最も多く 35.9%となっています。



なお、睡眠時間ごとの朝食を食べる頻度は以下のとおりとなり、睡眠時間が短い方について朝食を「毎日食べる」と回答した方の割合が低くなっています。



また、睡眠時間別の体の調子に関する回答は以下のとおりとなり、睡眠時間が「5時間以下」の方について「疲れやすい」「イライラすることが多い」と回答した方の割合が高くなっています。

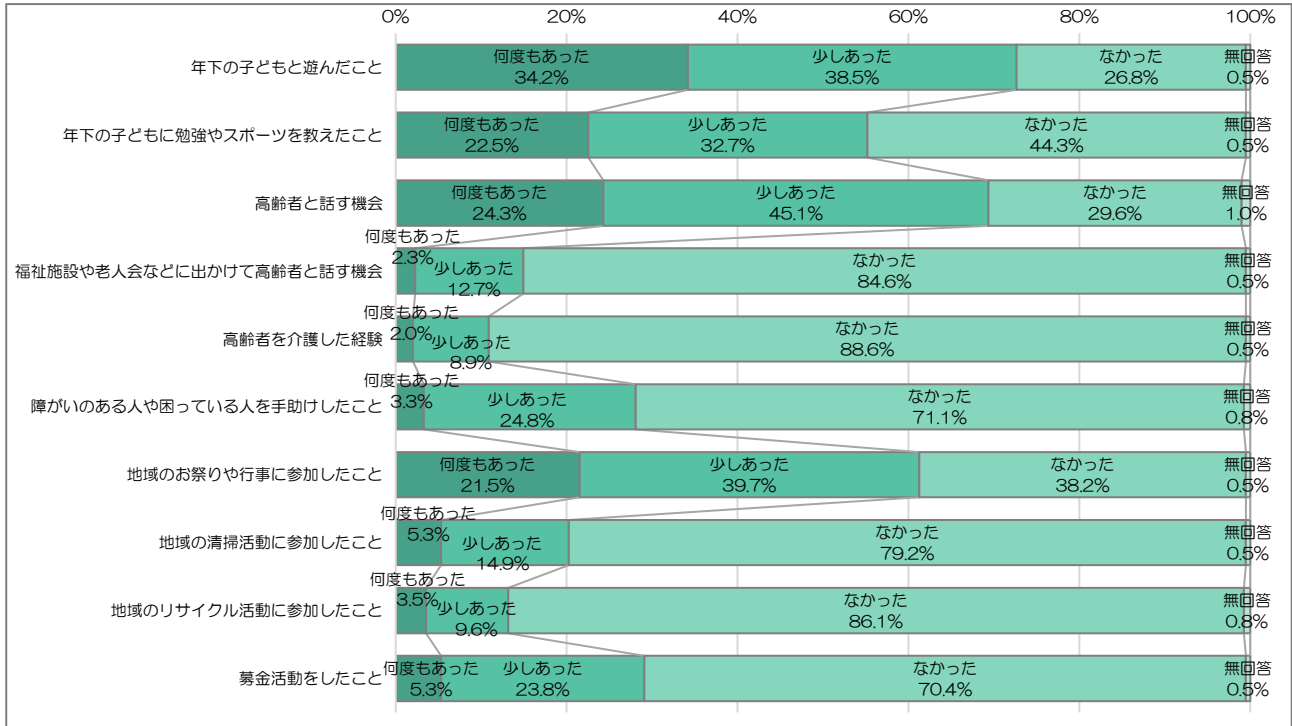


7 異世代交流について

下記の異世代交流のことについて、最近1年間、どのくらいありましたか。(それぞれ1つに〇)

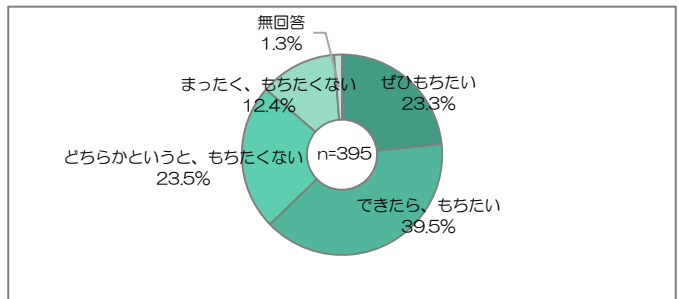
異世代交流に関して「年下の子どもと遊んだこと」については「何度もあった」「少しあった」と回答した方が72.7%と7割以上となっており、「高齢者と話す機会」についても69.4%となっています。また、「地域のお祭りや行事に参加したこと」についても61.3%となっています。

【異世代交流の機会】(n=395)



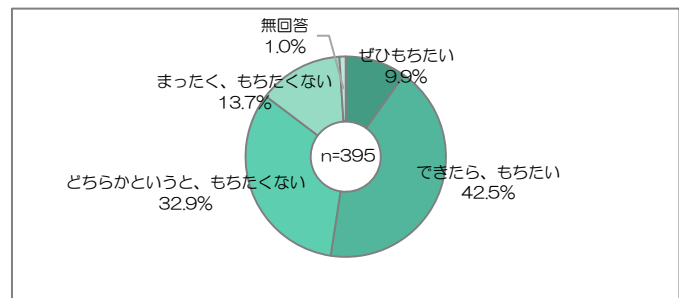
乳幼児と関わる機会をもちたいと思いますか(1つに〇)

乳幼児と関わる機会について「ぜひもちたい」「できれば、もちたい」と回答した方の割合は62.8%となっており、6割以上の方が関わる機会を持ちたいと回答しています。



高齢者と関わる機会をもちたいと思いますか。(1つに〇)

高齢者と関わる機会について「ぜひもちたい」「できれば、もちたい」と回答した方の割合は52.4%となっており、5割以上の方が関わる機会を持ちたいと回答しています。

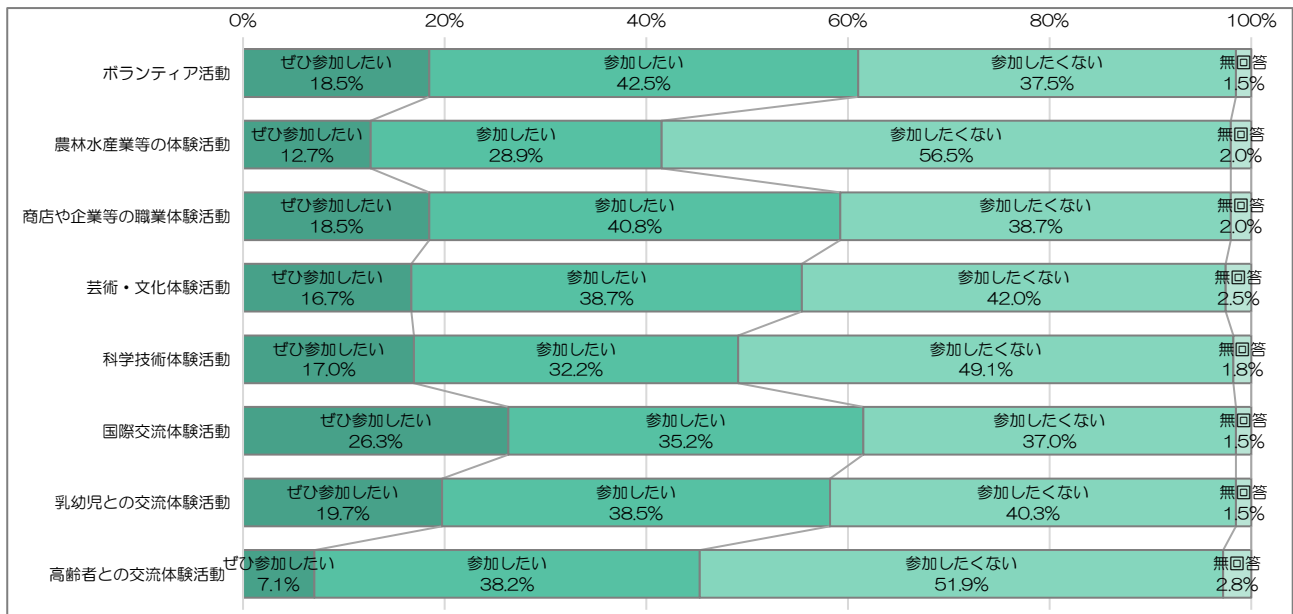




あなたは次のような活動に対する体験の機会があれば、参加したいですか。（それぞれ1つに○）

活動に対する体験の機会について「国際交流体験活動」では「ぜひ参加したい」「参加したい」と回答した方の割合が61.5%と6割を超えています。また、「ボランティア活動」についても参加意欲が高く61.0%と6割を超えています。

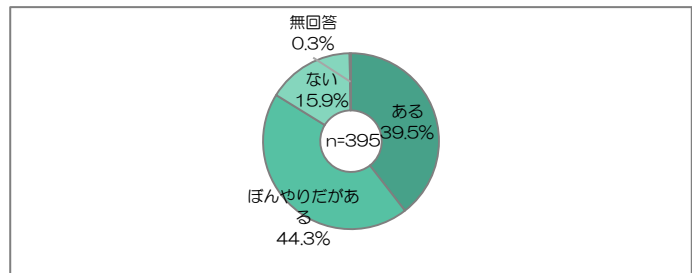
【活動に対する体験の機会への参加】(n=395)



8 将来のことについて

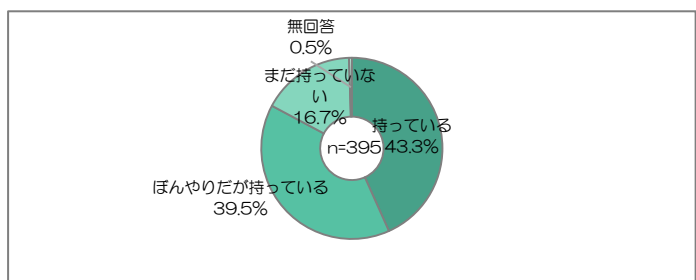
将来、つきたい職業はありますか。(1つに〇)

将来、つきたい職業が「ある」「ぼんやりだがある」と回答した方については83.8%となり、将来つきたい職業について8割以上の方が思い描いています。



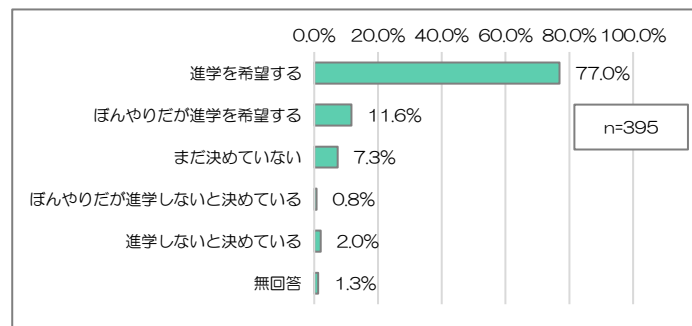
夢を持っていますか。(1つに〇)

夢を持っているかについて「持っている」「ぼんやりだが持っている」と回答した方については82.8%となり、夢については8割以上の方が持っています。



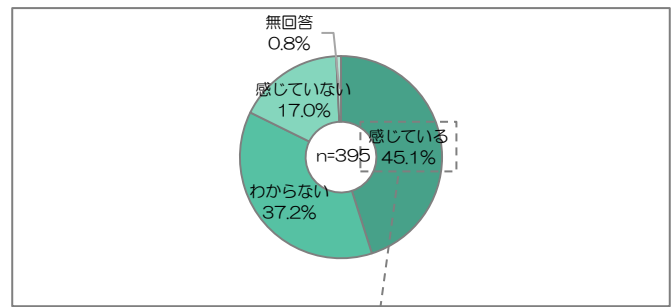
進学について決めていますか。(1つに〇)

進学について「進学を希望する」「ぼんやりだが進学を希望する」と回答した方の割合は88.6%と約9割の方が進学を希望しています。

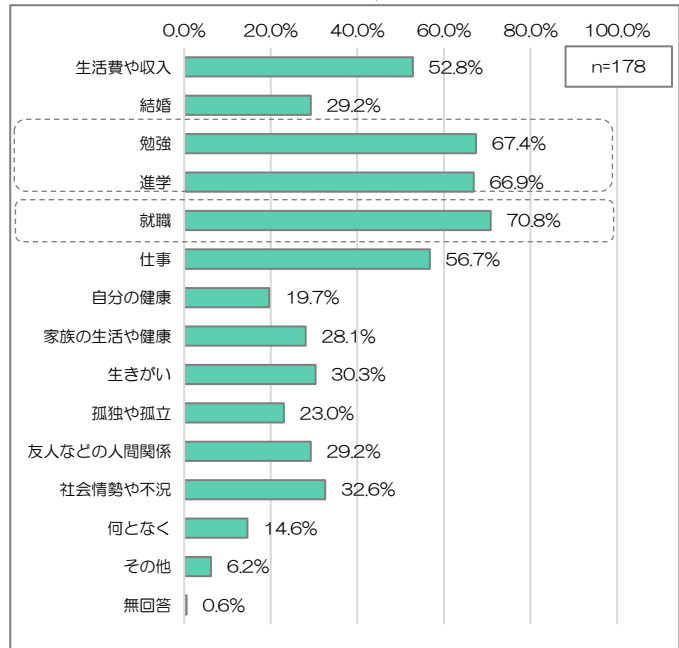


将来に不安を感じていますか(1つに〇)。

将来に不安を感じている方については45.1%となっています。



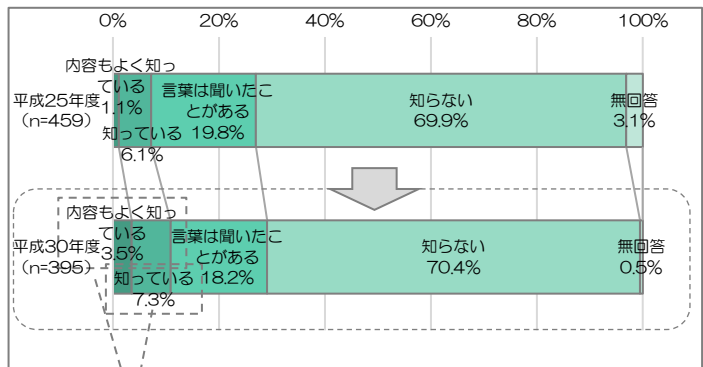
また、将来に不安を感じている内容としては「就職」が最も多く70.8%となり、次いで「勉強」「進学」となっています。



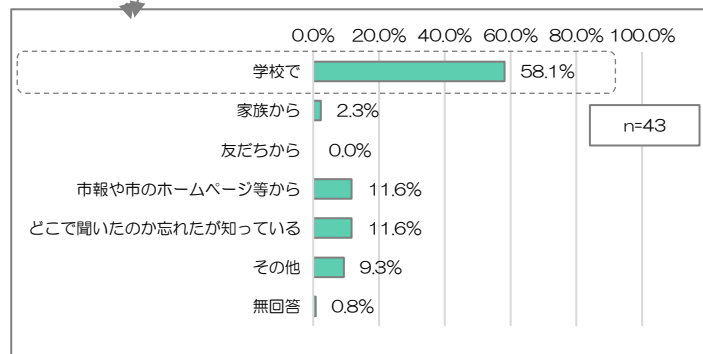
9 小金井市子どもの権利に関する条例について

「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに〇)

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が 10.8%と、認知率については約 1割にとどまっています。また平成 25 年度調査と比較しても、認知率についてはあまり高まってはいません。



また、「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く 58.1%となっています。



あなたが大人に心がけてほしいことはなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

大人に心がけてほしいこととして「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」が最も多く 50.6%と半数を超えています。また、「きまりや約束ごとを一時的に押しつけないでほしい」についても多くなっており 47.1%となっています。

